

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業療法概論	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行	作業療法専門科目すべて				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期	この授業科目は作業療法士が担当します。 作業療法の歴史や理論、定義など、「作業療法とは何か」を学びます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法という治療技術を理解し、作業療法士を目指す意欲を養う。					
行動目標（SBO）	1. 作業療法に関心をもち、作業療法に関する知識を得ようと努力することができる。 2. 作業療法とは何かを説明できる 3. 「作業」とは何かを議論し合うことができる。 4. 作業療法の評価から治療に至る流れを説明できる。 5. 4つの分野ごとの作業療法の役割と内容の概路を述べることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
作業療法とはどういうものかを、さまざまな視点から学び、理解します。 作業療法の定義・作業の力・社会における作業療法の位置づけについて学びます。また、対象者の疾患や年齢（領域）やそれぞれの状況によっ て、治療として実施する作業療法は異なります。各々の作業療法について、特徴的な内容を理解しましょう。また、臨床現場で起こり得るリスク管理 について学び、日々の生活の中でも意識できるようにしていきましょう。						
教科書・参考書						
能登真一／編 標準作業療法学 作業療法学概論 第4版 医学書院						
受講時留意点、その他						
毎回授業開始時に授業目標および行動目標を提示します。終了時にそれらの目標を到達する必要があります。目標を意識し、受講することが大切 です。また、指定した教科書の内容を事前に読んでおいてください。教科書を読むことは、日本語の表現力を養うことにもなりますので、音読をするこ とを勧めます。また、教科書をすべて鵜呑みにするのではなく、批判的に読む癖をつけてください。こういうことはどう考えればよいのか疑問を持ちながら、読 んでみてください。作業療法は歴史的に見ても変化し続けており、皆さんがさらに発展させていく可能性を秘めている領域です。どうあるべきかを一緒に 考えていきましょう！						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	第1～15回が範囲となります。				
小テスト		数回の授業ごとに小テストを行います				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月9日	<u>作業療法とは</u> 作業療法の定義についてまとめておくこと	岡本	pp3-13	207
第2回 4月11日	<u>作業療法の歴史と原理</u> 作業療法の原理が何かを考えておくこと	岡本	pp15-25	207
第3回 4月23日	<u>作業療法に関連する予備知識</u> 対象者を理解するために必要なことは何かを整理しておくこと	岡本	pp27-38	207
第4回 5月2日	<u>作業療法の実践現場</u> 作業療法が実残されている現場をまとめておくこと	岡本	pp40-47	207
第5回 5月9日	<u>作業の分析と治療への適用</u> 作業の分析のしかたを整理しておくこと	岡本	pp51-83	207
第6回 5月16日	<u>作業療法士の養成と教育</u> 作業療法士の養成制度を理解しておくこと	岡本	pp87-119	207
第7回 5月21日	<u>日本作業療法士協会と WFOT</u> 日本作業療法士協会とWFOT の役割をまとめておくこと	岡本	pp120-141	207
第8回 5月29日	<u>作業療法の実践過程</u> 作業療法の評価 → 治療の流れを把握しておくこと	岡本	pp145-164	遠隔
第9回 6月6日	<u>身体機能分野における作業療法の実際</u> 身体機能分野における作業療法の目的をまとめておくこと	岡本	pp169-181	207
第10回 6月13日	<u>精神機能分野における作業療法の実際</u> 精神機能分野における作業療法の目的をまとめておくこと	岡本	pp182-195	遠隔
第11回 6月18日	<u>発達過程分野における作業療法の実際</u> 発達過程分野における作業療法の目的をまとめておくこと	岡本	pp196-211	207
第12回 6月25日	<u>高齢期分野における作業療法の実際</u> 高齢期分野における作業療法の目的をまとめておくこと	岡本	pp212-227	207
第13回 7月3日	<u>社会保障制度の理解</u> 医療保険と介護保険の違いをまとめておくこと	岡本	pp231-244	207
第14回 7月11日	<u>作業療法部門の管理運営</u> 記録と報告の違いを理解しておくこと	岡本	pp246-269	207
第15回 7月16日	<u>まとめ</u> テキスト全体を読み直して、疑問点を明確にしておくこと	岡本	全体	207
定期試験	1回～15回の範囲で定期試験を行います			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎作業学	1	15	講義	必修	－
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	作業療法概論・基礎作業学実習・作業療法評価学・作業療法評価学演習・日常生活活動学・作業遂行分析学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。作業療法で用いる作業をどのように捉えるかを学びます。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法ではなぜ「作業が行えること」が目標なのかを理解する					
行動目標（SBO）	1．作業の形・機能・意味について分析できる 2．個人にとっての作業の意味を説明できる 3．作業遂行とは何か、説明できる 4．作業遂行を観察する視点を説明できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業では、対象者にとっての作業の意味を知るために、作業の形や機能、意味の分岐、作業工程の分析、作業遂行の分析などを行います。当たり前に行っている「作業」をどのような視点で見ればよいのかを学習するため、まずは自分自身にとっての作業について洞察しましょう。作業について注意深く観察し、そこにある意味を考える技術を身に着けます。						
教科書・参考書						
教科書：なし（配布プリント） 参考書：濱口豊太 編、標準作業療法学 基礎作業学 第4版、医学書院						
受講時留意点、その他						
毎回、レポートを作成します。必要な人は電子辞書などを持参してください。演習が多い科目ですので、積極的に参加されることを期待しています。各自の経験をもとに、作業とは何かについて理解し、考察する姿勢が求められます。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	各テーマの課題に沿ったレポート提出の完成度を点数化する。①時間内に完成させること、②提出物として相手にわかるように記載されていること、③誤字脱字がないこと、④内容が課題に沿っていること、⑤作業について、自己の経験をもとに洞察できていること を採点基準とする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	オリエンテーション/作業学とは 作業学で学ぶ内容を理解する。 【KW】作業・occupation・作業科学	市村	配布資料 国語辞典・ 英和辞典	207
第2回	作業の種類 人にとっての意味の観点から作業の種類を理解する 【KW】する必要がある作業・したい作業・することを求められる作業	市村	配布資料	207
第3回	作業の意味・形態・機能 作業の形態・機能・意味を分析する 【KW】作業の形・機能・意味	市村	配布資料	207
第4回	作業を行うことの重要性 適切な作業が行えることの重要性を学ぶ 【KW】作業的存在・作業的公正・story	市村	配布資料	207
第5回	作業分析の手段 作業分析の手段にどのようなものがあるかを学ぶ 【KW】分析単位・作業分析・工程分析・動作分析・運動分析	市村	配布資料	207
第6回	作業遂行の捉え方 作業遂行の概念と、作業遂行に影響する要因を学ぶ 【KW】作業・人・環境	市村	配布資料	207
第7回	作業遂行分析：作業の細分化 目的志向的行為の単位に作業を細分化する 【KW】目的志向的行為・作業遂行	市村	配布資料	207
第8回	作業遂行分析：遂行の質の観察 作業を遂行の質の観点から観察する 【KW】自立性・安全性・努力性・効率性	市村	作業療法 評価学 p215	207
定期試験	なし			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎作業学実習Ⅰ	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途、野村めぐみ	作業療法概論・基礎作業学・運動学Ⅰ				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。医療施設等での実務経験を基に、作業分析や作業を治療で用いる方法について教授します。					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業活動を通して作業療法における作業の治療的意味を理解する。					
行動目標（SBO）	1．実習を通して、治療的手段として作業を活用する方法を理解する。 2．作業活動の工程分析が行える。 3．実施した作業活動の特性について説明できる。 4．作業活動を通して自身の心理的变化を挙げることができる。 5．期限内に各作業活動を完成することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
作業療法の治療技法の中核となる「作業」「作業活動」について、その構成や方法、遂行に必要な心身機能を、実際の作業活動を通して学習します。心身機能の変化や心理的变化、リスク管理についても併せて考えを深めます。 また、個人による作業の意味や役割の違いを、社会的・文化的な背景から考え、作業を捉える視点を養います。 何よりも、作業療法士にとって重要である「作業」「作業活動」と、それに伴う、「作業を介した対人関係」に対する興味・関心を深めます。『作業分析表』を用いて、作業分析の大枠を実践的に捉えていきます。						
教科書・参考書						
①作業活動実習マニュアル 第2版 古川宏著 医歯薬出版株式会社 ②配布資料（適宜）						
受講時留意点、その他						
実習に適した服装で出席してください。守れない場合は、受講をお断りする場合があります。 【服装について】 「作業活動」では、木材・土・水・染料・接着剤などを使いますので、汚れても構わない服装で出席してください。また、靴はヒールのない、華美でない（派手ではない）ものを履き、アクセサリは外してください。学生ハンドブック「Ⅲ-2.学生生活における心構え」を遵守してください。作業当日に欠席すると遅れが生じますので、翌登校日に必ず相談にきてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験						
小テスト						
レポート	50	各作業終了後及び全作業終了後に行う作業分析シートを採点します。提出期日を提示します。正当な理由なく期日を過ぎたものは減点します。記載に不備がある場合は減点の対象となります。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	50	各作業活動で作成した作品。製作過程の状況や態度、完成時の丁寧さ等を含めて採点します。正当な理由なく提出期日を過ぎたものは減点します。オリジナル性のある物、完成度が高い作品は加算対象となります。作製中や提出に際し規定違反が発覚した場合は減点の対象となります。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・作業とは コースオリエンテーション、張り子とマクラメのオリエンテーション	野村	配布資料	OT実習室 1
第2回	作業活動1：マクラメ①	中村	配布資料	OT実習室 1
第3回	作業活動1：マクラメ②	野村	配布資料	OT実習室 1
第4回	作業活動1：マクラメ③	野村	配布資料	OT実習室 1
第5回	作業活動1：マクラメ④	野村	配布資料	OT実習室 1
第6回	作業活動2：張り子① 新聞紙と半紙の貼り付け	野村	配布資料	OT実習室 1
第7回	作業活動2：張り子② 新聞紙と半紙の貼り付け	野村	配布資料	OT実習室 1
第8回	作業活動2：張り子③ 着色・仕上げ	野村	配布資料	OT実習室 1
第9回	作業分析 1	野村	配布資料	OT実習室 1
第10回	作業分析 2、作業活動 3 オリエンテーション	野村	配布資料	OT実習室 1
第11回	作業活動3：銅板細工①	中村	配布資料	OT実習室 1
第12回	作業活動3：銅板細工②	中村	配布資料	OT実習室 1
第13回	作業活動3：銅板細工③	中村	配布資料	OT実習室 1
第14回	作業分析 3	中村	配布資料	OT実習室 1
第15回	作業活動1～3 振り返り	中村	配布資料	OT実習室 1
定期試験	なし			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎作業学実習Ⅱ	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途 小割祥嗣	基礎作業学実習Ⅰ・作業療法概論・基礎作業学・運動学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。医療施設での作業療法の実務経験を基に、作業分析、作業を治療で用いる方法について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	基礎作業学実習Ⅰで学んだ「作業」に対する理解を更に深め、作業分析を通して作業の特性を理解する。					
行動目標（SBO）	1. 実習を通して、治療的手段として作業を活用する方法を理解する。 2. 実施した作業活動の特性について説明できる。 3. 作業活動に必要な動作を分析できる。 4. 作業活動を通して自身の心理的变化を挙げることができる。 5. 期限内に各作業活動を完成することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
作業療法の治療技法の中核となる「作業」「作業活動」について、その構成や方法、遂行に必要な心身機能を、実際の作業活動を通してとらえる。 作業活動に伴う心身機能の変化や心理的变化、リスク管理についても併せて考察する。また、個人による作業の意味や役割の違いを、社会的・文化的な背景から考え、作業を捉える視点を養う。 何よりも、作業療法士にとって重要である「作業」「作業活動」と、それに伴う、「作業を介した対人関係」に対する興味・関心を深める。 『作業分析表』を用いて、作業分析の大枠を実践的に捉える。						
教科書・参考書						
1. 作業活動実習マニュアル 第2版 古川宏著 医歯薬出版株式会社 2. 配布資料（適宜）						
受講時留意点、その他						
実習に適した服装で出席してください。守れない場合は、受講をお断りする場合があります。 【服装について】 「作業活動」では、木材・土・水・染料・接着剤などを使いますので、汚れても構わない服装で出席してください。また、靴はヒールのない、華美でない（派手ではない）ものを履き、アクセサリは外してください。学生ハンドブックⅢ-2.学生生活における心構え」を遵守してください。作業当日に欠席すると遅れが生じますので、翌登校日に必ず相談にきてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	40	作業分析シート、レクリエーション参加レポート、オリジナル作品に対するレポートを採点します。提出期日を提示します。正当な理由なく提出期限を過ぎたものは減点します。記載に不備がある場合は減点の対象となります。				
実技試験						
プレゼンテーション	10	オリジナル作品のプレゼンテーションを第15回に実施します。作品の概要、手順、特性等を自己で分析し、他者に分かりやすく説明出来るかが採点対象となります。				
その他	50	各作業活動で作成した作品。製作過程の状況や態度、完成時の丁寧さ等を含めて採点します。正当な理由なく提出期日を過ぎたものは減点します。オリジナル性のある物、完成度が高い作品は加点対象となります。作製中や提出に際し規定違反が発覚した場合は減点の対象となります。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>オリエンテーション、作業活動オリエンテーション</u>	中村	p24～p32 配布資料	
第2回	<u>作業活動1：陶芸①</u>	小割祥嗣 先生	p71～p85 配布資料	
第3回	<u>作業活動2：革細工①</u>	中村	p34～p51 配布資料	
第4回	<u>作業活動1：陶芸②</u>	小割祥嗣 先生	p71～p85 配布資料	
第5回	<u>作業活動2：革細工②</u>	中村	p34～p51 配布資料	
第6回	<u>作業活動2：革細工③</u>	中村	p34～p51 配布資料	
第7回	<u>作業活動1：陶芸③</u>	小割祥嗣 先生	p71～p85 配布資料	
第8回	<u>作業活動2：革細工④</u>	中村	p34～p51 配布資料	
第9回	<u>作業分析2、作業活動2オリエンテーション</u>	中村	p34～p51 配布資料	
第10回	<u>作業分析1、作業活動3オリエンテーション</u>	中村	p71～p85	
第11回	<u>作業活動3：他者に渡して喜ばれる作品①</u>	中村	配布資料	
第12回	<u>作業活動3：他者に渡して喜ばれる作品②、レクリエーションオリエンテーション</u>	中村	配布資料	
第13回	<u>レクリエーション</u>	中村	配布資料	
第14回	<u>レクリエーション</u>	中村	配布資料	
第15回	<u>作業活動3：他者に渡して喜ばれる作品③～プレゼンテーション～</u>	中村	配布資料	
定期試験	なし			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	職業倫理学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行・岡庭隆門	職業管理学・作業療法教育学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 前期	この授業科目は作業療法士が担当します。作業療法士として必要な職業倫理についてお伝えします。静岡県作業療法士会 会長の岡庭先生より「協会の倫理規定」「静岡県作業療法士会の活動」についてご教示いただけます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	職業倫理を学び、医療従事者に求められる倫理を理解する					
行動目標（SBO）	1. 作業療法士の法的責任と倫理綱領を理解する 2. 患者・対象者（児）の権利と尊厳を理解する 3. ハラスメントとハラスメント防止・組織倫理について理解する 4. 倫理事例を通して問題解決等の手段を選択できる 5. 日本作業療法士協会倫理規定 協会や各士会との組織連携 静岡県士会について理解する					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
専門職の実務形態は特殊であり、そのために職業倫理が重要視されている。 療法士の職域は、医療から介護、予防、健康増進と広がりを見せており、そのような状況に対応するには、患者の権利に敏感である必要がある。インフォームド・コンセントは療法士にとって、治療効果に影響を及ぼす要因だと認識し、積極的に取り組む必要がある。医療情報には守秘義務を伴うが、有用な側面もあるため、個人情報保護法をよく理解したうえで、適正に取り扱うことが求められる。						
教科書・参考書						
（参考書）大庭 潤平 作業療法管理学入門 第2版 医歯薬出版株式会社						
受講時留意点、その他						
毎回授業開始時に授業目標および行動目標を提示します。終了時にそれらの目標を到達する必要があります。目標を意識し、受講することが大切です。 職業倫理は医療人としてとても重要な意識である。法的責任や倫理観が問われるのは勿論であるが、倫理的ジレンマに遭遇することも多々ある。対象者にとって「安全」で「最良」の方法を見つけていくためにも、倫理について意識を高く持つことが大切であることから、建設的な意見交換が大切である。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	各回ごとに授業資料、レポートを提出し採点を行います。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>オリエンテーション・倫理とは</u> 職業倫理を学ぶ必要性和その内容について理解する 【キーワード】職業倫理・作業療法士の倫理綱領	岡本	資料	205
第2回	<u>作業療法士の法的責任と倫理綱領</u> 理学療法士および作業療法士法による法的責任と、倫理綱領の内容について具体的に理解する。【キーワード】理学療法士および作業療法士法	岡本	資料	205
第3回	<u>患者・対象者（児）の権利と尊厳</u> 医療提供者として対象者の権利と尊厳について理解する 【キーワード】歴史的背景・インフォームドコンセント	岡本	資料	205
第4回	<u>ハラスメントとハラスメント防止</u> ハラスメントとは、ハラスメントの種類を理解しその防止を理解する 【キーワード】ハラスメント・ハラスメントの防止	岡本	資料	205
第5回	<u>組織倫理</u> 病院という組織の中の一員としての組織倫理を考える。 【キーワード】組織倫理・社会倫理・個々の倫理観	岡本	資料	205
第6回	<u>倫理事例</u> 倫理的問題の気づきを事例を通して考える。 【キーワード】倫理的問題の気づき・ディレンマ	岡本	資料	205
第7回	<u>日本作業療法士協会倫理規定について 協会や各士会との組織連携</u> 日本OT協会の倫理規定 協会と各士会の連携について理解する 【キーワード】倫理規定・各士会との連携	岡庭隆門	資料	205
第8回	<u>静岡県作業療法士会の活動等の紹介</u> 静岡県作業療法士会の活動を理解する 【キーワード】静岡県作業療法士会・各士会の活動	岡庭隆門	資料	205

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	職業管理学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行・大石裕也	職業倫理学・作業療法教育学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 後期	この授業科目は作業療法士が担当します。作業療法士として必要な職業管理についてお伝えします。静岡リハビリテーション病院の大石先生より病院（施設）とリハビリテーション部門での連携を含めた管理業務の紹介 リハビリテーション部門または作業療法部門の管理業務とは、臨床業務の中における「リスク管理」「情報管理」「業務管理」についてご教示いただきます					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法士として、組織・部門管理・リスク管理・情報管理・業務管理を理解する。					
行動目標（SBO）	1. 病院や施設の組織の中での役割・構成を理解する。 2. 部門管理の労務管理・管理者の役割・スタッフの役割を理解する。 3. リスク管理について説明できる。 4. 情報管理について説明できる。 5. 業務管理・マネジメントについて説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
作業療法士として仕事をする際、自分が属する組織に貢献することによって、給料をもらうことになる。就職するということは組織の中の一員として働いていることを意識する必要がある。病院や施設という組織を理解し、仕事をする際の自分自身の役割、それぞれの立場での役割を理解した上で、協働することが大切である。医療現場でのリスク管理はもとより、情報管理・業務管理を学び、自己管理をしていくことが求められる。作業療法士は、業務スケジュールなど自分で管理したり、多職種との連携をマネジメントする機会が多い。信頼関係を築くためにも管理意識は重要である。						
教科書・参考書						
（参考書）大庭 潤平 作業療法管理学入門 第2版 医歯薬出版株式会社						
受講時留意点、その他						
仕事をする上で、管理業務を理解していることはとても重要なことである。眼の先のことだけを考えるのではなく、組織の中で、中長期的目標を立て、新人からいずれ管理者として部門管理をしていくイメージが持てるとよい。そのための管理学をしっかりと学んでほしい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	各回ごとに授業資料、レポートを提出し採点を行います。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>オリエンテーション・作業療法の管理とは</u> 【キーワード】マネジメント・目標管理	岡本	作業療法管理 学入門 資料	205
第2回	<u>組織マネジメント</u> 【キーワード】組織と個人・作業療法部門組織	岡本	作業療法管理 学入門 資料	205
第3回	<u>情報管理</u> 【キーワード】情報・守秘義務・診療記録	岡本	作業療法管理 学入門 資料	205
第4回	<u>医療サービスのマネジメント・医療安全のマネジメント</u> 【キーワード】サービス・アクシデント・インシデント	岡本	作業療法管理 学入門 資料	205
第5回	<u>作業療法管理の紹介</u> 【キーワード】組織マネジメント・作業療法管理業務	大石裕也	作業療法管理 学入門 資料	205
第6回	<u>作業療法管理の紹介</u> 【キーワード】リスク管理・情報管理・業務管理	大石裕也	作業療法管理 学入門 資料	205
第7回	<u>作業療法業務マネジメント</u> 【キーワード】人・経済・情報・時間	岡本	作業療法管理 学入門 資料	205
第8回	<u>作業療法臨床実習・キャリア開発</u> 【キーワード】臨床実習の管理体制・キャリア開発・ワークライフバランス	岡本	作業療法管理 学入門 資料	205

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業療法教育学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学	間瀬亜由美 秋山尚也	職業倫理学・職業管理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。臨床現場での経験を基に、作業療法士に必要な教育方法・教育内容について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法士に必要な教育内容や教育方法について理解する					
行動目標（SBO）	1. 作業療法士に必要な教育的役割を理解する 2. 作業療法士に必要な教育内容を理解する 3. 人材育成手法を理解する 4. 人材育成手法を用いた教育方法について検討する					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
作業療法士として臨床業務と同様に後輩育成や次世代の作業療法士の教育も大事な役割となります。 作業療法士は学ぶことが多いため、適切な情報を取り入れ常に対象者のために技術や知識を更新し続けていなくてはなりません。自ら学び自己研鑽を図るとともに、適切に後輩育成ができるよう教育方法や教育内容を理解していきます。						
教科書・参考書						
受講時留意点、その他						
毎回授業資料を配布します。 授業への積極的な授業態度、他の授業科目と併せた理解と実践を期待します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100%	毎回課題に対してレポートを作成する。レポートは、量、丁寧さ、記載内容を採点します。提出期限を過ぎたレポートは受け付けません。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な態度が見られた場合、減点の対象とします。				
（合計）	100%					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	医療専門職の継続教育 【KW】継続教育、生涯教育、プロフェッショナリズム、OJT、キャリア	間瀬	配布資料	205
第2回	人材育成手法 【KW】コーチング、ティーチング	間瀬	配布資料	205
第3回	人材育成手法（教育検討ディスカッション） 【KW】教育方法の検討、コーチング、ティーチング	間瀬	配布資料	205
第4回	作業療法現場での教育 【KW】日本作業療法士協会、静岡県作業療法士会	秋山	配布資料	205
第5回	作業療法現場での教育 【KW】現場教育、教育体制、人材育成	秋山	配布資料	205
第6回	臨床実習指導方法 【KW】臨床実習、診療参加型臨床実習	間瀬	配布資料	205
第7回	臨床実習指導方法（教育検討ディスカッション） 【KW】教育方法の検討、臨床実習、診療参加型臨床実習	間瀬	配布資料	205
第8回	臨床で役立つ人材育成 【KW】キャリア教育、コンピテンシー	間瀬	配布資料	205
定期試験	なし			

	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業療法評価学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	解剖学Ⅱ、解剖学実習Ⅰ・Ⅱ、作業療法概論、基礎作業学、作業療法評価学演習、2年次以降の専門科目				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 前期	この科目は、作業療法士が担当します。実務経験をもとに、対象者の評価の方法について、その入門的内容を演習を交えて講義します。□					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法評価の基礎事項と考え方を理解する。					
行動目標（SBO）	1.作業療法における評価の目的と位置付けを理解する。 2.評価の基礎である面接・観察の基礎を理解する。 3.代表的な作業療法評価の名称が挙げられる 4.他部門との情報交換とは何か言える。 5.作業療法における対象者の評価から治療プログラム作成までの流れを理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
作業療法を実施するにあたり、対象者を理解し、把握する方法を評価と言います。対象者に触れること、観察すること（見る）、面接すること（話を聞く）がその基本です。この授業では、評価とは何か、作業療法ではどのような評価を用いるかについて、基礎事項を学びます。また作業療法評価については、2年次以降、さらに専門的に学習します。この授業はその入り口となりますので、基礎的な知識を習得しておきましょう。						
教科書・参考書						
教科書　：　標準作業療法学　作業療法評価学　第4版（医学書院） 標準作業療法学　作業療法概論　第4版（医学書院）						
受講時留意点、その他						
欠席した場合はほかの受講生に内容を確認し、不明な点は次回までに担当教員に質問してください。 授業内で課題が出されていた場合は、扱いについて、担当教員まで速やかに相談に来てください。 この科目は全8回です。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験	80	前期末試験を行い、成績評価を行います。60点を合格点とし、成績評価割合は80%とします。				
小テスト						
レポート	20	授業で理解した内容をノートにまとめて提出します。授業内容を自分で理解して整理しなおして記載していること、丁寧に記載していることを採点します。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、提出物の遅れ、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とします。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・評価とは 作業療法における「評価」の位置づけを理解する 【KW】評価・作業・作業療法の過程・評価の種類 ＊ 評価とは何かがわかる。作業療法の流れを説明し、評価の位置づけが言える。	市村	作業療法評価 学pp3-8, 13- 16	207
第2回	面接 作業療法評価で行う面接の目的と方法を学ぶ 【KW】面接の目的・面接の種類・位置関係 ＊ 面接の演習を行い、面接の目的と留意事項を覚える。	市村	作業療法評価 学pp11,36- 44	作業療法 実習室 2・ 3
第3回	観察 作業療法評価における観察の目的と方法を学ぶ 【KW】観察の対象・観察の場面・観察の視点 ＊ 観察の演習を行い、観察の目的、留意事項を覚える。	市村	作業療法評価 学pp12- 13,46-48	207
第4回	評価バッテリー・検査・測定 1 作業療法で用いる評価を学び、体験する 【KW】血圧測定・ROM測定・MMT・感覚検査・上肢機能検査・認知機能検査 ＊ 代表的な評価ツールの名称と目的を覚える。	市村	作業療法評価 学p10	作業療法実 習室 2・3/ <u>コンピュータ</u>
第5回	評価バッテリー・検査・測定 2 作業療法で用いる評価を体験する 【KW】血圧測定・ROM測定・MMT ＊ 代表的な評価ツールの名称と目的を覚える。	市村	作業療法評価 学p10	作業療法実 習室 2・3/ <u>コンピュータ</u>
第6回	日常生活活動（ADL）の評価 ADLを評価する方法の基礎を学ぶ 【KW】しているADL・できるADL・FIM ＊ ADLの見方の基礎を理解し、FIM採点方法の原則を覚える。	市村	作業療法評価 学pp215- 216,223-224	207
第7回	記録と他部門情報の収集 評価における記録と情報収集を学ぶ 【KW】SOAP・医学情報・守秘義務・他部門との連携 ＊ SOAPを用いた記録方法の演習を行う。記録の原則と収集する情報を覚える。	市村	作業療法評価 学pp9- 11,28-32	207
第8回	まとめ・評価の解釈と治療計画 評価結果を作業療法につなげる過程を学ぶ 【KW】結果の解釈・問題点の整理・ゴール設定・プログラム立案 ＊ 作業療法過程を追体験し、評価と治療の流れを理解する。	市村	作業療法評価 学pp19-22 作業療法概論 pp131-142	207
定期試験	前期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業療法評価学演習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行	基礎作業学、作業療法概論、作業療法評価学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期	この授業科目は作業療法士が担当します。 臨床経験を活かし、臨床現場での内容を含め教示します					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法評価の基礎となる考え方を習得する					
行動目標（SBO）	1. 作業療法評価で行う観察の方法がわかる 2. 作業療法評価で行う面接の方法がわかる 3. チーム医療における情報交換の方法がわかる 4. 作業療法評価における記録の方法がわかる 5. 作業バランスの概念がわかる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
前期で学習した作業療法評価について、実施する上での基本的な考え方を習得します。心身機能の検査や測定、対象者の状態を数値に置き換える定量的な評価については、別の科目で学び、この科目では、観察・面接や、他職種との情報交換など、評価の基礎となる技術について、皆さんに実際に考えてもらったり、課題を行ってもらったりしながら、学んでいきます。						
教科書・参考書						
教科書　：　標準作業療法学　作業療法評価学　第3版（医学書院） 標準作業療法学　作業療法概論　第3版（医学書院） 参考書　：　基礎運動学（医歯薬出版）ほか（授業で指示します）						
受講時留意点、その他						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	授業内で行った課題が評価対象である。丁寧に記載できていること、授業にまじめに取り組んでいたことが確認できる内容であることを評価対象とする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・観察/面接の方法	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第2回	面接 1 : 相手を知るための面接	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第3回	面接 2 : 医療場면을想定した面接	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第4回	面接 3 : 情報を収集するための面接	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第5回	他部門との情報交換	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第6回	記録 1 : カルテの記録演習	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第7回	記録 2 : 報告書の記録演習	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第8回	作業バランス 1 : 作業バランスとは	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第9回	作業バランス 2 : 作業バランス分析	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第10回	臨床実習を見据えて 1 : 作業療法場面に入り込む（見学の仕方）	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第11回	臨床実習を見据えて 2 : 作業療法場面に入り込む（姿勢の診かた）	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第12回	臨床実習を見据えて 3 : 作業療法場面に入り込む（測定の補助）	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第13回	臨床実習を見据えて 4 : 作業療法場面に入り込む（血圧測定）	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第14回	臨床実習を見据えて 5 : 作業療法場面に入り込む（車椅子操作）	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第15回	臨床実習を見据えて 6 : 作業療法場面に入り込む（リスク管理）	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
定期試験	定期試験は実施しない。			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	身体障害作業療法評価学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	運動学Ⅰ・Ⅱ、身体障害作業療法評価学実習、中枢神経障害作業療法学・実習、整形外科疾患作業療法学、臨床実習、他				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。病院等医療施設での経験を基に、身体障害領域で様々な疾患に共通して用いられる基本的な評価を教授します。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	身体障害領域で広く使われる検査及び評価の方法を理解する					
行動目標（SBO）	1.身体障害領域の作業療法で用いる評価を挙げられる。 2.身体障害領域で共通して用いる検査・評価の実施方法と結果の解釈が理解できる。 3.身体障害領域の作業療法評価計画立案の方法がわかる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目では、疾患・障害を問わず身体障害領域でよく用いられる評価方法を学びます。身体障害領域の各論講義すべての基礎となる授業ですので、十分に理解してください。講義を中心として、一部、実技を交えながら行います。関節可動域測定・徒手筋力検査法の実技は「作業療法評価学実習」で主に行いますので、本科目で基礎知識を理解して臨んでください。						
教科書・参考書						
教科書：標準作業療法学 作業療法評価学 第4版(医学書院)、新・徒手筋力検査法（第10版）、配布資料 参考図書：PT・OTのための運動学テキスト(金原出版)						
受講時留意点、その他						
欠席した場合はほかの受講生に内容を確認し、不明な点は次回までに担当教員に質問してください。 運動・解剖・生理学の予習（1年次の復習）項目をお知らせしますので、基礎知識を確認して受講してください。実技を行う際には、被験者への敬意を持って接し、感染対策に努めてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。60点以上が合格の基準点である。試験範囲は、第1回から第15回の講義及び、参照した教科書の記載内容である。				
小テスト	0	単元終了ごとに、各自の理解度を確認する目的で実施する。成績には含めない。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、被験者への敬意に欠く態度など、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・バイタルサインの測定 作業療法におけるバイタルサインの評価の意義を理解する 【KW】血圧測定・脈拍計測・呼吸の評価	市村	pp3-19,53-58	OT実習室 2・3/ ストツ プウォッチ
第2回	関節可動域測定 病的な関節可動域の評価を理解する 【KW】関節運動の種類・関節可動域制限の種類・拘縮の機序・関節可動域測定の基礎	市村	pp72-95	206/ ゴニオ メーター
第3回	筋力評価 筋力評価の基礎とMMTの検査法を理解する 【KW】筋力の定義・MMT * 事前に、筋の起始停止を復習しておく	市村	pp96-111 MMT	206
第4回	知覚の評価 知覚機能の基礎と知覚の障害【KW】感覚の種類・感覚受容器・知覚検査の目的・知覚障害を起こす疾患 * 事前に、上行性伝導路、感覚の種類を復習しておく。	市村	pp114-120 解剖生理学	OT実習室 2・3
第5回	知覚の評価 知覚検査の実際（講義と実技） 【KW】SWM, 防御知覚検査、深部覚検査 * 各知覚障害の検査が実施できるよう復習する	市村	pp120-128	OT実習室 2・3
第6回	知覚の評価・筋緊張評価 知覚検査の実際（講義と実技）と筋緊張の基礎【KW】複合知覚検査・筋緊張・深部腱反射・αγ連関・I b抑制 * 事前に、深部腱反射（運動学）の復習をしておく。	市村	pp120-128, 130-138, 151-159	OT実習室 2・3/ ストツ プウォッチ 他
第7回	反射検査・筋緊張評価 反射検査（講義と実技）と筋緊張評価【KW】腱反射検査・病的反射検査・MAS* 病的反射と筋緊張評価の方法を覚える。腱反射検査が実施できるよう復習する。	市村	pp130-138, 151-159	OT実習室 2・3/ 打腱 器
第8回	上肢機能評価 上肢機能の基礎と評価の概要・代表的な検査を理解する 【KW】上肢機能とは・リーチと把持の観察・検査の種類 * 事前に、上肢の運動学を復習しておく。	市村	pp204-212	OT実習室 2・3
第9回	上肢機能評価 STEF,MAL,MFTの検査方法を理解する（講義と実技） 【KW】STEF,MAL,MFT * STEF,MALの検査の実施と結果の解釈ができるよう復習する	市村	pp204-212	OT実習室 2・3/ ストツ プウォッチ
第10回	姿勢反射とバランス機能の評価 姿勢反射およびバランス保持の機構を理解する【KW】姿勢反射・姿勢制御システム・バランスとは * 事前に、姿勢反射と姿勢制御システムの運動学を復習しておく。	市村	pp138-150,運動学 テキスト	OT実習室 2・3
第11回	姿勢反射とバランス機能の評価 姿勢反射検査とバランスの評価方法を理解する【KW】立ち直り反応・平衡反応・重心移動・観察・TUG・FR * 自発的重心移動によるバランス評価が行えるよう復習する。	市村	pp138-150,運動学 テキスト	OT実習室 2・3
第12回	協調性の評価 失調症状と協調性評価の方法を理解する（講義と実技） 【KW】協調運動障害・協調性検査・ロンバルク徴候 * 事前に、小脳の機能を復習しておく。症状と検査名を覚える。	市村	pp160-167	OT実習室 2・3
第13回	認知機能の評価 認知機能の基礎と認知症スクリーニング検査（講義と実技）【KW】認知機能とは・中核症状・周辺症状・HDS-R・MMSE * HDS-RとMMSEの特徴・検査方法・判定方法を覚える	市村	pp446-448	OT実習室 2・3
第14回	認知機能の評価 全般的認知機能の検査を理解する（講義と実技） 【KW】コース立方体組み合わせテスト・WAISⅢ * コース立方体組み合わせテストの実施方法と目的を理解する	市村	pp446-448	OT実習室 2・3/ ストツ プウォッチ
第15回	評価項目の選択と評価計画立案 評価の選択と結果の解釈を理解する 【KW】評価法の対象・評価の目的・評価結果の解釈・ゴール設定 * 対象者の疾患と状態に応じた評価の選択方法を復習する。	市村	pp13-19	206
定期試験	前期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	身体障害作業療法評価学実習	2	60	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子 間瀬亜由美 鈴木亮太					
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。様々な領域での作業療法の実務経験を基に、身体障害領域において一般的に使用される作業療法評価技術について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	身体障害領域で用いる基礎的な評価の技術を確実に身に付ける					
行動目標（SBO）	1．対象者を想定して、血圧測定ができる 2．対象者を想定して、関節可動域測定ができる 3．対象者を想定して、徒手筋力検査法による筋力測定ができる 4．対象者を想定して一般的なコミュニケーションをとることができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
身体障害領域の作業療法でよく用いられる血圧測定、関節可動域測定、徒手筋力検査法の基本的な実施方法を学ぶとともに、対象者を想定して実施できることを目的とします。各技法は実技確認も行いますので、授業で学んだことをよく練習してください。						
教科書・参考書						
教科書：標準作業療法学 作業療法評価学 第4版（医学書院） 新徒手筋力検査法（第10版）（協同医書出版） 参考書：PT・OTのための運動学テキスト（金原出版株式会社）ほか（授業で指示します）						
受講時留意点、その他						
身だしなみを整え、学校指定のケーシーまたはポロシャツを着用し出席してください。 関節可動域測定、徒手筋力検査法に関しては事前に動画を配信します。授業は動画での予習を前提に進めますので、必ず確認した上で授業に臨んでください。また、実技の習得に向けて復習、練習を積極的に行うようにしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験	100%	4回の実技確認を行い、評価に含める。 1)血圧測定（20%） 2)関節可動域測定（30%） 3)一般的面接（20%） 4)徒手筋力検査法（30%）				
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100%					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	授業オリエンテーション 血圧測定の実際・演習 【KW】収縮時血圧・拡張期血圧	鈴木	作業療法評価学 p53-64	OT実習室 2・3
第2回	関節可動域測定 総論・肩関節 【KW】関節の構造、基本軸・移動軸、他動運動、関節可動域測定 肩関節屈曲・伸展・内転・外転・内旋・外旋	鈴木 間瀬	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第3回	血圧測定 実技確認	鈴木	作業療法評価学 p53-64	OT実習室 2・3
第4回	血圧測定フィードバック 関節可動域測定 肩関節・肘関節 【KW】：肩関節水平屈曲・水平伸展、肘関節屈曲・伸展、	鈴木	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第5回	関節可動域測定 前腕・手関節・母指 【KW】前腕回内・回外、手関節屈曲・伸展・橈屈・尺屈	鈴木	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第6回	関節可動域測定 手指 【KW】 母指橈側外転・尺側内転・掌側外転、MP関節屈曲・伸展・内 転・外転、PIP関節屈曲・伸展DIP関節屈曲・伸展	鈴木	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第7回	関節可動域 股関節 【KW】股関節屈曲・伸展・内転・外転・内旋・外旋	鈴木	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第8回	関節可動域 膝関節・足関節 【KW】：膝関節屈曲・伸展、足関節屈曲・伸展・外がえし・内がえし 外転・内転	鈴木	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第9回	実技確認オリエンテーション・四肢の関節可動域測定の演習	鈴木	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第10回	関節可動域測定 実技確認 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	鈴木 間瀬 市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第11回	関節可動域測定 実技確認 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	鈴木 間瀬 市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第12回	関節可動域測定 実技確認フィードバック 演習	鈴木 間瀬 市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第13回	関節可動域測定 体幹 【KW】：頸部屈曲・伸展・回旋・側屈、胸腰部屈曲・伸展・回旋・側屈	市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第14回	関節可動域測定：その他の検査法 【KW】肩関節外旋・内旋・内転、母指対立、手指、胸腰部	市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第15回	コミュニケーション技法演習 【KW】傾聴、相槌、非言語的コミュニケーション、質問形式	市村紋	作業療法評価学 p36-52	OT実習室 2・3

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第16回 5月28日	<u>コミュニケーション技法演習</u> 【KW】傾聴、相槌、非言語的コミュニケーション、質問形式	市村紋	作業療法評価学 p36-52	OT実習室 2・3
第17回 6月4日	<u>一般的面接 実技確認</u>	鈴木 間瀬 市村紋	作業療法評価学 p36-52	OT実習室 2・3
第18回 6月4日	<u>一般的面接 実技確認 フィードバック</u> <u>MMT 測定の基本</u>	鈴木 間瀬 市村紋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第19回 6月11日	<u>MMT（肩関節周囲筋）</u> 【KW】肩関節屈曲・伸展・外転・水平外転・水平内転	間瀬	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第20回 6月11日	<u>MMT（肩関節周囲筋・肘関節）</u> 【KW】肩関節外旋・内旋、肘関節屈曲・伸展	間瀬	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第21回 6月19日	<u>MMT（前腕・手関節周囲筋）</u> 【KW】前腕回内・回外、手関節屈曲・伸展	間瀬	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第22回 6月19日	<u>MMT（手指に作用する筋）</u> 【KW】PIP関節・DIP関節屈曲・伸展、MCP関節屈曲・伸展 手指外転・内転	間瀬	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第23回 6月23日	<u>MMT（手指に作用する筋）</u> 【KW】母指MP・IP関節屈曲・伸展、母指外転・内転、対立	間瀬	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第24回 6月23日	<u>実技確認オリエンテーション 上肢筋の検査演習</u>	間瀬	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第25回 6月25日	<u>MMT（下肢筋）</u> 【KW】股関節屈曲・伸展・外転・内転・内旋・外旋		新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第26回 6月25日	<u>MMT（下肢筋）</u> 【KW】股関節複合的な運動、膝伸展・屈曲、足背屈・底屈	市村紋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第27回 7月2日	<u>MMT実技確認</u>	鈴木 間瀬 市村紋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第28回 7月2日	<u>MMT実技確認</u>	鈴木 間瀬 市村紋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第29回 7月9日	<u>MMT実技確認フィードバック</u>	鈴木 間瀬 市村紋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第30回 7月9日	<u>MMT（下肢筋）</u> 【KW】体幹屈曲・伸展・側屈、頸部屈曲・伸展・側屈、下肢復習	市村紋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	精神障害作業療法評価学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	野村めぐみ	精神医学Ⅰ・Ⅱ、精神障害作業療法学総論、精神障害作業療法学各論、心理学、臨床心理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 ＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 後期	この科目は作業療法士が担当します。精神医療機関での実務経験を基に、精神障害領域の作業療法について教授します。					
授業目標 ＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	精神障害領域における作業療法評価の基本的な流れと方法を理解する					
行動目標（SBO）	1．現在の状態に対する「横断的見方」と現在に至るまでの「縦断的見方」を理解する 2．精神障害領域の評価の為に必要な情報収集の内容と方法が分かる 3．観察と面接の特性を理解し、観察法と面接法を実践する 4．作業面接の方法論を理解し、実践する 5．観察や面接から得られた情報を元に、状況性と関係性を踏まえた考察が出来る 6．事例を通して対象者理解を深める					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
精神障害領域における評価では、対象者の外観的側面の観察から、心理的な状態を考察していきます。相手に興味関心を持ち、些細な変化に気が付く事が重要です。日頃から身近な他者に関心を持つことで、観察の目を養っていきましょう。						
教科書・参考書						
①精神障害と作業療法 新版（三輪書店） ②標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版（医学書院）						
受講時留意点、その他						
精神障害に対する理解を深める為には、興味関心を持つことが何よりも大切です。積極的な授業への参加をお願いします。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	70	第1回～第14回の内容について後期末に定期試験を実施します。60%以上を合格とし、不合格者には再試験を実施します。				
小テスト	＊	授業内で小テストを行います。適宜復習に活用してください。				
レポート	30	レポート課題を提示します。正当な理由なく期日より遅れたものは減点します。記載不備は減点対象です。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100	定期試験とレポートを合算して成績評価します。				

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>オリエンテーション・作業療法の手順</u> 作業療法の基本的な手順と精神障害領域における評価項目の概要を知る。 【KW】評価オリエンテーション、データ収集、焦点化	野村	①156-165	
第2回	<u>精神障害作業療法評価の基礎</u> 精神障害領域の評価に必要な基本的視点を理解する。 【KW】横断的評価、縦断的評価、質的評価、量的評価	野村	②468-473	
第3回	<u>情報収集と評価項目</u> 評価項目の詳細な内容と、他部門から情報収集する内容及び情報収集先を理解する。【KW】評価項目、カルテ、他部門情報	野村	①166-173 ②474-477	
第4回	<u>観察法①</u> 作業療法における観察の構造・形態・関与しながらの観察方法を理解する。 【KW】関与しながらの観察、非言語サイン、自然観察法	野村	①187-195 ②480-482	
第5回	<u>観察法②</u> 作業療法における観察の構造・形態の理解と、集団における観察のポイントを理解する。【KW】パラ言語、集団、記録	野村	①124-130, 187-195 ②480-482, 498-504	
第6回	<u>観察法③</u> 作業療法における観察の構造・形態を理解し、実践する。【KW】観察、非言語サイン、自然観察法	野村	①187-195 ②480-482	
第7回	<u>集団における評価</u> 集団内で作業する個人の観察と評価を行う。 【KW】関与しながらの観察、集団内役割	野村	①173-178 ②482-485	
第8回	<u>面接法①</u> 面接法の基本的な構造と形態を理解する。 【KW】フォーマル、インフォーマル、位置関係	野村	①173-178 ②482-485	
第9回	<u>面接法②</u> 面接法の基本的な構造と形態を理解し、実践する。 【KW】90°法、対面同位、パラ言語	野村	①124-130 ②498-504	
第10回	<u>検査・評価バッテリー</u> 精神障害領域で使用する様々な検査・評価バッテリーを知り、分類する。 【KW】社会生活評価尺度、精神機能評価尺度	野村	①170,195-197 ②486-497	
第11回	<u>作業面接①（講義）</u> 作業を用いた面接方法の概要と、入手できる情報を理解する。 【KW】構成的作業、投影的作業、間接的利用方法	野村	①179-186 ②481	
第12回	<u>作業面接②（準備）</u> 作業面接の特性を理解し、評価計画を立案する。 【KW】構成的作業、面接	野村	①179-186 ②481	
第13回	<u>作業面接③（実践）</u> 構成的作業を用いた評価及び面接を実践する。 【KW】構成的作業、面接	野村	①179-186 ②481	
第14回	<u>記録</u> 他部門からの情報収集・面接・観察より得られた様々な情報を、客観的事象と主観的事象に分類して記載する。【KW】客観的事象、主観的事象、記録	野村	配布資料	
第15回	<u>事例検討</u> これまで学習した内容を用いて、事例の評価とまとめをする。 【KW】情報収集、面接、観察	野村	配布資料	
定期試験	第1回～第12回の内容について後期末試験を行う。			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	発達障害作業療法評価学	1	30	講義	必修	－
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途	人間発達学・小児科学・発達障害作業療法学Ⅰ・Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 前期	この科目は福祉施設における臨床経験を基に作業療法士が担当します。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	発達障害領域における作業療法評価の流れ・目的・方法を説明できる。					
行動目標（SBO）	1．発達障害の作業療法の対象について述べるができる。 2．子どもの発達段階を説明できる。 3．姿勢反射の発現時期・誘発方法・判定について説明できる。 4．子どもの遊びについて説明することができる。 5．発達障害領域の作業療法評価の方法と目的を説明できる。 6．発達検査の種類と検査名、対象年齢を説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
発達障害領域の作業療法においては、正常発達の理解が必須となります。発達障害作業療法の対象は多岐にわたります。発達の十分な理解から、こどもの課題が見えてきます。この科目では、映像教材を用いながら、年齢の特徴を捉え、こどもの発達、こどもの作業を理解します。また、作業療法で用いる評価方法とその目的を学びます。						
教科書・参考書						
教科書：第1回～13回　①リハビリテーションのための人間発達学 第3版 大城正平 編集 メディカルブレイス ②標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 人間発達学 第2版 岩崎清隆執筆 医学書院 2023 第14回～15回 ③標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第4版 能登真一他編 医学書院 2024						
受講時留意点、その他						
講義と演習が中心となります。乳幼児のイメージを映像でできるようになると理解しやすいと思います。また、自らの体を動かし学び、グループでディスカッションする機会があります。積極的に自分から授業内で習得するように学んでください。持ち物、服装について、授業内・掲示板でお知らせすることがあります。 第5回：動ける服装で出席してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	第 1 ～15回の範囲で後期末試験を実施し、60点以上を合格とする。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・発達障害の作業療法 発達障害の定義・作業療法の目的等を理解する。【KW】定義・作業療法の目的・歴史・発達概念	中村	教科書① p2-6	206
第2回	胎児から乳幼児の発達の捉え方 胎児から乳幼児までの発達全般をどのように捉えるかを理解する。【KW】発育・補正年齢・個人差 ＊胎児からの成長の確認と個人差を理解しましょう。	中村	教科書① p16-27 p32-35	206
第3回	認知機能とことばの発達 認知機能の発達について理解する。【KW】ピアジェ・感覚運動段階（0～2歳） ＊ピアジェの感覚運動段階6段階を説明できるようにしましょう。	中村	教科書① p43-46 p56-57	206
第4回	認知機能とことばの発達 認知機能の発達について理解する。【KW】ピアジェ・前操作的段階・具体的操作段階・形式的操作段階 ＊幼児期・学童時期の認知機能を説明できるようにしましょう。	中村	教科書① p74-75 p216-229	206
第5回	姿勢反射・反応 姿勢反射・反応の誘発方法と検査結果を理解する。【KW】姿勢反射・誘発方法・検査結果 ＊配布資料をしっかりと読んでください。	中村	教科書① p19	OT実習室 2・3
第6回	歩行までの運動発達 運動の発達経過と姿勢反射・反応の出現の関係を理解する。【KW】運動発達・マイルストーン・姿勢反射 ＊運動発達の順序と姿勢反射との関係を理解しましょう。	中村	教科書① p181-188	206
第7回	幼児の運動発達 歩行獲得後の運動発達を理解する。【KW】片足立ち・階段昇降・両足飛び降り・立ち幅跳び・ケンケン ＊教科書から運動変化を抜粋し、○歳で何ができるかを理解しましょう。	中村	教科書② p39-46	206
第8回	上肢機能の発達 上肢機能の発達について理解する 1【KW】目と手の協調・姿勢・分化 ＊使える手になるための発達過程を理解しましょう。	中村	教科書② p47-57	206
第9回	上肢機能の発達 上肢機能の発達について理解する 2【KW】道具操作・描画・模倣 ＊道具が使用できることについて理解しましょう。	中村	教科書② p58-78	206
第10回	摂食機能と食事動作の発達 摂食機能と食事動作の発達について理解する。【KW】摂食機能・食事動作 ＊スプーンや箸、コップの操作などの発達を説明できるようにしましょう。	中村	教科書② p154-168	OT実習室 2・3
第11回	排泄と更衣の発達 排泄機能と排泄動作、更衣動作の発達について理解する。【KW】排泄機能・排泄動作・更衣動作 ＊機能的発達の理解と排泄と更衣の発達を説明できるようにしましょう。	中村	教科書② p 169-187	206
第12回	遊びの発達① 遊びの発達について理解する。【KW】遊びの分類・子どもの作業・模倣・構成的遊び ＊子どもの遊びの発達を理解しましょう。	中村	教科書② p 188-213	206
第13回	遊びの発達② 遊びの発達について理解する。【KW】子どもの作業・模倣・構成的遊び ＊子どもの遊びの発達を調べながら、理解していきましょう。	中村	教科書② p 188-213	OT実習室 2・3
第14回	発達検査① 発達検査の目的と方法を理解し、検査を実施する。【KW】DENVER II、遠城寺乳幼児分析的発達検査法 他 ＊実際の検査を実施しながら、目的と方法を理解しましょう。	中村	教科書③ p525-586	206
第15回	発達検査② 発達検査の方法と目的を理解し、検査を実施する。【KW】JMAP・K-ABC2 他 ＊実際の検査を実施しながら、目的と方法を理解しましょう。	中村	教科書③ p525-586	OT実習室 1
定期試験	第1～15回の内容を範囲とする			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経機能評価学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	間瀬亜由美 市村真樹	脳神経外科学、神経内科学、 中枢神経障害作業療法学□				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は、作業療法士、理学療法士が担当します。実務経験をもとに、対象者の評価、治療について講義を行います。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	高次脳機能障害を持つ対象者への作業療法評価および関わりを理解する□					
行動目標（SBO）	1．脳疾患に関連する高次脳機能障害の症状が説明できる 2．高次脳機能の各障害に対する検査を挙げ、方法が説明できる 3．高次脳機能障害の対象者に対する評価の項目と方法が説明できる 4．高次脳機能障害の対象者に対する作業療法の手段を挙げることが出来る□					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目では、高次脳機能障害と、その評価・アプローチについて学びます。障害の多くは脳疾患によって生じますので、脳（特に大脳）の解剖学（構造と役割）を復習しましょう。分かりにくいところは、早めに質問して解決してください。高次脳機能障害を持つ対象者への治療では、作業療法士がチーム内で中心的役割を担うことも少なくありません。授業を通して関心を高めてもらえるとよいと思います。□						
教科書・参考書						
岩崎テル子ほか編．作業療法評価学 第3版．医学書院．2011． 能登真一編．標準作業療法学 高次脳機能作業療法学 第2版．医学書院．2019 医療情報科学研究所 編．病気がみえる vol.7 脳・神経．メディックメディア．2012□						
受講時留意点、その他						
授業内でスマートフォンを使って動画を視聴する場合があります。各自持参してください。 欠席した場合は、次の授業の前日までに内容と配布資料を確認し、不明な点があれば教員まで確認しにきてください。 配布資料等は余分に準備していませんので、各自、入手してください。□						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100%	15回分の講義すべてが試験範囲である。60点以上が、本科目の単位取得の条件である。□				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
（合計）	100%					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	高次脳機能障害総論 高次脳機能障害のとらえ方を学ぶ 【KW】脳の階層性、脳の左右のバランス、脳の前後のバランス、回復	間瀬	配布資料 教科書pp.3-14,26-37	205
第2回	半側空間無視の病態と評価 半側空間無視の病態を理解し、評価方法を学ぶ 【KW】自己中心空間、物体中心空間、注意障害説、アウェアネス	間瀬	配布資料 pp.112-118	205
第3回	半側空間無視のアプローチ・右半球損傷の症状 半側空間無視の治療を学ぶ。関連する右半球損傷による症状を理解する。 【KW】視覚走査、プリズム順応、半側身体失認、ペーシング障害	間瀬	pp.100-101,112-127,223-240	205
第4回	半側空間無視の検査方法 BITと机上検査の実施方法を学ぶ 【KW】線分二等分テスト、線分末梢テスト、模写テスト、BIT	間瀬	pp.112-118	OT実習室 1
第5回	視覚性の認知を中心とした障害の評価とアプローチ 視覚失認と視空間認知障害の病態と作業療法を学ぶ 【KW】視覚失認、視空間認知障害、視覚の背側路と腹側路	間瀬	pp.97-109,213-221	205
第6回	失行と行為の障害 失行と動作性の高次脳機能障害の病態を学ぶ 【KW】観念失行、観念運動失行、脳梁離断、前頭葉性の動作障害	間瀬	pp.81-95,201-212	205
第7回	失行と行為の障害の評価とアプローチ 失行の検査方法とアプローチ、動作性の高次機能障害に対するアプローチを学ぶ 【KW】模倣、物品使用、SPTA	間瀬	pp.81-95,201-212	OT実習室 1
第8回	注意障害の評価とアプローチ 注意障害の病態と評価方法、アプローチを学ぶ 【KW】注意の種類、ワーキングメモリー、CAT	間瀬	pp.47-55,174-183	205
第9回	記憶障害の評価とアプローチ 記憶障害の病態と評価方法、アプローチを学ぶ 【KW】記憶の分類、健忘の分類、エラーレスラーニング	間瀬	pp/47-66,184-192	205
第10回	注意障害と記憶障害の神経心理学的検査・失語症 注意障害、記憶障害で用いる検査の名称と実施方法を学ぶ。失語症の病態と対応を学ぶ 【KW】CAT、TMT、WMS-R、RBMT、失語症	間瀬	pp.47-53,56-62	OT実習室 1
第11回	遂行機能障害とその評価 遂行機能障害の定義、病態と評価方法を学ぶ 【KW】前頭前野、目標達成、企画、調整の障害	間瀬	pp128-136	205
第12回	遂行機能障害の評価とアプローチ 遂行機能障害の評価方法とアプローチ手段を学ぶ 【KW】BADs、WCST、IADL、就労	間瀬	pp128-141,242-248	OT実習室 1
第13回	社会的行動障害・高次脳機能障害に関わる社会資源 社会的行動障害の病態と作業療法、高次脳機能障害全般の社会資源について学ぶ 【KW】前頭葉、診断基準、制度、高次脳機能障害支援普及事業	間瀬	pp.142-153,249-265,269-292	205
第14回	高次脳機能障害の脳画像評価 脳画像を用いた高次脳機能障害の評価の要点を理解する 【KW】MRI、CT、機能局在	市村	pp.15-21	205
第15回	対象者像の把握とアプローチ・総括 対象者情報から評価を計画し、評価結果を解釈する方法を学ぶ 【KW】情報収集、観察、評価結果の分析	間瀬	pp.26-40	205
定期試験	前期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	画像評価学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	鈴木亮太	解剖学Ⅰ・Ⅱ、脳神経外科学・神経内科学・中枢神経疾患作業療法学 整形外科学Ⅰ・Ⅱ、整形外科疾患作業療法学Ⅰ、内科学Ⅰ・Ⅱ 内部疾患作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。身体障害領域での作業療法の実務経験を基に、脊髄損傷者の生活像および作業療法アプローチについて教授します。					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	画像評価を通し、対象者の状態を把握することができる					
行動目標（SBO）	1.画像診断の基礎知識を理解できる 2.脳疾患の対象者の画像から状態を把握することができる 3.整形外科疾患の対象者の画像から状態を把握することができる 4.内部疾患の対象者の画像から状態を把握することができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
臨床現場で収集できる情報の一つとして画像情報があります。IT化が進むにつれて情報にもアクセスしやすい環境になっています。 作業療法士は対象者の全体像を把握するために卒業時には画像を読み取れるようになっていなければいけません。 画像読影の基礎、各疾患の画像評価を教授します。繰り返し画像を確認しポイントを整理できるよう復習しましょう。						
教科書・参考書						
中島雅美・中島喜代彦・大村優慈　編著　PT・OT基礎から学ぶ　画像の読み方　第4版 / 医歯薬出版株式会社 医療情報科学研究所/編　病気がみえる　vol.7 脳・神経　第2版（メディックメディア）						
受講時留意点、その他						
教科書と合わせて、スマートフォン、タブレット等を使用して確認します。持ち込む際にはマナーを守るようにしてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験						
小テスト	100%	第2回～第8回の授業内で小テストを実施します。出題は前回の授業範囲となります。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100%					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>脳の解剖、脳画像のスライスレベルと部位の同定</u> 【KW】大脳皮質・間脳・基底核・脳室・機能局在	鈴木	病気がみえる	205
第2回	<u>脳画像読影の基礎知識、MRA</u> 【KW】X線CT・MRI（T1、T2、FRAIR、DWI）・MRA	鈴木	p2-5	205
第3回	<u>脳梗塞の画像読影</u> 【KW】脳梗塞	鈴木	p6-25	205
第4回	<u>脳出血の画像読影</u> 【KW】脳出血・くも膜下出血	鈴木	p26-35	205
第5回	<u>脳疾患の画像読影</u> 【KW】頭部外傷・脳腫瘍・認知症	鈴木	p36-45	205
第6回	<u>脊柱疾患・骨折・関節リウマチの画像読影</u> 【KW】脊椎脊髄疾患・骨折・関節リウマチ	鈴木	p48-78	205
第7回	<u>循環器疾患・呼吸器疾患の画像読影</u> 【KW】心不全・無気肺・肺炎・肺気腫・肺線維症・気胸	鈴木	p80-140	205
第8回	<u>問題演習</u> 【KW】脳疾患・整形外科疾患・内部疾患	鈴木	p142-174	205

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業遂行分析学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	基礎作業学、基礎作業学実習、日常生活活動学実習 など□				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は、作業療法士が担当します。実務経験をもとに、対象者の作業遂行の捉え方について、演習を交えて講義します。□					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	人の作業場面を観察して、作業遂行を分析することができる□					
行動目標（SBO）	・作業遂行の質を説明できる ・作業遂行技能項目を用いて、運動技能の観察ができる ・作業遂行技能項目を用いて、プロセス技能の観察ができる ・作業遂行の観察から、作業を妨げる要因を分析できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目では、作業療法では、人が作業している様子をどのようにとらえているか、作業を妨げる要因をどのように解釈するかを演習を通して学びます。他者の作業について、「なぜその人はそれをするのか」「なぜそのような方法なのか」と疑問を持ちながら観察することが重要です。						
教科書・参考書						
参考図書：濱口豊太 標準作業療法学 日常生活活動・社会生活行為学 第2版（医学書院）、古川宏 作業活動実習マニュアル 第2版（医歯薬出版）						
受講時留意点、その他						
演習と提出物が成績評価対象になります。自発的に参加し、欠席した場合は必ず、次回までに相談に来てください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	0	第6回に、第5回までに理解した内容の小テストを行う。この理解をもとに第7回以降の課題とレポート作成を行う。				
レポート	100	演習で行った内容をレポート提出し、成績評定の材料とする。正当な理由なく期限に遅れた提出物は0点とする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、提出物の遅れ、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、課題に対する熱意に欠ける態度は減点の対象とします。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	作業遂行分析とは・方法と視点 【KW】作業遂行分析、作業遂行の質、作業遂行文脈	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第2回	作業遂行分析演習 1 運動技能の観察 【KW】技能項目、目的指向的行為	市村紋	作業活動実習マニュアル	205
第3回	作業遂行分析演習 2 プロセス技能の観察 【KW】技能項目、目的指向的行為	市村紋	作業活動実習マニュアル	205
第4回	作業遂行分析演習 3 プロセス技能の観察・観察した技能の解釈 【KW】技能項目、目的指向的行為	市村紋	作業活動実習マニュアル	205
第5回	作業遂行の構成要因を分析する 【KW】人、課題、環境、相互作用	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第6回	5回までのまとめ：小テスト 前回までのまとめを行って、第7回からの演習の準備をする。	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第7回	観察による作業遂行分析 1 5回までの学習内容をもとに、観察から作業遂行分析を行う	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	遠隔
第8回	作業の分析と治療プログラムにつながる方略 1 第7回の観察をもとに解釈し、プログラムにつながる分析を行う	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第9回	分析結果のまとめ 1 作業遂行分析結果をレポートにまとめる	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第10回	観察による作業遂行分析2 5回までの学習内容をもとに、観察から作業遂行分析を行う	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第11回	作業の分析と治療プログラムにつながる方略2 第10回の観察をもとに解釈し、プログラムにつながる分析を行う	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第12回	分析結果のまとめ 2 作業遂行分析結果をレポートにまとめる	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第13回	観察による作業遂行分析3 5回までの学習内容をもとに、観察から作業遂行分析を行う	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第14回	作業の分析と治療プログラムにつながる方略・分析結果のまとめ3 第13回の観察をもとに解釈し、プログラムにつながる分析を行ってレポートにまとめる *課題：分析結果のまとめレポート	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第15回	作業遂行分析の臨床的活用 AMPSの評価概要を理解する／自己の観察特性を知る 【KW】AMPS, 臨床的観察, 自己分析	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
定期試験	なし			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床作業療法評価学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行	作業療法評価学演習・身体障害作業療法評価学 身体障害作業療法評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	臨床経験を活かし、臨床現場での内容を含め教示します					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法を行う上で必要となる、基礎的な評価法を身につける 対象者の疾患特性に応じて、基本的な検査を選択・実施することが出来る					
行動目標（SBO）	各評価における目的と検査方法を理解し、計画と実施ができる 対象疾患に合わせ評価選択、評価実施を行うことができる 身体障害の対象者の基本情報から、評価項目を挙げることができる 実施する評価の実施方法を説明することができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
授業前には予習をしておくといでしょう。 実施の際には骨格や体型によって扱い方が異なってくるため、練習の際には多数の人と練習するといでしょう。						
教科書・参考書						
岩崎テル子他／編　標準作業療法学　作業療法評価学　（医学書院）						
受講時留意点、その他						
積極的な授業態度、切実な授業態度を望む。 実技のできる服装で受講すること。著しい服装の乱れや医療人としてふさわしくない行動がみられる場合は受講を出来ない場合がある。 授業前は爪を短く切り、髪の毛が邪魔にならないように束ねるなどし身だしなみを整える。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	100	事例に対し「評価列挙」・「評価計画」の実践確認（書面記載）を行う				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	授業オリエンテーション 動作観察・分析 授業方法の解説・準備をおこなう 面談場面を観察して必要な情報を捉える	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第2回	動作観察・分析 面談場面を観察して必要な情報を捉える	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第3回	評価列挙方法演習 観察・分析から必要な評価を列挙する	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第4回	評価列挙方法演習 観察・分析から必要な評価を列挙する	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第5回	評価列挙の実践 セラピストの評価場面を観察して、分析と評価列挙の演習を行い報告用紙記載の練習を行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第6回	評価列挙の実践 セラピストの評価場面を観察して、分析と評価列挙の演習を行い報告用紙記載の練習を行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3 207
第7回	評価列挙の実践確認 作業療法評価場面を撮影した風景を観て評価列挙を行い分析と評価列挙まで行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3 207
第8回	評価列挙の実践確認フィードバックと振り返り実践 評価実施後まとめた報告用紙も含めフィードバックを行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第9回	評価列挙の実践確認フィードバックと振り返り実践 評価実施後まとめた報告用紙も含めフィードバックを行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第10回	評価列挙の解釈 報告用紙から評価計画に繋がる思考の捉え方を演習する	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第11回	評価計画と予測 観察・分析結果から評価計画を立てる	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第12回	評価計画と予測 観察・分析結果から評価計画を立てる	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3 205
第13回	評価計画の実践確認 実際に立てた評価計画を実践する	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3 205
第14回	評価計画実践確認後フィードバックと振り返り実践 実技確認後の振り返りを行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第15回	評価計画の検証 実技確認実施後の実技内容の確認 評価計画の検証を行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
定期試験	実施しない			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	中枢神経障害作業療法学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	間瀬亜由美	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、神経内科学、 中枢神経障害作業療法学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	実務経験を活かし、臨床現場で見られる患者様の症状や特徴を具体的に示しながら教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	脳血管障害の概要や、作業療法士の評価や関わりについて理解できる					
行動目標（SBO）	1. 脳血管障害の種類を知り、違いについて理解できる 2. 脳血管障害における障害部位と、部位別に出現する特徴的な症状について理解する 3. 脳血管障害により生じる症状について説明できる 4. 脳血管障害に対する評価方法を知る 5. 脳血管疾患患者に対する作業療法士の関わりについて学ぶ					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
適宜グループワークや発言を求める場面を設けます。活発な授業になるようにしましょう。 毎回資料を配布しますが、教科書も併用しますので必ず持参してください。資料で分からない部分については教科書を利用して深めたり、質問するようにして下さい。 脳血管障害の症状については、解剖学など基礎的な知識があると理解しやすいです。 脳血管障害について理解を深めることで、後期に行う中枢神経障害作業療法学実習の授業も理解しやすくなります。						
教科書・参考書						
医療情報科学研究所／編 病気がみえる vol. 7 脳・神経 第2版（メディックメディア） 岩崎テル子他／編 標準作業療法学 作業療法評価学（医学書院） 中島雅美・中島喜代彦・大村優慈 編著 PT・OT基礎から学ぶ 画像の読み方 第4版（医歯薬出版株式会社）						
受講時留意点、その他						
予習・復習を行い理解を深めるようにしましょう。毎回復習の小テストを行います。積極的な授業態度を期待します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100%	定期試験を実施し、授業内容の理解度を確認する。				
小テスト	0%	毎回、授業の冒頭に小テストを実施します。内容は前回の振り返りが中心です。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など、不適切な行動は減点の対象とします。				
（合計）	100%					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>オリエンテーション・脳血管障害とは</u> 脳血管障害についての概要、種類とその違いについて理解する 【KW】脳梗塞、脳出血、一過性脳虚血発作、くも膜下出血、伝導路	間瀬	病気がみえる P68～99、 110～111 配布資料	206
第2回	<u>脳血管障害の経過</u> 脳血管障害の経過、回復過程について理解する 【KW】回復過程、予後予測、急性期、回復期、維持期（生活期）	間瀬	病気がみえる P148～149 配布資料	206
第3回	<u>脳血管障害における症状（運動障害、感覚・知覚障害①）</u> 脳血管障害患者に認める運動障害、感覚・知覚障害について理解する 【KW】運動障害、感覚・知覚障害、連合反応、共同運動	間瀬	病気がみえる P190～229 配布資料	206
第4回	<u>脳血管障害における症状（運動障害、感覚・知覚障害②）</u> 脳血管障害患者に認める運動障害、感覚・知覚障害について理解する 【KW】運動障害、感覚・知覚障害、連合反応、共同運動	間瀬	病気がみえる P190～229 配布資料	206
第5回	<u>脳血管障害における症状（高次脳機能障害①）</u> 脳血管障害患者に認める高次脳機能障害について理解する 【KW】高次脳機能、脳葉、優位半球、劣位半球	間瀬	病気がみえる P157～163 配布資料	206
第6回	<u>脳血管障害における症状（高次脳機能障害②）</u> 脳血管障害患者に認める高次脳機能障害について理解する 【KW】高次脳機能、脳葉、優位半球、劣位半球	間瀬	病気がみえる P157～163 配布資料	206
第7回	<u>画像診断</u> 脳画像の見方を理解する 【KW】脳画像、CT、MRI、脳の解剖、中枢神経系	間瀬	病気がみえる P86～88 配布資料	206
第8回	<u>画像診断と臨床所見</u> 脳画像を見て病巣を理解し、病巣により異なる症状を知る 【KW】脳画像、CT、MRI、脳の解剖、中枢神経系、伝導路	間瀬	病気がみえる P110～123 配布資料	206
第9回	<u>脳血管障害に対する作業療法評価（身体機能①）</u> 脳血管障害患者に対する機能評価について理解する 【KW】JCS、GCS、Brunnstrom test、感覚検査、腱反射、筋緊張	間瀬	作業療法評価学 P54～55,114～ 159、281～285 配布資料	206
第10回	<u>脳血管障害に対する作業療法評価（身体機能②）</u> 脳血管障害患者に対する機能評価について理解する 【KW】SIAS、FMA、協調性検査	間瀬	作業療法評価学 P160～183 281～285、 配布資料	206
第11回	<u>脳血管障害に対する作業療法評価（ADL）</u> 脳血管障害患者に対するADL評価について理解する 【KW】ADL、観察、自助 具、Barthel Index(BI)・Functional Independence Measure(FIM)	間瀬	作業療法評価学 P213～240 配布資料	206
第12回	<u>脳血管障害に対する作業療法評価（高次脳機能）</u> 脳血管障害患者に対する高次脳機能評価について理解する 【KW】高次脳機能障害	間瀬	作業療法評価学 P441～466 病気がみえる P163 配布資料	206
第13回	<u>脳血管障害における時期別作業療法</u> 脳血管障害患者に対する作業療法士の関わりについて学ぶ 【KW】急性期、回復 期、維持期、リスク管理、廃用症候群、家屋調査、家族指導、訪問リハビリ	間瀬	病気がみえる P148～149 配布資料	206
第14回	<u>摂食・嚥下障害</u> 脳血管障害の患者に見られる摂食・嚥下障害について理解する 【KW】摂食・嚥下障害、誤嚥、口腔ケア、食事形態、経管栄養、胃瘻	間瀬	病気がみえる P154～155 作業療法評価学 P184～193 配布資料	206
第15回	<u>頭部外傷</u> 頭部外傷について理解する 【KW】急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫、脳挫傷、慢性硬膜下血腫	間瀬	病気がみえる P530～547 配布資料	206
定期試験	前期末試験を実施します			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	中枢神経障害作業療法学実習	2	60	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	<u>間瀬亜由美</u> 岡本博行 鈴木亮太 鈴木建宏	中枢神経障害作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 後期	各教員の臨床経験を活かし、臨床現場での内容を含め教示します。					
授 業 目 標 * 詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	中枢神経障害の心身機能・身体構造に関する評価の目的および方法を学び、対象者の立場に立って評価が実施できる。中枢神経障害患者に対する評価結果を整理できる。					
行動目標（SBO）	1．作業療法評価の目的を理解し説明できる 2．作業療法評価を実施するための準備や環境設定ができる 3．評価の手順に従って実施できる 4．評価中の対象者の状態に配慮できる 5．評価の結果より、評価結果のまとめ・問題点等の整理ができる 6．模倣により作業療法治療の実践が行える					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
中枢神経障害に対する、基礎的な知識、疾患概要の理解を持ち合わせたうえで、対象者に対し評価や治療が展開できるような技術の習得を目指す。主に脳血管障害者に対する身体機能評価、日常生活動作評価を行う。評価結果からまとめや整理を行う。脳血管障害患者に対する作業療法を学ぶ。						
教科書・参考書						
医療情報科学研究所／編 病気がみえる vol. 7 脳・神経 第2版（メディックメディア） 岩崎テル子他／編 標準作業療法学 作業療法評価学 （医学書院）						
受講時留意点、その他						
積極的な授業態度、切実な授業態度を望む。 指定の服装で受講すること。著しい服装の乱れや医療人としてふさわしくない行動がみられる場合は、受講を出来ない場合がある。 授業前は爪を短く切り、髪の毛が邪魔にならないように束ねるなどし身だしなみを整える。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	20%	第21、22、24、25回の授業内容から出題				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	80%	随意運動評価・知覚検査など模擬患者事例に対する実技確認				
（合計）	100%					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	筋緊張検査 CVAに対する筋緊張評価の実施、演習 【KW】CVA・MAS・筋緊張	間瀬 岡本	作業療法評価学 病気がみえる 配布資料	OT実習室2・3
第2回	Brunnstrom test（上肢） 評価実施、習得 【KW】片麻痺・随意性・Brunnstrom test	間瀬 鈴木(亮)	作業療法評価学	OT実習室2・3
第3回	Brunnstrom test（手指） 評価実施、習得 【KW】片麻痺・随意性・Brunnstrom test	間瀬 鈴木(亮)	作業療法評価学	OT実習室2・3
第4回	Brunnstrom test（下肢） 評価実施、習得 【KW】片麻痺・随意性・Brunnstrom test	間瀬 岡本	作業療法評価学	OT実習室2・3
第5回	Brunnstrom test まとめ 評価実施、習得 【KW】片麻痺・随意性・Brunnstrom test	間瀬 岡本	作業療法評価学	OT実習室2・3
第6回	上田による12段階法（上肢） 評価実施、習得 【KW】片麻痺・Brunnstrom test・上田の12段階	岡本 間瀬	作業療法評価学	OT実習室2・3
第7回	上田による12段階法（手指） 評価実施、習得 【KW】片麻痺・Brunnstrom test・上田の12段階	岡本 間瀬	作業療法評価学	OT実習室2・3
第8回	上田による12段階法（下肢） 評価実施、習得 【KW】片麻痺・Brunnstrom test・上田の12段階	岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学	OT実習室2・3
第9回	上田による12段階法 まとめ 評価実施、習得 【KW】片麻痺・Brunnstrom test・上田の12段階	岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学	OT実習室2・3
第10回	腱反射、病的反射 CVAに対する腱反射、病的反射評価の実施、演習 【KW】腱反射・病的反射・打腱器	岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学 病気がみえる 配布資料	OT実習室2・3
第11回	脳神経検査 CVAに対する脳神経検査評価の実施、演習 【KW】脳神経・CVA・検査	岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学 病気がみえる 配布資料	OT実習室2・3
第12回	随意運動評価の実技確認 ブルンストロームテスト・上田による12段階法の評価実施、習得 【KW】評価・Brunnstrom test・上田の12段階	間瀬 岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学	OT実習室2・3
第13回	随意運動評価の実技確認フィードバック ブルンストロームテスト・上田による12段階法の評価実施、習得 【KW】評価・Brunnstrom test・上田の12段階	間瀬 岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学	OT実習室2・3
第14回	知覚検査（表在感覚） CVA患者に対して知覚検査の評価実施、習得 【KW】片麻痺・表在感覚・触覚・痛覚	間瀬 岡本	作業療法評価学 病気がみえる 配布資料	OT実習室2・3
第15回	知覚検査（深部感覚） CVA患者に対して知覚検査の評価実施、習得 【KW】片麻痺・深部感覚・運動覚・位置覚	間瀬 岡本	作業療法評価学 病気がみえる 配布資料	OT実習室2・3

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第16回	<u>上肢機能評価</u> CVA患者に対して上肢機能評価（STEF・MFT・MAL・ADOCなど）の実施 【KW】片麻痺・上肢機能・STEF・MFT・MAL・ADOC	鈴木(亮) 間瀬	作業療法評価学 配布資料	OT実習室2・3
第17回	<u>上肢機能評価</u> CVA患者に対して上肢機能評価（STEF・MFT・MAL・ADOCなど）の実施 【KW】片麻痺・上肢機能・STEF・MFT・MAL・ADOC	鈴木(亮) 間瀬	作業療法評価学 配布資料	OT実習室2・3
第18回	<u>知覚検査（表在感覚・深部感覚） 実技確認</u> CVA患者に対して知覚検査の評価実施、習得・確認 【KW】片麻痺・表在感覚・深部感覚	間瀬 岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学 病気がみえる 配布資料	OT実習室2・3
第19回	<u>知覚検査（表在感覚・深部感覚） 実技確認</u> CVA患者に対して知覚検査の評価実施、習得・確認 【KW】片麻痺・表在感覚・深部感覚	間瀬 岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学 病気がみえる 配布資料	OT実習室2・3
第20回	<u>知覚検査（表在感覚・深部感覚） 実技確認フィードバック</u> CVA患者に対して知覚検査の評価実施、習得・確認 【KW】片麻痺・表在感覚・深部感覚	間瀬 岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学 病気がみえる 配布資料	OT実習室2・3
第21回	<u>CVA患者に対する姿勢・バランス評価</u> CVA患者に対する姿勢・バランス評価の実施、習得	鈴木(亮) 間瀬	作業療法評価学 配布資料	OT実習室2・3
第22回	<u>CVA患者に対する姿勢・バランス評価</u> CVA患者に対する姿勢・バランス評価の実施、習得	鈴木(亮) 間瀬	作業療法評価学 配布資料	OT実習室2・3
第23回	<u>CVAのADL評価と介入</u> CVA患者（片麻痺）を想定したADL動作の評価と介入	鈴木(亮) 間瀬	配布資料	OT実習室2・3
第24回	<u>CVA患者に対する機能障害評価</u> 脳卒中機能障害評価法（SIAS）	鈴木(亮) 間瀬	配布資料	OT実習室2・3
第25回	<u>CVA患者に対する機能障害評価</u> Fugl-Meyer Assessment of Motor Recovery After Stroke(FMA)	鈴木(亮) 間瀬	配布資料	OT実習室2・3
第26回	<u>まとめ、小テスト（第21、22、24、25回）</u> CVA患者に対する姿勢・バランス・SIAS・FMAの習得・確認	鈴木(亮) 間瀬	配布資料	OT実習室2・3
第27回	<u>作業療法の実践（急性期①）</u> 脳血管障害患者への急性期作業療法の実践 【KW】脳血管障害、急性期	鈴木(建)	配布資料	205
第28回	<u>作業療法の実践（急性期②）</u> 脳血管障害患者への急性期作業療法の実践 【KW】脳血管障害、急性期	鈴木(建)	配布資料	205
第29回	<u>作業療法の実践（回復期）</u> 脳血管障害患者への回復期作業療法の実践 【KW】脳血管障害、回復期	間瀬 鈴木(亮)	配布資料	OT実習室2・3
第30回	<u>作業療法の実践（維持期）</u> 脳血管障害患者への維持期作業療法の実践 【KW】脳血管障害、維持期	鈴木(亮) 間瀬	配布資料	OT実習室2・3

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	整形外科疾患作業療法学Ⅰ	2	30	講義	必修	－
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子 鈴木建宏（非常勤講師）	解剖学・運動学・生理学・整形外科学ⅠⅡ・身体障害評価学・身体障害作業療法評価学・身体障害作業療法評価学実習・身体障害作業療法学実習・義肢装具学・福祉用具と住環境				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 後期	この科目は身体障害領域での臨床経験のある作業療法士が担当します。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	整形外科疾患の疾患特性を理解し、整形外科疾患の作業療法の評価と治療の知識を習得する。					
行動目標（SBO）	1．身体障害領域での作業療法の考え方とリスク管理を理解する。 2．機能障害に対する治療原理・原則・作業療法応用への考え方について説明できる。 3．各疾患に関する基礎的知識を整理し、説明できる。 4．各疾患に対する作業療法評価・治療について説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
主として整形外科疾患の作業療法について学習していきます。専門基礎分野で学んだ解剖学Ⅱ・解剖学実習Ⅰ・Ⅱ・運動学Ⅰ・整形外科学Ⅰ・Ⅱの復習をして、授業に臨んでください。						
教科書・参考書						
教科書：①標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第4版（医学書院） ②標準作業療法学 作業療法評価学 第4版（医学書院） ③病気がみえる vol11. 運動器・整形外科 第2版（メディックメディア）						
受講時留意点、その他						
専門基礎科目（整形外科学Ⅱ）と並行して進みますので、授業での学習の振り返りが必要です。シラバスに合わせて予習・復習をするようにしましょう！特に、解剖学・運動学・生理学の理解をした上で学習すると、とても効果的に学べます。						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	定期試験を実施します。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りや非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・骨折 整形外科疾患の特性を理解する。骨折の基本的知識を理解する。 【KW】ユースフルハンド・合併症・整復・固定・CRPS・浮腫のチェック	市村	①236-251 ③76- 95,312-318	206
第2回	骨折 上肢と手指の骨折の特性とリスク管理および作業療法を理解する。 【KW】上腕骨骨幹部骨折・橈骨遠位端骨折等	市村	①236- 251 ③ 319-327	206
第3回	骨折 下肢と体幹の骨折の特性とリスク管理および作業療法を理解する 【KW】大腿骨頸部骨折	市村	①236- 251 ③ 330-333	206
第4回	加齢性関節疾患 疾患の特徴と治療方法・作業療法を理解する 【KW】作業療法目標とプログラム	市村	①253-259, 314-320 ③ 398-409	206
第5回	関節リウマチ 疾患の特徴と治療方法を理解する 【KW】分類基準・T2T・薬物療法・手術療法	市村	①260-272 ②350-369 ③374-385	206
第6回	関節リウマチ 関節リウマチの作業療法を理解する 【KW】作業療法評価・目標とプログラム・自助具・スプリント	市村	①260-272 ②350-369 ③374-385	206
第7回	末梢神経損傷 末梢神経損傷の障害像、損傷分類と症状を理解する。 【KW】直接的な障害、二次的障害・スクリーニングテスト・浮腫	市村	①278-299 ②330-348 ③276-279	206
第8回	末梢神経損傷 末梢神経損傷の作業療法評価を理解する。 【KW】回復過程・評価方法	市村	①P278- 299 ②P330- 348	206
第9回	末梢神経損傷 末梢神経損傷の作業療法を理解する。 【KW】プロトコル・作業療法・スプリント療法・知覚再教育	市村	①P278- 299	206
第10回	腱損傷 腱の機能解剖の復習、腱損傷の概要を理解する 【KW】腱鞘・滑車・腱交叉・ZONE	市村	①301- 314 ③ 302	206
第11回	腱損傷 腱断裂術後の作業療法評価・治療の概要を理解する。 【KW】3週間固定法・早期運動法・TAM・ブロックEx.	鈴木	①301- 314	206
第12回	腱損傷およびその他の整形外科疾患の作業療法の実際 整形外科疾患の作業療法の臨床について理解する 【KW】リーズニング、評価計画、治療目標、治療プログラム	鈴木	①301- 314	206
第13回	熱傷 病態と障害像を理解する 【KW】皮膚の構造、熱傷深度・リスク管理	市村	①P321- 332	206
第14回	熱傷 熱傷の作業療法を理解する 【KW】リスク管理・作業療法	市村	①P321- 332	206
第15回	第1回～第14回まとめ・復習	市村		206
定期試験	後期定期試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	整形外科疾患作業療法学Ⅱ	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	鈴木亮太	解剖学Ⅰ・Ⅱ、中枢神経障害作業療法学・整形外科学Ⅰ				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。身体障害領域での作業療法の実務経験を基に、脊髄損傷者の生活像および作業療法アプローチについて教授します。					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	脊髄損傷者の生活像を理解し、対象者に合わせた評価と治療を選択することができる。					
行動目標（SBO）	・脊髄損傷者に生じる機能障害を理解し説明することができる。 ・脊髄損傷者に対する評価の実施方法について説明することができる。 ・損傷髄節ごとに達成可能なADLを理解し、支援方法を説明することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
脊髄損傷者に対する作業療法について学びます。脊髄損傷は損傷部位ごとに様々な運動障害、感覚障害、自律神経障害、ADL障害が生じます。正確に対象者を理解するためには、脊髄の解剖および伝導路の知識が必要になります。1年次の復習を十分に行ってから授業に臨みましょう。また、脊髄損傷を受傷された方が様々なメディアを通じて発信されています。対象者の理解に繋がりますから、積極的に視聴するとよいでしょう。						
教科書・参考書						
山口昇 他編/標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第4版（医学書院） 能登真一 他編／標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版（医学書院）						
受講時留意点、その他						
全8回の講義形式の授業です。各回の教授内容が多くなりますので、授業後必ず復習をし、次の授業に臨むようにしてください。不明点、質問がありましたら積極的に受け入れます。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100%	定期試験を実施します。6割以上を合格とします。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100%					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	脊髄損傷の症状 【KW】運動麻痺、感覚障害、自律神経障害	鈴木	評価学 p314-318	205
第2回	脊髄損傷の症状と治療 【KW】自律神経障害、合併症、局所管理、全体管理	鈴木	評価学 p314-318	205
第3回	脊髄損傷者の身体機能の評価 【KW】Zancolliの分類 Frankelの分類	鈴木	評価学 p318-329	205
第4回	脊髄損傷者の身体機能の評価 【KW】ASIAの神経学的評価	鈴木	評価学 p318-329	205
第5回	C4-C5損傷の脊髄損傷者の身体機能とADL 【KW】食事動作・車いす操作・マウススティック・環境制御装置	鈴木	身体機能 p219-233 配布資料	205
第6回	C6損傷の脊髄損傷者の身体機能とADL 【KW】基本動作・食事・整容・更衣・車いす操作	鈴木	身体機能 p219-233 配布資料	205
第7回	C7-C8、胸腰髄損傷の脊髄損傷者の身体機能とADL 【KW】排泄・基本動作	鈴木	身体機能 p219-233 配布資料	205
第8回	脊髄損傷者に対する作業療法アプローチ 【KW】社会参加	鈴木	身体機能 p219-233	205
定期試験	前期末試験を実施			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経筋疾患作業療法学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	鈴木亮太	神経内科学・脳神経外科学・中枢神経障害作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。医療施設や地域での作業療法の実務経験を基に、疾患に対する知識、作業療法評価、治療について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	神経筋疾患の特性を理解し、作業療法の評価及び治療を説明することが出来る					
行動目標（SBO）	・各神経筋疾患の特徴を理解し、評価について説明できる ・各神経筋疾患の進行に合わせた支援方法を説明することができる ・神経筋疾患を調べる方法を身に着け、評価や支援に結びつけることができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
神経筋疾患に対する作業療法について学びます。神経内科学の教科書に加え、「病気がみえるvol.7脳・神経」を参考にすると理解に役立ちます。 また、個人で神経筋疾患に対する作業療法をまとめ、報告をします。分からない事は質問をしたり、自身で調べるようにしましょう。						
教科書・参考書						
医療情報科学研究所/編 病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版（メディックメディア） 山口昇 他編/標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第4版（医学書院） 能登真一 他編/標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版（医学書院）						
受講時留意点、その他						
積極的な発言は理解を深めます。活発な授業にしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	80%	前期末に筆記試験を実施します。60%以上を合格とし、不合格者には再試験を実施します。				
小テスト						
レポート	20%	第13回～第15回ではレポート課題を実施します。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100%	定期試験の結果とレポート課題の評定を合算し評定します。				

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	神経・筋変性疾患の作業療法を学ぶために ～神経難病の概要・かかわる制度を学ぶ～	鈴木	配布資料	205
第2回	パーキンソン病の病態と治療 【KW】：錐体外路症状、Hoehn&Yahrの重症度分類、薬物療法	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第3回	パーキンソン病の対象者に対する作業療法 【KW】：運動療法、ADL、環境調整、社会参加	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第4回	パーキンソン病の対象者に対する作業療法演習 【KW】：パーキンソン体操、移動手段、環境調整	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第5回	脊髄小脳変性症の病態 【KW】：多系統萎縮症、CCA、遺伝、小脳症状、重症度分類	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第6回	脊髄小脳変性症の対象者に対する作業療法 【KW】：運動失調、ADL、環境調整	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	遠隔
第7回	筋萎縮性側索硬化症の病態と作業療法評価 【KW】：運動ニューロンの変性、球麻痺、陰性症状、重症度分類	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	遠隔
第8回	筋萎縮性側索硬化症の対象者に対する作業療法 【KW】：環境調整、IT機器、福祉用具	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第9回	多発性硬化症の作業療法を考える 【KW】：脱髄、空間的・時間的多発、症状、医学的治療	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第10回	重症筋無力症の作業療法を考える 【KW】：アセチルコリン受容体、日内変動、クリーゼ、 評価、作業療法プログラム	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第11回	多発性筋炎・皮膚炎の作業療法を考える 【KW】：PM・DMの病態、医学的治療、評価、作業療法プログラム	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第12回	ギランバレー症候群の作業療法を考える 【KW】：GBSの病態と予後、医学的治療、評価、作業療法プログラム	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第13回	稀少な疾患の作業療法プログラムを考える 【KW】：文献検索、難病対策	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第14回	事例に対する評価・治療の実践	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第15回	事例に対する評価・治療の実践	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
定期試験	前期末試験を実施			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	内部障害作業療法学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	松尾祐介・田尻寿子 (非常勤講師)	解剖学Ⅰ・解剖学Ⅱ・運動学Ⅰ・運動学Ⅱ・運動生理学実習・内科学Ⅰ・内科学Ⅱ・身体障害OT評価学・身体障害作業療法評価学実習等				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は作業療法士が担当いたします。第7・8回は静岡県立がんセンターに勤務されている作業療法士が担当いたします。そのほかの回は池辺クリニックに勤務されている作業療法士が担当します。					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	内部障害の作業療法について、疾患特性・作業療法について理解する					
行動目標（SBO）	1．内部障害の基礎知識と作業療法の考え方を理解する。 2．心疾患の作業療法について、疾患の特性・OT評価及び治療を説明できる。 3．呼吸器疾患の作業療法について、疾患の特性・OT評価及び治療を説明できる。 4．糖尿病・腎疾患の作業療法について、疾患の特性・OT評価及び治療を説明できる。 5．悪性腫瘍の作業療法について、疾患の特性・OT評価及び治療を説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
心疾患や呼吸器疾患、リンパ浮腫に関する治療として診療報酬を請求するためには、OTになってから、専門的な研修を受講し、知識や技術を修得しなければならない。しかし、内部障害を合併している対象者は多く、内部障害の知識やそれに対する作業療法の基本を押さえておくことは極めて重要である。 内科学Ⅰ・Ⅱで学んだ疾患について復習し、作業療法の基本を学んでいくことが大切である。						
教科書・参考書						
山口昇・玉垣努・李範爽編/標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第4版（医学書院）						
受講時留意点、その他						
全8回の講義形式の授業です。教授内容が多くなりますので、授業後必ず復習をし、次の授業に臨むようにしてください。 不明点、質問がありましたら積極的に受け入れます。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験	100	定期試験を実施します。6割以上を合格とします。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>内部障害の基礎と作業療法・心疾患の基礎</u> 廃用症候群を含め、内部障害の特性と作業療法について学ぶ 【KW】全身管理・廃用症候群・冠循環・ポンプ機能	松尾	p135-142 p408-422	205
第2回	<u>心疾患の基礎</u> 虚血性心疾患、心不全について学ぶ 【KW】冠循環、ポンプ機能、心筋虚血、心不全、心拍数、血圧、心電図	松尾	p408-422	205
第3回	<u>心疾患の作業療法</u> 心疾患に対する作業療法を学ぶ スク管理・活動負荷・レジスタンストレーニング	松尾	p408-422	205
第4回	<u>呼吸器の基礎</u> 呼吸器の主な構造・機能、代表的な疾患の病態を学ぶ 【KW】気管支・肺、呼吸運動、肺気量分画、BGA、COPD	松尾	p424-442	205
第5回	<u>呼吸器疾患の作業療法</u> 呼吸器疾患に対する評価と指導の基本を学ぶ 【KW】リスク管理、ADL動作、呼吸法	松尾	p424-442	205
第6回	<u>糖尿病・腎臓疾患の作業療法</u> 糖尿病・腎臓疾患に対する作業療法を学ぶ 【KW】腎臓疾患、糖尿病、リスク管理	松尾	p444-453	205
第7回	<u>悪性腫瘍</u> 病態と障害像	田尻	配布資料	205
第8回	<u>悪性腫瘍の作業療法</u> リハビリテーションの流れ	田尻	配布資料	205
定期試験	前期定期試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	身体障害作業療法学実習Ⅰ	2	60	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	鈴木亮太・内田成男	中枢神経障害作業療法学，整形外科疾患作業療法学Ⅰ・Ⅱ，内部障害作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 後期	この授業は作業療法士・理学療法士が担当します。医療施設での実務経験を基に、疾患に対する知識、作業療法評価、治療について教授します。					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	身体障害領域の機能回復のための基本的な治療の目的・手技・段階づけ等を身につける。事例を通して、治療プログラムを立てる。					
行動目標（SBO）	1．関節可動域訓練の方法を身につける。 2．筋力増強の方法を身につける。 3．筋緊張を緩和する方法を身につける。 4．感覚・知覚再教育の方法を身につける。 5．物理療法の目的・手技・禁忌を身につける。 6．バランス機能を改善する治療を身につける。 7．運動学習の方法を身につける。 8．骨折による関節可動域制限を改善する治療プログラムを立てる。 9．神経損傷による知覚を再教育するプログラムを立てる。 10．下肢の骨折によるバランス機能を改善するプログラムを立てる。 11．非利き手での巧緻動作を習得するための運動学習のプログラムを立てる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
身体機能の基本的機能の回復や改善をするための方法を目的に合わせて選択できるよう学習をしていきます。 また事例を通したプログラム立案をグループワークとして行います。積極的に発言をし、理解を深めていきましょう。						
教科書・参考書						
教科書：標準作業療法学 身体機能作業療法学 第4版（医学書院）、標準作業療法学 作業療法評価学 第3版（医学書院）						
受講時留意点、その他						
実技が主になります。身だしなみ（服装、頭髮、爪）、手洗いをしっかりおこなうようにしてください。守られない場合は授業を受講できないことがあります。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験	80%	第1回～20回の範囲において、後期末試験を実施する				
小テスト						
レポート	20%	第21回～30回の範囲において、4回のレポート提出を求める				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100%	定期試験の結果とレポート課題の評定を合算し評定します。				

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション 授業の概要について理解する 身体障害作業療法の実践	鈴木	p50-58	OT実習室 2・3
第2回	関節可動域訓練 関節可動域制限の原因を分析し、改善するための方法を身につける。 【キーワード】ROM制限、ROMex（他動・自動・自動介助）	鈴木	p76-88	OT実習室 2・3
第3回	関節可動域訓練 関節可動域制限の原因を分析し、改善するための方法を身につける。 【キーワード】ROM制限、ROMex（筋伸長法・関節包内運動）	鈴木	p76-88	OT実習室 2・3
第4回	関節可動域訓練 関節可動域訓練を実践する 【キーワード】ROM制限、ROMex	鈴木	p76-88	OT実習室 2・3
第5回	筋力増強訓練 筋力低下の原因を分析し、改善するための方法を身につける。 【キーワード】加齢・安静・固定・神経因性・収縮様式・原則	鈴木	p88-100	OT実習室 2・3
第6回	筋力増強訓練 筋ごとの筋力または筋持久力の増強方法を身につける 【キーワード】収縮様式・筋持久力	鈴木	p88-100	OT実習室 2・3
第7回	筋力増強訓練 筋ごとの筋力または筋持久力の増強方法を身につける 【キーワード】収縮様式・筋持久力	鈴木	p88-100	OT実習室 2・3
第8回	筋緊張の緩和方法 筋緊張亢進または過緊張の筋の緩和に対する手技を身につける。 【キーワード】筋緊張・relaxation筋緊張の緩和方法	鈴木	p101-113	OT実習室 2・3
第9回	筋緊張の緩和方法 筋緊張亢進または過緊張の筋の緩和に対する手技を身につける。 【キーワード】筋緊張・relaxation筋緊張の緩和方法	鈴木	p101-113	OT実習室 2・3
第10回	感覚・知覚再教育 知覚障害の程度に合わせた指導を身につける 【キーワード】防御知覚障害のプログラム・脱感作・感覚知覚再学習	鈴木	p128-135	OT実習室 2・3
第11回	感覚・知覚再教育 知覚障害の程度に合わせた指導を身につける 【キーワード】防御知覚障害のプログラム・脱感作・感覚知覚再学習	鈴木	p128-135	OT実習室 2・3
第12回	物理療法 作業療法で活用できる物理療法 【キーワード】疼痛、温熱、電気、ゲートコントロールセオリー、交代浴	内田	p157-169	OT実習室 2・3
第13回	物理療法 作業療法で活用できる物理療法 【キーワード】疼痛、温熱、電気、ゲートコントロールセオリー、交代浴	内田	p157-169	治療室
第14回	物理療法 作業療法で活用できる物理療法 【キーワード】疼痛、温熱、電気、ゲートコントロールセオリー、交代浴	内田	p157-169	治療室
第15回	バランス機能改善のための治療 バランス機能低下の原因分析が行える 【キーワード】システム理論・バランス評価	鈴木	配布資料	OT実習室 2・3

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第16回	<u>バランス機能改善のための治療</u> バランス機能改善のための治療を身につける 【キーワード】視覚代償・固有感覚刺激法・介護予防	鈴木	配布資料	OT実習室 2・3
第17回	<u>バランス機能改善のための治療</u> バランス機能改善のための治療を身につける 【キーワード】視覚代償・固有感覚刺激法・介護予防	鈴木	配布資料	OT実習室 2・3
第18回	<u>運動獲得のための治療</u> 運動を獲得するための治療を身につける 【キーワード】運動学習	鈴木	p70-76	OT実習室 2・3
第19回	<u>運動獲得のための治療</u> 運動を獲得するための治療を身につける 【キーワード】運動学習	鈴木	p70-76	OT実習室 2・3
第20回	<u>運動獲得のための治療</u> 運動を獲得するための治療を身につける 【キーワード】運動学習	鈴木	p70-76	OT実習室 2・3
第21回	<u>骨折（上肢）を呈した対象者の治療計画を立てる</u> 【KW】治癒過程・骨癒合・合併症	鈴木	p236-251	OT実習室 2・3
第22回	<u>骨折（上肢）を呈した対象者の治療を実施する</u> 【KW】治癒過程・骨癒合・関節可動域訓練・筋力訓練	鈴木	p236-251	OT実習室 2・3
第23回	<u>骨折（上肢）を呈した対象者の治療を実施する</u> 【KW】治癒過程・骨癒合・関節可動域訓練・筋力訓練	鈴木	p236-251	OT実習室 2・3
第24回	<u>末梢神経損傷を呈した対象者の治療を計画する</u> 【KW】観察、痛み、神経誘発検査・スクリーニングテスト・知覚・MMT・浮腫・ADL	鈴木	p287-299	OT実習室 2・3
第25回	<u>末梢神経損傷を呈した対象者の治療を実施する</u> 【KW】感覚、知覚再教育	鈴木	p278-299	OT実習室 2・3
第26回	<u>加齢性関節疾患を呈した対象者の治療計画を立てる</u> 【KW】肩関節周囲炎、変形性関節症	鈴木	p156-177	OT実習室 2・3
第27回	<u>加齢性関節疾患を呈した対象者の治療を実施する</u> 【KW】肩関節周囲炎、変形性関節症	鈴木	p156-177	OT実習室 2・3
第28回	<u>加齢性関節疾患を呈した対象者の治療を実施する</u> 【KW】肩関節周囲炎、変形性関節症	鈴木	p156-177	OT実習室 2・3
第29回	<u>利き手交換</u> 【KW】運動学習	鈴木	p70-76	OT実習室 2・3
第30回	<u>利き手交換</u> 【KW】運動学習	鈴木	p70-76	OT実習室 2・3
定期試験	後期末試験を実施			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	身体障害作業療法学実習Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	鈴木亮太 宮下正好 松尾祐介	内部障害作業療法学・整形外科疾患作業療法学Ⅰ・Ⅱ 身体障害作業療法学実習Ⅰ・中枢神経障害OT学 神経筋疾患作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 後期	この授業は作業療法士・理学療法士が担当します。医療施設や地域での実務経験を基に、疾患に対する知識、作業療法評価、治療について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	虚弱高齢者・内部障害・整形外科疾患・神経筋疾患への作業療法評価・治療の流れを具体的に学ぶ。各身体障害の特性を学び、生じる生活障害に対して代償的手段を講じることができる。					
行動目標（SBO）	1. 虚弱高齢者に対する作業療法プログラムを立案することができる 2. 心疾患に対する運動療法、作業療法プログラムを立案することができる 3. 関節リウマチに対する治療を考える 4. 脊髄損傷に対する治療を考える 5. 神経筋疾患に対する作業療法プログラムを立案することができる 6. 慢性閉塞性肺疾患に対する運動療法及び吸引の手技を理解する 7. 身体障害の特性を理解し、自助具を作製することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
演習を中心に実施します。これまでに学んだ内部疾患や整形外科疾患、神経筋疾患等の知識を活用しますので、資料等授業に持参するようにしてください。また、第13・14・15回に自助具コンテストを行います。対象者を設定して、自助具を作成し、実際の使い方などをプレゼンテーションします。第1回に説明いたしますので、各自準備を始めてください。						
教科書・参考書						
山口昇・玉垣努・李範爽編/標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第4版（医学書院） 標準作業療法学 作業療法評価学 第3版 （医学書院）						
受講時留意点、その他						
対象者に触れ治療をすることを学ぶ授業です。実際の臨床場面を基準とした身だしなみを求めます。授業ではKCを着用してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	80%	各疾患の授業毎に小テストを実施します。				
レポート	20%	自助具コンテストでは作品とレポートを採点し、成績に含めます。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100%	定期試験の結果とレポート課題の評定を合算し評定します。				

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>授業オリエンテーション・虚弱高齢者に対する作業療法</u> 【KW】フレイル・ロコモティブシンドローム・サルコペニア	鈴木	p135-142	OT実習室 2・3
第2回	<u>虚弱高齢者に対する作業療法</u> 【KW】評価・基本チェックリスト・地域リハビリテーション	鈴木	p135-142	OT実習室 2・3
第3回	<u>心疾患に対する運動療法</u> 【KW】精神機能・NYHA・SAS・運動強度	松尾	p408-422	OT実習室 2・3
第4回	<u>心疾患に対するADL指導</u> 【KW】重症度・ADL・IADL	松尾	p408-422	OT実習室 2・3
第5回	<u>関節リウマチに対する作業療法</u> 【KW】病態・リウマチ体操・SARAHプログラム	鈴木	p260-275	OT実習室 2・3
第6回	<u>脊髄損傷に対する作業療法</u> 【KW】急性期・回復期・社会復帰期でのプログラム	鈴木	p214-234	OT実習室 2・3
第7回	<u>神経筋疾患に対する作業療法</u> 【KW】事例検討（グループワーク）	鈴木	p380-406	OT実習室 2・3
第8回	<u>神経筋疾患に対する作業療法</u> 【KW】事例検討（グループワーク）	鈴木	p380-406	OT実習室 2・3
第9回	<u>身体障害とADL</u> 【KW】トップダウンアプローチ・ボトムアップアプローチ	鈴木	p17-37	OT実習室 2・3
第10回	<u>慢性閉塞性肺疾患（COPD）に対する運動療法</u>	宮下	p424-442	OT実習室 2・3
第11回	<u>慢性閉塞性肺疾患（COPD）に対する運動療法</u>	宮下	p424-442	OT実習室 2・3
第12回	<u>吸引（演習）</u>	宮下	p424-442	OT実習室 2・3
第13回	<u>自助具コンテスト</u> 自分で設定した対象者に対する自助具の目的および作成・使用方法についてプレゼンテーションする	鈴木	配布資料	OT実習室 2・3
第14回	<u>自助具コンテスト</u> 自分で設定した対象者に対する自助具の目的および作成・使用方法についてプレゼンテーションする	鈴木	配布資料	OT実習室 2・3
第15回	<u>自助具コンテスト</u> 自分で設定した対象者に対する自助具の目的および作成・使用方法についてプレゼンテーションする	鈴木	配布資料	OT実習室 2・3

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	日常生活活動学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	作業療法評価学、日常生活活動学実習、福祉用具と住環境、臨床実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。病院等医療施設での経験を基に日常生活活動（ADL）を評価し、ADLの問題にアプローチする方法を教授します。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	ADL・IADL障害に対する作業療法の評価と治療を理解する。					
行動目標（SBO）	1.ADL・IADL評価の構造を理解する。 2.FIMを用いたADL評価を習得する。 3.ADL・IADL障害に対する基本的な介入方法を理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目では、日常生活活動（ADL）の作業療法評価とアプローチの方法を学びます。日常生活活動の自立・質の向上は、作業療法士が特にチームの中で責任を持って評価・治療に当たる領域です。分野・対象者を問わず必要な知識・技術となりますので、関心を持って受講してください。狭義のA D Lだけではなく、家事などの手段的ADL（IADL）における評価と治療の基礎事項にも触れます。FIMは広く使われる評価法ですので基礎的な採点ができるように理解してください。						
教科書・参考書						
教科書：標準作業療法学 日常生活活動・社会生活行為学 第2版（医学書院）、標準作業療法学 作業療法評価学 第4版（医学書院）、脳卒中の機能と評価 S I A SとF I M（金原出版）						
受講時留意点、その他						
授業を欠席した場合は、次回までにほかの受講者から授業内容を確認し、不明な点は担当教員に質問してください。第4回から10回のFIMを用いた評価法では、予習に基づいたディスカッションの形で授業を進めます。事前に、学んでくるべき内容を配布し、テキストのページを指定しますので、学習してきてください。ディスカッションと講義は授業で行います。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	後期末試験を行い、成績評価を行う。評価割合は原則として100%とする。				
小テスト	0	第11回（予定）では、FIM採点法の小テストを実施する。成績評定には含まない。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	オリエンテーション・ADL総論 作業療法におけるADLの捉え方を学ぶ 【KW】できるADL, しているADL,IADL, 自立 * 対象者の個性を配慮してADLを考えられるように復習する。	市村	日常生活活動・社会生活行為学pp4-26	206
第2回	ADL各項目の特性 ADL各項目の特徴を分析する 【KW】心身機能,動作,行為, 社会文化的視点 * ADL各項目の特性を多面的に分析できるようにする。	市村	配布資料	206
第3回	ADL評価総論 評価方法の基礎を理解する。 【KW】動作分析・環境・主観の評価・FIM・BI * 評価の構造と代表的な定量的評価を理解し、覚える。	市村	作業療法評価学pp213-240	206
第4回	FIM総論・運動項目① FIMの移乗・移動・清拭を採点する 【KW】自立・準備・監視・介助・採点範囲 * 各項目を採点できるまで復習する。	市村	脳卒中の機能と評価pp83-120	206
第5回	FIM総論・運動項目② FIMの整容・更衣・食事を採点する 【KW】自立・準備・監視・介助・採点範囲・動作の分割・準備の範囲 * 各項目を採点できるまで復習する。	市村	脳卒中の機能と評価pp83-120	206
第6回	FIM総論・運動項目③ FIMのトイレ動作・排泄コントロールを採点する 【KW】自立・準備・監視・介助・採点範囲・失禁と失敗 * 各項目を採点できるまで復習する。	市村	脳卒中の機能と評価pp83-120	206
第7回	FIM総論・認知項目① FIMのコミュニケーション項目を採点する 【KW】自立・5点の定義・介助・採点範囲・ジェスチャー * 各項目を採点できるまで復習する。	市村	脳卒中の機能と評価pp121-138	206
第8回	FIM総論・認知項目② FIMの社会的認知・記憶を採点する 【KW】自立・5点の定義・介助・採点範囲 * 各項目を採点できるまで復習する。	市村	脳卒中の機能と評価pp121-138	206
第9回	FIMまとめ 対象者の状態からFIMの全項目を採点する 【KW】自立・準備・監視・介助・採点範囲 * 観察・状態の記述からFIMの採点ができる。点数から状態をイメージできる。	市村	配布資料	206
第10回	IADLの評価 IADLの定義・行為の特徴と評価方法を学ぶ 【KW】Lawton, ESCROW Profile, FAI, A-ONE * 観察・面接から評価するポイントと代表的な定量的評価の名称・概要を覚える。	市村	日常生活活動・社会生活行為学p33-43, 配布資料	206
第11回	ADL・IADLを「作業」として捉えた面接評価 COPMを使って面接評価を行う 【KW】面接・COPM・重要度・遂行度・満足度・自己評価 * COPMを使って重要な作業と作業に対する主観を評価する手順を理解する。	市村	作業療法評価学pp44-46	206
第12回	作業遂行の質の評価 目的志向的行為の単位でADL/IADLを観察する 【KW】観察・AMPS・作業遂行の質・目的志向的行為 * AMPSの評価手順を理解する。作業遂行の質の観点を理解する	市村	作業療法評価学pp234-236	206
第13回	ADL障害へのプログラム立案と介入 アプローチ方法とプログラム立案を学ぶ 【KW】評価結果の整理・動作学習・環境設定 * 評価結果整理・プログラム立案の考え方とアプローチの方略を理解する。	市村	日常生活活動・社会生活行為学pp15-28,48-56	206
第14回	ADL障害へのプログラム立案と介入 アプローチ方法とプログラム立案を学ぶ 【KW】評価結果の整理・動作学習・環境設定 * 評価結果整理・プログラム立案の考え方とアプローチの方略を理解する。	市村	日常生活活動・社会生活行為学pp15-28,48-56	206
第15回	IADL障害へのプログラム立案と介入 IADLができるための代表的な技術を学ぶ 【KW】家事動作・外出・コミュニケーション * 家事・外出・コミュニケーションを中心とした介入技術を理解する。	市村	配布資料	206
定期試験	後期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	日常生活活動学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	間瀬亜由美 中村毎途	日常生活活動学、運動学実習、運動生理学実習 運動学Ⅰ・Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。 作業療法場面で多く実践する、日常生活活動の観察や分析方法、支援内容について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	日常生活活動に対する作業療法評価・援助方法の基本的技術を習得する。					
行動目標（SBO）	1. 健常者が行う基本動作の動作分析、作業分析が行える。 2. 健常者が行うADL・IADL動作の動作分析、作業分析が行える。 3. 模擬患者に対して基本動作・ADL動作の評価・指導・介助が行える。 4. 対象者に合わせた基本動作・ADL動作・IADL動作指導・介助が行える。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目では作業療法を行う基礎となる分析方法について、ADLを始め様々な活動を通して学びます。作業療法では、運動・動作レベルから、行為・作業レベルの視点での分析まで必要とされます。健常者が行う動作を分析することで、評価・指導の視点の基礎を学びます。分析の視点を養うことと技術を習得することが中心となりますので、授業中・課外を通して、積極的に何度も練習してください。わからないところがあれば質問に来てください。						
教科書・参考書						
教科書：標準作業療法学 日常生活活動・社会生活行為学 第2版（医学書院） 参考書：PT・OTのための運動学テキスト（金原出版株式会社）						
受講時留意点、その他						
動きやすい服装で参加してください。授業によって、ハーフパンツなど指定することがあります。 実技では、作業療法の対象者に接する場合と同じように被験者と接してください。身だしなみ・手洗い・消毒・器具の取り扱い等、感染予防に努めてください。被験者への不適切な態度、感染対策の怠慢、身だしなみの不良等が著しく、改善が見られない場合は、実技への参加を認めない場合があります。 動作の指導や介助は繰り返し練習を行うことで上達します。到達度が不十分と感じた内容については、授業外の時間に積極的に練習を行いましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	50%	授業内に行った課題及び授業内容のまとめとして、課題提出を行います。全14回(第12回以外)提出期日は原則、授業翌日朝9時とします。（期日を過ぎて提出された課題は受け付けません）レポートは、記載量、丁寧さ、記載内容について採点します。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	50%	ADLの動作指導方法について実技確認を実施します。（第12回： 月 日）				
（合計）	100%					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	起居動作観察 健常者が行う起居動作の観察 【KW】寝返り、起き上がり、動作観察	間瀬 中村	配布資料	OT実習室2・ 3
第2回	起居動作援助 対象者の能力を発揮するための声掛け、誘導 【KW】寝返り、起き上がり、立ち上がり	間瀬 中村	配布資料 教科書 p62-p82	OT実習室2・ 3
第3回	移乗動作観察 健常者が行う移乗動作の分析 【KW】車椅子、移乗、重心	間瀬 中村	配布資料 教科書 p62-p82	OT実習室2・ 3
第4回	ベッド・車椅子間の移乗動作援助① ベッドから車椅子へ移乗するための誘導方法 【KW】移乗、車椅子、誘導	間瀬 中村	配布資料 教科書 p62-p82	OT実習室2・ 3
第5回	ベッド・車椅子間の移乗動作援助② ベッドから車椅子へ移乗するための誘導方法 【KW】移乗、介助、重度	間瀬 中村	教科書 p62-p82	OT実習室2・ 3
第6回	トイレ・浴槽への移乗動作援助 環境の異なる場面（トイレ、浴槽）における移乗動作 【KW】トイレ、浴槽、移乗	間瀬 中村	教科書 p62-p82	OT実習室2・ 3 ADL室
第7回	更衣動作観察 健常者が行う更衣の観察 【KW】更衣動作、前開き服、動作の区分	間瀬 中村	教科書 p121-p138	OT実習室2・ 3
第8回	更衣動作の評価・動作指導① 片手で服を着脱するための動作指導 【KW】上衣、観察、代償動作	間瀬 中村	教科書 p121-p138	OT実習室2・ 3
第9回	更衣動作の評価・動作指導② 一人でズボンを着脱するための動作指導 【KW】下衣、観察、代償動作	間瀬 中村	教科書 p121-p138	OT実習室2・ 3
第10回	食事動作の評価・動作指導① 姿勢と環境に着目した食事動作評価の実践 【KW】食事、姿勢、環境	間瀬 中村	配布資料 p83-p103	OT実習室2・ 3
第11回	食事動作の評価・動作指導② 箸操作と利き手交換 【KW】食事、利き手交換、箸操作	間瀬 中村	教科書 p83-p103	OT実習室2・ 3
第12回	模擬事例に対する動作指導（実技確認） 片麻痺患者への更衣動作指導	間瀬 中村	配布資料	OT実習室2・ 3
第13回	移動の評価・動作指導 車椅子での移動、杖歩行の動作指導 【KW】車椅子、杖歩行、動作指導	間瀬 中村	配布資料 p72-p78	OT実習室2・ 3 機能訓練室
第14回	移動の評価・動作指導 杖歩行の動作指導の実践、床上動作 【KW】杖歩行、床からの立ち上がり、段差昇降	間瀬 中村	配布資料 p72-p78	OT実習室2・ 3 機能訓練室
第15回	作業遂行分析 馴染のある作業活動の観察・評価 【KW】作業遂行、観察、ADL、IADL、家事動作	間瀬 中村	配布資料	OT実習室2・ 3
定期試験	なし			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	発達障害作業療法学Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途・久保友明	小児科学・人間発達学・発達障害作業療法評価学・発達障害作業療法学Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は作業療法士が担当いたします。発達障害領域での実務経験を活かし、発達障害領域での作業療法を教授します。					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	運動器以外の発達障害領域における作業療法の臨床像、評価、治療・支援について理解する。					
行動目標（SBO）	1．発達障害領域における作業療法評価から治療の流れが理解できる。 2．感覚統合理論の概要が理解できる。 3．発達の基礎を元に発達障害の特性が理解できる。 4．作業療法の対象となる子どもの特徴が整理できる。 5．発達障害児に対する評価・治療アプローチが説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業ではASDやADHDなど、発達子ども領域で作業療法士が関わる頻度の多い発達障害やダウン症について学習します。地域での生活や社会参加における本人や家族のニーズを通し、対象児の特性、臨床像、評価、治療について教授します。定義や分類についても多く学習しますので、復習を欠かさず行って下さい。						
教科書・参考書						
辛島千恵子編　イラストでわかる発達障害の作業療法　医歯薬出版株式会社						
受講時留意点、その他						
児童発達支援・放課後等デイサービスで勤務している久保友明先生に非常勤講師をお願いしております。発達障害の子どもを支援するための臨床思考について、グループワークを交えて学習しますので、積極的な態度で受講して下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	80	前期末試験を実施する。 第1～3回、第6～10回、第15回の内容が試験範囲。				
小テスト						
レポート	20	第11～14回の内容を振り返るレポートを提示。提出期日を過ぎた課題は採点対象外とする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。提出期日・提出方法が守れていない課題は採点対象外とします。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・発達障害領域での作業療法概論 作業療法の過程・治療理論について理解する。 【KW】発達課題・正常発達・ニーズ・治療理論	中村	配布資料 p.1-38	205
第2回	感覚統合理論 感覚統合理論について理解する。 【KW】感覚統合理論	久保	配布資料 p.27,52- 53	205
第3回	感覚統合理論 感覚統合理論について理解する。 【KW】感覚統合理論	久保	配布資料 p.27,52- 53	205
第4回	自閉症スペクトラム障害 自閉症スペクトラム障害の特性を理解する。 【KW】自閉症スペクトラム障害	中村	配布資料 p.63-80	205
第5回	自閉症スペクトラム障害 自閉症スペクトラム障害の特性と評価および治療を理解する。 【KW】自閉症スペクトラム障害	中村	配布資料 p.63-80	205
第6回	注意欠如・多動症 注意欠如・多動症の特性を理解する。 【KW】注意欠如・多動症	中村	配布資料 p.81-90	205
第7回	注意欠如・多動症 注意欠如・多動症の特性と評価および治療を理解する。 【KW】注意欠如・多動症	中村	配布資料 p.81-90	205
第8回	知的障害・ダウン症候群 ダウン症候群の特性と評価および治療について理解する。 【KW】ダウン症候群・染色体異常	中村	配布資料 p.159- 175	205
第9回	学習障害 学習障害の特性と評価・治療を理解する。 【KW】学習障害	中村	配布資料 p.91-102	205
第10回	発達性協調運動症（DCD） 臨床症状と作業療法を理解する 【KW】D S M -5・不器用・作業療法	中村	配布資料	205
第11回	発達障害児に対する評価 対象児の特性を捉えるため評価について理解する 【KW】観察・活動分析	久保	配布資料	205
第12回	発達障害児に対する評価 対象児の特性を捉えるため評価について理解する 【KW】観察・活動分析	久保	配布資料	205
第13回	発達障害児に対する治療 特性に応じた治療実践の臨床思考について理解する 【KW】ビデオ分析・臨床思考	久保	配布資料	205
第14回	発達障害児に対する治療 特性に応じた治療実践の臨床思考について理解する 【KW】ビデオ分析・臨床思考	久保	配布資料	205
第15回	まとめ・事例を通して作業療法の実際 事例を通して、作業療法を知る 【KW】事例報告・振り返り	中村	配布資料	205
定期試験	終講後に前期末試験を実施する。			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	発達障害作業療法学Ⅱ	1	30	講義	必修	－
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	中村毎途・森祐子	人間発達学・小児科学・発達障害作業療法評価学 発達障害作業療法学Ⅰ				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次 後期	この科目は医療分野や地域分野での臨床経験を基に作業療法士が担当します。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	運動機能に障害のある子どもに対する作業療法の評価、治療・支援について理解する。					
行動目標（SBO）	①運動機能に障害のある子どもの障害特性が理解できる ②運動機能に障害のある子どもに対するアセスメントの視点が分かる ③障害の特性に応じた援助方法が分かる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業では、発達障害領域の中でも主に運動機能に障害を抱える子供に対する作業療法について学びます。対象児（者）の臨床像、評価、治療について事例を用いてグループワークを通して理解を深めます。 身体機能的な側面だけでなく、ADLを始めとする活動や子どもにとって重要な作業である遊びの他、社会参加に向けた援助についても学びます。						
教科書・参考書						
辛島千恵子編 イラストでわかる発達障害の作業療法 医歯薬出版株式会社 能登真一他編 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版 医学書院						
受講時留意点、その他						
第1・2、11～14回ではグループワークを実施します。積極的な参加を期待します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	70%	後期末試験を実施する。60点以上を合格とする。 第1、4～11回の授業内容を試験範囲とする。				
小テスト						
レポート	20%	運動機能に障害のある子どもに対するOT実践に関するレポート課題 （提出内容、期日、方法については授業内で提示する）				
実技試験						
プレゼンテーション	10%	第2・3、12・13回で実施したグループワークの課題・プレゼンテーション				
その他		非常勤講師に対する無礼な態度、授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。提出期日・提出方法が守れていない課題は採点対象外とします。				
（合計）	100%					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	オリエンテーション・運動に障害のある子どもの発達 運動障害・知的障害の関係 【KW】姿勢反射・評価	中村	配布資料	205
第2回	運動機能に障害のある子どもに対するOT実践 1 グループワークを通して子どもの特性を理解する①	中村	配布資料	205
第3回	運動機能に障害のある子どもに対するOT実践 1 グループワークを通して子どもの特性を理解する②	中村	配布資料	205
第4回	脳性麻痺の特徴と予後予測 脳性麻痺の特徴と予後予測を理解する 【KW】麻痺のタイプ・評価・予後予測	中村	配布資料	205
第5回	脳性麻痺児のADLと遊び 脳性麻痺児のADL獲得の条件と遊びについて理解する 【KW】ADL・遊び	中村	配布資料	205
第6回	脳性麻痺：痙直型脳性麻痺 臨床症状の特徴を理解する 【KW】痙直型・両麻痺・片麻痺・四肢麻痺	中村	p.103～ 125	205
第7回	脳性麻痺：アテトーゼ型脳性麻痺 作業療法を理解する 【KW】活動や参加の制限と対応・発達障害・補装具や支援	中村	p.127～ 145	205
第8回	重症心身障害 臨床症状を理解する 【KW】定義・分類・呼吸や摂食機能の問題	中村	p.147～ 158	205
第9回	デュシャンヌ型筋ジストロフィー 作業療法を理解する 【KW】代償動作・二次障害・自助具	中村	p.178～ 191	205
第10回	小児整形疾患 二分脊椎に対する作業療法について理解する 【KW】二分脊椎・sharrardの分類・H o f f e r の分類	中村	p.193～ 209	205
第11回	障害と特性の理解（第4～10回のまとめ）	中村	配布資料	205
第12回	運動機能に障害のある子どもに対するOT実践 2 対象児の社会参加に向けた支援について理解を深める	森	配布資料	205
第13回	運動機能に障害のある子どもに対するOT実践 2 対象児の社会参加に向けた支援について理解を深める	森	配布資料	205
第14回	運動機能に障害のある子どもに対するOT実践 3 グループワークを通して事例の理解を深め、支援のアイデアをまとめる①	中村	配布資料	205
第15回	運動機能に障害のある子どもに対するOT実践 3 グループワークを通して事例の理解を深め、支援のアイデアをまとめる②	中村	配布資料	205
定期試験	第 1 回、第3～11回の授業内容を試験範囲とする。			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	精神障害作業療法学総論	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	野村めぐみ	精神医学Ⅰ・Ⅱ、精神障害作業療法評価学、精神障害作業療法学各論、心理学、臨床心理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この科目は作業療法士が担当します。精神医療機関での実務経験を基に、精神障害領域の作業療法について教授します。					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	精神障害領域における作業療法の歴史や治療構造を理解し、対象者の「生きづらさ」を支援する方法を考察できる					
行動目標（SBO）	1．精神障害と精神障害領域における作業療法の歴史的背景を理解する 2．精神障害領域における作業療法の治療的構造を説明できる 3．作業療法の構成要素の1つである「自己」について、治療的活用方法を考える 4．精神障害者が抱える「生きづらさ」を想像できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
精神医療福祉の歴史と法律には深い関係があります。精神医療に携わる上で重要な知識となりますので、まずは知ることから始めましょう。精神領域では、個別や集団等、様々な形態で作業を用います。作業療法の基本となる「作業」について、精神障害領域での活用という視点を持って特性を理解しましょう。また、対象者との関わりにおいて、「自分自身」は重要な治療道具の一つとなります。作業療法の治療構造を理解すると共に、自分自身についても考えるきっかけにしてください。						
教科書・参考書						
①精神障害と作業療法 新版（三輪書店） ②標準作業療法 専門分野 精神機能作業療法学 第3版（医学書院）						
受講時留意点、その他						
精神障害に対する理解を深める為には、興味関心を持つことが何よりも大切です。積極的な授業への参加をお願いします。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験	70	第1回～第15回の内容について、前期末に定期試験を実施します。60%以上を合格とし、不合格者には再試験を実施します。				
小テスト	＊	振り返り小テストを適宜行います。復習に活用してください。				
レポート	20	講義全体を踏まえて、精神障害領域の作業療法について学んだことをレポートでまとめます。正当な理由なく期日より遅れたもの、その他不備のあるものは減点対象とします。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	10	ポートフォリオを作成します。授業資料及び、レポート作成のために自己で収集した資料をファイリングし、レポートと共に提出します。提出期日の遅れや書類の不足は減点対象とします。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・精神障害領域の作業療法とは 講義の目的・内容・スケジュールを確認し、理解する。精神障害領域の作業療法の概要を知る。【KW】精神疾患、精神障害者、多面的理解	野村	配布資料	206
第2回	精神障害領域の基礎概念 精神医療を取り巻く状況を確認し、作業療法の対象疾患を知る。精神医療の一般的概要を知る。【KW】精神科医療、入院、外来	野村	配布資料	206
第3回	精神障害の歴史と法律 精神医学と作業療法の歴史を知り、現在の精神障害福祉に関する法律について理解する。【KW】歴史、精神保健福祉法、司法精神医療	野村	①35-56 ②12-21	206
第4回	精神障害領域の理論・実践モデル 精神障害領域の作業療法を実施する上での基本的な視点について理解する。【KW】リハビリ、ストレスコーピング、多職種連携	野村	②29-35	206
第5回	ひとと病い 精神疾患と障害の関係性について知り、障害を受容して生きることについて考える。【KW】ストレングスモデル、障害特性、障害受容	野村	①1-34	206
第6回	回復過程と作業療法 精神障害領域の作業療法における回復過程の概要と、必要な視点について理解する。【KW】前駆期、要安静期、亜急性期、回復期前期、回復期後期	野村	①58-79,220-255,372-373 ②36-53	206
第7回	地域生活における作業療法の視点 地域生活を送る精神障害者に対する視点を理解する。【KW】生活のしづらさ、主体性、人生の伴走者	野村	②54-63, 265-278	206
第8回	作業療法の治療・支援構造と治療機序① 作業療法の構成要素とそれぞれの関係性を理解する。構成要素である対象者、作業について理解を深める。【KW】構成要素、対象者、作業の要素	野村	①85-104	206
第9回	作業療法の治療・支援構造と治療機序② 作業療法の構成要素である作業について理解を深める。【KW】作業の要素、目的と手段、作業の分類	野村	①104-117	206
第10回	作業療法の治療・支援構造と治療機序③ 作業療法の構成要素である作業療法士自身について、治療的活用方法と対象者との関係性について理解する。【KW】自己の治療的活用、自己開示	野村	①117-121	206
第11回	作業療法の治療・支援構造と治療機序④ 作業療法の構成要素である集団と場について理解する。【KW】集団の構造因子、パラレルな場、グループダイナミクス	野村	①122-138	206
第12回	様々な対象者支援 対象者の「その人らしい」生活を支援するために必要な様々な支援方法を理解する。【KW】心理教育、家族心理教育、認知行動療法、ピアサポート、WRAP	野村	②220-230	206
第13回	ゲストスピーカー：リハビリストーリー うつ病、双極性障害それぞれを経験した当事者より、発症〜リハビリまでの経験を聴く。これまでの講義の内容も踏まえて、当事者のリハビリに必要なことは何か考察する。【KW】リハビリ、ピアサポート、well-being	野村	配布資料	OT実習室2・3
第14回	精神障害領域における評価 精神障害領域における評価技術の概要を知る。【KW】観察、面接、対象者理解	野村	配布資料	206
第15回	作業療法の実践・まとめ 就労支援、司法精神医療、災害における作業療法の役割および制度を理解する。【KW】就労支援、司法、DPAT	野村	①228-262 ②231-264	206
定期試験	第1～15回の内容について前期末試験を実施します。			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	精神障害作業療法学各論	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	野村めぐみ、鍋田桃子	精神医学Ⅰ・Ⅱ、精神障害作業療法学総論、精神障害作業療法評価学、心理学、臨床心理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は作業療法士が担当します。精神医療機関での実務経験を基に、精神障害領域の作業療法について教授します。					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法の対象となる各精神疾患の医学的概要について理解する。 各精神疾患及び時期により異なる作業療法について理解する。					
行動目標（SBO）	1．統合失調症の概要・症状・回復過程を理解する 2．統合失調症の回復過程に沿った作業療法の展開と役割について理解する 3．気分障害の概要・症状・回復過程を理解する 4．気分障害の回復過程に沿った作業療法の展開と役割について理解する 5．各精神疾患の概要と、作業療法の役割について理解する					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
精神障害領域の作業療法で対象となる様々な疾患について、精神医学的基礎知識及び各回復過程における作業療法について学習します。						
教科書・参考書						
①生活を支援する精神障害作業療法 第2版 医歯薬出版株式会社 ②精神疾患の理解と精神科作業療法 第3版 中央法規 ③精神障害と作業療法 新版 三輪書店						
受講時留意点、その他						
各疾患の学習前に、精神医学Ⅰ・Ⅱの復習を行ってください。医学的な基礎知識を備えておくことで、回復状況により異なる作業療法の役割を理解することが出来ます。疾患の基礎的な知識を持った上で臨んでください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	70	前期末に定期試験を実施します。試験範囲は第7回・11回・18回を除く回です。				
小テスト	*	授業の最初に、前回の内容の小テストを行います。復習に活用してください。				
レポート	30	第7回・第11回・第18回：事例を読み、問題点の整理・目標設定・プログラム立案を行い、指定書式にまとめる。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100	定期試験とレポートを合算して成績評価します。				

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション、統合失調症①：概要 コースオリエンテーション。統合失調症の概要、疫学的特徴、成因、症状分類を理解する。 【KW】ドパミン、ストレス脆弱性モデル、内因性	野村	②66-110	205
第2回	統合失調症②：回復過程、症状 一般的な回復過程と、各症状を理解する。 【KW】陽性症状、陰性症状、認知機能障害	野村	①31-35 ②66-110	205
第3回	統合失調症③：障害像と対応 日常生活や対人面における障害像を知り、対策を考える。 【KW】認知機能障害、現実検討能力、自我障害	野村	①134-166 ②66-110	205
第4回	統合失調症④：予後・治療、急性期および回復期前期の作業療法 統合失調症の予後、薬物療法、一般的な治療法について理解する。急性期作業療法の役割・目標を理解する。【KW】予後、副作用、心理教育	野村	①60-131, 134-166 ②76-80	205
第5回	統合失調症⑤：回復期作業療法 回復期後期作業療法の役割、プログラム、再発サインを理解する。 【KW】回復期後期、退院支援、クライシスプラン	野村	①134-166 ②66-110	205
第6回	統合失調症⑥：維持期作業療法、再発サイン 維持期作業療法の役割、プログラム、再発サインを理解する。 【KW】回復期後期、維持期、前駆症状、地域定着支援	野村	①174-258 ②66-110	205
第7回	統合失調症⑦：統合失調症の事例検討 統合失調症の事例を読み、対象者を理解する。解釈、目標設定、治療プログラム立案を模擬的に行う。【KW】評価、長・短期目標、プログラム立案	野村	配布資料	205
第8回	うつ病と双極症①：概要、症状 うつ病と双極症の全体像、疫学的知識、一般的にみられる症状を理解する。【KW】Ⅰ型・Ⅱ型、抑うつ、躁、思考の異常	野村	①260-269 ②111-150 配布資料	205
第9回	うつ病と双極症②：病因、治療 うつ病と双極症の病因と一般的な治療方法を理解する。 【KW】病前性格、遺伝素因、m-ECT	野村	①260-269 ②111-150 配布資料	205
第10回	うつ病と双極症③：作業療法 回復過程に沿った作業療法の目的、役割を理解する。【KW】回復過程、うつ病相、躁病相	野村	①260-269 ②111-150 配布資料	205
第11回	うつ病と双極症④：うつ病の事例検討 事例を読み対象者理解と、目標設定・プログラム理解を模擬的に行う。【KW】回復過程、うつ病相、躁病相	野村	①260-269 ②111-150 配布資料	205
第12回	不安症、強迫症 不安症と強迫症の概要、症状、治療方法を理解する。 【KW】パニック発作、強迫観念、強迫行為、自由度	野村	①290-294 ②151-169,175-177 配布資料	205
第13回	解離症群、身体症状症及び関連症 解離症群及び身体症状症とストレス関連症の概要、症状、治療方法を理解する。【KW】昏迷、健忘、昏迷、疾病利得	野村	②170-174	205
第14回	ストレス関連症、てんかん ストレス関連症とてんかんの概要、症状、治療方法を理解する。【KW】フラッシュバック、PTSD、全般発作、部分発作、発作の誘因	野村	②170-174, 277-285	205
第15回	依存症 依存症の概要、症状、治療方法を理解する。 【KW】精神依存、身体依存、耐性、離脱症状、自助グループ	鍋田	①301-305 ②188-215 配布資料	205
第16回	摂食症 摂食症の概要、症状、治療方法を理解する。 【KW】神経性無食欲症、神経性大食症、自己表現	野村	①295-305 ②178-187 配布資料	205
第17回	パーソナリティ症 パーソナリティ障害の概要、種類、基本的な症状と治療及び留意点を理解する。【KW】ボーダーラインシフト、全般発作、部分発作、発作の誘発因子	野村	①276-280 ②216-225 配布資料	207
第18回	事例検討、まとめ 不安症、強迫性症、解離症群、身体症状症、ストレス関連症、摂食症、依存症、パーソナリティ症から1事例選択し事例を読んでまとめる。	野村	配布資料	207
定期試験	事例検討を除く第1回～第17回の内容について前期末試験を行います。			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	老年期作業療法学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途・中村 進	地域作業療法学Ⅰ・Ⅱ、地域作業療法学実習 社会福祉概論				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。 介護保険領域での臨床実践を基に老年期作業療法について、教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	老年期における作業療法の実践が理解できる					
行動目標（SBO）	1. 高齢者の一般的な特徴、疾患が挙げられる。 2. 介護保険制度に関わる施設の特徴と作業療法の実践が説明できる 3. 老年期の作業療法の実践が分かる 4. 認知症の全体像が説明できる 5. 認知症高齢者に対する作業療法のあり方が理解できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
現在、我が国は超高齢社会を向かえ現在も高齢者人口が増え続けている。2050年には高齢化率が35%を超えることが見込まれており、高齢者に対する支援はより一層求められていく。 老年期の作業療法を実践するためにはアセスメント方法や支援方法を学ぶことが必要であるが、対象者の状態を適切に把握するためには「高齢者を取り巻く状況」や「高齢者の心身の特性」「認知症」についての理解が必須となる。 授業の中で毎回指示する要点・ポイントについては必ず自己学習で復習をしてもらいたい。						
教科書・参考書						
教科書：標準作業療法 専門分野 高齢期作業療法 第4版（医学書院） 参考書：標準作業療法 専門分野 地域作業療法学 第4版（医学書院） 老年期の作業療法 改訂第3版（三輪書店）						
受講時留意点、その他						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100%	後期末試験を実施し、60点以上を合格とする。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	著しく受講態度が不良であり、改善されない者は減点の対象とする。				
（合計）	100%					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・高齢社会と高齢期の課題 【KW】高齢化率, 4つの喪失, 暮らしぶり 高齢者の定義が分かる。高齢者の暮らしぶりや課題が挙げられる。	中村	教科書 p5-p27	206
第2回	高齢期の一般的特徴/高齢期に多い疾患 【KW】老化, 老年症候群 老年症候群や高齢期に多い疾患を挙げることができる。	中村	教科書 p41-p65	206
第3回	社会保障制度と介護保険制度 【KW】社会保障制度, 介護保険制度, 介護サービス 介護保険制度の仕組みや介護サービスの形態について学習する	中村	教科書 p28-p32	206
第4回	介護保険分野の施設の特徴 【KW】高齢者の住まい, 入所施設, 通所介護 介護保険のサービスのうち、特別養護老人ホームと通所介護について学習する	中村	配布資料	206
第5回	介護老人保健施設における作業療法の実践 【KW】介護老人保健施設, 通所リハビリテーション, 中間施設 介護老人保健施設における作業療法士の役割について学習する。	中村進	配布資料	206
第6回	高齢者の人権擁護 【KW】権利, 憲法, 虐待 高齢者の権利を守るための制度について学習する	中村	配布資料 教科書 p81-90	206
第7回	介護予防の作業療法 【KW】介護予防, 地域包括ケアシステム, 地域包括支援センター 高齢者が住み慣れた地域で生活し続けるためのシステムについて学習する。	中村	教科書 p132- p139	206
第8回	高齢期の作業療法 【KW】寝たきり, 社会参加, 高齢期障害 高齢者の生活や状態に合わせた作業療法支援について学習する。	中村	配布資料	206
第9回	高齢者の住環境整備と地域づくり 【KW】間取り, 環境, 改修 高齢者にとって住みよい環境について理解を深める。	中村	配布資料	206
第10回	認知症①（総論） 【KW】現代社会, 中核症状, BPSD 認知症の定義と、現代社会における課題について学習する。	中村	教科書 p66-p71	206
第11回	認知症②（各論） 【KW】Alzheimer, Lewy小体, 前頭側頭型 認知症の原因となる代表的な疾患について理解を深める。	中村	教科書 p72-p77	206
第12回	認知症のある人への作業療法①（アセスメント方法） 【KW】人生, 複雑性, 観察 認知症のある人の行動を理解する。	中村	教科書 p141- 148	206
第13回	認知症のある人への作業療法②（支援方法） 【KW】スクリーニング検査, 症状, 状態 認知症のある人の状態に応じた支援方法について理解する。	中村	教科書 p148- p155	206
第14回	認知症のある人への作業療法③（環境整備と家族支援） 【KW】環境整備, 家族指導, 家族の心理 認知症のある人と関わる家族や環境に対する支援方法について学習する。	中村	配布資料	206
第15回	老いと死・授業のまとめ 【KW】死, 人生, 老い 人生の締めくくりについて意見交換を行う。	中村	配布資料	206
定期試験	後期末試験を実施する			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	福祉用具と住環境	2	45	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	鈴木亮太	日常生活活動学・日常生活活動学実習・中枢神経障害作業療法学 身体障害作業療法学実習Ⅰ・身体障害作業療法学実習Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。様々な領域での作業療法の実務経験を基に、福祉用具の適合や調整、住環境整備について教授します。					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法治療の手段である福祉機器・住宅改修について理解する。					
行動目標（SBO）	1．福祉用具の概要を理解し、作業療法士の役割が説明できる。 2．福祉用具の選定時の評価と、導入までの流れを説明できる。 3．福祉用具の種類と使い方を理解する。 4．福祉用具のリスクマネジメントについて理解する。 5．自助具を作製し、使用体験をすることでその改善点を見いだせる。 6．住宅改修のポイントと作業療法士の役割が理解できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
福祉用具は、暮らしのなかで不便なく暮らせるよう創意工夫し、形作られたものです。その目的は、使い方やライフスタイルに応じた対応などを含め、「よりよい生活」を支援することにあります。この授業では福祉用具の選定・適合に必要な知識・技術の習得を目指します。各ADL・IADLに焦点をあて、作業療法の対象者にどのように適合していくのかを考えます。普段の生活から、意識してものを観察し、扱ってみましょう。またADLやIADL場面においてどのように動作を行っているのか意識するように努めてください。						
教科書・参考書						
教科書：作業療法学全書 改訂第3版 第10巻 作業療法技術学2 福祉用具の使い方・住環境整備 改訂第3版（協同医書出版社）						
受講時留意点、その他						
第8回から第23回はそれぞれグループに分かれ課題を進めます。各グループ計画に沿って進めましょう。ディスカッションの前には事前学習を行い、自らの意見をまとめましょう。また、ディスカッションでは積極的に発言するとともに、メンバーの意見を傾聴しましょう。チームで物事を進める力を身に着けることを意識し取り組んでください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	50	第 1 回、第2回、第4回、第5回の範囲に関して小テストを実施します。				
レポート	50	第6回-第7回は作成した自助具とレポートの提出を求めます。 第10回-第23回については単元ごとにレポート（ポートフォリオ）の提出を求めます。 （第10回-第12回、第13回-第15回、第16回-第18回、第21-第23回）				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		グループワークへの積極的な参加を求めます。 各単元ごと自己評価、相互評価を行います。準備をせずに参加、ディスカッションへの不参加、その他非協力的な状況が認められた場合は、状況確認の上、小テスト、レポートの評定から減点します。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション/作業療法士の行う環境整備 キーワード：障害、福祉用具、環境、参加	鈴木	p5-15 p155	OT実習室 2・3
第2回	福祉用具・住環境整備に関わる制度 リスクマネジメント キーワード：障害者総合支援法、介護保険、リスクマネジメント	鈴木	p10-32	OT実習室 2・3
第3回	自助具作製のプロセスを理解する キーワード：評価、作製プロセス、自助具作製	鈴木	配布資料	OT実習室 2・3
第4回	住環境整備の基礎知識 キーワード：住宅の機能、建築モジュール	鈴木	p153-167	OT実習室 2・3
第5回	住環境整備の実際 キーワード：有効幅、段差、てすり	鈴木	p167-178	OT実習室 2・3
第6回	自助具作製 キーワード：脊髄損傷、ユニバーサルカフ	鈴木	裁縫セット	OT実習室 2・3
第7回	自助具作製 キーワード：脊髄損傷、ユニバーサルカフ	鈴木	裁縫セット	OT実習室 2・3
第8回	起居動作に関わる福祉用具 キーワード：ベッド、マットレス、寝具、ベッド柵、リフター、便器	鈴木	p33-51	OT実習室 2・3
第9回	排泄に関わる福祉用具 キーワード：ベッド、マットレス、寝具、ベッド柵、リフター、便器	鈴木	p78-83	OT実習室 2・3
第10回	移動するための福祉用具と住環境整備 キーワード：杖、歩行器、車いす	鈴木	p52-68	OT実習室 2・3
第11回	移動するための福祉用具と住環境整備 キーワード：杖、歩行器、車いす	鈴木	p52-68	OT実習室 2・3
第12回	移動するための福祉用具と住環境整備 キーワード：杖、歩行器、車いす	鈴木	p52-68	OT実習室 2・3
第13回	更衣・整容・入浴に関わる福祉用具とその活用方法 キーワード：リーチ、洗体、浴槽移乗	鈴木	p68-78	OT実習室 2・3
第14回	更衣・整容・入浴に関わる福祉用具とその活用方法 キーワード：リーチ、洗体、浴槽移乗	鈴木	p68-78	OT実習室 2・3
第15回	更衣・整容・入浴に関わる福祉用具とその活用方法 キーワード：リーチ、洗体、浴槽移乗	鈴木	p68-78	OT実習室 2・3

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第16回	調理・食事に関わる福祉用具とその活用方法 キーワード：食具、食器、調理、掃除、洗濯	鈴木	p83-92	OT実習室 2・3
第17回	調理・食事に関わる福祉用具とその活用方法 キーワード：食具、食器、調理、掃除、洗濯	鈴木	p83-92	OT実習室 2・3
第18回	調理・食事に関わる福祉用具とその活用方法 キーワード：食具、食器、調理、掃除、洗濯	鈴木	p83-92	OT実習室 2・3
第19回	コミュニケーションに関わる福祉用具・ITの活用	鈴木	p98-106	OT実習室 2・3
第20回	コミュニケーションに関わる福祉用具・ITの活用	鈴木	p98-106	OT実習室 2・3
第21回	総合事例演習	鈴木	配布資料	OT実習室 2・3
第22回	総合事例演習	鈴木	配布資料	OT実習室 2・3
第23回	総合事例演習	鈴木	配布資料	OT実習室 2・3

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	義肢装具学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行・植田英則	解剖学Ⅰ・Ⅱ 運動学Ⅰ・Ⅱ 整形外科学Ⅰ・Ⅱ 整形外科疾患作業療法学Ⅰ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	臨床経験を活かし、臨床現場での内容を含め教示します					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	義肢装具に関する基礎的な知識を修得する 義肢装具使用者に対する作業療法士の役割を修得する					
行動目標（SBO）	義手の構造、チェックアウト及び切断者の作業療法の方法がわかる 装具・スプリントの構造、適応がわかる スプリントを製作、チェックアウトができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
身体構造・手の機能の復習をしっかりとってから授業に臨みましょう。 実際にスプリントが作製できるようになることが求められます。 初めて触れる素材を使用しますので、大変扱いにくいと思います。 真剣に取り組んでください。						
教科書・参考書						
作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 義肢装具学(メジカルビュー社)						
受講時留意点、その他						
受講時は学校指定のポロシャツを着用してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	90	定期試験を実施する				
小テスト						
レポート	10	スプリント装着体験レポート（製作したスプリントを含む）				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月15日	<u>義肢装具の歴史と概要・義肢装具の作業療法の役割</u> 義肢装具を取り扱う上で必要な知識を得る。 【KW】義肢・装具・義肢装具士	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第2回 5月22日	<u>切断の基礎知識</u> 四肢切断の傾向と原因を説明できる。部位別分類ができる。 【KW】義肢・切断・離断	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第3回 5月22日	<u>義手のチェックアウト・計測の実施</u> 四肢の計測ができる。 持ち物：メジャー 【KW】周径・長さ・ランドマーク	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第4回 5月29日	<u>義手の部位名称と構成</u> 義肢とは、装具とは何か説明できる。義手の仕組みがわかる。 【KW】義手・構成要素・切断レベル	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第5回 5月29日	<u>義手の部位名称と構成</u> 義肢とは、装具とは何か説明できる。義手の仕組みがわかる。 【KW】義手・構成要素・切断レベル	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第6回 6月5日	<u>義手のチェックアウト・義手装着訓練</u> 義手のチェックアウト方法を理解する。義手の操作訓練を理解する。 【KW】チェックアウト・操作効率・作業効率	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第7回 6月10日	<u>上肢装具・スプリントの分類と適応、作業療法士の役割</u> 装具療法における作業療法士の役割について説明できる。スプリントの分類・ 適応が説明できる。【KW】装具・分類・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第8回 6月10日	<u>各装具の理解</u> 上肢・下肢・体幹のそれぞれの装具が理解できる 【KW】装具・分類・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第9回 6月17日	<u>装具の適応と目的</u> 各種スプリントの適応や目的を理解する 【KW】装具・分類・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第10回 6月23日	<u>疾患別スプリントの適応</u> 主な疾患（末梢神経損傷・CVA・頸髄損傷・RA）のスプリントの適応がわか る。【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第11回 6月23日	<u>スプリントの製作演習（セーフティピン）</u> スプリント材の特性を知り、スプリントを実際に作製する。 【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第12回 6月26日	<u>理学療法部門の義肢装具</u> 理学療法分野における義肢装具の理解（歩行・ADL）を学ぶ 【KW】理学療法・義肢装具・歩行	植田 岡本	義肢装具学 資料	機能訓練室
第13回 6月26日	<u>スプリントの製作演習（短対立装具）</u> スプリントの作製、チェックアウトを行う。 【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第14回 7月3日	<u>スプリントの製作演習（カックアップ）</u> スプリント材の特性を知り、スプリントを実際に作製する。 【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第15回 7月3日	<u>スプリントの製作演習（カックアップ）</u> スプリント材の特性を知り、スプリントを実際に作製する。 【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
定期試験	前期末試験を実施します			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	事例報告演習	2	60	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子 中村毎途 野村めぐみ	作業療法評価学各科目、作業療法各論各科目、臨床実習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次 通年	この授業は作業療法士が担当します。病院等医療施設での経験を基に、作業療法における診療記録の記載、実践報告の方法を教授します。					
授 業 目 標 * 詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法で行う記録の技能を習得する					
行動目標（SBO）	1. 作業療法評価及び治療内容を診療記録に記載することができる。 2. 対象者の評価結果をまとめ、報告書に記載できる。 3. 臨床実習で経験した事例を口頭で報告できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
診療記録の記載演習は手書きで行います。報告書作成ではパソコンを使って演習を行う場合があります。 パソコン作業に不慣れな場合は、キーボード操作、wordを用いた文書作成などに少し親しんでおいた方がスムーズです。						
教科書・参考書						
岩崎テル子他／編 標準作業療法学 作業療法評価学（医学書院） 市川和子／編 標準作業療法学 臨床実習とケーススタディ（医学書院） 二木淑子・能登真一／編 標準作業療法学 作業療法学概論（医学書院）						
受講時留意点、その他						
ボールペン等の消せない筆記用具、訂正用の印鑑を持参すること。 提出課題により成績評定をする為、欠席した場合は速やかに教員に相談に来ること。 この科目は通年授業です。後期の状況とともに成績を評価します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	カルテ、事例報告書等の指定課題を提出し、成績評定の材料とする。正当な理由なく期限に遅れた提出物は0点とする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、提出物の遅れ、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とします。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	オリエンテーション、事例報告の基礎 【KW】事例報告の目的、個人情報保護、SOAP、問題点の抽出 ＊事例情報記載方法の基本、個人情報保護の意義と方法を理解する。	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	206
第2回	評価結果の読み取りと整理 1 【KW】情報の整理 ＊評価結果が記載された一覧をもとに、所定の書式に記入する。	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	206
第3回	評価結果の読み取りと整理 2 【KW】情報の整理、問題点と利点の列挙 ＊評価結果を所定の書式に記入し、問題点と利点を列挙する。	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	206
第4回	評価結果まとめレポートの記載 【KW】評価のまとめ、書面報告 ＊事例の評価結果を文章にまとめ、パソコンで文書を作成する。	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	206
第5回	評価計画と結果の解釈1 【KW】事例情報の整理・評価項目の列挙 ＊事例情報を読んで状態を把握し、対象に応じた評価項目を挙げる	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第6回	評価計画と結果の解釈2 【KW】評価期間、評価手順、機器・器具の準備、環境設定 ＊評価計画を具体化する	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第7回	評価計画と結果の解釈3 【KW】ICF分類、問題点と利点 ＊事例の評価結果を分析し、統合と解釈を行う	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第8回	評価計画と結果の解釈4 【KW】問題点の優先順位、予後予測、整合性 ＊ゴール設定と治療計画を考える	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第9回	事例報告書の記載 1 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 ＊評価・分析した情報を手書きでまとめる	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第10回	事例報告書の記載 2 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 ＊評価・分析した情報を手書きでまとめる	市村	配布資料・作業療法評価学	205
第11回	事例報告書の記載 3 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 ＊評価・分析した内容をまとめ、パソコンを使って報告書を作成する	市村	配布資料・作業療法評価学	204
第12回	評価・治療場面の観察と記録 1 【KW】SOAP, カルテ記載、記載事項の選択 ＊書式を整えて模擬カルテを記載し、適切に管理する。	市村	配布資料・作業療法評価学	205
第13回	評価・治療場面の観察と記録 2 【KW】SOAP, カルテ記載、記載事項の選択 ＊書式を整えて模擬カルテを記載し、適切に管理する。	市村	配布資料・作業療法評価学	OT実習室 2・3
第14回	MTDLPを使った事例報告のまとめ方 【KW】MTDLP、プラン演習シート、生活行為シートを使った演習を行う	中村	配布資料	205
第15回	MTDLPを使った事例報告のまとめ方 【KW】MTDLP、プラン演習シート、生活行為シートを使った演習を行う	中村	配布資料	205
定期試験	なし			

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第16回	評価計画と結果の解釈 1 【KW】疾患、病期、評価項目 ＊ 提示された事例情報を理解する	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第17回	評価計画と結果の解釈 2 【KW】評価項目の列挙 ＊ 評価項目を挙げる	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第18回	評価計画と結果の解釈 3 【KW】評価期間、評価手順、環境設定 ＊ 評価計画を具体化する	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第19回	評価計画と結果の解釈 4 【KW】ICF分類、問題点と利点 ＊ 事例の評価結果を分析し、統合と解釈を行う	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第20回	評価計画と結果の解釈 5 【KW】問題点の優先順位、予後予測、整合性 ＊ ゴール設定と治療計画を考える	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第21回	事例報告書の記載 1 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 ＊ 評価・分析した情報を手書きでまとめる	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第22回	事例報告書の記載 2 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 ＊ 評価・分析した情報を手書きでまとめる	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第23回	事例報告書の記載 3 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 ＊ 評価・分析した内容をまとめ、パソコンを使って報告書を作成する	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第24回	事例報告書の記載 4 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 ＊ 評価・分析した内容をまとめ、パソコンを使って報告書を作成する	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第25回	治療経過報告演習（身体障害領域） 治療経過、再評価結果の報告書作成を学ぶ 【KW】治療経過、再評価、結果の考察	市村	配布資料	205
第26回	治療経過報告演習（身体障害領域） 治療経過、再評価結果の報告書作成を学ぶ 【KW】治療経過、再評価、結果の考察	市村	配布資料	205
第27回	治療経過報告演習（精神障害領域） 治療経過、再評価結果の報告書作成を学ぶ 【KW】治療経過、再評価、結果の考察	野村	配布資料	205
第28回	治療経過報告演習（精神障害領域） 治療経過、再評価結果の報告書作成を学ぶ 【KW】治療経過、再評価、結果の考察	野村	配布資料	205
第29回	口頭報告の方法 事例を口頭で報告する方法と事例報告会への参加方法を学ぶ 【KW】口頭報告、質疑応答	市村	配布資料	205
第30回	事例の口頭報告演習 臨床実習で経験した事例をもとに、口頭報告の準備をする。 【KW】口頭報告、質疑応答	市村	配布資料	205
定期試験	なし			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床作業療法学	3	90	講義	必修	可
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	市村紋子・岡本博行・中村毎途・ 間瀬亜由美・鈴木亮太 岡庭隆門・佐々木直美・林正春・ 生田純一・秋山尚也	中枢神経障害作業療法学，整形外科疾患作業療法学 Ⅰ・Ⅱ，内部障害作業療法学、ほかすべての専門科目				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。医療施設での実務経験を基に、疾患に対する知識、作業療法評価、治療について教授します。					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法評価学・治療学の総合的な知識を身につける					
行動目標（SBO）	1．作業療法の歴史と概要がわかる 2．作業療法評価の手段と方法がわかる 3．作業療法アプローチの手段と方法がわかる 4．福祉機器・義肢・装具の種類と適応がわかる 5．事例を基に作業療法評価・治療の手段と方法がわかる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
この授業では、作業療法の評価・治療全般の知識を整理し、事例をもとに評価・治療方法の選択ができるようにしていきます。授業では、学習のポイントを伝えますが、自己学習が重要となります。学習ノートを作って予習・復習を十分に行い、わからない個所がある場合には、時間を空けずに質問してください。各領域の知識・考え方・作業療法士としての心構えを学んでください。						
教科書・参考書						
医歯薬出版編　／　理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント　2026　基礎OT学　／　医歯薬出版株式会社 医歯薬出版編　／　理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント　2026　障害別OT治療学/医歯薬出版株式会社						
受講時留意点、その他						
臨床実習および、国家試験に繋がる基本的な考え方を学びます。各自予習・復習を心掛けてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験	100%	後期末試験を実施します。60%を合格の基準とします。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100%					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・作業療法評価学 【KW】評価総論	市村紋	必修ポイント基礎 OT/評価学テキスト	205
第2回	作業療法評価学 【KW】面接・観察、バイタルサイン、摂食嚥下、関節可動域測定	市村紋	必修ポイント基礎 OT/評価学テキスト	205
第3回	作業療法評価学 【KW】徒手筋力テスト、バランス能力、反射、上肢機能検査	市村紋	必修ポイント基礎 OT/評価学テキスト、MMT	205
第4回	地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割	間瀬	配布資料	205
第5回	地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割	間瀬	配布資料	205
第6回	身体障害を有する対象者の自動車運転	生田	配布資料	205
第7回	身体障害を有する対象者の自動車運転	生田	配布資料	205
第8回	福祉用具・自助具の臨床的活用	林	配布資料	OT実習室 1
第9回	福祉用具・自助具の臨床的活用	林	配布資料	OT実習室 1
第10回	高次脳機能障害の対象者に対する作業療法	秋山	配布資料	205
第11回	高次脳機能障害の対象者に対する作業療法	秋山	配布資料	205
第12回	<u>医療観察病棟での司法精神医療の実践</u>	岡庭	配布資料	205
第13回	<u>医療観察病棟での司法精神医療の実践</u>	岡庭	配布資料	205
第14回	地域で支える発達障害児に対する作業療法	佐々木	配布資料	OT実習室 2・3
第15回	地域で支える発達障害児に対する作業療法	佐々木	配布資料	OT実習室 2・3

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第16回	基礎作業療法学 【KW】作業療法理論、歴史、理学療法士及び作業療法士法、ICF、ICD-10、感染予防、管理	市村紋	必修ポイント基礎 OT/OT概論テキスト	205
第17回	作業療法評価学 【KW】ADL・IADL、QOL	市村紋	必修ポイント基礎 OT/ADL・評価学 テキスト	205
第18回	作業療法評価学 【KW】中枢神経疾患、脳血管障害	間瀬	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第19回	作業療法治療学 【KW】脳血管疾患、回復期、維持期、運動療法、ADL指導	間瀬	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第20回	作業療法評価学・治療学 【KW】関節リウマチ・骨折・腱損傷・末梢神経損傷	市村紋	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第21回	作業療法評価学 【KW】呼吸器疾患、心疾患、悪性腫瘍	市村紋	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第22回	作業療法治療学 【KW】呼吸器障害、虚血性心疾患、代謝障害、腎機能障害、膠原病	市村紋	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第23回	作業療法評価学・治療学 【KW】廃用症候群、悪性腫瘍、熱傷、有痛性疾患	市村紋	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第24回	作業療法評価学 【KW】脊髄損傷	鈴木	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第25回	作業療法治療学 【KW】脊髄損傷	鈴木	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第26回	作業療法評価学 【KW】脊髄小脳変性症、パーキンソン病、神経変性疾患	鈴木	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第27回	作業療法治療学 【KW】パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、	鈴木	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第28回	作業療法治療学 【KW】筋萎縮性側索硬化症、ニューロパチー、多発性筋炎、重症筋無力症	鈴木	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第29回	作業療法評価学 【KW】認知機能検査・高次脳機能検査	間瀬	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第30回	作業療法治療学 【KW】高次脳機能障害	間瀬	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第31回	作業療法治療学 【KW】認知症	中村毎	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第32回	地域作業療法学 【KW】義肢・装具	岡本	必修ポイント基礎 OT/授業資料・テキスト	205
第33回	地域作業療法学 【KW】義肢・装具	岡本	必修ポイント基礎 OT/授業資料・テキスト	205
第34回	地域作業療法学 【KW】義肢・装具	岡本	必修ポイント基礎 OT/授業資料・テキスト	205
第35回	作業療法評価学・治療学 【KW】気分障害	市村紋	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第36回	作業療法評価学・治療学 【KW】統合失調症	市村紋	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第37回	作業療法評価学・治療学 【KW】神経症、不安障害、パニック障害、強迫性障害、身体表現性障害	市村紋	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第38回	作業療法評価学・治療学 【KW】パーソナリティ障害、てんかん、依存症	市村紋	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第39回	作業療法評価学 【KW】小児・正常発達・脳性麻痺・二分脊椎	中村毎	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第40回	作業療法治療学 【KW】脳性麻痺、Down症候群、	中村毎	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第41回	作業療法治療学 【KW】筋ジストロフィー、二分脊椎、運動発達遅滞	中村毎	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第42回	作業療法評価学・治療学 【KW】ADHD、自閉症スペクトラム	中村毎	必修ポイント基礎 OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第43回	地域作業療法学 【KW】地域包括ケアシステム、障害者総合支援法、介護保険制度、住環境整備、福祉用具	中村毎	必修ポイント基礎 OT/授業資料・テキスト	205
第44回	作業療法評価学 【KW】精神保健福祉法、医療観察法、就労支援、評価	中村毎	必修ポイント基礎 OT/授業資料・テキスト	205
第45回	まとめ	市村紋		

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	地域作業療法学Ⅰ	1	15	講義	必須	－
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	中村毎途	地域作業療法学Ⅱ、地域作業療法学実習 社会福祉概論、生活社会科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
1 年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。 臨床経験を活かして地域作業療法の基本となる枠組みについて教授します。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	地域作業療法における地域の意味や地域の特性を知る					
行動目標（SBO）	1. 地域という言葉の意味が理解できる 2. 自分の住んでいる地域の資源について説明できる 3. 自分の住んでいる地域とその他の地域を比べることができる 4. 地域におけるリハビリテーションの役割がわかる 5. 地域における作業療法の役割がわかる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目は、作業療法の対象領域として拡大しつつある地域作業療法について学習します。 自分の住んでいる市町の社会資源や特徴について調べます。他の地域との比較や高齢者が生活住みやすい地域づくり、地域の課題についてグループワークなどを用いて考えを深めていきます。 地域の枠組みや地域ごとの特色について理解できることが目標となります。 グループワークでは、お互いの意見を尊重することや、積極的な発言を求めます。						
教科書・参考書						
教科書：なし 参考書：【標準作業療法 専門分野】地域作業療法 第4版（医学書院）・高齢期作業療法 第3版（医学書院） 作業療法 ゴールド・マスター・テキスト 地域作業療法（MEDICAL VIEW）						
受講時留意点、その他						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100%	授業中にまとめた課題シート（全8回）を採点します。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		著しく受講態度が不良であり、改善されない者は減点の対象とする。				
（合計）	100%					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	<u>オリエンテーション、自分達にとっての理想的な地域とは</u> キーワード：地域資源、理想的な街、生活の充実 自分が考える住みやすい地域について考えます	中村	配布資料	207
第2回	<u>地域とは</u> キーワード：医療圏、市町、地理的把握 地域作業療法における地域の枠組みについて学びます	中村	配布資料	207
第3回	<u>地域で生活するために必要な資源</u> キーワード：地域、社会保障制度、健康 社会保障制度について学びます	中村	配布資料	207
第4回	<u>高齢者が生活するために必要な資源</u> キーワード：生活、高齢者、介護保険 高齢者の生活をイメージしながら学習を進めます	中村	配布資料	207
第5回	<u>自分の住んでいる地域を知る</u> キーワード：社会資源、生活、医療 自分が居住している地域の特徴を調べます	中村	配布資料	207
第6回	<u>地域における課題の発見</u> キーワード：地域、生活、住民 グループディスカッションを通して地域の課題について学習する	中村	配布資料	207
第7回	<u>地域リハビリテーションと地域作業療法</u> キーワード：生活障害、個人、社会 地域作業療法の枠組みについて学びます	中村	配布資料	207
第8回	<u>地域作業療法Ⅰのまとめ</u> キーワード：地域、社会資源、住民 理想の町に必要な資源・環境について考えます	中村	配布資料	207
定期試験	なし			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	地域作業療法学Ⅱ	2	30	講義	必須	－
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	中村毎途・久保友明・佐野尊信 上野真由子・渡邊智史・旭まどか	地域作業療法学Ⅰ、地域作業療法学実習 社会福祉概論、生活社会科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。 臨床経験を活かして地域作業療法の実践について教授します。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	地域作業療法を実践するための知識を学ぶ					
行動目標（SBO）	1. 地域作業療法枠組みが理解できる 2. レクリエーションが企画・運営できる 3. 地域の各領域の支援の実践が理解できる 4. 障がいを持って生活する人の心理の変化について説明できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目は、作業療法の対象領域として拡大しつつある地域作業療法について実践事例を通して学習します。 地域作業療法の枠組みや評価・プログラムの立案・実践過程だけでなく、多職種連携や障がい者の理解についてもグループワーク等を通して学びます。 発達領域から高齢期まで、地域作業療法の実践事例を紹介しますので、作業療法の可能性の幅広さを感じ取ってください。 また、レクリエーションの実践ではグループで企画・準備・運営を行います。提示された期限を守りグループごと協力して課題を進めてください。						
教科書・参考書						
教科書：なし 参考書：【標準作業療法 専門分野】地域作業療法 第3版（医学書院）・ 高齢期作業療法 第3版（医学書院） 作業療法 ゴールド・マスター・テキスト 地域作業療法（MEDICAL VIEW）						
受講時留意点、その他						
成績評価方法						
評価方法	評価割合（％）	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	60％	地域における作業療法の実践に関するレポートを実施します。 提出期日・提出方法が守られていない課題は採点対象外とします。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	40％	レクリエーションの実施（30％）およびその計画書（10％）を成績評定に含める。 著しく受講態度が不良であり、改善されない者は減点の対象とする。また、非常勤講師に対する無礼な態度、授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。				
（合計）	100％					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	<u>オリエンテーション,地域作業療法,レクリエーション実践論</u>	中村	配布資料	206
第2回	<u>レクリエーション企画</u>	中村	配布資料	OT実習室2・3
第3回	<u>レクリエーション企画</u>	中村		OT実習室2・3
第4回	<u>レクリエーション企画・準備</u>	中村		OT実習室2・3
第5回	<u>地域におけるOTの実践①（訪問作業療法）</u>	上野真由子	配布資料	206
第6回	<u>地域におけるOTの実践①（訪問作業療法）</u>	上野真由子	配布資料	206
第7回	<u>レクリエーション準備</u>	中村		OT実習室2・3
第8回	<u>地域におけるOTの実践②（産業分野の作業療法）</u>	旭まどか	配布資料	206
第9回	<u>レクリエーション実践</u>	中村		OT実習室2・3 講堂
第10回	<u>レクリエーション実践</u>	中村		OT実習室2・3 講堂
第11回	<u>地域におけるOTの実践③（通所介護の作業療法）</u>	岩田裕也	配布資料	206
第12回	<u>地域におけるOTの実践④（特別支援教育）</u>	渡邊智史	配布資料	206
第13回	<u>地域におけるOTの実践④（特別支援教育）</u>	渡邊智史	配布資料	206
第14回	<u>地域におけるOTの実践⑤（児童発達支援・放課後等デイサービス）</u>	久保友明	配布資料	206
第15回	<u>地域におけるOTの実践⑤（児童発達支援・放課後等デイサービス）</u>	久保友明	配布資料	206
定期試験	なし			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	地域作業療法学実習	2	90	実習	必修・選択	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途・施設指導者	地域作業療法学Ⅰ・Ⅱ 老年期作業療法学、社会福祉概論				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 後期	地域にある各施設の作業療法士が、施設の特性に応じた対象者の支援方法について教授します。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	地域作業療法に関連する実践を体験し、支援のあり方と作業療法士の役割を理解する。					
行動目標 (SBO)	1．対象者の支援と作業療法士の役割を述べることができる。 2．介護保険関連施設における対象者の支援と作業療法士の役割を述べることができる。 3．地域支援の現場において、対象者との関わりを持つことができる。 4．地域支援の多様な現場での作業療法士の役割を述べることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
地域作業療法はすべての年齢・障害が対象となる幅の広い分野です。作業療法士が働く場も多種多様です。本授業では、介護保険関連施設、在宅生活を送る方のための障害者総合支援法関連施設等での実習を行います。作業療法に関連する実践を体験し、地域における作業療法士の役割について学びます。学外実習では、対象者との関わりを持ち、学内で学んだことを実践する機会となります。事前準備をしっかりとし、作業療法学生として適切な行動をしましょう。 主体性を持って学ぶことを期待します。不明な点は、担当教員に確認してください。						
教科書・参考書						
教科書：地域作業療法学実習 講義資料 参考書：1・2年次で使用した教科書、授業資料						
受講時留意点、その他						
1．12グループのローテーションによるスケジュールとなります。 2．体調管理をしっかりと行いましょう。 3．スケジュールは変更になる場合があります。デスクネッツを注意深く確認してください。 4．授業内で伝達する注意事項を遵守してください。 5．学外実習場面では、施設指導者の指示に従って行動をしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	実習各回ごとにレポートを提出。書式については各回ごとに指示する。 高齢者関連施設実習ディリーノート（30%） 高齢者関連施設振り返りレポート（15%） 生活介護施設振り返りレポート（15%） 就労継続支援B型事業所（15%） 子ども関連施設振り返りレポート（15%） 生活行為向上マネジメントアセスメント演習シート（10%）				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	＊	科目に対する関心、積極的な学習態度においては加点する場合があります。また、授業において清潔感のない身だしなみ等は減点対象とする場合があります。 特に学外実習において、ご利用者や外部講師への礼儀を欠く態度、社会人として不適切な行動、保健・福祉施設での実習にふさわしくない態度、理由なき欠席・早退等がある場合は、本科目の単位を認めません。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教室 教材
第1回	授業オリエンテーション 学外実習オリエンテーション	中村	206
第2回	学外実習オリエンテーション 実習目標について	中村	206
第3回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第4回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第5回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第6回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第7回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第8回 10月9日	学内振り返り 実習記録	中村	206
第9回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第10回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第11回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第12回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第13回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第14回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第15回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第16回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第17回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第18回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等						教員	教室 教材
第19回	月 日 高齢者関連施設実習						中村 施設指導者	実習施設
第20回	月 日 高齢者関連施設実習						中村 施設指導者	実習施設
第21回	月 日 高齢者関連施設実習						中村 施設指導者	実習施設
第22回	月 日 高齢者関連施設実習						中村 施設指導者	実習施設
第23回	月 日 高齢者関連施設実習						中村 施設指導者	実習施設
第24回	高齢者関連施設実習 まとめ						中村	206
第25回	学外実習まとめ①						中村	206
第26回	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 B型事業所 実習	11月 5日 子ども領域施設 実習	11月 1日 子ども領域施設 実習	中村 施設指導者	実習施設
第27回	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 B型事業所 実習	11月 5日 子ども領域施設 実習	11月 1日 子ども領域施設 実習	中村 施設指導者	実習施設
第28回	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 B型事業所 実習	11月 5日 子ども領域施設 実習	11月 1日 子ども領域施設 実習	中村 施設指導者	実習施設
第29回	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 B型事業所 実習	11月 5日 子ども領域施設 実習	11月 1日 子ども領域施設 実習	中村 施設指導者	実習施設
第30回	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月 12日 子ども領域施設 実習	11月 12日 B型事業所 実習	11月 12日 B型事業所 実習	中村 施設指導者	実習施設
第31回	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月 12日 子ども領域施設 実習	11月 12日 B型事業所 実習	11月 12日 B型事業所 実習	中村 施設指導者	実習施設
第32回	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月 12日 子ども領域施設 実習	11月 12日 B型事業所 実習	11月 12日 B型事業所 実習	中村 施設指導者	実習施設
第33回	11月 19日 B型事業所 実習	11月 19日 子ども領域施設 実習	11月 19日 子ども領域施設 実習	11月 12日 子ども領域施設 実習	11月 12日 B型事業所 実習	11月 12日 B型事業所 実習	中村 施設指導者	実習施設
第34回	11月 19日 B型事業所 実習	11月 19日 子ども領域施設 実習	11月 19日 子ども領域施設 実習	11月 19日 生活介護 事業所実習	11月 19日 生活介護 事業所実習	11月 19日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第35回	11月 19日 B型事業所 実習	11月 19日 子ども領域施設 実習	11月 19日 子ども領域施設 実習	11月 19日 生活介護 事業所実習	11月 19日 生活介護 事業所実習	11月 19日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第36回	11月 19日 B型事業所 実習	11月 19日 子ども領域施設 実習	11月 19日 子ども領域施設 実習	11月 19日 生活介護 事業所実習	11月 19日 生活介護 事業所実習	11月 19日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等						教員	教室 教材
第37回	11月26日 子ども領域施設 実習	11月26日 B型事業所 実習	11月26日 B型事業所 実習	11月19日 生活介護 事業所実習	11月19日 生活介護 事業所実習	11月19日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第38回	11月26日 子ども領域施設 実習	11月26日 B型事業所 実習	11月26日 B型事業所 実習	11月26日 生活介護 事業所実習	11月26日 生活介護 事業所実習	11月26日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第39回	11月26日 子ども領域施設 実習	11月26日 B型事業所 実習	11月26日 B型事業所 実習	11月26日 生活介護 事業所実習	11月26日 生活介護 事業所実習	11月26日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第40回	11月26日 子ども領域施設 実習	11月26日 B型事業所 実習	11月26日 B型事業所 実習	11月26日 生活介護 事業所実習	11月26日 生活介護 事業所実習	11月26日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第41回	学外実習のまとめ②						中村	206
第42回	MTDLP 概論						中村	206
第43回	MTDLP 概論						中村	206
第44回	MTDLP アセスメント演習						中村	206
第45回	MTDLP アセスメント演習						中村	206
定期試験	なし							

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	地域作業療法学実習	2	90	実習	必修・選択	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途 他	地域作業療法学Ⅰ・Ⅱ 老年期作業療法学、社会福祉概論				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 後期	地域にある各施設の作業療法士が、施設の特性に応じた対象者の支援方法について教授します。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	地域作業療法に関連する実践を体験し、支援のあり方と作業療法士の役割を理解する。					
行動目標 (SBO)	1. 対象者の支援と作業療法士の役割を述べることができる。 2. 介護保険関連施設における対象者の支援と作業療法士の役割を述べることができる。 3. 地域支援の現場において、対象者との関わりを持つことができる。 4. 地域支援の多様な現場での作業療法士の役割を述べることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
地域作業療法はすべての年齢・障害が対象となる幅の広い分野です。作業療法士が働く場も多種多様です。本授業では、介護保険関連施設、在宅生活を送る方のための障害者総合支援法関連施設等での実習を行います。作業療法に関連する実践を体験し、地域における作業療法士の役割について学びます。学外実習では、対象者との関わりを持ち、学内で学んだことを実践する機会となります。事前準備をしっかりとし、作業療法学生として適切な行動をしましょう。 主体性を持って学ぶことを期待します。不明な点は、担当教員に確認してください。						
教科書・参考書						
教科書：地域作業療法学実習 講義資料 参考書：1・2年次で使用した教科書、授業資料						
受講時留意点、その他						
1. 12グループのローテーションによるスケジュールとなります。 2. 体調管理をしっかり行いましょう。 3. スケジュールは変更になる場合があります。デスクネッツ、掲示板を注意深く確認してください。 4. 授業内で伝達する注意事項を遵守してください。 5. 学外実習場面では、施設指導者の指示に従って行動をしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	実習各回ごとにレポートを提出。書式については各回ごとに指示する。 介護老人保健施設デイリーノート（30%）介護老人保健施設振り返りレポート（15%） 生活介護施設振り返りレポート（15%） 就労継続支援B型事業所（15%） 子ども関連施設振り返りレポート（15%） 生活行為向上マネジメントアセスメント演習シート（10%）				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	科目に対する関心、積極的な学習態度においては加点する場合があります。また、授業において清潔感のない身だしなみ等は減点対象とする場合があります。 特に学外実習において、ご利用者や外部講師への礼儀を欠く態度、社会人として不適切な行動、保健・福祉施設での実習にふさわしくない態度、理由なき欠席・早退等がある場合は、本科目の単位を認めません。				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等						教員	教室 教材
第1回	授業オリエンテーション 学外実習オリエンテーション						中村	206
第2回	学外実習オリエンテーション 実習目標について						中村	206
第3回	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 B型事業所 実習	10月 8日 子ども領域施設 実習	10月 5日 子ども領域施設 実習	中村 施設指導者	実習施設
第4回	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 B型事業所 実習	10月 8日 子ども領域施設 実習	10月 5日 子ども領域施設 実習	中村 施設指導者	実習施設
第5回	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 B型事業所 実習	10月 8日 子ども領域施設 実習	10月 5日 子ども領域施設 実習	中村 施設指導者	実習施設
第6回	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 B型事業所 実習	10月 8日 子ども領域施設 実習	10月 5日 子ども領域施設 実習	中村 施設指導者	実習施設
第7回	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 子ども領域施設 実習	10月 15日 B型事業所 実習	10月 15日 B型事業所 実習	中村 施設指導者	実習施設
第8回	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 子ども領域施設 実習	10月 15日 B型事業所 実習	10月 15日 B型事業所 実習	中村 施設指導者	実習施設
第9回	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 子ども領域施設 実習	10月 15日 B型事業所 実習	10月 15日 B型事業所 実習	中村 施設指導者	実習施設
第10回	10月 22日 B型事業所 実習	10月 22日 子ども領域施設 実習	10月 18日 子ども領域施設 実習	10月 15日 子ども領域施設 実習	10月 15日 B型事業所 実習	10月 15日 B型事業所 実習	中村 施設指導者	実習施設
第11回	10月 22日 B型事業所 実習	10月 22日 子ども領域施設 実習	10月 18日 子ども領域施設 実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第12回	10月 22日 B型事業所 実習	10月 22日 子ども領域施設 実習	10月 18日 子ども領域施設 実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第13回	10月 22日 B型事業所 実習	10月 22日 子ども領域施設 実習	10月 18日 子ども領域施設 実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第14回	10月 29日 子ども領域施設 実習	10月 29日 B型事業所 実習	10月 29日 B型事業所 実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第15回	10月 29日 子ども領域施設 実習	10月 29日 B型事業所 実習	10月 29日 B型事業所 実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第16回	10月 29日 子ども領域施設 実習	10月 29日 B型事業所 実習	10月 29日 B型事業所 実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第17回	10月 29日 子ども領域施設 実習	10月 29日 B型事業所 実習	10月 29日 B型事業所 実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第18回 10月31日	学外実習まとめ①						中村	206

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教室 教材
第19回	11月 5日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第20回	11月 5日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第21回	11月 5日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第22回	11月 5日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第23回	11月 5日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第24回 11月6日	学内振り返り 実習記録	中村	206
第25回	11月 12日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第26回	11月 12日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第27回	11月 12日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第28回	11月 12日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第29回	11月 12日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第30回	11月 19日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第31回	11月 19日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第32回	11月 19日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第33回	11月 19日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第34回	11月 19日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第35回	11月 26日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第36回	11月 26日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設

(R02-カリラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教室 教材
第37回	11月 26日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第38回	11月 26日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第39回	11月 26日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第40回 11月27日	老健・通所施設実習 まとめ	中村	
第41回 11月27日	学外実習まとめ①	中村	
第42回 12月12日	MTDLP 概論	中村	
第43回 12月12日	MTDLP 概論	中村	
第44回 12月12日	MTDLP アセスメント演習	中村	
第45回 12月12日	MTDLP アセスメント演習	中村	
定期試験	なし		

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	就業援助学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	野村めぐみ 山本晃弘 久野誠 富田靖子	地域作業療法学Ⅰ・Ⅱ、関連法規、各領域作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 後期	この科目は作業療法士が担当します。様々な領域での就労支援における作業療法の実務経験を基に教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法の対象者に対する就労における援助方法を理解する。					
行動目標（SBO）	1. 一般的な労働に関連する法律・制度が理解できる。 2. 障害者の就労に関連する法律・制度が理解できる。 3. 作業療法士が行う就労の評価と援助の方法が言える。 4. 各領域における就労援助の方法が理解できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
作業療法士が就労支援を行う上で必要な評価及び援助の方法論について学びます。法制度的な視点と作業療法士の専門的な視点の双方を、各領域のセラピストから教授いただきます。						
教科書・参考書						
参考資料：①就労支援の作業療法 基礎から臨床実践まで 医歯薬出版 ②ゼロから始める就労支援ガイドブック メジカルビュー社						
受講時留意点、その他						
援助方法を学ぶ前に、自身が働くこと、雇用されることについてイメージをして臨みましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	40	第1回～第4回の内容について、小テストを行います。				
レポート	60	第5回～第7回の内容について、レポートを実施します。正当な理由なく期日より遅れたものは0点とします。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	第8回にまとめテストを実施します。形成的評価とし評価には含めません。				
（合計）	100	小テストとレポートを合算して評価を出します。				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・就労支援とは コースオリエンテーション。働くことの意義を考え、援助者としての心構えを理解する。 【KW】自己実現、生活基盤の確保、人権、基本姿勢	野村	配布資料	
第2回	就労支援の歴史とプロセス、介入方法 職業リハビリテーションの変遷と基本的なプロセスを理解する。 【KW】職業リハビリテーション、歴史、職業準備性、IPS	野村	配布資料	
第3回	職業評価 就労支援における観察・面接方法の理解と、評価の種類を知る。【KW】インテーク、職業レディネスチェックリスト、職業適正検査、VPI職業興味検査、ワークサンプル法	野村	配布資料	
第4回	就労にかかわる法律、制度 就労支援及び労働に関わる法制度を理解する。制度の観点から就業援助を行う方法を学ぶ。【KW】障害者総合支援法、障害者雇用促進法、ハローワーク、リワーク	野村	配布資料	
第5回	就労支援の実践1-精神障害領域- 精神障害領域の就労支援における作業療法士の関わりを知る。	山本晃弘 先生	配布資料	
第6回	就労支援の実践2-身体障害領域- 身体障害領域の就労支援における作業療法士の関わりを知る。	久野誠先生	配布資料	
第7回	就労支援の実践3-一般企業- 一般企業の就労支援における作業療法士の関わりを知る。	富田靖子 先生	配布資料	
第8回	まとめ、問題演習 第1回～第7回のまとめ 【KW】国家試験問題	野村	配布資料	
定期試験	なし			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅰ	1	45	実習	必修	—
対象学科	担当教員					
作業療法学科	臨床実習教育者 市村紋子（実習調整担当者）、 学科教員	作業療法概論、作業療法評価学、作業療法評価学演習、基礎作業学、基礎作業学実習、専門基礎科目ほか				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。学校教員とともに医療・保健施設等の実習施設では施設先の作業療法士が講師を務め教育にあたります。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	医療・福祉従事者としての好ましい態度を身につける。					
行動目標（SBO）	・ 明るさ、節度、協調性をもって対象者・関係者と接することができる。 ・ 口頭及び書面での報告、連絡、相談ができる。 ・ 守秘義務を遵守できる。 ・ 時間や約束を守ることができる。 ・ 作業療法士の業務に具体的な関心を持つことができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
本科目は、学外施設での実習を中心に行い、前後に学内でのセミナーも実施する。実習施設では、クリニカル・クラークシップによる臨床実践を体験し、臨床的思考過程の教授を受ける。施設での実習期間中は、臨床実習教育者と学校教員とで連携して教育を実践する。学生の自ら学ぼうとする力、対象者を支援したいという動機づけが重要である。施設での実習中は、臨床実習教育者に相談しながら行うが、心配なことなどがあれば学校教員にも連絡する。実習中の記録、連絡には「臨床実習支援システム」を利用する。						
教科書・参考書						
1年次各科目で使用した教科書						
受講時留意点、その他						
施設内実習は12月8日（月）から12月12日（金）とする。平日を基本とするが、施設の勤務形態に応じ、原則として臨床実習教育者の勤務日に合わせる。服装は学校指定のユニフォームまたは実習施設から指定された服装とする。体調管理に努め、施設の規定に従い感染対策を講じる。家族を含め、発熱等の症状がある場合の実習の可否を臨床実習教育者に相談する。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合（％）	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	40％	臨床実習の体験について、実習後に学内でレポートを作成する。実体験を踏まえ、作業療法業務の初歩的理解を報告できているかどうかを採点する。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	60％	臨床実習教育者が記載した技能到達度、デイリーレポート、ポートフォリオ、教員が確認した施設内臨床実習中の状況を参照し、施設実習中の技能を教員がルーブリック形式で評定する。				
（合計）	100％	評定は、作業療法学科臨床実習単位認定会議にて決定する。				

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
実習前 セミナー	実習前セミナー（連絡事項・書類確認）	作業療法 学科教員		学内
実習前 セミナー	実習前セミナー（連絡事項・書類確認）	作業療法 学科教員		学内
第1日 12/8	オリエンテーション、施設見学、クリニカルクラークシップによる作業療法場 面の見学・補助	臨床実習 教育者 学校教員		実習施設
第2～5日 12/8- 12/12	クリニカルクラークシップによる作業療法場面の見学・補助、間接業務の 見学・実行（他部門の見学）、最終到達度チェックと臨床実習の振 り返り、フィードバック。	臨床実習 教育者 学校教員		実習施設
実習後 セミナー	連絡事項・書類確認	作業療法 学科教員		学内
実習後 セミナー	実習后面談・レポート作成	作業療法 学科教員		学内

<実習中の連絡等について>

- ・ 万が一、遅刻・早退・欠席及び事故発生の際には、臨床実習教育者に報告・相談するとともに、速やかに学校教員に報告をすること。
- ・ デスクネットの閲覧板をこまめに確認し、必ず確認ボタンを押下すること。必要に応じてコメントも記載する。
- ・ 連絡先 専門学校 富士リハビリテーション大学校
代表 Tel 0545-55-3888（平日の8:30－17:30）
実習期間用直通携帯番号（時間外）：080-6915-3888
代表E-mail：otdept@fj.morishima.ac.jp
- ・ 実習期間中の連絡には、「臨床実習支援システム」メール機能も活用する。

<災害発生時について>

- ・ 地震災害等警報が発令された場合には、臨床実習教育者と連絡を取り、基本的に自宅待機とする。
- ・ 台風等による警報発令時、または交通機関の不通等の際には、臨床実習教育者と連絡を取り、指示に従うとともに、通常の実習が行えない場合には、学校教員にも速やかに報告する。
- ・ 災害発生時に実習中で施設にいた場合は、臨床実習教育者の指示に従って行動する。途中帰宅等の対応となる場合は、学校教員にも速やかに報告する。
- ・ 災害発生時には、学校よりデスクネットςで通知が届く場合があるので、こまめに確認をする。デスクネットς上で安否確認が行われている場合は、必ず返信し、状況を報告する。

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅱ	4	180	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	臨床実習教育者 市村紋子（実習調整担当者）、 学科教員、非常勤講師（模擬患者）	各領域作業療法学、各領域作業療法学実習、作業療法評価学、作業療法評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 ＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は、作業療法士が行います。学内では作業療法士である教員が臨床での実習に対応する評価技術を教授します。施設内臨床実習では臨床の作業療法士が対象者への評価過程を教授します。					
授業目標 ＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法学生として適切な態度を習得し、身体障害領域の対象者への検査・測定が行える。					
行動目標（SBO）	・作業療法学生として適切な態度を習得する。 ・基本情報の収集、対象者のニーズの聴取、検査・測定を疾患特性に応じて模倣レベルで行える。 ・模倣レベルで検査、測定結果から問題点と利点を抽出し、評価結果の総括が行える。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
本科目は、学内での事前実習、施設での実習、学内での実習で構成される。実習施設では、クリニカル・クラークシップによる臨床実践を体験し、臨床的思考過程の教授を受ける。施設での実習期間中は、臨床実習教育者と学校教員とで連携して教育を実践する。学生の自ら学ぼうとする力、対象者を支援したいという動機づけが重要である。施設での実習中は、臨床実習教育者に相談しながら行うが、心配なことなどがあれば学校教員にも連絡する。実習中の記録、連絡には「臨床実習支援システム」を利用する。						
教科書・参考書						
臨床実習の手引き、2年次までの授業で使用したすべての教科書						
受講時留意点、その他						
施設内実習は4月14日（月）から5月7日（水）のうち15日間とする。平日を基本とするが、施設の勤務形態に並び、原則として臨床実習教育者の勤務日に合わせる。服装は学校指定のユニフォームまたは実習施設から指定された服装とする。体調管理に努め、施設の規定に従い感染対策を講じる。家族を含め、発熱等の症状がある場合の実習の可否を臨床実習教育者に相談する。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	10	施設内臨床実習後の学内実習で筆記試験を行う。内容は、脳血管障害または整形外科疾患の事例情報を参照し、疾患に応じた検査実施方法の計画とする。				
レポート	10	施設内臨床実習後の学内実習でレポートを作成する。内容は施設実習で記載した事例情報シートをもとにした問題点と利点の抽出とする。				
実技試験	50	施設内臨床実習後の学内実習でOSCEを実施する。内容は、脳血管障害または整形外科疾患の事例に対し、面接及び指定された検査の実施とする。				
プレゼンテーション						
その他	30	臨床実習教育者が記載した技能到達度、デイリーレポート、ポートフォリオ、教員が確認した施設内臨床実習中の状況を参照し、施設実習中の技能を教員がルーブリック形式で評定する。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	OSCE（身体障害領域）事例提示・演習 グループ間または教員の指導によって演習を行う	鈴木		OT実習 室 1
第2回	臨床実習Ⅱ 授業オリエンテーション 臨床実習Ⅱのスケジュールや課題の確認	市村		OT実習 室 1
第3回	評価技術実習 臨床に即した身体障害領域の検査・測定技術を実習形式で行う	鈴木		OT実習 室 2・3
第4回	評価技術実習 臨床に即した身体障害領域の検査・測定技術を実習形式で行う	鈴木		OT実習 室 2・3
第5回	臨床的思考演習 1 疾患特性に応じた検査実施の計画 面接及び基本的な検査について、疾患特性に応じた計画の立て方を学ぶ	市村		207
第6回	臨床的思考演習 2 問題点と利点の抽出 検査結果から問題点と利点を抽出する方法を学ぶ	市村		207
第7回	OSCE（身体障害領域）に向けた演習 グループ間または教員の指導によって演習を行う	中村		OT実習 室 2・3
第8回	OSCE（身体障害領域）に向けた演習 グループ間または教員の指導によって演習を行う	中村		OT実習 室 2・3
第9回	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	岡本, 間瀬 鈴木, 中村 市村, 非常 勤講師		OT実習 室 1・2・ 3
第10回	OSCE（身体障害領域）実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	市村		OT実習 室 2・3
第11回	OSCE（身体障害領域）実施・実技補充 OSCE実施に対し振り返りと実技補充を行う	間瀬		OT実習 室 2・3
第12回	実習前セミナー 実技練習	鈴木		OT実習 室 2・3
第13回	実習前セミナー 実技練習	鈴木		OT実習 室 2・3
第14回	実習前セミナー 連絡事項、書類確認	市村		OT実習 室 2・3
第15回	実習前セミナー 実習前準備・実技練習	中村		OT実習 室 2・3

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1週 4月14日-4 月18日	事前オリエンテーション クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第2週 4月21日-4 月25日	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 間接業務の実施。 学生・教育者による中間の体験チェックとフィードバック、後半の目標設定。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第3週 4月28日-5 月7日	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、間接業務の実行。 最終到達度チェックと実習の振り返り、フィードバック。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第16回	実習後セミナー 連絡事項・書類確認	市村		205
第17回	実習後セミナー 実習后面談、情報共有	市村		205
第18回	実習後 筆記試験	市村		205
第19回	実習後 レポート課題 実習で体験した情報をもとに事例レポートを作成する	市村		205
第20回	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	岡本, 間瀬 鈴木, 中村 市村, 非常勤 講師		OT実習 室 1・2・ 3
第21回	OSCE（身体障害領域）実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	市村		OT実習 室 2・3
第22回	実習後 レポート課題 修正 教員のフィードバックに基づきレポートを修正する	市村		205
第23回	実習後 レポート課題 報告 口頭で事例報告を行う	市村		205

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅲ	10	450	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	臨床実習教育者 市村紋子（実習調整担当者）、 学科教員、非常勤講師（模擬患者）	各領域作業療法学、各領域作業療法学実習、作業療法評価学、作業療法評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 後期	この科目は、作業療法士が行います。学内では作業療法士である教員が臨床での実習に対応する評価技術を教授します。施設内臨床実習では臨床の作業療法士が対象者への評価過程を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法学生として適切な態度を習得し、対象者への評価と結果の解釈、模倣レベルでの治療が行える。					
行動目標（SBO）	・作業療法学生として適切な態度を習得し、対象者との良好な関係が構築できる。 ・対象者に対して初期評価計画を立案し、実践できる。 ・模倣レベルで治療が実践できる。 ・評価結果から問題点と利点が抽出できる。模倣レベルでゴールとプログラムが設定できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
本科目は、学内での事前実習、施設での実習、学内での実習で構成される。実習施設では、クリニカル・クラークシップによる臨床実践を体験し、臨床的思考過程の教授を受ける。施設での実習期間中は、臨床実習教育者と学校教員とで連携して教育を実践し、学校教員は実習施設訪問を行う。学生の自ら学ぶとする力、対象者を支援したいという動機づけが重要である。施設での実習中は、臨床実習教育者に相談しながら行うが、心配なことなどがあれば学校教員にも連絡する。実習中の記録、連絡には「臨床実習支援システム」を利用する。						
教科書・参考書						
臨床実習の手引き、3年次前期までの授業で使用したすべての教科書						
受講時留意点、その他						
施設内実習は9月22日（月）から11月26日（水）のうち45日間とする。平日を基本とするが、施設の勤務形態に応じ、原則として臨床実習教育者の勤務日に合わせる。服装は学校指定のユニフォームまたは実習施設から指定された服装とする。体調管理に努め、施設の規定に従い感染対策を講じる。家族を含め、発熱等の症状がある場合の実習の可否を臨床実習教育者に相談する。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	10	施設内臨床実習後の学内実習で筆記試験を行う。内容は、①中枢神経疾患または整形外科疾患／統合失調症の事例情報をもとにした初期評価計画の立案・②同評価結果をもとにした問題点抽出及び単一の問題に対するゴール設定とする。				
レポート	10	施設内臨床実習後の学内実習でレポートを作成する。内容は施設実習で記載した事例情報シートをもとにした問題点の関連の考察、ゴール設定、プログラム立案とする。				
実技試験	50	施設内臨床実習後の学内実習でOSCEを実施する。内容は、脳血管障害または整形外科疾患の事例への初期評価実践、または統合失調症の事例との作業場面からニーズと精神・心理機能の評価とする。				
プレゼンテーション						
その他	30	臨床実習教育者が記載した技能到達度、デイリーレポート、ポートフォリオ、教員が確認した施設内臨床実習中の状況を参照し、施設実習中の技能を教員がルーブリック形式で評定する。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等		教員	教科書	教材 教室
第1回	臨床実習 授業オリエンテーション 臨床実習のスケジュールや課題の確認		市村		205
第2回	OSCE（身体障害領域）事例提示	OSCE（精神障害領域）事例提示	学科教員		205/OT1
第3回	臨床的思考演習事例に対する評価計画の立案 事例に応じて初期評価計画を立案する方法を学ぶ		市村		205
第4回	臨床的思考演習 初期評価のまとめ 評価結果から、問題点を考察し、ゴール設定・プログラム立案を行う方法を学 ぶ		市村		205
第5回	治療演習（身体障害領域） 評価から治療への展開と治療手段 を学ぶ	OSCE（精神障害領域）演習 OSCEの概要、実施に向けた提示	学科教員		OT1・ 2・3
第6回	治療演習（身体障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ	OSCE（精神障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	学科教員・ 非常勤講 師		OT1・ 2・3
第7回	OSCE（身体障害領域）演習 OSCEの概要、実施に向けた提示	OSCE（精神障害領域） 実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	学科教員		OT2・3 /OT1
第8回	OSCE（身体障害領域）演習 OSCEの概要、実施に向けた提示	治療演習（精神障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ	学科教員		OT2・3 /OT1
第9回	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	治療演習（精神障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ	学科教員		OT2・ 3,207/ OT1
第10回	OSCE（身体障害領域） 実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	治療演習（精神障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ	学科教員		OT2・3 /OT1
第11回	OSCE（身体障害領域） 実施後実技補充 OSCE実施に対し振り返りを行う	治療演習（精神障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ	学科教員		OT2・3 /OT1
第12回	実習前セミナー 連絡事項・書類配布		市村		OT1・ 2・3

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1週 9/22-9/26	事前オリエンテーション クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第2－4週 9/29-10/17	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第5週 10/20-10/24	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 間接業務の実施。 学生・教育者による中間の体験チェックとフィードバック、後半の目標設定。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第6－8週 10/27-11/14	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第9週 11/17-11/26	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、間接業務の実行。 最終到達度チェックと実習の振り返り、フィードバック。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等		教員	教科書	教材 教室
第13回	実習後セミナー 実習後面談・情報共有		市村		OT 2・3
第14回	実習後セミナー 連絡事項・書類確認		市村		OT 2・3
第15回	実習後 筆記試験		市村		205
第16回	実習後 レポート課題 実習で体験した情報をもとに事例レポートを作成する		市村		205
第17回	実習後セミナー 実技練習		学科教員		OT2・3
第18回	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	OSCE（精神障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	学科教員・ 非常勤講師		OT1・2・3 /OT1,207
第19回	OSCE（身体障害領域） 実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	OSCE（精神障害領域） 実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	学科教員		OT 2・3 /OT1
第20回	実習後 レポート課題 修正 教員のフィードバックに基づきレポートを修正する		学科教員		
第21回	実習後 レポート課題 報告 口頭で事例報告を行う		学科教員		
第22回	実習後 レポート課題 報告 口頭で事例報告を行う		学科教員		
第23回	実習後 レポート課題 報告 口頭で事例報告を行う		学科教員		

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅳ	10	450	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	臨床実習教育者 市村紋子（実習調整担当者）、 学科教員、非常勤講師（模擬患者）	各領域作業療法学、各領域作業療法学実習、作業療法評価学、作業療法評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 ＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 前期	この科目は、作業療法士が行います。学内では作業療法士である教員が臨床での実習に対応する評価・治療技術を教授します。施設内臨床実習では臨床の作業療法士が対象者への評価・治療過程を教授します。					
授業目標 ＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法学生として適切な態度を習得し、臨床実習教育者の指導の下、対象者への評価と結果の解釈、治療の実践と再評価が行える。					
行動目標（SBO）	・作業療法学生として適切な態度を習得し、対象者との良好な関係が構築できる。 ・対象者に対して初期評価計画を立案し、実践できる。 ・指導の下、評価結果を解釈して治療プログラムが立案できる。 ・指導の下、治療プログラムの実践ができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
本科目は、学内での事前実習、施設での実習、学内での実習で構成される。実習施設では、クリニカル・クラークシップによる臨床実践を体験し、臨床的思考過程の教授を受ける。施設での実習期間中は、臨床実習教育者と学校教員とで連携して教育を実践し、学校教員は実習施設訪問を行う。学生の自ら学ぼうとする力、対象者を支援したいという動機づけが重要である。施設での実習中は、臨床実習教育者に相談しながら行うが、心配なことなどがあれば学校教員にも連絡する。実習中の記録、連絡には「臨床実習支援システム」を利用する。						
教科書・参考書						
臨床実習の手引き、学内の授業で使用したすべての教科書						
受講時留意点、その他						
施設内実習は5月12日（月）から7月11日（金）のうち45日間とする。平日を基本とするが、施設の勤務形態に並び、原則として臨床実習教育者の勤務日に合わせる。服装は学校指定のユニフォームまたは実習施設から指定された服装とする。体調管理に努め、施設の規定に従い感染対策を講じる。家族を含め、発熱等の症状がある場合の実習の可否を臨床実習教育者に相談する。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	10	施設内臨床実習後の学内実習で筆記試験を行う。内容は、中枢神経疾患または整形外科疾患／統合失調症事例の評価結果からの問題点・利点の抽出、ゴール設定、プログラム立案と根拠の説明とする。				
レポート	10	施設内臨床実習後の学内実習でレポートを作成する。内容は施設実習で記載した事例情報シートをもとにした統合と解釈、ゴール設定・プログラム立案の根拠説明、治療経過の整理とする。				
実技試験	50	施設内臨床実習後の学内実習でOSCEを実施する。内容は、脳血管障害または整形外科疾患の事例への指定された治療プログラムの実践／統合失調症の事例との作業場面における治療的かわりとする。				
プレゼンテーション						
その他	30	臨床実習教育者が記載した技能到達度、デイリーレポート、ポートフォリオ、教員が確認した施設内臨床実習中の状況を参照し、施設実習中の技能を教員がルーブリック形式で評定する。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等		教員	教科書	教材 教室
第1回	臨床実習 授業オリエンテーション 臨床実習のスケジュールや課題の確認		鈴木		205
第2回	OSCE（身体障害領域）事例提示	OSCE（精神障害領域）事例提示	鈴木/野 村		OT2・3/ 205
第3回	臨床的思考演習 事例に対するゴール設定とプログラム立案 評価結果からゴールを設定とプログラム立案を行い、根拠を説明する		市村		205
第4回	臨床的思考演習 治療経過のまとめ 治療経過と再評価結果を整理し、治療効果について考察する方法を学ぶ		市村		205
第5回	治療演習（身体障害領域） 評価から治療への展開と治療手段 を学ぶ	治療演習（精神障害領域） 評価から治療への展開と治療手段 を学ぶ	鈴木/野 村		OT2・3/ 205
第6回	治療演習（身体障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ	OSCE（精神障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	鈴木/野 村		OT2・3/ 205
第7回	OSCE（身体障害領域）演習 OSCEの概要、実施に向けた提示	OSCE（精神障害領域）演習 OSCEの振り返り	間瀬/野 村		OT実1・ 2・3
第8回	OSCE（身体障害領域）演習 OSCEの概要、実施に向けた提示	OSCE（精神障害領域）演習 OSCEの振り返り	鈴木/野 村		OT実1・ 2・3
第9回	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	治療演習（精神障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ（4月25日）	学科教員・ 非常勤講 師		OT実2・ 3/OT実 1
第10回	OSCE（身体障害領域） 実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	治療演習（精神障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ（4月30日）	学科教員		OT実2・ 3/OT実 1
第11回	OSCE（身体障害領域） 実施後実技補充 OSCE実施に対し振り返りを行う	治療演習（精神障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ（4月30日）	学科教員		OT実2・ 3/OT実 1
第12回	実習前セミナー 連絡事項・書類確認		鈴木		OT実習 室 1
第13回	実習前セミナー 実習前準備・実技練習		鈴木		OT実習 室 1

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1週 5/12-5/16	事前オリエンテーション クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第2－4週 5/19-6/6	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第5週 6/9-6/13	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 間接業務の実施。 学生・教育者による中間の体験チェックとフィードバック、後半の目標設定。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第6－8週 6/16-7/4	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第9週 7/7-7/11	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、間接業務の実行。 最終到達度チェックと実習の振り返り、フィードバック。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等		教員	教科書	教材 教室
第14回	実習後セミナー 実習書類の提出、確認		鈴木		OT実習 室2・3
第15回	実習後セミナー 実習後面談・情報共有		鈴木		OT実習 室2・3
第16回	実習後 筆記試験		市村		205
第17回	実習後 レポート課題 実習で体験した情報をもとに事例レポートを作成する		市村		205
第18回	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	OSCE（精神障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	学科教員・ 非常勤講師		OT実習 室1・2・3
第19回	OSCE（身体障害領域） 実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	OSCE（精神障害領域） 実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	学科教員		OT実習 室1・2・3
第20回	実習後 レポート課題 修正 教員のフィードバックに基づきレポートを修正する		市村		205
第21回	模擬カンファレンス練習① カンファレンスの準備		市村		OT実習 室2・3
第22回	模擬カンファレンス練習② カンファレンスの準備		市村		OT実習 室2・3
第23回	模擬カンファレンス練習③ カンファレンスの実施 (PT学科・OT学科合同授業)		市村		講堂
第24回	実習後 レポート課題 報告 口頭で事例報告を行う		鈴木		OT実習 室2・3
第25回	実習後 レポート課題 報告 口頭で事例報告を行う		鈴木		OT実習 室2・3
第26回	実習後 レポート課題 報告 口頭で事例報告を行う		鈴木		OT実習 室2・3

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅴ	2	105	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科4年	臨床実習教育者 市村紋子（実習調整担当者）、 学科教員	各領域作業療法学、各領域作業療法学実習、作業療法評価学、作業療法評価学実習、地域作業療法学Ⅰ・Ⅱ、地域作業療法学実習			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標（GIO）	地域領域での作業療法士の役割と実践、多職種連携を理解する。				
行動目標（SBO）	・地域リハビリテーション領域における作業療法士の態度を理解する。 ・地域領域の作業療法過程を理解する。 ・地域領域での他職種の役割と、職種間の連携を理解する。				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
本科目は、学外施設での実習を中心に行い、前後に学内でのセミナーも実施する。実習施設では、クリニカル・クラークシップによる臨床実践を体験し、臨床的思考過程の教授を受ける。施設での実習期間中は、臨床実習教育者と学校教員とで連携して教育を実践する。学生の自ら学ぼうとする力、対象者を支援したいという動機づけが重要である。施設での実習中は、臨床実習教育者に相談しながら行うが、心配なことなどがあれば学校教員にも連絡する。実習中の記録、連絡には「臨床実習支援システム」を利用する。					
教科書・参考書					
臨床実習の手引き、学内の授業で使用したすべての教科書					
受講時留意点、その他					
施設内実習は8月18日（月）から8月29日（金）のうち10日間とする。平日を基本とするが、施設の勤務形態に応じ、原則として臨床実習教育者の勤務日に合わせる。服装は学校指定のユニフォームまたは実習施設から指定された服装とする。体調管理に努め、施設の規定に従い感染対策を講じる。家族を含め、発熱等の症状がある場合の実習の可否を臨床実習教育者に相談する。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合（％）	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験					
小テスト					
レポート	40	見学・体験した事例の情報を、一般社団法人日本作業療法士協会 生活行為向上マネジメントの「生活行為アセスメント演習シート」「生活行為向上プラン演習シート」の形式にまとめる課題を実施する。			
実技試験					
プレゼンテーション					
その他	60	臨床実習教育者が記載した技能到達度、デイリーレポート、ポートフォリオ、教員が確認した施設内臨床実習中の状況を参照し、施設実習中の技能を教員がルーブリック形式で評定する。			
（合計）	100	評定は、作業療法学科臨床実習単位認定会議にて決定する。			

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回	<u>実習前セミナー</u> 事前学習	鈴木		学内
第2回	<u>実習前セミナー</u> 事前学習	鈴木		学内
第3回	<u>実習前セミナー</u> MTDLPを用いた対象者情報の整理演習	中村毎		学内
第4回	<u>実習前セミナー</u> 連絡事項・書類確認	鈴木		学内

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1週 8/18-8/22	事前オリエンテーション 訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションの現場を理解する クリニカル・クラークシップによる臨床実践等、具体的な治療計画の教授、間接業務の実行、多職種連携の見学、	臨床実習 教育者 作業療法 学科教員		臨床実習 施設
第2週 8/25-8/29	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等、具体的な治療計画の教授、間接業務の実行、 最終到達度チェックとフィードバック、	臨床実習 教育者 作業療法 学科教員		臨床実習 施設

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第5回	<u>実習後セミナー</u> 連絡事項・書類確認	鈴木		学内
第6回	<u>実習後セミナー</u> 実習後面談・情報共有・レポート課題	鈴木		学内
第7回	<u>実習後セミナー</u> 発表	鈴木		学内
第8回	<u>実習後セミナー</u> 発表	鈴木		学内

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎理学療法学Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則/白井英彬	運動学Ⅰ・Ⅱ、解剖学実習Ⅰ・Ⅱ、リハビリテーション概論				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法に必要な基礎的知識を教授します。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法を理解するのに必要な基礎医学の知識を習得する。					
行動目標(SBO)	運動を学ぶ：骨・関節・筋の基本構造と機能、障害と基本的な理学療法を学ぶ。 理学療法の基礎を学ぶ：検査法、理学療法の定義・倫理観を学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目は、皆さんが初めて学ぶ専門科目です。 理学療法は、基本的な動作の回復を目標として行われます。ヒトの動作を実行するには、直接はたらく「骨・関節・筋」、それらに指令をあたえる「神経」、そして、身体活動のエネルギーを生み出す「呼吸・循環・代謝」の働きが不可欠です。この授業の前半では、そのうち「骨・関節・筋」の基礎を学んでいきます。後半は理学療法に必要な現場での知識、代表的な疾患や移動について学びます。 授業中に提示された重要項目・最重要項目は必ずその日のうちに復習を実施して下さい。患者さんのために必要な学力は、日頃の積み重ねによって作られます。復習が上手くできない、理解が進まない、という人には早めに相談して下さい。補習等に応じます。						
教科書・参考書						
教科書：なし。授業ごとに資料を配布						
受講時留意点、その他						
健康管理をしっかり行い、休まずに受講しましょう。身だしなみを整え、礼儀正しく受講しましょう。 予定・日程を変更する場合、掲示板またはデスクネッツでお知らせします。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	定期試験を実施します。100点満点で60点以上を合格とします。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	授業への積極的な参加、科目に対する興味・関心が良好 等は加点の対象とする場合があります。 無礼な態度、不適切な身だしなみ、受講中の居眠り、迷惑行為(受講中の私語、飲食、携帯電話の使用 等)、SNS等への授業についての公開 など 減点の対象とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	身体を表現する基本用語: 身体の一部、姿勢など表す専門用語を学ぶ。 予習として「解剖学的立位姿勢」を検索してみよう。 【KW】四肢・体幹・基本肢位・方位・姿勢 等 *	植田	配布資料	201
第2回	骨・関節の構造と機能: 骨・関節の基本構造、関節運動の表現を学ぶ。 予習として「関節の運動方向」を検索してみよう。 【KW】骨の構造・骨の役割・関節の構造・関節運動 等	植田	配布資料	201
第3回	骨格筋の構造と機能: 骨格筋の構造と筋収縮のしくみを学ぶ。 予習として「等尺性収縮・等張性収縮」を検索してみよう。 【KW】筋組織・筋の構造・筋の収縮機序・収縮様式 等	植田	配布資料	201
第4回	筋力 (muscular strength): 筋力の概念を学ぶ。 予習として「第1のテコ」を検索してみよう。 【KW】筋力を決める因子・モーメント・徒手筋力検査 等	植田	配布資料	201
第5回	関節可動域 (ROM): 関節の可動性を学ぶ。 予習として「ゴニオメーター」を検索してみよう。 【KW】関節の形状・参考可動域・関節可動域検査 等	植田	配布資料	201
第6回	関節と理学療法: 関節可動域制限に対する基礎的な理学療法を学ぶ。 予習として「熱の伝達」を検索してみよう。 【KW】関節可動域運動・温熱療法 等	植田	配布資料	201
第7回	運動器の基礎 ; 復習 I 骨・関節・筋 の基礎事項について復習する。	植田	配布資料	201
第8回	歩行の観察: 歩行の概要と異常歩行を学ぶ。 予習として「歩行周期」を検索してみよう。 【KW】重心・10M歩行スピード・異常歩行	植田	配布資料	201
第9回	ADLを支援する機器: 杖歩行の方法、杖の効果を学ぶ。 予習として「歩行補助具」を検索してみよう。 【KW】T杖・松葉杖・調整方法・股関節にかかる力 等	植田	配布資料	201
第10回	車椅子の基礎知識 車椅子の部位名称、操作方法、管理方法を学ぶ。 【KW】車椅子、ティップングレバー、空気圧	植田	配布資料	201
第11回	脳血管障害の基礎知識: 理学療法の対象となる代表的な疾患を学ぶ。 予習として「痙性」を検索してみよう。 【KW】片麻痺・脳卒中等	長田	配布資料	201
第12回	運動器疾患の基礎知識: 理学療法の対象となる代表的な疾患を学ぶ。 予習として「退行性変化」を検索してみよう。 【KW】骨折・変形性関節症・人工関節等	植田	配布資料	201
第13回	理学療法の定義: 理学療法士の業務、理学療法の法的定義を学ぶ。 予習として「基本的動作」を検索してみよう。 【KW】直接業務・間接業務・法的定義・欠格事由 等	植田	配布資料	201
第14回	理学療法の倫理: 理学療法士に必要な要素を学ぶ。 予習として「医療事故」のニュースを検索してみよう。 【KW】倫理観・個人情報保護・成人 等	植田	配布資料	201
第15回	運動器と理学療法 ; 復習 II 骨・関節・筋に対する理学療法と対象疾患を復習する。	植田	配布資料	201
定期試験	第1～15回の内容			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎理学療法学実習Ⅰ	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則	基礎理学療法学Ⅰ、リハビリテーション概論、機能診断学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法に必要な基本的な技術を教授します。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法学生としての好ましい態度を身につける。 患者に適切な礼節で対応できる。					
行動目標(SBO)	①障がい者の気持ちを体験し、表現できる。 ② 骨・関節・筋の基本構造と機能と基本的な理学療法を学ぶ。 ③患者に対して挨拶、自己紹介等ができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は、皆さんが初めて学ぶ実技科目です。 実技科目ですが、「対象者への接し方」を身につけることを主な目標とします。患者さんに接するには、技術の前に「態度」が大切です。どのような態度が求められるのか？皆さんはまだ分からないので、実技授業の中で身につけていきましょう。また、理学療法士が使用する機器の扱い方を知り、大事に取り扱うよう心掛けて下さい。 後半には技術面を習得する内容になります。授業中は、説明をしっかりと聴いて、より多くのクラスメイトと練習を繰り返しましょう。実技上達のためには、「繰り返す」「より多くの被験者に触る」が秘訣です。 週2～3回は必ず、放課後に実習室を利用して練習するように心がけましょう。実技の練習は一人ではできないので、友人と声をかけあい、協力して練習しましょう。						
教科書・参考書						
教科書:なし。必要に応じ、資料を配布						
受講時留意点、その他						
体調管理をしっかりして、休まずに受講しましょう。人に触れるので、感染症予防対策をとらなければなりません。また、医療を学ぶ学生として重要なことです。初回に手洗い、消毒方法、清潔について学習しますので、以後徹底できるように真剣に臨み早期に習慣化させましょう。 Tシャツ、ジャージで動きやすい服装で受講して下さい。Tシャツ、ジャージは落ち着いた色のものを着用。スウェット生地は禁止。 靴下は踝が隠れる白物とする。実習靴は白とする。爪は短く、頭髮は眉や耳にかからないようにしましょう。実習前後には必ず手を洗い、みだりに頭髮を触らないなど清潔に心がけましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	10	第4回レポート作成を評価する。評価基準は①提出期限を遵守できる②レポート規定を遵守できる③誤字脱字がない。以上3点となる。				
実技試験	50	患者対応、トランスファーを実施する。詳細な採点基準については実技試験2週間前に提示する。				
プレゼンテーション						
その他	40	授業態度、身だしなみ、教科書・教材の携帯状況、グループでの活動状況、授業まとめの記載状況から判断する。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・感染予防・理学療法士が使用する機器 手洗い、消毒方法を学ぶ。機能訓練室にある機器の特徴を学ぶ。 【KW】平行棒、ティルトテーブル、プラットフォーム、重錘	植田		機能訓練室
第2回	<u>障がい体験①:</u> 手足に障害を持った状態を疑似体験する。 【KW】車椅子・歩行・杖	植田		機能訓練室
第3回	<u>障がい体験②:グループディスカッション</u> 体験についてグループで話し合い、発表する。 【KW】ディスカッション・デモンストレーション・発表	植田		機能訓練室
第4回	<u>障がい体験③:レポート作成実習</u> 第3・4回の内容でレポートを作成し、作成のルールを覚える。 【KW】表紙・作成のルール・参考文献	植田		講堂
第5回	<u>関節運動の面と種類</u> 関節を動かし、運動の種類、面、軸を言えるようにする。 【KW】関節運動・基本面・運動軸	植田		機能訓練室
第6回	<u>筋の収縮様式</u> 筋の収縮様式を区別できるようにする。 【KW】求心性収縮・遠心性収縮・等尺性収縮 等	植田		機能訓練室
第7回	<u>関節可動域(ROM) 1</u> 症例の挨拶・説明・同意を得る方法、角度計の使用方法を学ぶ。 【KW】導入、説明と同意、角度計	植田		機能訓練室
第8回	<u>関節可動域(ROM) 2</u> ROM測定を体験し、上肢の関節の参考可動域を覚える。 【KW】肩・肘・手・参考可動域	植田		機能訓練室
第9回	<u>徒手筋力検査(MMT)</u> MMTを体験し、抗重力位、除重力位を覚える。 【KW】徒手抵抗・重力・自動運動・筋収縮	植田		機能訓練室
第10回	<u>歩行速度測定</u> 10M歩行速度等の測定を通し、歩行の時間因子を理解する。 【KW】10m歩行時間・歩行速度・歩行率	植田		機能訓練室
第11回	<u>杖の調節・車椅子体験</u> 杖の使い方、車椅子の部位、使用方法を学ぶ。 【KW】杖・歩行	植田		機能訓練室
第12回	<u>車椅子体験</u> 車椅子の調整方法、自操を学ぶ。 【KW】車椅子・駆動方法・整備	植田		機能訓練室
第13回	<u>動作介助1:動作介助の基本</u> ヒトの重心を感じる。 【キーワード】起立・着座動作、重心移動	植田		機能訓練室
第14回	<u>動作介助2:トランスファー</u> 【キーワード】車椅子、移乗方法、介助	植田		機能訓練室
第15回	<u>動作介助3:トランスファー</u> 【キーワード】車椅子、移乗方法、介助	植田		機能訓練室
定期試験	実技試験を実施する。課題は患者対応、トランスファー	植田		機能訓練室 治療室

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎理学療法学Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則/白井英彬	運動学Ⅰ、解剖学Ⅰ・Ⅱ、解剖学実習Ⅰ・Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法に必要な基礎的知識を教授します。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法を理解するのに必要な基礎医学の知識を習得する。					
行動目標(SBO)	運動のコントロールを学ぶ：中枢神経の構造と機能、障害を学ぶ。 理学療法の基礎を学ぶ：理学療法を実施する上で必要な骨・筋の触診ポイントを学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
理学療法は、基本的な動作の回復を目標として行われます。基礎PT学Ⅰでは「骨・関節・筋」を中心に学習しました。この科目の前半で、それらに指令をあたえる「神経」の基礎を学んでいきます。 後半は理学療法を実施する上で必要な骨・筋の触診ポイントを学びます。また、理学療法の基本的な方法についても一部学んでいきます。2年次以降の評価学・治療学に非常につながる内容ですので、是非、興味をもって受講して下さい。 授業中に提示された重要項目・最重要項目は必ずその日のうちに復習を実施して下さい。患者さんのために必要な力は、日頃の積み重ねによって作られます。復習が上手くできない、理解が進まない、という人には早めに相談して下さい。補習等にも応じます。						
教科書・参考書						
教科書:運動療法のための機能解剖学的触診技術 改訂第2版 下肢・体幹 上肢 電子版 MEDICL VIEW 参考書:筋骨格系触診マニュアル 改訂新版 ガイアブックス						
受講時留意点、その他						
健康管理をしっかり行い、休まずに受講しましょう。身だしなみを整え、礼儀正しく受講しましょう。 予定・日程を変更する場合、デスクネッツでお知らせします。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	定期試験を実施します。100点満点で60点以上を合格とします。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	授業への積極的な参加、科目に対する興味・関心が良好 等は加点の対象とする場合があります。 無礼な態度、不適切な身だしなみ、受講中の居眠り、迷惑行為(受講中の私語、飲食、携帯電話の使用 等)、SNS等への授業についての公開 など 減点の対象とします。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	神経細胞の構造と伝導・伝達 神経細胞の構造と伝導・伝達の仕組みを学ぶ。 【KW】ニューロン・伝導・神経線維・シナプス 等	白井		201
第2回	大脳の構造と機能 大脳の構造と機能局在を学ぶ。 【KW】大脳皮質・機能局在・大脳基底核・間脳 等	白井		201
第3回	脳幹・小脳・脊髄 脳幹・小脳・脊髄の構造と機能を学ぶ。 【KW】中脳・延髄・小脳・脊髄・脊髄神経 等	白井		201
第4回	反射のメカニズム 伸張反射のメカニズムを学ぶ。 【KW】伸張反射・筋紡錘	白井		201
第5回	随意運動 随意運動の基盤となる反射、伝導路を学ぶ。 【KW】伸張反射・筋紡錘・錐体路・錐体外路	白井		201
第6回	中枢神経の復習 第1～5回までの内容を復習する。	白井		201
第7回	筋骨格系の触診① 上肢の触診できる骨を学ぶ。 【KW】肩甲骨・上腕骨 等	植田	上肢	201
第8回	筋骨格系の触診② 上肢の触診できる骨を学ぶ。 【KW】橈骨・尺骨・手根骨 等	植田	上肢	201
第9回	筋骨格系の触診③ 上肢の触診できる筋を学ぶ。 【KW】腱板・上腕二頭筋・上腕三頭筋 等	植田	上肢	201
第10回	筋骨格系の触診④ 上肢の触診できる筋を学ぶ。 【KW】前腕伸筋群・前腕屈筋群 等	植田	上肢	201
第11回	筋骨格系の触診⑤ 下肢の触診できる骨を学ぶ。 【KW】骨盤・大腿骨 等	植田	下肢・体 幹	201
第12回	筋骨格系の触診⑥ 下肢の触診できる骨を学ぶ。 【KW】脛骨・腓骨・足根骨 等	植田	下肢・体 幹	201
第13回	筋骨格系の触診⑦ 下肢の触診できる筋を学ぶ。 【KW】大殿筋・大腿四頭筋・ハムストリングス 等	植田	下肢・体 幹	201
第14回	筋骨格系の触診⑧ 下肢の触診できる筋を学ぶ。 【KW】腓腹筋・ヒラメ筋・前脛骨筋・後脛骨筋 等	植田	下肢・体 幹	201
第15回	まとめ 第1～14回の講義内容を復習する。	植田		201
定期試験	実施する			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎理学療法学実習Ⅱ	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則/白井英彬	解剖学Ⅱ、解剖学実習Ⅰ、基礎理学療法学Ⅱ、機能診断学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法に必要な基本的な技術を教授します。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法学生としての好ましい身だしなみ、立ち居振る舞いが出来る。 血圧・脈拍測定が出来る。表層の筋・骨の触診が出来る。					
行動目標(SBO)	①血圧・脈拍測定に必要な動脈を触診することができる。 ②コロトコフ音を確認することができる。 ③血圧計を適切に扱うことができる。 ④ 骨・関節・筋の知識を基に各ランドマーク、部位を触診することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業では、前期に学んだ知識からさらに発展させていく実技科目です。 前半は対象者の血圧・脈拍測定を実施します。動脈の走行は個人差があります。適切な圧で触れなければ脈拍を測定できませんし、聴診器の当てるところも間違えてしまいます。冷静に手順に則り進められるようにして下さい。 後半は全身の骨・筋の触診をします。自分が触れようと思っている部位がどこにあるのか、どのくらいの大きさなのか解剖学の知識をいかして進めていきます。前期で不十分であった学生は授業前に必ず復習するようにして下さい。そのことで触れる時の圧が適切になり、対象者は心地よくリラックスでき、よりの確な位置を捉えることができるでしょう。授業中は、説明をしっかりと聴いて、より多くのクラスメイトと練習を繰り返しましょう。実技上達のためには、「繰り返す」「より多くの被験者を触る」が秘訣です。 週2～3回は必ず、放課後に実習室を利用して練習するように心がけましょう。実技の練習は一人ではできないので、友人と声をかけあい、協力して練習しましょう。						
教科書・参考書						
教科書:運動療法のための機能解剖学的触診技術 改訂第2版 下肢・体幹 上肢 電子版 MEDICL VIEW 参考書:筋骨格系触診マニュアル 改訂新版 ガイアブックス						
受講時留意点、その他						
体調管理をしっかりと、休まずに受講しましょう。 Tシャツ、ジャージなど動きやすい、相手が触れやすい服装で受講して下さい。Tシャツ、ジャージは落ち着いた色のものを着用。スウェット生地は禁止。 靴下は踝が隠れる黒・紺・灰・白とする。実習靴は白とする。爪は短く、頭髪は眉や耳にかからないようにしましょう。実習前後には必ず手洗いまたは消毒をし、授業中にはみだりに頭髪を触らないなど清潔に心がけましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験	90	血圧・脈拍測定と触診を実施する。詳細な採点基準については実技試験2週間前に提示する。				
プレゼンテーション						
その他	10	授業態度、身だしなみ、教科書・教材の携帯状況、グループでの活動状況から判断する。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	<u>バイタルサイン測定の基礎、実施</u> 血圧計の部位名称を言える。動脈を触診できる。 【KW】血圧、血圧計、聴診器、橈骨動脈、上腕動脈	白井		機能訓練室
第2回	<u>血圧、脈拍など測定 1</u> 血圧計の取扱を正しくできる。収縮期・拡張期血圧が確認できる。 【KW】安静時、血圧・脈拍測定、記録、聴診法	白井		機能訓練室
第3回	<u>血圧、脈拍など測定 2</u> 脈拍測定・血圧測定の手順がスムーズに行うことができる。 【KW】安静時、血圧・脈拍測定、記録、	白井		機能訓練室
第4回	<u>血圧、脈拍など測定 3</u> たくさんの同級生に測定できる。 【KW】座位、血圧、聴診法、触診法	白井		機能訓練室
第5回	<u>血圧、脈拍など測定 4</u> 一連の流れが提示された時間内で終了することができる。 【KW】安静時、血圧・脈拍測定、記録	白井		機能訓練室
第6回	<u>上肢の触診:肩甲骨、上腕骨</u> 肩関節周囲、肘周囲のランドマークを触れる 【キーワード】肩甲棘、肩峰、上腕骨頭、内側上顆、外側上顆	植田	上肢	治療室
第7回	<u>上肢の触診:前腕、手の骨</u> 前腕と手関節周囲のランドマークを触れる 【キーワード】肘頭、橈骨頭、茎状突起、手根骨	植田	上肢	治療室
第8回	<u>上肢の触診:肩甲骨・上腕の筋</u> 肩関節周囲と上腕の筋を触れる 【キーワード】回旋筋腱板、三角筋、上腕二頭筋	植田	上肢	治療室
第9回	<u>上肢の触診:前腕・手の筋</u> 前腕・手の筋を触れる 【キーワード】前腕屈筋群、前腕伸筋群、長母指伸筋	植田	上肢	治療室
第10回	<u>上肢の触診:復習</u> 第6～9回まで触診した骨・筋を触れる 【キーワード】全ての骨・筋	植田	上肢	治療室
第11回	<u>下肢の触診:骨盤、大腿骨</u> 骨盤、股関節のランドマークを触れる 【キーワード】ASIS、PSIS、腸骨稜、仙骨、大転子	植田	下肢・体幹	治療室
第12回	<u>下肢の触診:下腿、足の骨</u> 下腿・足部の筋を触れる 【キーワード】脛骨粗面、腓骨頭、内外果、舟状骨、第5中足骨	植田	下肢・体幹	治療室
第13回	<u>下肢の触診:骨盤・大腿の筋</u> 骨盤・大腿の筋を触れる 【キーワード】大殿筋、中殿筋、大腿筋膜張筋、縫工筋	植田	下肢・体幹	治療室
第14回	<u>下肢の触診:下腿・足部の筋</u> 下腿・足部の筋を触れる 【キーワード】腓腹筋、前脛骨筋、後脛骨筋、長腓骨筋	植田	下肢・体幹	治療室
第15回	<u>下肢の触診:下肢の復習</u> 第11～14回まで触診した骨・筋を触れる 【キーワード】下腿三頭筋、前脛骨筋、長短腓骨筋	植田	下肢・体幹	治療室
定期試験	バイタルサイン測定と触診の実技試験を実施する。	白井植田 他		機能訓練 室治療室

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	理学療法管理学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則	リハビリテーション概論、関連法規、理学療法教育学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 後期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	理学療法士としての技術力だけでなく、広義の「働き方」が注視され、個人のみならず組織としての管理が問われる時代になってきた。適切な理学療法サービスを効率よく安全に提供するための管理の視点を養う。					
行動目標（SBO）	1.各法律・保険制度について理解する。 2.権利擁護と職業倫理について理解する。 3.利用現場に関わるリスクマネジメント、危機管理を理解する。 4.他の医療職の専門性を理解し、チーム医療を学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
ここでは理学療法士としての知識・技術の向上だけでなく、実施するにあたってのリスクについて学んでほしい。また、社会に出るにあたり、必要な関係法規、職業倫理やモラルの理解、多職種理解を深め、理学療法士として相応しい品位を授業を通して身につけてほしい。						
教科書・参考書						
教科書：石川朗：15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト 理学療法管理学，中山書店，2020						
受講時留意点、その他						
グループワークでは積極的な参加を望む。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	0%					
小テスト	0%					
レポート	0%					
実技試験	0%					
プレゼンテーション	50%	各項目での発表内容で評価する				
その他	50%	授業の参加状況				
（合計）	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>専門職とチームケア 1</u> 【KW】専門職、養成課程、業務 各専門職について調べ、理解を深める。	植田	第3章	
第2回	<u>専門職とチームケア 2</u> 【KW】専門職、養成課程、業務 各専門職について調べた内容を発表する。	植田	第3章	
第3回	<u>保険・医療・福祉を取り巻く諸制度とマネジメント 1</u> 【KW】社会保険・医療保険・介護保険 理学療法士が関わる保険制度について調べてグループでまとめる。	植田	第4～6章	
第4回	<u>保険・医療・福祉を取り巻く諸制度とマネジメント 2</u> 【KW】社会保険・医療保険・介護保険 理学療法士が関わる保険制度について調べてグループでまとめる。	植田	第4～6章	
第5回	<u>診療・介護報酬と収益構造 1</u> 【KW】診療報酬・介護報酬 医療・介護の値段、診療報酬の支払の仕組みについて学ぶ。	植田	第7章	
第6回	<u>診療・介護報酬と収益構造 2</u> 【KW】労働契約法・労働基準法・給与 労働条件・給与の仕組みについて学ぶ。	植田	第 7 章	
第7回	<u>リスク管理 1</u> 【KW】コンプライアンス、インシデント、アクシデント 病院・施設でのリスクを学ぶ。	植田	第11, 12章	
第8回	<u>リスク管理 2</u> 事例を提示する。事象分析をグループで行う。	植田	第11, 12章	
第9回	<u>リスク管理 3</u> 事象分析した内容をグループごとに発表する。	植田	第11, 12章	
第10回	<u>リスク管理 4</u> 臨床に潜むリスクを列挙し、予防策を考える。	植田	第11, 12章	
第11回	<u>多職種連携 1</u> 事例を提示する。作業療法学生とリハビリの方針を立てる	植田	第 8, 9 章	
第12回	<u>多職種連携 2</u> 事例を提示する。作業療法学生とリハビリの方針を立てる	植田	第 8, 9 章	
第13回	<u>多職種連携 3</u> 仮想事例を用いて作業療法学生・看護学生とカンファレンス	植田	第 8, 9 章	
第14回	<u>多職種連携 4</u> 仮想事例を用いて看護学生とカンファレンス	植田	第 8, 9 章	
第15回	<u>多職種連携 5</u> 第 1 3, 1 4 回の内容を振り返る	植田	第 8, 9 章	
定期試験	実施しない			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	理学療法教育学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	白井英彬	理学療法管理学、研究法 リハビリテーション概論、コミュニケーション論				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 後期	この授業は理学療法士が担当します。理学療法士になる前までの学習のみならず、臨床現場で勤務してからの生涯教育に渡る理学療法教育について学びます。理学療法士として成長する過程で、どのような教育環境があるのか、関心を持っていただけるよう授業を展開していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	臨床実習から国家試験、生涯学習に至る教育体制について理解する。					
行動目標(SBO)	1, 卒前卒後教育、について理解する 2, 診療参加型実習、臨床実習の評価について学ぶ 3, 臨床実習教育、生涯学習について他者と意見交流ができる 4, 登録、専門、認定理学療法士について学ぶ					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業では、理学療法士になるまで、理学療法士になってから、の成長と教育の仕組みを学びます。これまでに経験してきた臨床実習がどのような成長の場であったのか、どのように評価されるものなのか、を振り返り、今後自身が指導者の立場になった場合、後進の成長・教育にどのように関わるべきかを考え学んでいきましょう。						
教科書・参考書						
参考書 石川朗, 長野聖著 15レクチャーシリーズ 理学療法管理学(中山書店)						
受講時留意点、その他						
自身が成長するプロセスだけでなく、他者への教育を考える授業です。 グループワークを都度設けますので、積極的かつ前向きな意見交換を心がけるとともに、今一度、傾聴の姿勢や相手の良い点を見つけるなど、医療人としてのコミュニケーションを意識してみてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	各授業におけるレポート課題にて評価する				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	教育管理 理学療法士教育の変遷、教育体制の歴史 【KW】卒前教育、卒後教育、新人研修プログラム	白井	配布資料	203
第2回	生涯学習 理学療法士として臨床現場に出たから学ぶこと 【KW】新人PTに対する教育、フォロー体制、登録・専門・認定理学療法士	白井	配布資料	203
第3回	OSCEについて OSCEの意義、他学校のOSCEなどについて OSCEを卒前教育から卒後教育に繋げるために有効な工夫を考える	白井	配布資料	203
第4回	臨床実習について 臨床実習の在り方について知る。指導者が意識すべき事項を学ぶ 実習指導者やスタッフとして、実習生と接する際の姿勢・態度を考える	白井	配布資料	203
第5回	診療参加型実習を考える【グループワーク課題作成】 自身が指導者、理学療法士の先輩になった時の教育への関わりを考える 実習指導者として、8週間のプログラムを考える 【KW】カリキュラムオーバーロード	白井	配布資料	203
第6回	教育する側になって考える教授法・心構え 様々な例に対し、教育する側としてどう接するべきなのかを考える 【KW】ティーチング、コーチング、ハラスメント	白井	配布資料	203
第7回	研究・学会参加 研究発表の意義、タイミングや機会、学会発表に向けて必要な準備などを学ぶ 実際の研究発表を聞く 【KW】県学会、日本理学療法学会大会	白井	配布資料	203
第8回	目指す理学療法士像【個人課題作成】 自身が学びたい専門分野を1つ挙げ、該当する専門性を向上させるためにどのような病院選択、就職活動、自己研鑽・研究活動をしていくかを考える	白井	配布資料	203

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	機能診断学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	望月里子、長田美紀	基礎理学療法学Ⅰ、Ⅱ 神経機能評価学、運動機能評価学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 後期	この講義は理学療法士が担当します。医療機関における実務経験を基に、理学療法評価の基礎を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法評価における各検査測定の位置づけとその基礎を学ぶ。					
行動目標(SBO)	①理学療法における評価の位置づけを知る。 ②各検査測定の理学療法における位置づけを知る。 ③各検査測定の基礎的な知識を学ぶ。 ④基本的な評価バッテリーを理解する。 ⑤評価結果の統合と解釈および治療計画立案までの理学療法評価の一連の課程を知る。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
本講義では理学療法における評価の基礎を学びます。評価は対象者の状態を知るための重要な位置づけとなっています。医療面接から検査・測定方法、および結果の解釈までの一連の流れを理解できるよう展開していきます。幅広く専門的知識を学ぶので、分からないことがありましたら担当教員に質問してください。						
教科書・参考書						
【教科書】内山靖・岩井信彦(編):標準理学療法学 専門分野 理学療法評価学 第4版.医学書院,2023 医療情報科学研究所:病気がみえるvol7.脳・神経 第2版.メディックメディア,2017 【参考書】PT・OTビジュアルテキスト リハビリテーション基礎評価学 潮見泰蔵・下田信明編 羊土社 2020						
受講時留意点、その他						
専門職としての思考・技術を構築するための基礎であると認識しながら受講できると良いでしょう。2年次の専門科目の基礎になる内容です。各講義の関連性を考え、2年次の授業に繋がるように理解を深めていきましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	後期末試験を実施。60点以上を合格の目安とする。				
小テスト	*	必要に応じて確認テストを行う。(成績には含めない)				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正答でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り、携帯電話の使用や飲食等の不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・総論 評価の位置づけとその概念について学ぶ。 【キーワード】仮説と検証、統合と解釈	望月	2～43 配布資料	
第2回	情報収集 情報収集の目的、種類、収集の仕方について学ぶ。 【キーワード】医療面接、医学的情報、社会的情報	望月	20～43 配布資料	
第3回	バイタルサイン、呼吸・循環機能の検査 バイタルサインの概要、呼吸器・循環器で行う検査測定について学ぶ。 【キーワード】血圧、意識、呼吸数	望月	44～49 配布資料	
第4回	姿勢と形態測定 形態測定の種類、四肢長・周径の測定基準を学ぶ。 【キーワード】ランドマーク、四肢長、周径	望月	50～59 配布資料	
第5回	関節可動域検査 関節可動域測定の目的、手順、記載方法を理解する。 【キーワード】自動運動、他動運動、代償動作	望月	60～90 配布資料	
第6回	筋力検査 筋力検査の種類、目的、方法を理解する。 【キーワード】筋力、筋収縮様式、MMT	望月	91～105 配布資料	
第7回	動作、歩行評価 動作や歩行の評価について知る。 【キーワード】歩行周期	望月	316～328 配布資料	
第8回	整形外科検査、痛みの評価 代表的な整形外科検査、痛みの評価の方法について学ぶ。 【キーワード】NRS、VAS	望月	216～224 配布資料	
第9回	感覚検査 感覚検査の定義、伝導路、障害、検査方法について学ぶ。 【キーワード】表在感覚、深部感覚	長田	106～117 配布資料	
第10回	反射・筋トーンス 代表的な反射検査、筋トーンス異常の検査方法や種類を学ぶ。 【キーワード】伸張反射、病的反射、痙縮・固縮	長田	118～127 配布資料	
第11回	片麻痺運動機能 随意性の障害を理解し、運動麻痺の評価の方法を知る。 【キーワード】BRS、共同運動、連合反応	長田	128～133 配布資料	
第12回	脳神経 脳神経の種類、代表的な検査方法について学ぶ。 【キーワード】運動神経、感覚神経、自律神経	長田	134～144 配布資料	
第13回	協調運動機能 協調運動機能検査、失調について学ぶ。 【キーワード】協調運動、四肢、体幹	長田	145～152 配布資料	
第14回	高次脳機能検査 脳の機能解剖と主要障害(失語・失行・失認)を理解する。 【キーワード】失語、失行、失認	長田	153～171 配布資料	
第15回	日常生活活動の評価 ADLの定義と分類を理解する。 【キーワード】ADLとAPDL、QOL、BI、FIM	長田	284～295 配布資料	
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動機能評価学	1	30	講義	必修	－
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	赤岩龍土、森梢、大沼賢洋	解剖学・運動学・機能診断学・運動機能評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法評価（特に形態測定・関節可動域検査・筋力検査）の目的や評価の仕方を授業していきます。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	四肢体幹における運動機能の基本的な検査・測定方法を理解する。					
行動目標（SBO）	①形態測定（肢長周径）の方法がわかる。 ②参考可動域を言える。関節可動域測定の方法がわかる。 ③教科書に準じた、徒手筋力検査法がわかる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
・本講義では、形態測定、関節可動域測定、筋力測定について原則や方法について学びます。 ・運動機能評価学は、解剖学や運動学を基礎とし、対象者の身体状況を把握することが目標となりますが、治療計画立案や治療プログラムの見直し、予後予測に至るまで関連しています。 ・1年生の「機能診断学」とも関連が深いので、しっかり復習することを推奨します。 ・運動機能評価学実習と併行して行うので、実技を行いながら授業を行う場合もありますが、知識と技術を結びつけるように心がけましょう。						
教科書・参考書						
教科書：標準理学療法学 専門分野 理学療法評価学 第4版（医学書院） 新・徒手筋力検査法原著第10版（協同医書出版） 参考書：1年生機能診断学で使用した配布資料						
受講時留意点、その他						
動きを確認しながら行う場合があるので、動きやすい服装で参加すること。 メジャー、ゴニオメーターは常に持参すること。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験	100	筆記試験。100点満点。60点を合格基準とする。 出題範囲 第1回～第15回の範囲				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	0	単元のまとめとして15分程度の演習問題を、全5回実施する。 ①第3回（下肢ROM t） ②第6回（下肢MMT） ③第9回（上肢ROM t） ④第11回（上肢MMT） ⑤第13回（体幹MMT、体幹ROM t）				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	<u>ガイダンス</u> 理学療法における「評価」の位置づけを理解する。 <u>形態測定</u> 四肢長を測定、記録をすることができる。	森	理学療法 評価学第5 版p2～25	202
第2回	<u>関節可動域測定下肢①</u> 股関節、膝関節の測定方法を理解する。	森	理学療法 評価学第5 版p51,52	202
第3回	<u>関節可動域測定下肢②</u> 足関節、足部の測定方法を理解する。 ※演習問題①	森	理学療法 評価学第5 版p53	202
第4回	<u>MMT下肢①</u> 股関節の測定方法を理解する。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第5回	<u>MMT下肢②</u> 膝関節の測定方法を理解する。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第6回	<u>MMT下肢③</u> 足関節、足部の測定方法を理解する。 ※演習問題②	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第7回	<u>まとめ①</u> 下肢の関節可動域測定とMMTの復習	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第8回	<u>関節可動域測定上肢①</u> 肩関節、肘関節、前腕の測定方法を 理解する。	森	理学療法 評価学第5 版p43～	202
第9回	<u>関節可動域測定上肢②</u> 手関節、頸部、体幹の測定方法を理解する。 ※演習問題③	森	理学療法 評価学第5 版p47,48	202
第10回	<u>MMT上肢①</u> 肩甲骨、肩関節の測定方法を理解する。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第11回	<u>MMT上肢②</u> 肘関節、前腕、手関節の測定方法を理解する。 ※演習問題④	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第12回	<u>MMT頸部</u> 頸部の測定方法を理解する。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第13回	<u>MMT体幹</u> 体幹の測定方法を理解する。 ※演習問題⑤	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第14回	<u>まとめ②</u> 上肢の関節可動域測定とMMTの復習	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第15回	<u>まとめ③</u> 上肢・下肢の関節可動域測定とMMTの復習	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動機能評価学実習	2	60	実習	必修	－
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	赤岩龍士、森梢、大沼賢洋	解剖学・運動学・機能診断学・運動機能評価学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法評価（特に形態測定・関節可動域検査・筋力検査）の手技を習得できるように授業していきます。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	基本的な検査・測定方法の手技を習得する。					
行動目標（SBO）	①医療人として求められる対人関係技能（コミュニケーション方法）を向上する。 ②四肢長及び周径をメジャー等を用いて正確に測定することができる。 ③ゴニオメーターを用い、関節可動域を正確に測定できる。 ④MMTを教科書に準じ、正確に実施することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
・本講義では、形態測定、関節可動域測定、筋力測定について実習を行います。理学療法を行う上で、検査測定は最も重要な技術といえ、患者さんがどのような状態にあるのか、どのような治療方法を選択するのか、治療が順調に進んでいるのかを把握するために正確かつ信頼性の高い技術を身につけることが目標となります。 ・検査測定は、性別や体格の違いなど対象者の身体状況に合わせ実施するので、多くの学生間で練習し、授業時間内でより多くの経験を積むよう心がけましょう。測定方法だけでなく、自分自身の身体の使い方がうまくできない場合などは、放課後など授業時間外でも質問を受け付けます。 ・臨床実習Ⅱ、Ⅲで求められる中心的な要素であり、患者さんに対して実施することになりますので、より意識を高め、礼儀や振る舞いなど十分に意識して臨んでください。						
教科書・参考書						
教科書：標準理学療法学 専門分野 理学療法評価学 第4版（医学書院） 新・徒手筋力検査法原著第10版（協同医書出版） 参考書：図解四肢と脊椎の診かた（医歯薬出版）　・1年生機能診断学で使用した配布資料						
受講時留意点、その他						
実技なので、爪を切り、手洗いを済ませて置くようにしてください。服装は動きやすい服装で参加すること。 メジャー、ゴニオメーターは常に持参すること。感染予防対策は徹底して行うこと。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	100	行動観察：第15.16回、29.30回の講義で、実技の習熟度を確認する。 ⇒内容：第15.16回：下肢ROM t、下肢MMT各1項目、 29.30回：上肢ROM t、上肢MMT各1項目				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	形態測定① 四肢長を測定、記録をすることができる。 【キーワード】上肢長、下肢長、左右差	森	理学療法 評価学第5 版p28～	治療室
第2回	形態測定② 周径測定を測定、記録をすることができる。 【キーワード】上腕周径、大腿周径、左右差	森	理学療法 評価学第5 版p28～	治療室
第3回	関節可動域測定下肢① 股関節の測定、記録をすることができる。	森	理学療法 評価学第5 版p53,54	治療室
第4回	関節可動域測定下肢② 膝関節の測定、記録をすることができる。	森	理学療法 評価学第5 版p54	治療室
第5回	関節可動域測定下肢③ 足関節の測定、記録をすることができる。	森	理学療法 評価学第5 版p55	治療室
第6回	関節可動域測定下肢④ 足部の測定、記録をすることができる。	森	理学療法 評価学第5 版p55	治療室
第7回	MMT下肢① 股関節屈曲の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第8回	MMT下肢② 股関節伸展、縫工筋、外転の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第9回	MMT下肢③ 大腿筋膜張筋、股関節内転、外内旋の測定、記録を することができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第10回	MMT下肢④ 膝関節の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第11回	MMT下肢⑤ 足関節の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第12回	MMT下肢⑥ 足の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第13回	総合評価技術練習 下肢の関節可動域測定、MMTを復習する。	赤岩 森	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第14回	総合評価技術練習 下肢の関節可動域測定、MMTを復習する。	赤岩 森	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第15回	まとめ 実技の確認	赤岩 森		治療室 機能訓練 室
第16回	まとめ 実技の確認	赤岩 森		治療室 機能訓練 室

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第17回	関節可動域測定上肢① 肩関節の測定、記録をすることができる。	森	理学療法 評価学第5 版p49,	治療室
第18回	関節可動域測定上肢② 肘関節、前腕の測定、記録をすることができる。	森	理学療法 評価学第5 版p49,50	治療室
第19回	関節可動域測定上肢③ 手関節の測定、記録をすることができる。	森	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第20回	関節可動域測定頸部体幹 頸部体幹の測定、記録をすることができる。	森	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第21回	MMT上肢① 肩甲骨の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第22回	MMT上肢② 肩関節の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第23回	MMT上肢③ 肘関節の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第24回	MMT上肢④ 前腕・手関節の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第25回	MMT頸部 頸部の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第26回	MMT体幹 体幹の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第27回	総合評価技術練習 上肢の関節可動域測定、MMTを復習する。	赤岩 森		治療室
第28回	総合評価技術練習 上肢の関節可動域測定、MMTを復習する。	赤岩 森		治療室
第29回	まとめ 実技の確認	赤岩 森		治療室 機能訓練 室
第30回	まとめ 実技の確認	赤岩 森		治療室 機能訓練 室
定期試験	定期試験期間中の試験は実施しない			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経機能評価学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	長田美紀、白井英彬、望月里子	基礎理学療法学、機能診断学、 中枢神経疾患理学療法学Ⅰ、Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、神経疾患に対する理学療法評価学を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	ヒトの神経機能が理解できるようになるために、検査の意義と結果の解釈について知る。					
行動目標（SBO）	①感覚検査の意義が言え、結果の解釈が出来る。 ②反射検査の意義が言え、結果の解釈ができる。 ③筋緊張検査の意義が言え、結果を解釈できる。 ④片麻痺運動機能検査の意義が言え、結果の解釈が出来る。 ⑤協調性検査の意義が言え、結果の解釈が出来る。 ⑥バランス検査の意義が言え、結果の解釈が出来る。 ⑦脳神経検査の意義が言え、結果の解釈が出来る。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目は、中枢神経ならびに末梢神経が障害を受けることに起因する症状に対し、その程度や状態を診るための検査・測定について深く学びます。 常に基礎知識を復習しながら、疾患や症状との関連性を考え、結果の解釈から治療に展開していく流れを理解できるようにしていきましょう。						
教科書・参考書						
教科書 『標準理学療法学 神経理学療法学第3版 電子版』（医学書院） 参考書 『病気が見えるVol.7脳・神経第2版』（メディックメディア）						
受講時留意点、その他						
授業中は受け身にならず、自ら積極的に考えたり発言してください。 予習、復習をしっかり行い、授業内での理解が深まるようにしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末の定期試験にて評価します。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション、神経基礎の復習 神経系ネットワークを解剖学的、生理学的に確認する。 【キーワード】 中枢神経系、上行性伝導路、下行性伝導路、	白井	4～52 98～100 112～117	202
第2回	感覚検査概要 感覚の分類と検査方法を理解する。 【キーワード】 感覚-知覚-認知、深部感覚、表在感覚	長田	112～125	202
第3回	伝導路からみる感覚障害の解釈 感覚の伝導路を理解し、障害部位から感覚障害が推測できる。 【キーワード】 後索路、外側脊髓視床路、感覚異常	長田	112～125	202
第4回	反射検査概要、メカニズム 反射検査の種類を知る。反射の伝導路を説明できる。 【キーワード】 深部腱反射・表在反射・病的反射・求心路・遠心路	長田	126～136	202
第5回	反射検査の解釈 反射検査の結果からの病巣部位を予測し、説明できる 【キーワード】 反射亢進、低下	長田	126～136	202
第6回	筋緊張検査概要、メカニズム 筋緊張の異常が分かる。筋緊張が生じるメカニズムを説明できる 【キーワード】 被動性検査・痙縮・α、γ運動線維	長田	126～136	202
第7回	筋緊張異常の解釈 筋緊張検査の結果を解釈し、運動の異常を理解する。 【キーワード】 痙縮・固縮、共同運動・連合反応	長田	126～136	202
第8回	片麻痺運動機能検査概要、メカニズム 片麻痺運動機能検査方法を知る。運動麻痺が生じるメカニズムを説明できる。 【キーワード】 BRS、SIAS、随意運動	長田	98～111	202
第9回	運動麻痺の解釈 片麻痺運動機能検査の結果を解釈し、運動の異常を理解する。 【キーワード】 運動麻痺、中枢性麻痺、錐体路兆候	長田	98～111	202
第10回	協調性検査 協調性の定義を理解し、協調性障害とその評価について学ぶ。 【キーワード】 運動失調、共同運動障害、測定障害、変換運動障害	長田	137～152	202
第11回	バランス能力を診る意義 姿勢制御の仕方とその評価、異常について理解する。 【キーワード】 姿勢制御機構、立ち直り反射、FRT、TUGテスト、FBS	長田	174～184	202
第12回	脳神経① 第Ⅲ～Ⅶ脳神経の伝導路を理解し、障害された際の症状が説明できる。	長田	病気がみえる 242～279	202
第13回	脳神経② 第Ⅲ～Ⅶ脳神経の伝導路を理解し、障害された際の症状が説明できる。	長田	病気がみえる 242～279	202
第14回	脳神経③ 第Ⅲ～Ⅶ脳神経の伝導路を理解し、障害された際の症状が説明できる。	長田	病気がみえる 242～279	202
第15回	復習 第1～14回までの内容を振り返る	長田	配布資料	202
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経機能評価学実習	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	望月里子 白井英彬 長田美紀	神経内科学、神経機能評価学 中枢神経疾患理学療法学・実習Ⅰ・Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に神経疾患に対する反射・筋緊張・感覚検査等の神経学的検査を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	神経学的検査が実施できるようになるために、神経学的検査の方法を身に付ける。					
行動目標(SBO)	①表在・深部感覚検査が実施できる ⑦脳神経検査が実施できる ②腱反射・病的反射が実施できる ⑧検査結果を記録することができる ④触診・被動性検査が実施できる ⑨検査結果について解釈することができる ⑤協調性検査が実施できる ⑩対象者の安楽と自身の立ち位置に配慮できる ⑥バランス検査が実施できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
実際に神経学的検査を実施していきます。検査結果の正確性を上げるために、多くの注意点が存在します。注意点を守れるようになるためには、正しい方法で沢山練習をするしかありません。学生同士で練習を行うと、その注意点がおざなりになります。担当教員に確認してもらうのが上達の早道です。						
教科書・参考書						
教科書 潮見泰蔵, 下田信明著 リハビリテーション基礎評価学 第2版(羊土社) 参考書 田崎義昭, 斎藤佳雄著 ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版 (南山堂)						
受講時留意点、その他						
服装は半袖、ハーフパンツとします。適切な身だしなみをして授業に臨んでください。 感染症予防習慣化のため、授業前に手洗いを実施し、実技相手が変わるごとに手指はアルコール消毒をしましょう。 衛生面に配慮(床に膝をつかない。床に物を置かないなど)しましょう。 実習中は患者に対して実施しているものと考え、真剣に取り組んで下さい。 実技試験① / 2限 実技試験② / 2限						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験	100	反射検査、感覚検査がどの程度注意点を守りつつ行えるか実技確認します。 正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・スマートフォンの使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とします。				
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	コースオリエンテーション、感覚検査(表在感覚) 表在感覚検査を実際に行う。 【キーワード】触覚、痛覚	白井	P177～194	治療室
第2回	感覚検査(深部感覚・複合感覚) 深部感覚検査、複合感覚検査を実際に行う。 【キーワード】位置覚、運動覚	長田	P177～194	治療室
第3回	感覚検査(深部感覚・複合感覚) 深部感覚検査、複合感覚検査を実際に行う。 【キーワード】位置覚、運動覚	長田	P177～194	治療室
第4回	感覚検査(症例・記載) 感覚障害から検査法を選択し実施する。結果を記録する。 【キーワード】半側障害、末梢神経障害、記載方法	長田	P177～194	治療室
第5回	反射(腱反射) 深部腱反射を実際に行う。【キーワード】上腕二頭筋反射、上腕三頭筋反射、 腕橈骨筋反射、膝蓋腱反射、アキレス腱反射	長田	P203～212	治療室
第6回	反射(表在反射・病的反射) 深部腱反射の増強法、病的反射を実際に行う。 【キーワード】ホフマン反射、トレムナー反射、バビンスキー反射	長田	P203～212	治療室
第7回	反射(表在反射・病的反射) 深部腱反射の増強法、病的反射を実際に行う。 【キーワード】ホフマン反射、トレムナー反射、バビンスキー反射	長田	P203～212	治療室
第8回	反射(記載) 深部腱反射、病的反射を行い記録を取る。	長田	P203～212	治療室
第9回	筋緊張(触診と被動性検査) 筋緊張を実際に確認していく。 【キーワード】触診、視診、被動性検査	望月	P213～217	治療室
第10回	筋緊張(懸振性・筋硬直・伸展性検査) 筋緊張を実際に確認していく。 【キーワード】懸振性検査、筋硬直の検査、伸展性の検査	望月	P213～217	治療室
第11回	感覚検査・反射検査・筋緊張検査 検査を一連の流れで行い、記録を取る。 【キーワード】表在・深部感覚、深部腱反射・被動性検査	望月	配布資料	治療室
第12回	片麻痺機能検査 Brunnstrom testを実際に行う。 【キーワード】共同運動、連合反応、分離運動	望月	配布資料	講堂
第13回	片麻痺機能検査 Brunnstrom testを実際に行い、記録を取る。 【キーワード】共同運動、連合反応、分離運動	望月	配布資料	治療室
第14回	バランス検査 バランス検査を実際に行う。 【キーワード】Romberg試験、座位・立位バランス、	望月	P279～306	治療室
第15回	協調性検査 脳神経検査 高次脳機能検査 協調性検査、第Ⅰ～Ⅻ脳神経検査、高次脳機能検査を実際に行う。	望月	P96～101 P308～319	治療室
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	画像評価学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	森梢、白井英彬、大沼賢洋	解剖学、生理学、運動学、整形外科学、神経内科学、運動器疾患PT学、中枢神経疾患PT学、内部疾患PT学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
4年次 後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、評価や治療を行う上で必要な画像の評価の仕方を身に付けることができるように授業をしていきます。					
授 業 目 標 * 詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	代表的な疾患を通して、画像所見と理学療法を結びつけることができる。					
行動目標(SBO)	1.画像の読影に必要な基礎的知識を述べることができる。 2.画像から所見を読み取ることができる。 3.読み取った画像所見から臨床所見を予測することができる。 4.国家試験の画像問題を解くことができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
本講義では、画像診断機器の基本原理と画像のみかたについて学びます。 レントゲン、MRI、CT、超音波画像診断装置などの機器の特徴や基本原理を学習しましょう。 また、理学療法介入、検査・測定の計画を立てる際、画像所見より患者の病態を踏まえることができるように学習しましょう。 学習が十分に進まないようでしたら相談をしてください。個別の指導を実施します。						
教科書・参考書						
教科書:PT/OT国家試験 必修ポイント2025 障害別PT治療学.医歯薬出版 参考書:PT・OT基礎から学ぶ画像の読み方 国試画像問題攻略 第3版.医歯薬出版						
受講時留意点、その他						
解剖学、生理学、運動学をベースとして、学んでいきます。 適宜、基礎科目の復習をしながら、理解を進めていきましょう。 授業開始前までに、該当する教科書のページ(分野)は目を通しておきましょう。 中枢神経疾患、運動器疾患、内部疾患を中心に勉強していきましょう。 1回ごとに復習を行い、画像に関する知識を習得するように取り組んでください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	1コマごとに授業の予習・復習をまとめたものを提出する。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	画像診断装置の原理と画像の構成 【KW】X線、MRI、T1強調、T2強調、FLAIR、CT * 脳の解剖を復習しておくこと。	森		
第2回	運動器疾患の画像診断①（上肢・脊柱） 【KW】骨折、脱臼、腱板断裂 * 上肢・脊柱に多い運動器疾患について復習して臨むこと。	森		
第3回	運動器疾患の画像診断②（下肢） 【KW】骨折、人工関節置換術、靱帯損傷 * 下肢に多い運動器疾患について復習して臨むこと。	森		
第4回	内部疾患の画像診断 【KW】無気肺、肺炎、気胸、大動脈瘤 * 循環器、呼吸器の解剖を復習して臨むこと。	森		
第5回	中枢神経疾患の画像診断① 【KW】脳解剖 * 脳の解剖を復習して臨むこと。	白井		
第6回	中枢神経疾患の画像診断② 【KW】脳卒中、脳血管異常 * 脳の機能局在を復習して臨むこと。	白井		
第7回	中枢神経疾患の画像診断③ 【KW】頭部外傷、脳腫瘍 * 脳の主要動脈と高次脳機能障害を復習しておくこと。	白井		
第8回	超音波画像診断装置の画像診断 【KW】超音波エコー、野球肘 * 野球肘について復習しておくこと	大沼		

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	動作分析学実習	1	45	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	白井英彬 森梢	運動学Ⅰ・Ⅱ、理学療法評価学実習 など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、姿勢・動作の評価方法と分析方法を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	姿勢や動作を観察する手法について学ぶ。 観察で得られた情報をまとめ、分析するための準備ができる。					
行動目標(SBO)	1. 正常な姿勢・動作のパターンやメカニズムを専門用語を使って説明できる。 2. 姿勢・動作の異常な部位がわかる。 3. 姿勢・動作の異常な部位を口頭で伝えることができる。 4. 一連の動作を口頭で伝えることができる。 5. 異常動作の特徴を相分けし、記録することができる。 6. 動作に伴う関節運動や筋活動について検討できる。 7. 疾患の背景を考慮して動作から評価項目を列举できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
動作分析は理学療法士が臨床で行う評価の一つです。本講義では観察から観察結果の記録までの一連の方法・手順について、起居動作・歩行を中心に学び、運動学的・運動力学的に分析していくための基礎となる知識を習得します。最初に教員から評価のポイントを説明し、皆さんを被験者とし、教員が具体的に観察した内容を口頭で伝えます。皆さんの理解度を見ながら授業を進めていきます。そのため、授業の進行が前後する可能性があります。発言を求められた場合、はっきりと答えて下さい。「わからない」でも構いません。そこから深めていきましょう。わからない時は積極的に教員に助言・指導を求めて下さい。						
教科書・参考書						
参考書：中村隆一（著） 「基礎運動学 第6版補訂」医歯薬出版、2015 中村隆一（編著） 「臨床運動学 第3版」医歯薬出版、2004 月城慶一 他（訳） 「観察による歩行分析」医学書院、2007 隈本庸夫（著） 「症例動作分析 動画から学ぶ姿勢と動作」ヒューマン・プレス 2017 など						
受講時留意点、その他						
身体の動きの観察が中心となりますので、動きやすい服装で参加して下さい。 毎回ではありませんが、授業内でスマートフォンを使用します。 マナーモードに設定の上、授業以外の目的で使しないよう留意しつつ、毎回持参してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	80	VTRを使用した動作分析（観察）を行い、記録内容で習熟度を確認する。 第1回目（ / ）40%、第2回目（ / ）40%で評価する。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	20	授業への積極的な参加（発言、反応など）を行動観察で評価する。				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション、姿勢・動作観察の基礎 動作分析の意義・目的、姿勢・動作分析の基礎、基礎用語の確認 【KW】アライメント、ランドマーク、重心、支持基底面	森	配布資料	講堂
第2回	姿勢観察の概要 立位を中心に姿勢観察 被験者をたて、教員が具体的に観察し伝える 【KW】見るポイント、理想的な姿勢、正常、異常	森	配布資料	講堂
第3回	姿勢観察 さまざまな立位・座位を観察する 【KW】姿勢アライメント、自立度、左右対称性	森	配布資料	講堂
第4回	姿勢観察と分析、記録 立位・座位を中心に観察した姿勢の記録の仕方を学ぶ 【KW】姿勢アライメント、自立度、左右対称性	森	配布資料	講堂
第5回	動作観察の概要 姿勢観察の違いを学ぶ。表現方法の違いを学ぶ 【KW】前額面、矢状面、スピード、安定性	白井	配布資料	講堂
第6回	立ち上がり・着座動作の観察① 姿勢観察の違いを説明できる。3相に相分けして考えることができる。 【KW】自立度、左右対称性	白井	配布資料	講堂
第7回	立ち上がり・着座動作の観察② 観察した基本動作を分割し、相ごとに特徴がわかる。 【KW】観察の相分け	白井	配布資料	講堂
第8回	立ち上がり・着座動作の観察③ 【動作観察の記録方法】 さまざまな立ち上がり動作を観察し、口頭のみで他者が再現できる。 【KW】動作再現、口頭指導、動作観察	白井	配布資料	講堂
第9回	歩行動作観察① 歩行を観察するうえで必要な知識の再確認① 【KW】歩行様式、歩行周期 (Rancho Los Amigos)、歩幅、歩隔	森	配布資料	講堂
第10回	歩行動作観察② 歩行を観察するうえで必要な知識の再確認② 【KW】正常歩行、関節運動、骨盤・体幹の運動	森	配布資料	講堂
第11回	歩行動作観察③ 歩行の全体像をとらえてみる。 【KW】見るポイント	白井	配布資料	講堂
第12回	歩行動作観察④ 立脚相と遊脚相で分け、それぞれの特徴をとらえてみる。 【KW】全体からポイントへ、矢状面・前額面	白井	配布資料	講堂
第13回	歩行動作観察と分析⑤ 細かく8相で分け、特徴をとらえてみる。 【KW】歩行様式、歩行周期 (Rancho Los Amigos)	白井	配布資料	講堂
第14回	歩行動作観察と分析⑥ 観察した内容からその原因を探る、必要な評価項目を列挙する 【KW】トップダウン、評価項目列挙	白井	配布資料	講堂
第15回	歩行動作観察と分析⑦ 観察した内容からその原因を探る、必要な評価項目を列挙する 【KW】運動連鎖、ウィンドラス機構、上肢の懸振	白井	配布資料	講堂
第16回	【歩行動作の観察・分析と記録方法】 VTRを使用した観察と記録。動作中の関節運動や筋活動を考える。 【KW】運動連鎖、代償動作、観察と考察	白井	配布資料	講堂

(R02-カリキュラム)

第17回	中枢疾患の姿勢・動作観察と分析① 代表的な中枢疾患の姿勢・動作の観察と分析の考え方を学ぶ。 【KW】CVA、痙性、弛緩性	白井	配布資料	講堂
第18回	中枢疾患の姿勢・動作観察と分析② 代表的な中枢疾患の姿勢・動作の観察と分析の考え方を学ぶ。 【KW】CVA、反張膝、ぶんまわし歩行	白井	配布資料	講堂
第19回	運動器疾患の姿勢・動作観察と分析① 代表的な運動器疾患の姿勢・動作の観察と分析の考え方を学ぶ。 【KW】骨折、変形性関節症、疼痛	森	配布資料	講堂
第20回	運動器疾患の姿勢・動作観察と分析② 代表的な運動器疾患の姿勢・動作の観察と分析の考え方を学ぶ。 【KW】骨折、変形性関節症、疼痛	森	配布資料	講堂
第21回	寝返り動作、起き上がり動作の運動学と観察 動作の観察内容を口頭で表現し、記録方法を学ぶ。 【KW】自立度、左右対称性	白井	配布資料	講堂
第22回	起き上がり動作の観察と分析 疾患特性を考慮し、動作から評価項目を検討する 【KW】相分け、異常動作	白井	配布資料	講堂
第23回	ADL動作の観察と分析 ADL動作の観察のポイントと分析、評価項目の検討 【KW】食事動作、更衣動作、整容動作	白井	配布資料	講堂
定期試験	立ち上がり動作観察 VTRを使用した動作観察を行い、記録する。	白井		講堂
定期試験	歩行動作観察・分析 VTRを使用した動作観察を行い、記録する。	白井		講堂

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	理学療法評価学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	森 梢/長田 美紀	基礎理学療法学Ⅰ・Ⅱ、機能診断学、 神経機能評価学、運動機能評価学、ほか				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法評価学の概要を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法評価の進め方、記録方法を学ぶ。					
行動目標(SBO)	1. 理学療法評価の流れが理解できる。 2. 評価結果を記録できる。 3. 教員の示す評価結果の解釈を専門用語を用い自らの言葉で表現できる。 4. 情報の取り扱いに留意できる。 5. 指導書のアドバイスを受け入れ行動できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は、臨床における理学療法の進め方と記録方法を学びます。 2年前期で学んだ評価学をよく復習し、授業に臨んでください。また、疾患特性や個別性を把握し、専門基礎分野についても復習してください。 授業のみで十分に理解し課題を遂行することは難しい場合があります。必要に応じ、担当教員に指導を求めましょう。(基本的にアポイントメントをとること。)						
教科書・参考書						
教科書:内山靖・岩井信彦(編)標準理学療法学 専門分野 理学療法評価学(第4版), 医学書院, 2023						
受講時留意点、その他						
この授業で取り扱う情報は個人情報であるため、取扱いには十分注意すること。 臨床実習支援システムへの入力時に扱うデータは、紛失や流出しないようしっかり管理すること。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験		なし				
小テスト						
レポート	100	臨床実習支援システムへの入力				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	授業への積極参加(挙手による質問や教員の問いかけに対する返答、自己学習に関する報告や相談、等)は最終的な成績判定でプラスに考慮します。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション 個人情報の取り扱い。理学療法評価の流れを理解する。 【キーワード】アセスメント、目標設定、個人情報保護	森	p2-17	普通教室
第2回	診療記録 理学療法の流れに合わせた診療記録の書き方・読み方を学ぶ。 【キーワード】診療記録、POS、SOAP、カルテ	森	配布資料	普通教室
第3回	診療記録の実際 評価結果を記録する 【キーワード】結果の書き方、統合と解釈、カルテ	森	配布資料	普通教室
第4回	演習Ⅰ 記録の整理 実施記録と指導内容の整理をする。 【キーワード】臨床実習支援システム、ポートフォリオ	森	配布資料	普通教室
第5回	演習Ⅱ 記録の解釈① 見学内容の整理と情報の解釈 【キーワード】臨床推論、仮説と検証	森	配布資料	普通教室
第6回	演習Ⅲ 記録の解釈② 記録と記録の解釈を進める 【キーワード】臨床推論、仮説と検証	森	配布資料	普通教室
第7回	演習Ⅳ 目標設定とプログラム立案 目標設定とプログラムの立案方法を学ぶ。 【キーワード】STG,LTG、理学療法プログラム、再評価	森	配布資料	普通教室
第8回	まとめ この授業を通じて学んだ内容を復習する。	森		普通教室

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	理学療法評価学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	大沼賢洋、白井英彬 長田美紀	理学療法評価学Ⅱ、運動機能評価学、神経機能評価学、 骨関節疾患理学療法学、中枢神経理学療法学など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、基本的な理学療法の評価や治療の仕方を身に付けることができるように授業をしていきます。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	臨床に対応した知識・技術を身につける。					
行動目標(SBO)	1. 評価の目的が理解できる。 2. 評価対象の障害構造について説明できる。 3. 評価対象に妥当性のある検査測定を選択し実施・評価できる。 4. 評価報告書を作成することが出来る。 5. 臨床思考能力を構築する。 6. リスク管理をすることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
1.この授業は仮想症例を通してこれまで学んできた検査測定を選択し、実施していきます。 2年前期で学んだ評価学をよく復習し、授業に臨むこと。 2.症例の疾患特性や個別性を把握しリスク管理しながら評価を進められるよう専門基礎分野についても復習すること。 3.授業中の実技練習では技術の習得は不十分であるため、放課後等利用し各自実技練習を進めること。 その際、担当教員に事前にアポイントをとっていただければ実技練習につき直接指導します。 4.グループ毎に取り組む授業もあり、グループ内での協調性を大切にし、授業に取り組むこと。 5.感染症対策として、手指消毒・換気などを徹底すること。						
教科書・参考書						
特に指定しない						
受講時留意点、その他						
実技なので、爪を切り、手洗いを済ませて置くようにしてください。服装は動きやすい服装で参加すること。 メジャー、ゴニオメーターは常に持参すること。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験	100	中枢神経疾患または整形外科疾患に対してOSCEを実施し、診療記録を作成。				
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	臨床思考整形外科疾患① 提示された仮想症例の評価項目・リスクを挙げることができる。	大沼賢洋		治療室
第2回	臨床思考整形外科疾患② 計画した評価を実施することができる。	大沼賢洋		治療室
第3回	臨床思考整形外科疾患③ 計画した治療を実施することができる。	大沼賢洋		治療室
第4回	臨床思考整形外科疾患④ 実施した内容から信頼性、妥当性を検討することができる。	大沼賢洋		治療室
第5回	臨床思考整形外科疾患⑤ 検討した内容から再評価を実施することができる。	大沼賢洋		治療室
第6回	臨床思考中枢疾患① 仮想症例に対し根拠を踏まえ評価項目を挙げることができる。	白井英彬		治療室
第7回	臨床思考中枢疾患② 計画した評価を実施することができる。	白井英彬		治療室
第8回	臨床思考中枢疾患③ 病態や障害構造を踏まえ、目標設定や治療仮説の立案、訓練実施 することができる。	白井英彬		治療室
第9回	臨床思考中枢疾患④ 実施した内容を記録し、信頼性、妥当性を検討して訓練の修正が できる。	白井英彬		治療室
第10回	臨床思考中枢疾患⑤ 一連の理学療法の流れがスムーズにできる。	白井英彬		治療室
第11回	実技練習① 中枢神経疾患・整形外科疾患に対して評価を実施することができる。	大沼賢洋		治療室
第12回	実技練習② 中枢神経疾患・整形外科疾患に対して評価を実施することができる。	大沼賢洋		治療室
第13回	実技練習③ 中枢神経疾患・整形外科疾患に対して評価を実施することができる。	大沼賢洋		治療室
第14回	まとめ① 中枢神経疾患、整形外科疾患の評価の進め方について振り返りを行 う。	大沼賢洋		治療室
第15回	まとめ② 中枢神経疾患、整形外科疾患の評価の進め方について振り返りを行 う。	大沼賢洋		治療室
試験	OSCE			治療室 機能訓練 室

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	総合理学療法評価学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	望月里子、植田英則、赤岩龍士、大沼賢洋、森梢、白井英彬、長田美紀	解剖学、生理学、運動学、整形外科学、神経内科学、運動機能評価学、神経機能評価学、日常生活活動学、運動器疾患PT学、中枢神経疾患PT学、内部疾患PT学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
4年次後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法の評価や治療の仕方を身に付けることができるように授業をしていきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法評価に必要な基礎的知識を高める。					
行動目標(SBO)	1. 理学療法に関連の深い基礎医学分野の知識を修得する。 2. 対象にあわせて必要な評価を理解することができる。 3. 基本的な検査・測定の知識を再確認する。 4. 運動器系・神経系・内部疾患系の基本的な検査方法を理解することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は現場で活かせる知識を身につける授業です。 特に関連の深い、運動器系、神経系、内部疾患系の内容を中心に学んでいきます。 また、理学療法評価の基礎となる検査・測定の部分においても復習していきます。 臨床実習で習得してきた技術・知識を確かなものとするため、身体を動かすことも交えながら学習していきます。 学習が十分に進まないようでしたら相談をしてください。個別の指導を実施します。						
教科書・参考書						
教科書:PT/OT国家試験 必修ポイント2026 基礎PT学.医歯薬出版						
受講時留意点、その他						
解剖学、生理学、運動学をベースとして、学んでいきます。 適宜、基礎科目の復習をしながら、理解を進めていきましょう。 授業開始前までに、該当する教科書のページ(分野)は目を通しておきましょう。 運動器系、神経系、内部疾患系を中心に勉強していきましょう。 1回ごとに復習を行い、画像に関する知識を習得するように取り組んでください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	定期試験を実施する。60点以上を合格の目安とする。 第1回～第11回全ての内容から出題する。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	オリエンテーション・検査測定① 徒手筋力検査(MMT)について学ぶ。 【キーワード】顔面筋のMMT・段階付け	望月里子	配布資料	
第2回	検査測定② 徒手筋力検査(MMT)について学ぶ。 【キーワード】主内在筋・足趾のMMT	望月里子	配布資料	
第3回	検査測定③ 徒手筋力検査(MMT)について学ぶ。 【キーワード】MMT・段階1～5・筋力・代償動作	望月里子	配布資料	
第4回	検査測定④ 関節可動域測定(ROM)について学ぶ。 【キーワード】手指・足趾のROM、参考可動域、代償動作	望月里子	配布資料	
第5回	検査測定⑤ 情報収集、全身状態の評価について学ぶ。 【キーワード】意識、呼吸、循環	望月里子	配布資料	
第6回	検査測定⑥ 各種疾患、障害別評価(運動器)について学ぶ。 【キーワード】関節リウマチ・腱板断裂損傷・靱帯損傷・股関節疾患	大沼賢洋	配布資料	
第7回	検査測定⑦ 反射・脳神経・歩行・感覚・痛みについて学ぶ。 【キーワード】反射・Brunnstrom法・運動神経伝導検査	望月里子	配布資料	
第8回	検査測定⑧ 整形外科テストについて学ぶ。 【キーワード】整形外科テスト・注意事項・陽性の基準	大沼賢洋	配布資料	
第9回	検査測定⑨ 各種疾患、障害別評価(中枢神経障害)について学ぶ。 【キーワード】脳血管障害・パーキンソン病・脊髄小脳変性症	望月里子	配布資料	
第10回	検査測定⑩ 日常生活活動(ADL)について学ぶ。 【キーワード】FIM・BI・QOL	白井英彬	配布資料	
第11回	検査測定⑪ 心身機能(小児の発達)について学ぶ。 【キーワード】反応・正常発達・発達検査	赤岩龍士	配布資料	
定期試験				
第12回	検査測定⑫ 筋の触察・筋長検査法 【キーワード】触診、筋収縮様式	植田英則 望月里子	配布資料	
第13回	検査測定⑬ 筋の触察・筋長検査法 【キーワード】触診、筋収縮様式	植田英則 望月里子	配布資料	
第14回	検査測定⑭ 筋の触察・筋長検査法 【キーワード】触診、筋収縮様式	植田英則 望月里子	配布資料	
第15回	検査測定⑮ 筋の触察・筋長検査法 【キーワード】触診、筋収縮様式	植田英則 望月里子	配布資料	

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動療法学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	森梢・植田英則・宮下正好	解剖学Ⅰ・Ⅱ、運動学Ⅰ・Ⅱ、運動療法学実習、運動機能評価学、神経機能評価学 など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験に加え、各分野においてより専門的な知識を持った任用資格の教員が、関節可動域訓練や筋力増強運動などを中心に各分野の運動療法の基礎知識を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	適切な治療を選択し実施するために、各運動療法の理論・目的・方法を説明できる。					
行動目標(SBO)	1. 関節可動域運動の具体的な方法を選択し、説明できる。 2. 筋力増強運動の具体的な方法を選択し、説明できる。 3. 全身持久力運動等 その他の代表的な運動療法の内容を説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
現代の理学療法において、運動療法学は最も大きな柱として位置づけられています。この授業では運動療法学において最も基本的な技術である関節可動域運動、筋力増強運動を中心に学習します。 また、授業は「運動療法学実習」と並行して進んでいきます。運動療法学で学んだ内容は実習前に復習しておくように心がけましょう。また、解剖学・運動学の知識は運動療法学の基盤なので、これらの科目の復習をし、統合しながら理解するように努めましょう。						
教科書・参考書						
教科書:吉尾雅春(監)「標準理学療法学 専門分野 運動療法学 総論 第5版」医学書院.2023 吉尾雅春(監)「標準理学療法学 専門分野 運動療法学 各論 第5版」医学書院.2023 参考書:市橋則明(編)「運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 第2版」文光堂.2014 石川 朗(編)「理学療法テキスト 運動療法学」中山書店.2014 石川 朗(編)「理学療法テキスト 内部障害理学療法学 呼吸 第2版」中山書店.2017						
受講時留意点、その他						
1. 授業冒頭でキーワード、行動目標を提示するので確認の上、受講すること。 2. 理解不十分な部分はそのままにせず、担当教員に相談すること。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を実施する。60点以上を合格の目安とする。 第1回～第15回までの全ての内容から出題する。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	第14回、第15回で演習問題(範囲は次ページ)を提示し、解説を行う。原則として成績には含まず、学習状況の確認のために実施。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	運動療法の基礎知識 運動療法の概念を理解する。 【KW】対象疾患、リスク管理、機能解剖 * 運動学全般の復習をして臨むこと。	植田	P2～13	202
第2回	関節可動域運動① 関節可動域運動に必要な基礎知識を学ぶ。 【KW】関節の形状、基本構造、エンドフィール * 解剖学、運動学で学んだ関節構造について復習すること。	植田	p14～31	202
第3回	関節可動域運動② 制限因子に対する治療手技の選択を学ぶ。 【KW】凹凸の法則、関節面、並進運動 * 関節の構造と共に、起始停止作用について復習すること。	植田	P146～162	202
第4回	老化と運動機能 運動と加齢の関連を学ぶ。適切な運動療法の選択。 【KW】筋力低下、骨量減少、転倒 * 骨の構造と高齢者に多い疾患を復習すること。	植田	各論P472～ 487	202
第5回	筋の構造と機能 筋収縮の機序と、筋力を規定する因子を理解する。 【KW】興奮収縮連関・形態要因・神経要因・筋線維組成 * 筋の収縮メカニズム、収縮様式を事前に復習。	森	p32～42 p136～143	202
第6回	筋力トレーニングの原則、分類 筋力増強運動の基礎理論を学ぶ。 【KW】原則・条件・最大筋力法・最大反復法・筋持久力 * 筋力増強における三大原則を復習しておくこと。	森	p163～171	202
第7回	筋力トレーニングの実践① 非荷重位での筋力増強運動の実践を学ぶ。 【KW】中殿筋・大腿四頭筋(SLR,PS)・腸腰筋・大殿筋 * 開運動連鎖、閉運動連鎖を復習して臨むこと。	森	P171～177	202
第8回	筋力トレーニングの実践② 荷重位での筋力増強運動の実践を学ぶ。 【KW】ペダリング・スクワット・立ち上がり・股外転筋CKC * 立ち上がり動作における筋活動を復習しておくこと。	森	P171～177	202
第9回	呼吸理学療法:排痰法 体位排痰法を理解する。 【KW】排痰に必要な要素・肺区域・排痰体位 他 * 肺の解剖(肺区域)を覚えておく	宮下	P96～113 各論 P348～368 +配布資料	202
第10回	持久力トレーニング 全身持久力の評価と運動強度の設定を理解する。 【KW】エネルギー代謝・運動負荷試験・運動強度 他 * ATP-PCr系について調べておく。	宮下	p125～135 p178～195	202
第11回	姿勢運動制御と運動学習 諸理論の理解と臨床応用を学ぶ。 【KW】スキーマ理論、システム理論、KRとKP、フィードバック * 運動学習について復習して臨むこと。	森	p59～77	202
第12回	姿勢障害・バランス障害に対する運動療法 障害の理解と運動療法を学ぶ。 【KW】システム理論、姿勢戦略、立ち直り反射 * 姿勢運動障害、姿勢アライメントについて復習して臨むこと。	森	p78～95 p207～229	202
第13回	疼痛に対する運動療法 疼痛の病態を理解し、臨床応用を学ぶ。 【KW】痛みの多面性、急性痛、慢性痛、VAS、NRS 他 * 痛みの分類、痛みの評価スケールを復習して臨むこと。	森	各論 p120～150 +配布資料	202
第14回	復習(1) 第1～4,9,10回の内容で演習問題を提示し、解説を行う。 * 上記範囲で学習した内容を復習して臨むこと。	森		202
第15回	復習(2) 第5～8,11～13回の内容で演習問題を提示し、解説を行う。 * 上記範囲で学習した内容を復習して臨むこと。	森		202
定期試験 7月25日	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動療法学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	森梢・植田英則・宮下正好	解剖学実習Ⅰ・Ⅱ、運動学Ⅰ・Ⅱ、基礎PT学実習Ⅰ・Ⅱ、運動療法学、運動機能評価学、など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験に加え、各分野においてより専門的な知識を持った任用資格の教員が、関節可動域訓練や筋力増強運動などを中心に各分野における運動療法の基礎となる技術を指導します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	関節可動域運動、筋力増強運動など、基本的な運動療法を実践することができる。					
行動目標(SBO)	1. 基本的なリスク管理ができる。 2. 運動療法に必要な基礎知識を述べることができる。 3. 適切な治療手技を選択できる。 4. 運動療法の基礎的技術を対象者に対し、正確に実践することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
1. 「運動療法学」と並行して進めていきます。講義内容を復習してから授業に臨むと理解が深まります。 2. 理学療法の実習の基礎となります。ここで症例の触れ方、肢位のとり方、セラピストの安定した姿勢、動かし方、力の入れ方をしっかり学んでください。 3. 授業中の実技練習だけでは技術の習得は不十分であるため、放課後等利用し各自実技練習を進めること。その際、担当教員に事前にアポイントをとっていただければ実技練習につき直接指導します。						
教科書・参考書						
教科書：吉尾雅春(監)「標準理学療法学 専門分野 運動療法学 総論 第5版」医学書院.2023 吉尾雅春(監)「標準理学療法学 専門分野 運動療法学 各論 第5版」医学書院.2023 参考書：市橋則明(編)「運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 第2版」文光堂.2014 石川 朗(編)「理学療法テキスト 運動療法学」中山書店.2014 石川 朗(編)「理学療法テキスト 内部障害理学療法学 呼吸 第2版」中山書店.2017						
受講時留意点、その他						
1. 授業は動きやすい服装で臨んでください。ただし、派手な色や柄は控えること。 (1年次基礎PT学実習Ⅰ・Ⅱの基準を参考にしてください。) 2. 実習中は病院・施設と思い、言葉遣いに注意し、真剣に取り組むこと。 3. 自分の周りを動きやすく、また周りを見て全員が動きやすくなるように環境整備に留意すること。 4. 授業前に手洗いをし、血圧・脈拍測定、体調聴取を実習相手と互いにして実習に臨むこと。 5. 実習中(放課後の自主練習を含む)は感染対策を十分に行うこと。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験	100	実技試験を実施。2週間前までに課題と確認ポイントを提示する。				
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	コースオリエンテーション ROM exercise① 感染症対策・バイタルチェック測定方法。ROMexの基本事項。 * バイタル測定の復習をしておくこと	植田	P2~13	治療室
第2回	ROM exercise、ストレッチング法② 上肢のROMex 【KW】肩甲骨、肩甲上腕関節、肘関節、手関節、手指 * 上肢の関節の種類や運動学を復習して臨むこと。	植田	p14~31	治療室
第3回	ROM exercise、ストレッチング法③ 下肢のROMex 【KW】股関節、膝関節、足関節、足部 * 下肢の関節の種類や運動学を復習して臨むこと。	植田	P146~162	治療室
第4回	ROM exercise、ストレッチング法④ 頭頸部・体幹のROMex 【KW】頭部、頸部、体幹 * 脊椎関節の解剖学、運動学を復習して臨むこと。	植田	P146~162	治療室
第5回	筋力増強運動 ① 基本的な運動と抵抗のかけ方。 【KW】自動運動・自動介助運動・抵抗運動 * 自動運動、他動運動の定義を復習しておくこと。	森	p32~42 p136~143	治療室
第6回	筋力増強運動 ② 筋力に応じた肢位、筋収縮の選択を学ぶ。 【KW】MMT・等尺性収縮・求心性収縮・遠心性収縮 * 筋収縮様式を復習して臨むこと。	森	p163~171	治療室
第7回	筋力増強運動 ③ 非荷重位での筋力増強運動の実際を学ぶ。 【KW】中殿筋・大腿四頭筋(SLR,PS)・棘上筋・棘下筋 * OKCの特徴を復習しておくこと。	森	P171~177	治療室
第8回	筋力増強運動 ④ 荷重位での筋力増強運動の実際を学ぶ 【KW】ペダリング・スクワット・立ち上がり・股外転CKC * CKCの特徴を復習しておくこと。	森	P171~177	治療室
第9回	呼吸理学療法:排痰法 排痰体位を覚える。排痰手技を体験する。 【KW】体位排痰法・スクイーピング * 肺の解剖(肺区域)を覚えておく	宮下	P96~113 各論 P348~368 +配布資料	治療室
第10回	持久カトレーニング運動処方と全身持久カトレーニングの方法を学ぶ。 【KW】カルボーネン法・PWC測定 * ATP-PCr系について調べておく。	宮下	p125~135 p178~195	機能訓練室
第11回	バランス障害に対する運動療法 バランストレーニングの方法を学ぶ。 【KW】運動戦略、平衡反応、バランスボード * システム理論について復習しておくこと。	森	P207~229	治療室
第12回	姿勢調節障害に対する運動療法 姿勢評価とアライメント 【KW】姿勢評価、運動連鎖、アライメント * 姿勢調節障害の概要について復習しておくこと。	森	p325-354	治療室
第13回	各疾患に対する代表的な運動療法 代表的な体操の目的、方法を学ぶ。 【KW】Mckenzie体操、Frenkel体操、Codman体操 * 体操の目的、方法を身体を動かしながら復習すること。	森	配布資料	治療室
第14回	筋力増強運動 ⑤ 第5回~第8回の復習 【KW】徒手抵抗運動・自動介助運動・口頭指示 * 第5~8回の内容を十分に練習して臨むこと。	森		治療室
第15回	ROM exercise、ストレッチング法⑤ 第1回~第4回の復習 【KW】肩甲上腕関節、肘関節、股関節、膝関節 * 第1~4回の内容を十分に練習して臨むこと。	植田		治療室
実技試験		森 植田		治療室 機能訓練 室

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	予防理学療法学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	赤岩龍土、森 梢、 小松 亮(非常勤講師)	生理学、内部疾患PT学、薬理・健康と栄養				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
4年次後期	この授業は健康増進認定理学療法士および健康運動指導士、第1種衛生管理者資格を持つ理学療法士が担当します。健康増進分野で理学療法士がどのように活動を行うかを学びます。					
授 業 目 標 * 詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	予防理学療法と健康増進分野について知る。					
行動目標 (SBO)	1 予防理学療法で必要とされる知識、技術を知る。 2 行政における健康増進事業について知る。 3 各分野における予防理学療法について知る。。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
予防理学療法は、国策でもある健康増進事業においても重要な位置づけと言えます。疫学や老年医学、フレイルやサルコペニア、各疾患の予防だけでなく、ウィメンズヘルスや産業保健に至るまで多岐にわたります。 様々な領域で共通することを踏まえつつ、理学療法士がどのような役割で、求められる専門性は何かと考えながら学習を進めてください。						
教科書・参考書						
【教科書】 予防理学療法学 (15レクチャーシリーズ理学療法テキスト) 中山書店						
受講時留意点、その他						
第7回 小松 亮 先生（富士整形外科病院） による講義を予定しています。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	「予防理学療法において自分自身が取り組めること」形式指定のレポート				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	コースオリエンテーション 本講義の目的、予防理学療法の定義について理解する 【キーワード】予防理学療法・健康寿命・高齢者問題	赤岩	第1章 P1～P10	203
第2回	予防理学療法の施策 日本の予防医学や健康増進事業について理解する。 【キーワード】健康日本21・行政事業・健康増進事業のPT	赤岩	第1章 P1～P10	203
第3回	ヘルスプロモーション ヘルスプロモーションについて理解する。 【キーワード】ヘルスプロモーション・一次、二次、三次予防	赤岩	第2,3章 P11～P33	203
第4回	老年医学と予防理学療法 フレイルとサルコペニアについて理解する 【キーワード】フレイル、サルコペニア、予防方法	赤岩	第4章 P35～P44	203
第5回	ウイメンズヘルス・メンズヘルス：基礎知識 ウイメンズヘルス・メンズヘルスに関わる基礎知識を学ぶ 【キーワード】産前産後・骨盤底筋トレーニング・骨盤底機能障害	森	第1 4章 P141～ P150	203
第6回	ウイメンズヘルス・メンズヘルス：産前・産後 産前・産後における理学療法について理解する 【キーワード】骨盤痛・腰背部痛・ADL指導・抱っこ紐	小松	第1 4章 P141～ P150	203
第7回	ウイメンズヘルス・メンズヘルス：骨盤底機能障害 骨盤底機能障害に対する理学療法について理解する 【キーワード】骨盤内臓器脱・排尿障害・骨盤底筋トレーニング	森	第1 4章 P141～ P150	203
第8回	産業理学療法とまとめ 産業理学療法について理解する 【キーワード】労働関連法規・産業保健・労働衛生	赤岩	第1章 P151～ P160	203

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	中枢神経疾患理学療法学Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	望月里子、内田成男、長田美紀	解剖学、神経内科学、脳神経外科学、神経機能評価学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 後期	この講義は、理学療法士が担当します。医療機関における実務経験を基に、脳血管障害患者に対する理学療法評価・治療について授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	脳血管障害の全般的な障害像と理学療法評価、治療介入の基本が理解できる。					
行動目標(SBO)	1.中枢神経系の機能解剖について説明できる。 2.脳血管障害(脳卒中)の基本的な病理および障害像が理解できる。 3.脳血管障害(脳卒中)に対する理学療法評価について説明できる。 4.脳血管障害(脳卒中)に対する基本的な理学療法介入が理解できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この講義は、理学療法の主要な対象疾患である脳血管障害について、医学的な基礎知識から理学療法の評価、統合と解釈までを学習していきます。中枢神経疾患理学療法学実習Ⅰと連携して講義を行いますので、関連付けて学習しましょう。1年生や2年生前期で学んだ解剖学、生理学、神経機能評価学などを復習し、また脳神経外科学、神経内科学などの臨床医学の知識も踏まえて、授業に臨んでください。復習だけでなく、予習も心掛けてください。						
教科書・参考書						
【教科書】森岡周(編)・阿部浩明(編):標準理学療法 専門分野 神経理学療法学第3版.医学書院,2022 【参考書】医療情報科学研究所:病気がみえるvol7.脳・神経 第2版.メディックメディア,2017 石川朗(総編)・大畑高司(編):15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト・神経障害理学療法学Ⅰ 第2版.中山書店,2020						
受講時留意点、その他						
適宜、必要な文献および資料を配布しますが、各自、必要な資料を調べる習慣を身につけましょう。授業内でも授業外でも質問を受け付けます。分からないことはそのままにしないようにしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	期末試験を実施し、60%以上の得点率を合格とする。				
小テスト	*	必要に応じて確認テストを実施する。(ただし、成績評定には含めない)				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正答でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り、携帯電話の使用や飲食等の不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	中枢神経系の機能解剖 脳の構造と機能を復習する。 【KW】脳の構造・機能局在、伝導路、大脳動脈灌流について	望月	4～52 配布資料	
第2回	脳卒中の分類 脳卒中の定義、分類、疫学、医学的治療と回復メカニズムについて概観する。 【KW】脳卒中の分類、疫学と病態、治療概略	内田	53～62 80～95 配布資料	
第3回	脳卒中における障害像の把握① 脳卒中における全身状態、意識障害、総合評価について理解する。 【KW】JCS、SIAS、FMA	望月	63～79 配布資料	
第4回	脳卒中における障害像の把握② 脳卒中における運動障害について理解を深める。 【KW】片麻痺、反射異常と筋緊張異常、共同運動、BRS	望月	98～125 配布資料	
第5回	脳卒中における障害像の把握③ 脳卒中における運動麻痺に評価方法について理解する。 【KW】痙縮、MAS	望月	126～136 配布資料	
第6回	脳卒中における障害像の把握④ 脳卒中における合併症について理解する。 【KW】感覚障害、視床痛、嚥下障害その他合併症(筋力低下)	望月	243～263 配布資料	
第7回	脳卒中における障害像の把握⑤ 脳卒中における異常姿勢や歩行障害の評価を理解する。 【KW】ウェルニッケマン肢位、分回し歩行、反張膝歩行、	望月	200～224 配布資料	
第8回	脳卒中における障害像の把握⑥ 脳卒中における代表的な高次脳機能障害について理解する。 【KW】失語、失行症、失認、Pusher、遂行機能障害	内田	153～199 配布資料	
第9回	小脳の機能と障害、評価 小脳の機能解剖と障害、評価について理解する。 【KW】協調運動障害、失調、バランス機能評価	内田	137～152 配布資料	
第10回	統合と解釈① 評価結果を統合、解釈する流れを学ぶ。 【KW】評価結果の解釈、アセスメント、問題点の抽出	望月	配布資料	
第11回	統合と解釈② 予後予測と目標設定のしかたについて学ぶ。 【KW】予後予測と目標設定	望月	配布資料	
第12回	脳卒中後片麻痺に対する理学療法の実践①急性期介入 急性期におけるリスク管理、離床開始基準、ポジショニングについて学ぶ。 【KW】リスク管理、離床基準、ポジショニング	望月	266～278 配布資料	
第13回	脳卒中後片麻痺に対する理学療法の実践①標準的治療介入 脳卒中後片麻痺患者への標準的治療介入について学ぶ。 【KW】一般的トレーニングと課題特異的トレーニング、電気刺激、ロボット、ボツリヌス	内田	279～290 配布資料	
第14回	脳卒中後片麻痺に対する理学療法の実践②回復期介入 回復期における介入の流れについて学ぶ。 【KW】装具療法、生活環境、ADL訓練	内田	291～305 配布資料	
第15回	まとめ、振り返り	望月	配布資料	
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	中枢神経疾患理学療法学Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	市村真樹	脳神経外科学、神経内科学、神経機能評価学、 中枢神経疾患理学療法学・実習Ⅰ・Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この科目は理学療法士が担当します。医療施設での実務経験を基に脳血管障害に対する理学療法治療学を教授します。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	脳血管障害に対する治療法について理解し、障害像に合わせた理学療法を説明することができる。					
行動目標（SBO）	1．脳血管障害の基本的な障害像が説明できる。 2．脳血管障害に対する基本的な理学療法が説明できる。 3．対象者の脳血管障害像を医学的に説明することができる。 4．対象者の脳血管障害像に合わせた理学療法を説明することができる。 5．実施した理学療法を理解し、治療立案の考え方を説明することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
この授業では理学療法の主要な対象疾患である脳血管障害について中枢神経疾患理学療法学実習Ⅱと共有し、中枢神経疾患の疾患特性に対しての治療実践、治療プログラムの立案法を紹介をします。						
教科書・参考書						
【教科書】石川　朗　総編集　神経障害理学療法学Ⅰ第2版．中山書店，2020． 【参考書】医療情報科学研究所　病気が見えるvol.7　第2版　脳・神経．メディックメディア，2017．						
受講時留意点、その他						
学習内容の理解が深まるように、受講準備（予習）を怠らないようにしてください。 講義だけでなく、体験や実技があります。常に実技ができる服装で参加してください。配布資料とはPDFと紙の資料を含めます。 PDFの場合、紙では配布しません。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験	100	前期末の定期試験にて評価します。				
小テスト		第5回、第10回、第15回終了後、オンラインにて小テストを行う。成績には含めない。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	＊	第15回で演習問題を実施し、解説を行う。				
（合計）	100%					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5/13	オリエンテーション、脳血管障害、中枢性運動障害の病態 【key word】脳卒中の疾患特性、筋緊張異常	市村真樹	p33～44 p55～64 Lecture4・6	203
第2回 5/19	脳の機能と脳のリハビリテーション 【key word】脳のリハビリテーション、一次運動野・一次体性感覚野	市村真樹	p11～32 Lecture2・3	203
第3回 5/26	脳卒中後片麻痺に対する理学療法① 治療理論と展開 【key word】評価と治療、セラピーサイクル	市村真樹		配布資料 203
第4回 5/30	脳卒中後片麻痺に対する理学療法② 運動麻痺・筋緊張の異常 【key word】片麻痺の回復、運動麻痺の解釈、痙縮の解釈	市村真樹	p55～64 Lecture6	203
第5回 6/2	脳卒中後片麻痺に対する理学療法③ 意識障害と感覚障害 【key word】意識障害、感覚障害、網様体賦活系・視床・中心後回・内包後脚	市村真樹	p65～74 Lecture7	203
第6回 6/6	脳卒中後片麻痺に対する理学療法④ 運動失調障害 【key word】失調・小脳虫部・小脳半球	市村真樹		配布資料 203
第7回 6/9	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑤ 注意障害・半側空間無視 1 【key word】注意障害、半側空間無視、前頭前野・頭頂葉・視床・上丘・下頭頂小葉・上側頭溝・前頭前野・視床枕・扁桃体	市村真樹	p107～118 Lecture11	PDF資料 203
第8回 6/13	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑥ 注意障害・半側空間無視 2 【key word】注意障害、半側空間無視、前頭前野・頭頂葉・視床・上丘・下頭頂小葉・上側頭溝・前頭前野・視床枕・扁桃体	市村真樹	p107～118 Lecture11	PDF資料 203
第9回 6/16	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑦ 失行・失認 【key word】失行、失認、失語、頭頂葉・縁上回・補足運動野・後頭葉・中心後回・左下前頭回・左上側頭回・角回・縁上回	市村真樹	p107～118 Lecture11	PDF資料 203
第10回 6/20	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑧ 歩行障害 【key word】片麻痺歩行、歩行訓練	市村真樹	p85～94 Lecture9	PDF資料 203
第11回 6/23	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑨ 亜脱臼 【key word】亜脱臼	市村真樹		配布資料 203
第12回 6/27	脳卒中後片麻痺に対する急性期の介入 【key word】開始基準と中止基準 pusher現象	市村真樹	p119～132 Lecture12	203
第13回 6/30	脳卒中後片麻痺に対する回復期の介入 【key word】セルフケア能力とADL自立	市村真樹	p133～142 Lecture13	203
第14回 7/4	脳卒中後片麻痺に対する理学療法の実際(1)急性期 【key word】リスク管理、早期リハビリテーション	市村真樹	p143～154 Lecture14	203
第15回 7/7	脳卒中後片麻痺に対する理学療法の実際(2)回復期 【key word】病棟ADL、ソフトランディング・ハードランディング	市村真樹	p155～166 Lecture15	203
定期試験 7/15	筆記試験（5択、記述、記号選択、その他）3限	市村真樹		

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	中枢神経疾患理学療法学実習Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	望月里子、内田成男、長田美紀	解剖学、神経内科学、脳神経外科学、神経機能評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 後期	この講義は、理学療法士が担当します。医療機関における実務経験を基に、脳血管障害患者に対する理学療法評価・治療について授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	脳血管障害の全般的な障害像を理解し、適切な理学療法評価が実践できる。					
行動目標(SBO)	1.脳血管障害に対する基本的な評価を対象者に説明し実施できる。 2.脳血管障害に対する基本的な評価の結果を記録できる。 3.脳血管障害に対する基本的な評価結果の解釈を理解できる。(助言により実践できる)					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この講義は、理学療法の主要な対象疾患である脳血管障害について、医学的な基礎知識から理学療法の評価、統合と解釈までを学習します。中枢神経疾患理学療法学Ⅰで学んだ内容をもとに理学療法評価、統合と解釈について学び、助言もとに実践していきます。 上記の講義内容についてしっかりと復習し講義に臨んでください。						
教科書・参考書						
【教科書】森岡周(編)・阿部浩明(編):標準理学療法 専門分野 神経理学療法学第3版.医学書院,2022 【参考書】医療情報科学研究所:病気がみえるvol7.脳・神経 第2版.メディックメディア,2017 石川朗(総編)・大畑高司(編):15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト・神経障害理学療法学Ⅰ 第2版.中山書店,2020						
受講時留意点、その他						
動きやすい服装で参加してください。頭髪、アクセサリー等は本校の規定を守るようにしてください。 適宜、必要な文献および資料を配布しますが、各自、必要な資料を調べる習慣を身につけましょう。 予習、復習を心がけ、分からないことは質問し、そのままにしないようにしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	10	授業内で提示した課題の提出・発表を評価に加える。				
実技試験	90	実技試験を実施し、60%以上の得点率を合格とする。				
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション、神経機能評価の復習 感覚評価、深部腱反射、筋緊張検査等の神経機能評価を復習する。 【KW】感覚評価、深部腱反射、筋緊張検査	望月	63～79 配布資料	治療室・ 機能訓練 室
第2回	脳卒中総合機能評価 脳卒中の総合機能評価について学ぶ。 【KW】SIAS (Stroke Impairment Assessment Set) 運動機能を中心に	内田	63～79 配布資料	治療室・ 機能訓練 室
第3回	片麻痺運動機能評価 上肢・手指の片麻痺運動機能評価を学ぶ。 【KW】Brunnstrom Recovery Stage test 上肢・手指	望月	63～79 配布資料	治療室・ 機能訓練 室
第4回	片麻痺運動機能評価 下肢の片麻痺運動機能評価を学ぶ。 【KW】Brunnstrom Recovery Stage test 下肢	望月	63～79 配布資料	治療室・ 機能訓練 室
第5回	姿勢障害の評価 脳卒中患者の姿勢障害、評価について学ぶ。 【KW】臥位、座位、立位	望月	配布資料	治療室・ 機能訓練 室
第6回	動作障害の評価① 脳卒中患者の寝返りから起き上がりまでの動作障害、評価について学ぶ。 【KW】寝返り～起き上がり(臥位～座位まで)	望月	配布資料	治療室・ 機能訓練 室
第7回	動作障害の評価② 脳卒中患者の立ち上がり、移乗等の動作障害、評価について学ぶ。 【KW】立ち上がり、移乗(座位～立位、移乗動作)	望月	配布資料	治療室・ 機能訓練 室
第8回	歩行障害の評価 脳卒中患者の歩行障害、評価について学ぶ。 【KW】分回し歩行、反張膝	望月	配布資料	治療室・ 機能訓練 室
第9回	バランス障害の評価 脳卒中患者のバランス障害、評価について学ぶ。 【KW】協調運動障害、失調、バランス機能評価	内田	137～152 配布資料	治療室・ 機能訓練 室
第10回	高次脳機能障害の評価 脳卒中患者の高次脳機能障害、評価について学ぶ。 【KW】半側空間無視、TMT、失語・失行・失認	内田	153～199 配布資料	治療室・ 機能訓練 室
第11回	仮想症例に対する理学療法評価の実践 仮想症例を提示し実際に評価を行う。 【KW】評価項目の列挙、評価の実践	望月	配布資料	治療室・ 機能訓練 室
第12回	評価結果の統合と解釈 第12回の評価結果をもとに統合と解釈、目標設定を行う。(グループワーク) 【KW】統合と解釈、目標設定	望月	配布資料	治療室・ 機能訓練 室
第13回	脳卒中後片麻痺に対する理学療法の実際① 急性期脳卒中患者への理学療法の実践について学ぶ。 【KW】リスク管理、離床基準、ポジショニング	望月	配布資料	治療室・ 機能訓練 室
第14回	脳卒中後片麻痺に対する理学療法の実際② 脳卒中患者への理学療法の実践について学ぶ。 【KW】課題指向型トレーニング	内田	配布資料	治療室・ 機能訓練 室
第15回	まとめ(ケーススタディ)	望月	配布資料	治療室・ 機能訓練 室
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	中枢神経疾患理学療法学実習Ⅱ	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	市村真樹	脳神経外科学、神経内科学、神経機能評価学、中枢神経疾患理学療法学・実習Ⅰ、中枢神経疾患理学療法学Ⅱ、他				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での実務経験を基に脳血管障害に対する理学療法治療学を教授します。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	脳血管障害の治療法について理解し、障害像に合わせた理学療法を実施することができる。					
行動目標（SBO）	1．脳血管障害の疾患特性と障害特性を理解できる。					
	2．脳血管障害の疾患特性と障害特性に適した治療法を体験できる。					
	3．脳血管障害の疾患特性と障害特性に適した治療法を模倣することができる。					
	4．脳血管障害の疾患特性と障害特性に適した治療法の解釈を体験することができる。					
	5．評価結果と整合性のある治療プログラムの立案を体験することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は中枢神経疾患理学療法学Ⅱで学んだ理論を実践します。中枢神経疾患の疾患特性に対しての治療実践、治療プログラムの立案法を体験し実践します。						
教科書・参考書						
【教科書】石川 朗 総編集 神経障害理学療法学Ⅰ 第2版. 中山書店, 2020.						
【参考書】医療情報科学研究所 病気が見えるvol.7 第2版 脳・神経. メディックメディア, 2017.						
受講時留意点、その他						
学習内容の理解が深まるように、受講準備（予習・復習）を怠らないようにしてください。						
実技中心です。常に実技ができる服装と身だしなみで参加してください。KCが必要な時は指示しますので用意してください。実技という性質上、学生各々で上達が異なります。補修を受けたい学生・技能が不十分な学生は受講時間を延長します。（任意参加）						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験	100%	身体操作・課題指向型EXの実技試験をそれぞれ実施する。				
プレゼンテーション						
その他		取り組みが積極的な態度の者は加点する。				
(合計)	100%					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5月13日	身体操作① 四肢体幹の観察・関節可動域訓練と方略 【key word】脳卒中の疾患特性、筋緊張異常	市村真樹		治療室 機能訓練室 補習あり
第2回 5月19日	身体操作② 姿勢観察・動作観察・動作訓練と方略（1） 【key word】評価と治療、セラピーサイクル	市村真樹		治療室 機能訓練室 補習あり
第3回 5月26日	身体操作③ 姿勢観察・動作観察・動作訓練と方略（2） 【key word】評価と治療、セラピーサイクル	市村真樹		治療室 機能訓練室 補習あり
第4回 5月30日	身体操作④ 運動麻痺・筋緊張の異常とその方略 【key word】筋緊張の異常、痙縮の解釈	市村真樹	p55～64 Lecture6	治療室 機能訓練室
第5回 6月2日	身体操作⑤ 意識障害・感覚障害とその方略 【key word】意識障害・感覚障害	市村真樹	p65～74 Lecture7	治療室 機能訓練室 補習あり
第6回 6月6日	身体操作⑥ 運動失調障害とその方略 【key word】運動失調・協調性障害	市村真樹		治療室 機能訓練室
第7回 6月9日	身体操作⑦ 注意障害・半側空間無視とその方略（1） 【key word】注意障害、半側空間無視	市村真樹	p107～118 Lecture11	治療室 機能訓練室 補習あり
第8回 6月13日	課題指向型EX① 注意障害・半側空間無視とその方略（2） 【key word】注意障害、半側空間無視	市村真樹	p107～118 Lecture11	治療室 機能訓練室
第9回 6月16日	身体操作⑧ 失行・失認とその方略 【key word】失行、失認、失語	市村真樹	p107～118 Lecture11	治療室 機能訓練室 補習あり
第10回 6月20日	課題指向型EX② 歩行訓練・異常歩行とその方略 【key word】片麻痺歩行、歩行訓練	市村真樹	p85～94 Lecture9	治療室 機能訓練室
第11回 6月23日	身体操作⑨ 亜脱臼の管理とその方略 【key word】亜脱臼	市村真樹		治療室 機能訓練室 補習あり
第12回 6月27日	課題指向型EX③ 上肢の機能回復とその方略 【key word】片麻痺の上肢の機能回復（ミラーセラピー）	市村真樹		治療室 機能訓練室
第13回 6月30日	課題指向型EX④ 下肢の機能回復とその方略 【key word】片麻痺の下肢の機能回復（傾斜板）	市村真樹		治療室 機能訓練室 補習あり
第14回 7月4日	課題指向型EX⑤ 急性期・回復期の介入と方略（1） 【key word】起き上がり・座位・立ち上がり・その他	市村真樹	p119～142 Lecture12・13	治療室 機能訓練室
第15回 7月7日	課題指向型EX⑥ 急性期・回復期の介入とその方略（2） 【key word】起き上がり・座位・立ち上がり・その他	市村真樹	p143～166 Lecture14・15	治療室 機能訓練室
実技試験 第1回	実技試験：身体操作 7月24日1限～4限	市村真樹		治療室 機能訓練室
実技試験 第2回	実技試験：課題指向型EX 7月25日1限～4限	市村真樹		治療室 機能訓練室

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経・筋疾患理学療法学I	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	白井英彬	解剖学I、解剖学II、運動学、基礎理学療法学 機能診断学、義肢装具学など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実施経験を基に、 脊髄損傷に対する知識、日常生活における介助・指導方法を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	脊髄損傷の基本的知識、障害、理学療法の方法を理解する					
行動目標 (SBO)	1. 脊髄損傷の疾患特性を説明することが出来る 2. 脊髄損傷の障害特性を説明することが出来る 3. 脊髄損傷の合併症を説明することが出来る 4. 脊髄損傷の起居動作を模倣することが出来る 5. 脊髄損傷に対応したトランスファーを実施することが出来る 6. 脊髄損傷の社会復帰に関わる理学療法士の役割を理解することが出来る					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
脊髄損傷の障害には様々な合併症が存在します。理学療法士は、合併症の発生機序を理解し社会復帰を目的に機能回復と能力の再獲得を目指します。本授業では、脊髄損傷の理学療法に必要な基礎知識の定着と、臨床現場で行なわれている理学療法アプローチを知ることが目的とします。 座学での知識をもとに、基本的な身体への触り方や訓練指示の仕方等も実演していきます。						
教科書・参考書						
教科書：標準理学療法学 専門分野 神経理学療法学 第3版＊2 配布資料						
受講時留意点、その他						
体調管理をしっかり行い、休まずに受講して下さい。内容、時間割を変更することがあります。その際は、掲示板、デスクネットなどでお知らせします。注意して見ておくようにして下さい。 また、実際に患者への指導や動作の模倣などをする授業では長坐位姿勢を長く保持する場面もありますので、腰痛等ある場合は無理せず、事前に相談するか、授業内に報告するようにしてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	後期末試験（脊髄損傷）で60点未満の者は再試験を実施する				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		科目に対する興味、関心、学習に対する積極性が良好な場合、加点の対象とする場合がある。 授業に対する迷惑行為、清潔感にける身だしなみなどは減点の対象とする場合がある。 正当でない理由での欠席は減点の対象とする場合がある。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	コースオリエンテーション（前半） 脊髄損傷の疾患特性・障害特性（後半） 前半は、この講義の目的、目標、スケジュールなどを確認、理解する 後半は、脊髄損傷がどのような疾患でどのような障害が特徴なのか理解する	白井	配布 プリント	202
第2回	脊髄損傷の理学療法① 脊髄・脊椎の解剖 中枢・末梢神経、伝導路、 自律神経の理解 疾患を捉えるうえで必要な解剖知識の確認と、中枢神経・伝導路の復習 【キーワード】脊髄、脊椎、中枢・末梢神経、自律神経、伝導路	白井	配布 プリント	202
第3回	脊髄損傷の理学療法② 急性期、亜急性期の治療・呼吸器合併症 急性期、の治療を理解する。呼吸管理を必要とする病態を理解する 【キーワード】脊髄ショック、合併症	白井	配布 プリント	202
第4回	脊髄損傷の理学療法③ 褥瘡・排尿排便障害・痙性・拘縮・異所性骨化 脊髄損傷における二次的障害を理解する 【キーワード】褥瘡・徐圧、尿路管理、排便訓練、ROM訓練	白井	配布 プリント	202
第5回	脊髄損傷の理学療法④ 障害の評価と予後予測 その1 機能障害の評価、能力障害の評価と予後予測を考える 【キーワード】ASIA、フランケルの分類、ザンゴリーの分類	白井	配布 プリント	202
第6回	脊髄損傷の理学療法⑤ 障害の評価と予後予測 その2 機能障害の評価、能力障害の評価と予後予測を考える 【キーワード】ASIA、フランケルの分類、ザンゴリーの分類	白井	配布 プリント	202
第7回	脊髄損傷の理学療法⑥ 脊髄損傷の自律神経障害 脊髄損傷の自律神経障害の特徴を理解する 【キーワード】自律神経障害、起立性低血圧、自律神経過反射	白井	配布 プリント	202
第8回	脊髄損傷の理学療法⑦ 脊髄損傷のADL 脊髄損傷のADLの特徴を理解し、経験する 【キーワード】運動障害、感覚障害、自律神経障害	白井	配布 プリント	202
第9回	国家試験を解いてみる その1 第1回～第8回までの知識をもとに国家試験を解く 【キーワード】国家試験問題演習 グループワーク	白井	配布 プリント	202
第10回	理学療法実践 1 脊髄損傷者へのROM訓練、呼吸理学療法、痙性へのアプローチ 脊髄損傷患者への理学療法アプローチの実践 【キーワード】呼吸理学療法、胸郭・肩甲骨ROM訓練、ストレッチ	白井	配布 プリント	講堂
第11回	理学療法実践 2 C5、C6、C7の寝返り・起き上がり・座位保持 C5、C6、C7の坐位・寝返り・起き上がり・プッシュアップを体験する 【キーワード】重心、回転軸、モーメント、支持基底、鼓舞	白井	配布 プリント	講堂
第12回	理学療法実践 3 C6、C7のプッシュアップ C6、C7のプッシュアップを体験する 【キーワード】重心、回転軸、モーメント、支持基底、鼓舞、ハムストリングスのストレッチ	白井	配布 プリント	講堂
第13回	理学療法実践 4 C5、C6、C7のトランスファー C5、C6、C7の移乗動作、1人介助、2人介助を体験する 【キーワード】前方トランスファー、側方トランスファー	白井	配布 プリント	講堂
第14回	理学療法実践 5 車椅子駆動・キャスター上げ・段差越え等・装具・自助具 車椅子操作と介助法を体験し、歩行補助具、歩行用装具、自助具等を理解する 【キーワード】キャスター上げ、下肢装具、機器リハ	白井	配布 プリント	講堂
第15回	国家試験を解いてみる その2 第1回～第14回までの知識をもとに国家試験を解く 【キーワード】国家試験問題演習 グループワーク 試験対策	白井	配布 プリント	202
定期試験	後期末試験 第1～15回の範囲でペーパーテストを行う。			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経・筋疾患理学療法学Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	内田 成男	神経内科学・中枢神経理学療法学 日常生活活動学・臨床理学療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、 神経難病などに対する知識、理学療法アプローチを教授します。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	パーキンソン病など代表的な疾患の理学療法が行えるようになるために、 それらの病態に関する知識、治療法について理解する。					
行動目標 (SBO)	① 各疾患における特徴的な症状について述べることができる。 ② 各疾患に必要な評価項目について列挙できる。 ③ 各疾患の病態や病期に合わせた理学療法が考えられるようになる。 ④ 疾患毎の特徴や理学療法を他者に口頭で伝えることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
神経・筋疾患理学療法Ⅱでは、主に神経難病といわれる疾患を取り扱います。多くの疾患を扱いますので、1つ1つ整理しながら学習して下さい。分からないことはそのままにせず、担当教員に確認を行いましょう。 症例検討は、グループ毎に分かれて行います。仮想症例を通じて評価から治療プログラムまで、一連の考え方を学びますので、自ら考え積極的に授業参加するようにしてください。						
教科書・参考書						
教科書：川平和美(編) 標準理学療法学・作業療法学 基礎専門分野 神経内科学 第5版, 医学書院 病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版, メディックメディア 参考書：潮見泰藏(編著) ビジュアルレクチャー 神経理学療法学、医歯薬出版						
受講時留意点、その他						
欠席することなく受講できるように健康管理に留意しましょう。 都度、その時点までの授業でお伝えした知識をもとにグループワークを行ないます。 ここでの取り組みが皆さんの習熟度を測るものさしとなりますので、復習してから受講するようにしましょう。 ※この科目は本校ディプロマポリシーの2,4に対応します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	80	前期末試験(80点分)を実施。				
小テスト		知識・技術の確認として実施予定・・・ただし成績評価には含めない				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション	20	グループワークにおける成果物				
その他		合計点数 60%未満の学生を対象に再試験を実施する				
(合計)	100	定期試験(80%)とグループワーク課題(20%)の合計				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月27日	神経・筋疾患総論 これから取り上げる疾患の分類、ニューロパチーとミオパチーの違いについて学ぶ。 【キーワード】神経原性筋萎縮、筋原性筋萎縮、末梢神経損傷	内田	配布 プリント	203
第2回 5月27日	多発性神経炎・ギラン・バレー症候群の理学療法 多発性神経炎、特にギラン・バレー症候群の症状と理学療法を学ぶ。 【キーワード】先行感染、脱髄型、軸索型	内田	配布 プリント	203
第3回 5月28日	多発性硬化症の理学療法 疾患の特徴と理学療法評価、理学療法について学ぶ。 【キーワード】特徴的な疼痛、Uhthoff徴候、寛解増悪	内田	配布 プリント	203
第4回 6月3日	パーキンソン病の理学療法(1) 疾患の特長および治療薬等について学ぶ。 【キーワード】黒質緻密部、Hoehn&Yahrの重症度分類、L-Dopa製剤	内田	配布 プリント	203
第5回 6月3日	パーキンソン病の理学療法(2) 症状や重症度分類に合わせた理学療法について学ぶ。 【キーワード】バランス障害、歩行障害、手がかり	内田	配布 プリント	203
第6回 6月10日	筋萎縮性側索硬化症の理学療法 疾患の特徴と理学療法評価、病期に合わせた理学療法について学ぶ。 【キーワード】陰性四徴候、球麻痺、重症度分類	内田	配布 プリント	203
第7回 6月10日	神経・筋疾患に対する理学療法(まとめ①) 第1～6回までの復習を行う。	内田	配布 プリント	203
第8回 6月17日	脊髄小脳変性症の理学療法(1) 疾患の特徴と理学療法評価について学ぶ。 【キーワード】多系統萎縮症、協調性障害	内田	配布 プリント	203
第9回 6月17日	脊髄小脳変性症の理学療法(2) 病態と進行段階に合わせた理学療法について学ぶ。 【キーワード】バランス、運動失調、フレンケル体操、PNF、重錘負荷、他	内田	配布 プリント	203
第10回 6月24日	多発性筋炎・重症筋無力症の理学療法 疾患の特徴と理学療法評価、病期に合わせた理学療法を学ぶ。 【キーワード】ヘリオローフ疹、ゴットロン徴候、レイノー現象、waning現象	内田	配布 プリント	203
第11回 6月24日	進行性筋ジストロフィーの理学療法(1) 疾患の特長と理学療法評価について学ぶ。 【キーワード】遺伝形式、仮性肥大、動揺性歩行、登攀性起立	内田	配布 プリント	203
第12回 7月1日	進行性筋ジストロフィーの理学療法(2) 症状および機能障害程度に合わせた理学療法について学ぶ。 【キーワード】厚生労働省分類(stage I - VIII)、予防、自然経過	内田	配布 プリント	203
第13回 7月1日	神経・筋疾患に対する理学療法(まとめ②) 第8～12回までの復習を行う。	内田	配布 プリント	203
第14回 7月8日	症例検討(1) 提示された症例に対し、ICFに則り評価項目と問題点を列挙する。 【キーワード】理学療法評価、統合と解釈	内田	配布 プリント	203
第15回 7月8日	症例検討(2) 列挙した問題点に対する治療アプローチを立案しグループ毎に発表する 【キーワード】統合と解釈、プログラム立案	内田	配布 プリント	203
定期試験 7月22日(予定)	前期末試験 第1～15回の範囲で筆記試験(選択形式)を行う。	内田		

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動器疾患理学療法学Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	太沼賢洋、森梢 佐野正夫	解剖学Ⅰ、解剖学実習、運動学、生理学 整形外科Ⅰ・Ⅱ、基礎理学療法学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、臨床実習で関わる疾患や国家試験によく出る疾患を中心に、学生が理解できるように授業していきます。					
授 業 目 標 * 詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	運動器系疾患における理学療法の進め方、考え方を理解する。					
行動目標(SBO)	1. 変形性関節症の病理、臨床症状、治療方法が分かる。 2. 骨折の病態、治癒過程、治療法が分かる。 3. 末梢神経損傷の病態、治療法が分かる。 4. 熱傷の病態、治療法が分かる。 5. 運動器疾患における基本的な理学療法評価が分かる。 6. 運動器疾患における基本的な運動療法が分かる。 7. 各疾患に応じて必要な評価、運動療法を選択することができる。 8. 関節構造を踏まえた理学療法を理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
本講義で学ぶ疾患は臨床場面で数多く関わるものです。解剖学・運動学的知識をもとにその病態を理解し、理学療法を組み立てていけるよう講義を展開していきます。解剖学、運動学、整形外科等関連項目で学んだ知識を結びつけながら理解していくことがポイントです。そこを意識して受講できると良いでしょう。学習が十分に進まないようでしたら相談をしてください。個別の指導を実施します。						
教科書・参考書						
教科書:標準理学療法学 骨関節理学療法学 第2版(医学書院) 参考書:運動器障害理学療法学テキスト 改訂第2版(南江堂)、Crosslink 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学(メジカルビュー)、標準整形外科 第13版(医学書院) など						
受講時留意点、その他						
本講義は、運動器疾患理学療法学実習Ⅰと関連付けて行います。 解剖学、整形外科などで学んだ内容(教科書、ノート、資料)を適宜参考にしてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	定期試験を行います。本試験で不合格の場合再試験を実施します。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	<u>変形性股関節症①</u> 変形性股関節症の基礎(病態、臨床症状)とそれに対する理学療法の基本事項を理解する。	大沼	P190～239	202
第2回	<u>変形性股関節症②</u> 変形性股関節症に対する代表的な手術法を理解し、術後理学療法について説明できる。	大沼	P190～239	202
第3回	<u>変形性膝関節症①</u> 変形性膝関節症の基礎(病態、臨床症状)とそれに対する理学療法の基本事項を理解する。	大沼	P240～275	202
第4回	<u>変形性膝関節症②</u> 変形性膝関節症に対する代表的な手術法、禁忌事項を理解し、術後理学療法について説明できる。	大沼	P240～275	202
第5回	<u>変形性関節症の痛みについて</u> 変形性関節症の痛みについて理解し、痛みの原因に対して考えることができる。	佐野	P240～275	202
第6回	<u>骨折の基礎</u> 骨折要因と分類、全身症状と局所症状を理解する。	森	P240～275	202
第7回	<u>大腿骨近位部骨折①</u> 大腿骨近位部骨折の特徴を理解する。	森	P104～167	202
第8回	<u>大腿骨近位部骨折②</u> 術前・術後リスクを理解し、評価内容を理解する。	森	P104～167	202
第9回	<u>大腿骨近位部骨折③</u> 整形外科的処置に応じた理学療法を理解する。	森	P104～167	202
第10回	<u>大腿骨近位部骨折④</u> まとめと復習	森	配布資料	202
第11回	<u>変形性脊椎症、側彎症</u> 変形性脊椎症を中心とした疾患の病態を知り、理学療法の基礎を説明できる。	大沼	P370～437	202
第12回	<u>上肢の骨折</u> 上肢骨折の特徴を理解し、骨折部の治癒過程に応じた理学療法プログラムを理解する。	大沼	P60～103	202
第13回	<u>下肢の骨折</u> 下肢骨折の特徴を理解し、骨折部の治癒過程に応じた理学療法プログラムを理解する。	大沼	P168～189 P526～541	202
第14回	<u>末梢神経損傷に対する理学療法</u> 末梢神経損傷の原因、特徴、評価を理解する。	大沼	P16～39	202
第15回	<u>熱傷に対する理学療法</u> 熱傷の評価、良肢位、治療を理解する。	大沼	配布資料	202
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動器疾患理学療法学Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	大沼賢洋、植田英則、森梢 小林敦郎、松本武士	解剖学Ⅰ、解剖学実習、運動学、生理学 整形外科学Ⅰ・Ⅱ、基礎理学療法学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、臨床実習で関わる疾患や国家試験によく出る疾患を中心に、学生が理解できるように授業していきます。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	運動器系疾患における理学療法の進め方、考え方を理解する。					
行動目標(SBO)	1. 変形性関節症の病理、臨床症状、治療方法が分かる。 2. 骨折の病態、治癒過程、治療法が分かる。 3. スポーツ疾患における基本的な理学療法評価が分かる。 4. エビデンス・ガイドラインを知ることができる。 5. 運動器疾患における基本的な理学療法評価が分かる。 6. 運動器疾患における基本的な運動療法が分かる。 7. 各疾患に応じて必要な評価、運動療法を選択することができる。 8. 関節構造を踏まえた理学療法を理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
本講義で学ぶ疾患は臨床場面で数多く関わるものです。解剖学・運動学的知識をもとにその病態を理解し、理学療法を組み立てていけるよう講義を展開していきます。解剖学、運動学、整形外科学等関連項目で学んだ知識を結びつけながら理解していくことがポイントです。そこを意識して受講できると良いでしょう。学習が十分に進まないようでしたら相談をしてください。個別の指導を実施します。						
教科書・参考書						
教科書:標準理学療法学 骨関節理学療法学 第2版(医学書院) 参考書:運動器障害理学療法学テキスト 改訂第2版(南江堂)、Crosslink 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学(メジカルビュー)、標準整形外科学 第13版(医学書院) など						
受講時留意点、その他						
本講義は、運動器疾患理学療法学実習Ⅰと関連付けて行います。 解剖学、整形外科学などで学んだ内容(教科書、ノート、資料)を適宜参考にしてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	定期試験を行います。本試験で不合格の場合再試験を実施します。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	コースオリエンテーション、肩関節周辺疾患① 肩関節周辺疾患の評価について理解する	大沼賢洋	P276-369	203
第2回	肩関節周辺疾患② 肩関節周辺疾患の病態と治療について理解する	大沼賢洋	P276-369	203
第3回	整形外科テスト 頸部・上肢・下肢の整形外科テストについて理解する	大沼賢洋	配布資料	203
第4回	運動器疾患 総論①	小林敦郎	配布資料	203
第5回	関節リウマチ① 自己免疫疾患・膠原病・関節リウマチの基礎を理解する 臨床症状(関節症状・関節外症状)・臨床検査・診断基準を理解する	森梢	P542-575	203
第6回	運動器疾患 総論②	松本武士	配布資料	203
第7回	関節リウマチ② 評価・治療① 評価の工夫、術後のリハビリテーションを理解する 保存のリハビリテーション(ADL)を理解する	森梢	P542-575	203
第8回	腰椎周辺の機能と構造 体幹・骨盤の解剖学を確認する	植田英則	P370-437	203
第9回	腰椎周辺の疾患学 腰痛の原因を理解する	植田英則	P370-437	203
第10回	スポーツ疾患 野球肘、上腕骨外側上顆炎、オスグッドシュラッター病、ジャンパー膝 、十字靭帯損傷、半月板損傷などの病態と治療を理解する	大沼賢洋	P438-469	203
第11回	足関節周辺疾患 捻挫・靭帯損傷の病態と治療を理解する	大沼賢洋	P470-498	203
第12回	運動器疾患の理学療法 エビデンス・ガイドラインに基づく運動療法を理解する	大沼賢洋	配布資料	203
第13回	画像評価 理学療法の対象となる代表的な骨関節疾患の画像診断の診かたを理解する	大沼賢洋	配布資料	203
第14回	疾患別理学療法(関節リウマチ、肩・膝・股関節疾患など) 疾患別の理学療法を理解する	大沼賢洋	配布資料	203
第15回	疾患別理学療法(骨折、スポーツ外傷、脊椎疾患など) 疾患別の理学療法を理解する	大沼賢洋	配布資料	203
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動器疾患理学療法学実習Ⅰ	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	大沼賢洋、森梢 佐野正夫	解剖学Ⅰ、解剖学実習、運動学、生理学 整形外科学Ⅰ・Ⅱ、基礎理学療法学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、臨床実習で関わる疾患や国家試験によく出る疾患を中心に、学生が理解できるように授業していきます。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	運動器系疾患に対する基本的な評価、運動療法を実践できる。					
行動目標(SBO)	1. 医療面接を適切に行うことができる。 2. 症例に応じた評価を選択・実践できる。 3. 疾患に応じた関節可動域運動、筋力増強運動ができる。 4. 杖等の調節、荷重計画の遂行を含め、歩行指導ができる。 5. リスクに配慮しながらの動作指導ができる。 6. 疾患特性を把握して、リスク管理をすることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業で学ぶ疾患は臨床場面で数多く関わるもので、講義で学んだ内容をもとに対象者(症例)を想定して実施していきます。将来担当するであろう患者様に対して、評価・治療・ADL指導を実施する際のヒントになるような内容で展開していきます。また、実技は、実際の臨床に直結する内容となりますので、繰り返しの練習が必要となります。実技が上達しない、思うように進まないなどあるようでしたら相談をしてください。個別の指導を実施します。						
教科書・参考書						
教科書：標準理学療法学 骨関節理学療法学 第2版(医学書院) 参考書：運動器障害理学療法学テキスト 改訂第2版(南江堂)、Crosslink 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学(メジカルビュー)、標準整形外科学 第13版(医学書院) など						
受講時留意点、その他						
この授業は、運動器疾患理学療法学Ⅰと関連付けて行います。適宜資料を参考にしてください。 Tシャツ、ハーフパンツ等動きやすい服装で出席してください(服装、身だしなみは清潔感のあるものとします)。 学内の実習ではありますが、緊張感を持ち、礼儀正しく臨みましよう。特に、実技練習の際は学生同士といえども許可を得る、礼を述べることを絶対に忘れないでください。授業前後の手洗いも徹底してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験	100	変形性股関節症と大腿骨頸部骨折の2症例を提示し、課題を実施。				
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	<u>変形性股関節症(評価)</u> 変形性股関節症術後のリスクを理解し、医療面接を実施、術後運動指導ができる。	大沼	P190～239	治療室
第2回	<u>変形性股関節症(評価)</u> 変形性股関節症術後のリスクを理解し、整形外科的処置に応じた評価を挙げ、進め方を理解する。	大沼	P190～239	治療室
第3回	<u>変形性股関節症(理学療法)</u> 変形性股関節症術後の測定した結果から適切な筋力練習を選択し、実施することができる。	大沼	P190～239	治療室
第4回	<u>変形性股関節症(ADL指導)</u> 変形性股関節症の機能的評価の実施、その結果を踏まえて日常生活動作指導ができる。	大沼	P190～239	治療室
第5回	<u>変形性関節症(痛みに対するアプローチ)</u> 変形性関節症に対する痛みの評価の実施、その結果を踏まえて痛みに対するアプローチができる。	佐野	P104～167	治療室
第6回	<u>大腿骨近位部骨折(評価)</u> 術前・術後のリスクを理解し、整形外科的処置に応じた評価を挙げ、進め方を理解する。	森	P104～167	治療室
第7回	<u>大腿骨近位部骨折(関節可動域運動)</u> 術後のリスクを理解し、測定した結果から肢位や持ち方、動かし方を工夫しながら進めることができる。	森	P104～167	治療室
第8回	<u>大腿骨近位部骨折(筋力増強運動)</u> 術後のリスクを理解し、測定した結果から適切な筋力練習を選択し、実施することができる。	森	P104～167	治療室
第9回	<u>大腿骨近位部骨折(歩行練習・ADL)</u> 術後のリスクを理解し、荷重時期、筋力に合わせて歩行補助具を選択し、実施することができる。	森	P104～167	治療室
第10回	<u>大腿骨近位部骨折(復習)</u> 理学療法の一連の流れを確認し、実施することができる。	森	P104～167	治療室
第11回	<u>大腿骨近位部骨折(復習)</u> 理学療法の一連の流れを確認し、実施することができる。	森	配布資料	治療室
第12回	<u>股関節疾患の理学療法①</u> 杖調整、免荷歩行を、器機を利用して指導・練習ができる。	大沼	P190～239	治療室
第13回	<u>股関節疾患の理学療法②</u> 状態に合わせて、器機を利用した起居動作・運動の指導ができる。	大沼	P190～239	治療室
第14回	<u>股関節疾患の理学療法③</u> 病期に応じた理学療法評価・治療を実施する。	大沼	P190～239	治療室
第15回	<u>実技確認</u> 術後の軟部組織の修復過程を理解し、それに対する理学療法を知る。	大沼 森	配布資料	治療室 機能訓練 室
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動器疾患理学療法学実習Ⅱ	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	大沼賢洋、植田英則 小林敦郎、松本武士	解剖学Ⅰ、解剖学実習、運動学、生理学 整形外科Ⅰ・Ⅱ、基礎理学療法学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、臨床実習で関わる疾患や国家試験によく出る疾患を中心に、学生が理解できるように授業していきます。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	運動器系疾患に対する基本的な評価、運動療法を実践できる。					
行動目標(SBO)	1. 軟部組織損傷の病態を学ぶ。 2. 軟部組織損傷に対する治療法の理論を知る。 3. 軟部組織損傷に対する治療技術を体験する。 4. 疾患に応じた関節可動域運動、筋力増強運動ができる。 5. 症例に応じた評価、運動療法を選択・実践できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業で学ぶ疾患は臨床場面で数多く関わるもので、講義で学んだ内容をもとに対象者(症例)を想定して実施していきます。将来担当するであろう患者様に対して、評価・治療・ADL指導を実施する際のヒントになるような内容で展開をしていきます。また、実技は、実際の臨床に直結する内容となりますので、繰り返しの練習が必要となります。実技が上達しない、思うように進まないなどあるようでしたら相談をしてください。個別の指導を実施します。						
教科書・参考書						
教科書:標準理学療法学 骨関節理学療法学 第2版(医学書院) 参考書:運動器障害理学療法学テキスト 改訂第2版(南江堂)、Crosslink 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学(メジカルビュー)、標準整形外科学 第13版(医学書院) など						
受講時留意点、その他						
この授業は、運動器疾患理学療法学Ⅰと関連付けて行います。適宜資料を参考にしてください。 Tシャツ、ハーフパンツ等動きやすい服装で出席してください(服装、身だしなみは清潔感のあるものとします)。 学内の実習ではありますが、緊張感を持ち、礼儀正しく臨みましょう。特に、実技練習の際は学生同士といえども許可を得る、礼を述べることを絶対に忘れないでください。授業前後の手洗いも含め、感染予防対策を徹底してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験	100	授業内容をもとに上肢・体幹・下肢の治療手技を実施。				
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	コースオリエンテーション、 <u>肩関節周辺疾患①</u> 肩関節周辺疾患の評価方法の実習	大沼賢洋	配布資料	治療室
第2回	<u>肩関節周辺疾患②</u> 肩関節周辺疾患の治療の実習	大沼賢洋	配布資料	治療室
第3回	整形外科テスト① 頸部・上肢の実践。	大沼賢洋	配布資料	治療室
第4回	<u>運動器疾患 総論①</u>	小林敦郎	配布資料	治療室
第5回	整形外科テスト② 下肢の実践。	大沼賢洋	配布資料	治療室
第6回	<u>ストレッチング①</u> 頸部・上肢の実践。	大沼賢洋	配布資料	治療室
第7回	<u>運動器疾患 総論②</u>	松本武士	配布資料	治療室
第8回	<u>腰痛に対する評価</u> 腰痛原因を特定する評価を実施することができる。	植田英則	配布資料	治療室
第9回	<u>腰痛に対する治療① 軟部組織mobilization</u> 筋性の原因に対して治療を実施することができる。	植田英則	配布資料	治療室
第10回	<u>腰痛に対する治療② 関節mobilization</u> 関節性の原因に対して治療を実施することができる。	植田英則	配布資料	治療室
第11回	<u>腰痛に対する治療③ stabilization、Active training</u> 腰部周囲の筋に対してアプローチすることができる。	植田英則	配布資料	治療室
第12回	<u>腰痛に対する治療④ stabilization、Active training</u> 自己コントロールするための運動を実施することができる。	植田英則	配布資料	治療室
第13回	<u>ストレッチング②</u> 下肢の実践。	大沼賢洋	配布資料	治療室
第14回	<u>筋力増強運動</u> 下肢の実践。	大沼賢洋	配布資料	治療室
第15回	<u>上肢・体幹・下肢に対する治療手技の確認・まとめ</u> ここまで学んだ治療手技を正しく実施することができる。	大沼賢洋	配布資料	治療室 機能訓練 室
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	スポーツ理学療法	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	赤岩龍土	解剖学・解剖学実習・運動学・整形外科学・運動器疾患理学療法学・スポーツ科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次後期	この授業はスポーツ認定理学療法士（JSPO公認アスレティックトレーナー、JPSA公認パラスポーツトレーナー、JPSA公認上級パラスポーツ指導員）が担当します。医療施設やスポーツ場面、レクリエーションでの実務経験を基に、スポーツを行う人への指導やケア方法を教授します。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	スポーツ理学療法における動作の特徴、外傷障害、応急処置、コンディショニングについて理解する。					
行動目標（SBO）	1　スポーツ理学療法について知る。 2　コンディショニングの知識・技術を身につける。 3　競技ごとの特性を踏まえたスポーツ理学療法について知る。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
スポーツは、競技レベルから一般愛好家レベルまで幅広く行われている活動です。どの競技レベルにおいても、スポーツにおける外傷・障害は、予防することが第一となります。本講義では、スポーツに関連する理学療法について、幅広く学び、競技の特性を踏まえた対応方法に至るまで理解を深める。						
教科書・参考書						
【教科書】「スポーツ理学療法」 メジカルビュー 【参考図書】「セラピストのための障がい者スポーツ」 メジカルビュー						
受講時留意点、その他						
各講義において実習ができる服装で参加すること。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験	50	25問　5択問題				
小テスト						
レポート	50	競技特性に応じたスポーツ理学療法に関するレポート				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	コースオリエンテーション 本講義の目的、スポーツ理学療法の定義について理解する 【キーワード】スポーツ理学療法・定義	赤岩	教科書	講堂
第2回	スポーツ理学療法 基礎 コンディショニングについて理解する。 【キーワード】コンディショニング・障害予防	赤岩	教科書	講堂
第3回	アスリートにおける傷害予防 評価方法、傷害予防について理解する。 【キーワード】検査方法・傷害予防	赤岩	教科書	講堂
第4回	アスリートに対するパフォーマンスエンハンスメント① トレーニング方法について理解する 【キーワード】スクワット・デッドリフト・ベンチプレス	赤岩	教科書	講堂
第5回	アスリートに対するパフォーマンスエンハンスメント② トレーニング方法について理解する 【キーワード】体幹トレーニング・プライオメトリクス・SAQ	赤岩	教科書	講堂
第6回	コンディショニング① コンディショニング方法について理解する 【キーワード】ストレッチング・リラクセーション	赤岩	教科書	講堂
第7回	コンディショニング② テーピング テーピングについて理解する 【キーワード】足関節捻挫・予防・テーピング	赤岩	教科書	講堂
第8回	コンディショニング③ コンディショニング方法について理解する 【キーワード】アスリハ・トレーニングの原則・ピリオダイゼーション	赤岩	教科書	講堂
第9回	スポーツマッサージ ①（実習） スポーツ場面におけるコンディショニング方法について知る。 【キーワード】コンディショニング・スポーツマッサージ・リラクセーション	赤岩	教科書	講堂
第10回	スポーツマッサージ ②（実習） スポーツ場面におけるコンディショニング方法について知る。 【キーワード】コンディショニング・スポーツマッサージ・リラクセーション	赤岩	教科書	講堂
第11回	スポーツ栄養学とアンチドーピング スポーツ栄養学とドーピングについて理解する。 【キーワード】サプリメント、栄養学、ドーピング	赤岩	教科書	講堂
第12回	競技種目ごとの特性① グループワーク。競技種目ごとの特性について理解する。 【キーワード】競技特性、外傷と障がい、コンディショニング	赤岩	教科書	講堂
第13回	競技種目ごとの特性② グループワーク。競技種目ごとの特性について理解する。 【キーワード】競技特性、外傷と障がい、コンディショニング	赤岩	教科書	講堂
第14回	競技種目ごとの特性③ グループワーク。競技種目ごとの特性について理解する。 【キーワード】競技特性、外傷と障がい、コンディショニング	赤岩	教科書	講堂
第15回 11/15	競技種目ごとの特性③ パラスポーツ パラスポーツの種競技の特性を知る。 【キーワード】パラスポーツ、外傷と障がい、コンディショニング	赤岩	教科書	講堂
定期試験	定期試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	小児理学療法学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	川原崎真子／赤岩龍士	小児科学・運動学・人間発達学・整形外科学・神経内科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次後期	この授業は、小児施設で実務経験のある理学療法士が担当します。 こどもの正常運動発達の過程、各発達障害の理学療法について学びます。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	小児の成長と発達を理解し、脳性まひなどの発達障害の特性を知る。					
行動目標（SBO）	1 反射反応の名称・統合部位・出現消失時期・誘発方法・異常性を覚える 2 発達検査方法の名称、目的、検査内容を覚える 3 脳性まひの定義を覚え、痙直型・アトニー型・その他の病態及び特徴について説明できる 4 脳性まひの治療方法を、目的を踏まえ説明できる 5 知的発達障害、ダウン症、自閉症、二分脊椎、ヘルネス病、先天性股関節脱臼などの特徴や治療目的を説明できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
こどもの発達過程を知り、発達過程で生じる様々な変化に興味を持っていただけると良いでしょう。 また、発達障害は成人の中枢神経疾患とも密接な関わりがあるので、他の教科と関連していることも念頭に置いてください。 ①正常運動発達の過程　②脳性まひの種類とタイプ分類　③脳性まひをはじめとする各発達障害のい特徴　④小児整形外科疾患の特徴　以上4点が大項目となります。 運動発達過程は暗記しなければならないことが多く、発達障害に関しては臨床像をイメージできるようにすることが重要となります。 VTRなどの教材を多く用いますので、メモをすることや様子や状況を頭に思い浮かべながら受講してください。						
教科書・参考書						
小児理学療法学 新田収著 医歯薬出版 木本孝子他「写真で見る 乳児の運動発達」協同医書　・ 五味重春「脳性麻痺 第2版」医歯薬出版　など						
受講時留意点、その他						
講義形式での授業ですが、特異的な姿勢や動作などは身体を動かしながら行う予定です。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合（％）	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	各講義でレポートを作成。提出期限、内容で採点。未提出1枚10点減点。欠席でも提出可。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	＊	正当でない理由での遅刻・欠席、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	胎生期の成長と発達 在胎期間中の身体器官や運動機能の発達について学ぶ 【キーワード】胎生期・40週・低体重児	川原崎		203
第2回	運動発達の概要 正常運動発達過程の順序や法則について学ぶ 【キーワード】運動発達・原則・方向性	川原崎		203
第3回	正常運動発達 正常運動発達過程における段階的変化について学ぶ 【キーワード】キーマンス・粗大運動	川原崎		203
第4回	反射・反応（１） 発達過程で出現する様々な反射・反応について学ぶ 【キーワード】原始反射・姿勢反射・階層理論	川原崎		203
第5回	反射・反応（２） 発達過程で出現する様々な反射・反応について学ぶ 【キーワード】各反射・出現と消失・統合部位	川原崎		203
第6回	発達診断・発達評価 発達の評価方法の種類とそれぞれの概要や特徴について学ぶ 【キーワード】DDST・GMFCS・ADL評価	川原崎		203
第7回	発達障害と異常姿勢 運動発達障害で特徴的な異常姿勢について学ぶ 【キーワード】異常姿勢・はさみ足・ATNR	川原崎		203
第8回	脳性まひの病態と疫学 脳性まひの定義や特徴、疫学について学ぶ 【キーワード】CP・定義・特徴	川原崎		203
第9回	脳性まひのタイプ 脳性まひの病型とそれぞれの特徴について学ぶ 【キーワード】痙直型・アトーゼ型・麻痺の分布	川原崎		203
第10回	脳性まひと理学療法① 脳性まひ児の運動療法や介入方法について学ぶ 【キーワード】運動療法・ストレッチング・ADL指導	川原崎		203
第11回	脳性まひと理学療法② 脳性まひ児の運動療法や介入方法について学ぶ 【キーワード】運動療法・ストレッチング・ADL指導助	川原崎		203
第12回	その他の発達障害① 発達障害の概要を知り、それぞれの特徴について学ぶ 【キーワード】ダウン症・広汎性発達障害・知的発達障害	川原崎		203
第13回	その他の発達障害② 発達障害の概要を知り、それぞれの特徴について学ぶ 【キーワード】ダウン症・広汎性発達障害・知的発達障害	川原崎		203
第14回	整形外科領域： 整形外科分野の疾患や病態、理学療法について学ぶ。 【キーワード】二分脊椎・ベルテス病・理学療法	川原崎		203
第15回	まとめ 運動発達過程および評価、脳性まひ、発達障害、整形疾患について復習する。	川原崎		203

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	内部疾患理学療法学	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	赤岩 龍土 森雄司／宮川透／現職PT	解剖学Ⅱ、生理学、内科学Ⅰ、内科学Ⅱ、基礎PT学 機能診断学、内部疾患理学療法学 など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、呼吸・循環・代謝疾患に対する理学療法治療学を教授します。					
授 業 目 標 * 詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	呼吸・循環・代謝疾患に対する理学療法を理解する。					
行動目標（SBO）	1.呼吸・循環・代謝疾患を理解するための生理学的知識を習得する。 2.理学療法の対象となる呼吸・循環・代謝疾患の病態生理を理解する。 3.呼吸・循環・代謝疾患に対する基本的な介入方法を知る。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業では、慢性閉塞性肺疾患・心筋梗塞・糖尿病といった内部障害系の疾患に対する理学療法を学びます。運動器・神経系で理学療法を受ける患者さんの中にも、合併症として呼吸・循環・代謝疾患を持っている方も少なくありません。患者さんのリスク管理にもつながる科目ですから、ぜひ興味をもって受講して下さい。						
教科書・参考書						
教科書 理学療法テキスト 内部障害理学療法学 呼吸（中山書店） 理学療法テキスト 内部障害理学療法学 循環・代謝（中山書店）						
受講時留意点、その他						
第6回・第7回 宮川 透 先生（聖隷富士病院） 第8回・第9回・第10回 森雄司 先生（静岡医療センター） による講義を予定しています。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	後期末試験を行い、成績評価を行う。評価割合は原則として100%とする。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	呼吸器系の解剖・生理・運動学 呼吸理学療法に必要な解剖・生理・運動学を学ぶ。 【KW】気管支・肺・呼吸調節・呼吸運動	宮下	(呼吸) Lecture2,3	203
第2回	呼吸不全の病態と呼吸器疾患 呼吸理学療法の対象疾患を学ぶ 【KW】呼吸不全・慢性閉塞性肺疾患(COPD)・間質性肺疾患	宮下	(呼吸) Lecture4	203
第3回	呼吸理学療法のための評価 呼吸器疾患に対する代表的な検査・評価を学ぶ 【KW】ハルスオキトリー・フローボリューム曲線・mMRC質問票・6MWT	宮下	(呼吸) Lecture5,6	203
第4回	疾患別呼吸理学療法(1)慢性呼吸不全 慢性呼吸不全に対する呼吸理学療法を学ぶ 【KW】呼吸練習・運動療法・ADL指導	宮下	(呼吸) Lecture10,1 3	203
第5回	疾患別呼吸理学療法(2)急性呼吸不全(外科手術後) 術後肺合併症への介入を学ぶ 【KW】リスクファクター・聴診・排痰	宮下	(呼吸) Lecture814	203
第6回	循環器系の解剖と生理 【KW】冠循環、心ポンプ機能、循環調節機構、心電図	宮川	(循環・代謝) Lecture2	203
第7回	虚血性心疾患、慢性心不全の病態・検査と治療 【KW】心筋虚血、心不全、検査所見	宮川	(循環・代謝) Lecture5,7	203
第8回	運動耐容能とその評価 運動に伴う循環器の反応について学ぶ。 【KW】運動時の血流配分・運動時の循環応答・嫌気性代謝閾値	森	(循環・代謝) Lecture3	203
第9回	心臓リハビリテーション総論、循環器理学療法の評価 心臓リハビリテーションの目的・効果と、評価について学ぶ。 【KW】運動療法の身体効果・リスク層別化	森	(循環・代謝) Lecture8 Lecture9	203
第10回	循環器理学療法の実際 循環器疾患（主に虚血性心疾患）に対する介入方法を学ぶ。 【KW】心臓リハビリプログラム・Mets・運動療法の禁忌・運動処方	森	(循環・代謝) Lecture 9 Lecture10	203
第11回	代謝疾患 糖尿病の病態 糖尿病の病態や疾患特性について学ぶ 【KW】インスリン作用・Ⅰ型糖尿病・Ⅱ型糖尿病	赤岩	(循環・代謝) Lecture 11	203
第12回	代謝疾患 糖尿病と合併症 糖尿病の合併症と治療指針について学ぶ 【KW】合併症・壊疽・治療方法	赤岩	(循環・代謝) Lecture 12	203
第13回	代謝疾患 糖尿病の理学療法 糖尿病の運動療法と食事療法について学ぶ。 【KW】運動処方・GLUT4・糖尿病教育	赤岩	(循環・代謝) Lecture 12 Lecture 13	203
第14回	代謝疾患 高血圧症・肥満症 生活習慣病の病態と理学療法について学ぶ。 【KW】生活習慣病・動脈硬化・合併症	赤岩	配布資料	203
第15回	腎疾患の理学療法 腎臓病の概要と腎疾患に対する理学療法を学ぶ。 【KW】慢性腎臓病(CKD)・血液透析・有酸素運動	赤岩	配布資料	202
定期試験	後期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	内部疾患理学療法学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	赤岩 龍士 森雄司／宮川透／現職PT	解剖学Ⅱ、生理学、内科学Ⅰ、内科学Ⅱ、基礎PT学 機能診断学、内部疾患理学療法学 など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、呼吸・循環・代謝疾患に対する理学療法治療学を教授します。					
授 業 目 標 * 詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	呼吸器疾患、代謝疾患に対する介入方法を知る。 心電図の体験を通して、波形に対する理解を深める。					
行動目標（SBO）	1. 呼吸のフィジカル・アセスメントを体験する。 2. 呼吸器疾患（慢性、急性）に対する介入の流れを知る。 3. 気管吸引の流れを知り、一通り実施する。 4. 心電図検査の流れを体験し、代表的な異常波形を知る。 5. 代謝疾患、生活習慣病に対するアプローチ（運動療法、コーチング）を知る。 6. 運動処方の考え方を理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業では、呼吸器疾患と代謝疾患への介入方法、および心電図を実習を通して学びます。 本校の臨床実習などは内部障害系の疾患は必須項目ではありません。そこで、骨関節疾患、中枢神経疾患に対する評価・手技に比べて求める習熟度は低く設定していますが、基本的な手技を体験して、臨床に出た後あたりに学ぶ際に繋がるようにしていきます。						
教科書・参考書						
教科書 理学療法テキスト 内部障害理学療法学 呼吸（中山書店） * 第1回～第7回、第8・9回 理学療法テキスト 内部障害理学療法学 循環・代謝（中山書店） * 第10回、第11回～第15回						
受講時留意点、その他						
運動のしやすい服装で受講して下さい。体調管理に注意して休まず受講しましょう。 呼吸器の授業では、聴診器、パルスオキシメーターなどを使用します。使用後は消毒をして片付けて下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合（％）	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	80	介入方法、運動処方などに関するレポートを課して採点する。呼吸器疾患60点満点、代謝疾患20点満点とする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	20	授業内の取り組み状況、評価・治療手技などが一通りできるかを評価する（配点は10点）。各授業内で行動観察を行い、評価する。 授業に対する興味・関心が良好、周囲との協調性が良好な場合など、加点の対象とする事がある。 授業に対する迷惑行為、無礼な態度、不適切な身だしなみ（頭髪、爪、服装）、携帯電話等の使用、飲食などは、減点の対象とします。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	呼吸理学療法のための評価(1) フィジカルアセスメント 視診・触診を実習する 【KW】呼吸数・呼吸パターン・胸郭運動・SpO2	宮下	(呼吸) Lecture5	治療室 聴診器 パルスオキシメーター
第2回	呼吸理学療法のための評価(2) 聴診 胸部の聴診を実習する 【KW】気管呼吸音・気管支呼吸音・肺泡呼吸音	宮下	(呼吸) Lecture5	機能訓練室 聴診器 パルスオキシメーター
第3回	呼吸理学療法のための評価(3)画像所見の評価(胸部X線) 胸部の聴診を実習する 【KW】気管呼吸音・気管支呼吸音・肺泡呼吸音	宮下	(呼吸) Lecture6	203
第4回	呼吸理学療法基本手技(1)コンディショニング 呼吸法指導,呼吸介助手技を実習する 【KW】口すぼめ呼吸・横隔膜呼吸・呼吸介助手技	宮下	(呼吸) Lecture7,9	治療室 聴診器 パルスオキシメーター
第5回	呼吸理学療法基本手技(2)排痰法 排痰法の一通りの流れを実習する 【KW】聴診・副雑音・体位ドレナージ・スクイーミング	宮下	(呼吸) Lecture 8	治療室 聴診器 パルスオキシメーター
第6回	疾患別呼吸理学療法(1)慢性呼吸不全 慢性呼吸不全で実施するコンディショニング、運動療法等を学ぶ。 【KW】呼吸練習・呼吸筋ストレッチ体操・筋カトレーニング 他	宮下	(呼吸) Lecture10, 13	治療室 聴診器 パルスオキシメーター
第7回	疾患別呼吸理学療法(2)急性呼吸不全 術後合併症への介入を考える 【KW】術前指導・聴診・体位ドレナージ・スクイーミング	宮下	(呼吸) Lecture14	治療室 聴診器 パルスオキシメーター
第8回	呼吸理学療法のための評価(3)運動耐容能の評価 6分間テストを体験し、実施方法を学ぶ。 【KW】目的・適応・歩行コース・説明	宮下	(呼吸) Lecture6	基礎医学実 習室
第9回	呼吸理学療法のための評価(3)運動耐容能の評価 7分間テストを体験し、実施方法を学ぶ。 【KW】目的・適応・歩行コース・説明	宮下	(循環・代 謝) Lecture3	機能訓練室 心電図
第10回	心電図の診かた 心電図を測定し読影する。 【KW】12誘導、電極と心電図波形	宮川	(呼吸) Lecture15	治療室 吸引装置
第11回	心電図の診かた 心電図を測定し読影する。 【KW】13誘導、電極と心電図波形	宮川	(呼吸) Lecture15	治療室 吸引装置
第12回	代謝疾患の運動処方 エネルギー代謝 エネルギー代謝と運動処方について学ぶ。 【KW】三大栄養素・ATP-PC r 系・TCA回路	赤岩	(循環・代 謝) Lecture 1	203
第13回	代謝疾患の運動処方 運動強度と運動の種類 運動処方が必要とされる強度設定について学ぶ。 【KW】最大酸素摂取量・AT (嫌気性代謝閾値)・MET s	赤岩	(循環・代 謝) Lecture 1 Lecture 3	203
第14回	代謝疾患の評価と理学療法 運動処方にける持久運動の種類と評価について学ぶ。 【KW】 全身持久力・トレッドミル・自転車エルゴメーター	赤岩	(循環・代 謝) Lecture 3 Lecture 13	203
第15回	代謝疾患の評価と理学療法 運動処方にける抵抗運動の種類と評価について学ぶ。 【KW】 下肢筋力・WBI・等速性筋収縮	赤岩	(循環・代 謝) Lecture 3 Lecture 13	203
補習	呼吸器疾患のケーススタディ	宮下		203

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	日常生活活動学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	長田美紀	基礎理学療法学,機能診断学,リハビリテーション概論 日常生活活動学実習,生活環境論,動作分析学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は回復期病棟での理学療法実務経験を基に、疾患だけでなく退院後の日常動作までを横断的に捉える過程を教授します。理学療法士の職域が治療場面に限らず、地域と深く関わりがあることを理解していただけるよう授業を展開していきます。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	日常生活の特徴を理解し、基本的な評価方法で様々な動作・場面を評価できる。					
行動目標 (SBO)	1, 日常生活活動に関わる概念や用語を説明できる 2, 日常生活活動の評価法の種類を知る 3, BI・FIMなどの基本的な評価方法を習得する 4, 評価スケールを用い動作や症例から実際に点数付けができる 5, 自助具を作成することができる 6, 車椅子のメンテナンス・シーティングが出来る					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は、対象者の日常生活について学ぶ授業です。生活復帰するために理学療法を行う上で必要な評価を学びます。臨床的にイメージしづらいことも多いかと思われますので、動画など可能な限り理解し易い材料を提供していきます。代表的な評価スケールに関しては自身で評価できるよう、自宅などでもチャレンジしてみましょう。						
教科書・参考書						
千野直一 編著 :脳卒中の機能評価SIASとFIM, 金原出版, 2012						
受講時留意点、その他						
学習内容の理解が深まるよう、随時授業に関する予習・復習をしましょう。 実際の日常生活をイメージするため、授業によっては持ち物を指定する場合があります。その都度デスクネットや口頭で周知しますので、忘れることのないよう互いに声をかけあってください。 第15回では車椅子のメンテナンスを行います。必須ではありませんが実習着を推奨します。 ※この科目は本校ディプロマポリシーの2,4に対応します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	70	前期末試験（70点分）を実施。60%未満の学生を対象に再試験を実施する				
小テスト						
レポート	30	授業：自助具作成に関するレポート課題を提出				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100	定期試験(70%)とレポート(30%)の合計				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	イントロダクション、ADLの概念、位置づけ、目的 【KW】定義、self-care、評価の流れと評価時期		配布資料	202
第2回	ADLの範囲と理学療法との関係性 【KW】APDL、BADL、IADL、出来るADL、しているADL、するADL		配布資料	202
第3回	QOL 【KW】定義、ICF、ニーズとホープ、評価方法		配布資料	202
第4回	Barthel Index 【KW】総論、背景、全容、段階付け、細項目段階付け		配布資料	202
第5回	Functional Independence Measure① 【KW】総論、背景、全容、段階付け		教科書 78-89	202
第6回	Functional Independence Measure② 【KW】セルフケア(食事、整容、入浴、更衣)		教科書 90-101	202
第7回	Functional Independence Measure③ 【KW】セルフケア(トイレ動作、排泄)		教科書 102-109	202
第8回	Functional Independence Measure④ 【KW】移乗、移動		教科書 110-120	202
第9回	Functional Independence Measure⑤ 【KW】認知項目(コミュニケーション、社会的認知)		教科書 121-133	202
第10回	Functional Independence Measure⑥ 【KW】FIMのケーススタディと記録方法		教科書 134-146	202
第11回	ADLを支援する用具 【KW】自助具、生活支援機器、便利グッズ、自助具作成 ※自助具に関するレポート課題 提出期限:7月3日(月)9:00迄		配布資料	202
第12回	様々なADL評価スケール① 【KW】BI、FIM、老研式、PULSES、ケニー式、など		配布資料	202
第13回	様々なADL評価スケール② 【KW】BI、FIM、老研式、PULSES、ケニー式、など		配布資料	202
第14回	疾患病気別ADL評価 【KW】病期毎の脳卒中、片麻痺、起居動作評価		配布資料	202
第15回	まとめ 【KW】車椅子シーティング、メンテナンスを学ぶ ※必須ではないが、実習用の服装が望ましい		配布資料	講堂
定期試験	教室等の変更があれば随時連絡			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	日常生活活動学実習	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	望月里子 長田美紀	基礎理学療法学実習Ⅱ,日常生活活動学 動作分析学実習,理学療法学全般				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での実務経験を基に、日常生活に必要な起居動作・移乗・歩行などの介助・指導方法を提示します。1年時に学修した対象への触れ方を意識しながら、治療につながる介助を学び理解を深めてください。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	基本動作及び歩行訓練が行えるようになるために、日常生活活動における基本動作の介助や指導方法を理解する。					
行動目標(SBO)	1. 基本動作を手順を踏まえて再現できる 2.基本動作を自立度に合わせて介助できる 3.車椅子操作と介助ができる 4.歩行補助具の使用方を指導できる 5.環境に合わせた歩行指導ができる 6.ADL動作を介助、指導できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
日常生活内で行われる基本動作は、それぞれの動作単独で行われるのではなく一連の動作内で行われます。授業ではそれぞれの動作を個別に取り扱いますが、常に次の動作があることを意識するようにしてください。またそれぞれの動作を分解し、動作を分析しながら授業を行っていきます。どこを介助すべきか、どの程度介助すべきか、を考えられるようになると、今後大切な様々な動作を観察・分析する能力が身につくことになります。						
教科書・参考書						
指定教科書なし						
受講時留意点、その他						
実技授業の服装は原則半袖、ハーフパンツとします。華美なもの、破れた服装等は受講を認めない事があります。感染症予防のため授業前に手洗いを実施、実技相手が変わるごとに手指アルコール消毒を徹底して下さい。衛生面に配慮(床に膝をつかない、床に物を置かないなど)しましょう。授業終了時に自己チェックリストにて、その日の実技を自己採点していただきます。成績評価の20%を占めると同時に出席確認も兼ねていますので、必ず記載して授業終了時に毎回忘れず提出して下さい。実技確認を希望する場合は、事前に担当教員へ約束を取り付けてください。放課後などに対応します。※この科目は本校ディプロマポリシーの2.4に対応します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	20	自己チェックリストの提出で評価(内容の到達状況は成績を左右しない)				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	80	実技確認で評価				
(合計)	100	実技確認(80%)と自己チェックリスト(20%)の合計				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>コースオリエンテーション、臥位姿勢、寝返り、起き上がり</u> この授業の概要及び説明、寝返りから起き上がりを行ってみる。	長田	配布資料	治療室
第2回	<u>臥位姿勢、寝返り、起き上がり(1)</u> 寝返りの立ち直り反応を観察し、軽度介助が行えるようになる。	長田	配布資料	治療室
第3回	<u>臥位姿勢、寝返り、起き上がり(2)</u> 寝返りから起き上りの中等度及び重度介助ができるようになる。	長田	配布資料	治療室
第4回	<u>座位姿勢、立ち上がり、移乗(1)</u> 立ち上がりの動作が、どういった身体運動で行われているのか理解する。 立ち上がり動作を軽度、中等度、重度介助する。	長田	配布資料	治療室
第5回	<u>座位姿勢、立ち上がり、移乗(2)</u> 立ち上がりの動作が、どういった身体運動で行われているのか理解する。 立ち上がり動作を軽度、中等度、重度介助する。	長田	配布資料	治療室
第6回	<u>座位姿勢、立ち上がり、移乗(3)</u> ベッド ⇄ 車いす間の移乗動作を介助する。	長田	配布資料	治療室
第7回	<u>座位姿勢、立ち上がり、移乗(4)</u> 移乗動作を2人または3人で介助する方法を学ぶ。 起き上がりから移乗動作といった一連の動作を介助する。	長田	配布資料	治療室
第8回	<u>実技確認</u> 第1回～7回の授業より課題を提示。それを実施する。	望月 長田		治療室 機能訓練室
第9回	<u>車椅子操作</u> 車いす自走を体験し、指導方法を学ぶ。 車いす介助を様々な場面で体験し方法について学ぶ。	望月	配布資料	治療室 機能訓練室
第10回	<u>歩行(1)</u> ステップング、ウェイトシフトが歩行にどう関与しているの T杖を対象者に合わせ、2動作および3動作を指導する。	望月	配布資料	治療室 機能訓練室
第11回	<u>松葉杖のフィッティング 段差昇降 荷重練習</u> 松葉杖を対象者に合わせ、段差昇降や免荷歩行の指導方法を学ぶ。 荷重量を調整するティルトテーブルを安全に扱うことができる。	望月	配布資料	講堂
第12回	<u>歩行(2)</u> 膝折れ患者の杖歩行介助方法を検討・実施してみる。 自身で荷重量と膝折れを調整しつつ歩行介助する方法を学ぶ。	望月	配布資料	治療室 機能訓練室
第13回	<u>四つ這い、膝立ち、床からの立ち上がり</u> 支持基底面の変化と重心移動の関係を意識した操作方法を学ぶ。	望月	配布資料	治療室
第14回	<u>歩行(3)</u> 重心と荷重量を意識した歩行介助方法を検討・実施してみる。 骨盤から歩行介助する方法を学ぶ。	望月	配布資料	治療室 機能訓練室
第15回	<u>ADL動作</u> 更衣動作や食事動作などを、疾患を想定して動作指導できる。 介助方法を検討し学ぶ。	望月	配布資料	治療室
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	物理療法学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	森梢/内田成男/中村剛志	生理学、物理療法学実習、運動療法学 など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、物理療法の基礎理論から実践方法までを教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	物理療法の理論と実施方法を理解する					
行動目標(SBO)	1. 物理的手段の基礎事項が分かる。 2. 物理療法の生体への反応を述べることができる。 3. 各療法の実施手順を述べることができる。 4. 各療法の適応、禁忌が分かる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
物理療法の基礎理論は、治療手段の基礎となる「物理学」の内容と、生体の反応を理解するための「生理学」の内容に大別できます。物理学の考え方については慣れていない人もいかもしれませんが、学ぶのは治療手段の理解に最低限必要なものだけです。苦手意識をもたずに取り組んで下さい。 治療の実施については、実施手順とあわせて、適応・禁忌を十分に理解しましょう。リスク管理は、物理療法において重要な事項です。禁忌をしっかりと覚え、適切な物理療法を選択できるようにしましょう。						
教科書・参考書						
教科書：石川 朗(編)15レクチャーシリーズ 物理療法テキスト 物理療法学・実習(第2版), 中山書店, 2025 参考書：奈良勲(監)標準理学療法学 専門分野 物理療法学(第6版),医学書院,2025 吉田英樹(編):Crosslink理学療法学テキスト 物理療法学(第1版), メジカルビュー社, 2020.						
受講時留意点、その他						
健康管理に留意し、休まずに受講しましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末定期試験を実施する。60点以上を合格の目安とする。 第1回～第15回までの全ての内容から出題する。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	第14回、第15回で演習問題(範囲は次ページ)を提示し、解説を行う。原則として成績には含まず、学習状況の確認のために実施。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	コースオリエンテーション、物理的なエネルギー 物理的なエネルギーの種類を学ぶ。 【キーワード】熱エネルギー・波のエネルギー・電気エネルギー	森	p1～10	配布資料 203
第2回	温熱の基礎 温熱の物理的特性と生理学的作用を学ぶ。 【キーワード】比熱・熱の移動・生体反応	中村	p25～32	配布資料 203
第3回	物理療法の対象となる病態 物理療法の対象となる症状、病態を学ぶ。 【キーワード】炎症・疼痛	内田	p6～10	配布資料 203
第4回	温熱療法:ホットパック、パラフィン浴 温熱療法(伝導熱と輻射熱)について学ぶ。 【キーワード】ホットパック・パラフィン・適応・禁忌	中村	p33～43	配布資料 203
第5回	電気刺激療法の基礎 電気エネルギーの理論を理解し、生理学的效果を学ぶ。 【キーワード】電流・持続時間・周波数・強さ・時間曲線・他	内田	p109～120	配布資料 203
第6回	温熱療法:極超短波 エネルギー変換熱について学ぶ。 【キーワード】熱発生 の原理・生理学的作用・コサインの法則・禁忌	中村	p44～64	配布資料 203
第7回	電気刺激療法: 電気刺激療法の実際を学ぶ。 【キーワード】TENS・TES・FES	内田	p121～142	配布資料 203
第8回	寒冷療法 寒冷療法の生理学的作用と実施方法を学ぶ。 【キーワード】アイスマッサージ・生理学的作用・適応・禁忌	中村	p87～96	配布資料 203
第9回	牽引療法 牽引の生体への力学的影響を理解し、適応・禁忌を学ぶ。 【キーワード】頸椎牽引・腰椎牽引・牽引力・方向	内田	p143～154	配布資料 203
第10回	水治療法 水の特性と水治療法の実際を学ぶ。 【キーワード】浮力・抵抗・生理学的作用・渦流浴・プール療法	中村	p97～108	配布資料 203
第11回	超音波療法① 超音波の発生原理・特性と性能について学ぶ。 【キーワード】逆ピエゾ圧電効果・ビーム不均等率・有効照射面積	中村	p65～76	配布資料 203
第12回	超音波療法② 超音波療法と実施手順、適応と禁忌を学ぶ。 【キーワード】移動法・水中法・実施手順・適応・禁忌	中村	p65～76	配布資料 203
第13回	光線療法:レーザー療法・紫外線療法・赤外線療法 光線療法の基本を理解し、適応・禁忌を学ぶ。 【キーワード】波長・出力・適応・禁忌	中村	p44～52 p77～86	配布資料 203
第14回	復習① 第1～6回の復習(問題演習)を行う。	森		配布資料 203
第15回	復習② 第7～13回の復習(問題演習)を行う。	森		配布資料 203
定期試験	後期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	物理療法学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	森梢/内田成男/望月里子	生理学、物理療法学 など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、物理療法機器の使用方法から実施方法を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	代表的な物理療法を一通り実施することができる。 各種疾患に適した物理療法を選択できる。					
行動目標(SBO)	1. 物理的刺激による生体反応を体験し、理解できる。 2. 物理療法機器の基本的な操作ができる。 3. 注意事項に応じた確認、説明が出来、禁忌を回避できる。 4. 代表的な疾患へ適した物理療法を選択し、治療プログラムを検討できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業では、講義で学んだ各種療法を実際に行います。自ら体験すること、観察することで、物理的刺激で生じる生体反応を理解できるでしょう。また、実施手順、禁忌事項を理解し、安全に行う技能を身につけていきます。機器の台数が限られているため、何グループかに分かれてローテーションしながらの実習になります。限られた時間になりますが、出来るだけ多く体験し、授業時間内で一通りの操作ができるようにしていきましょう。もう一つの目標として、各種疾患に適した物理療法の選択ができるようにしていきます。治療法の選択は難しい課題ですが、グループで協力しながら検討していきましょう。						
教科書・参考書						
教科書:石川 朗(編)15レクチャーシリーズ 物理療法テキスト 物理療法学・実習(第2版), 中山書店, 2025 参考書:奈良勲(監)標準理学療法学 専門分野 物理療法学(第6版),医学書院,2025 吉田英樹(編):Crosslink理学療法学テキスト 物理療法学(第1版), メジカルビュー社, 2020.						
受講時留意点、その他						
物理療法機器を扱いますので、危険が伴います。各自集中力をもって授業に臨んで下さい。手洗いをし、爪は短く切り、身だしなみを整えましょう。装飾品は除去して下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	70	第15回で作成するレポートを70%の評価割合で成績評価に参入する。 なお、レポートは第15回の時間内で作成、提出することとする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	30	代表的な物理療法が一通り実施できるようになったかを「行動観察」で評価する。 第14回に実施する課題は、2週間前に提示。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5/23④	コースオリエンテーション、使用機器の説明 物理療法学実習で使用する機器や測定機器の説明 【キーワード】パルスオキシメーター・表面温度計	森		治療室
第2回	温熱刺激による生体反応① 代表的な温熱療法の実施手順を習得する。 【キーワード】ホットパック・パラフィン・極超短波	森	p6～64	治療室
第3回	温熱刺激による生体反応② 温熱による生体の変化を体験し、測定する。 【キーワード】伝導熱・表面温度・伝導率	森	p6～64	治療室
第4回	寒冷療法 寒冷療法の体験を通して生体の反応を学ぶ。 【キーワード】表面温度計・氷・バイタルサイン	森	p87～96	治療室
第5回	水治療法 渦流浴の体験を通して、全身・局所への影響を理解する。 【キーワード】部分浴・全身浴	森	p97～108	治療室 水治療室
第6回	電気刺激療法① 電気刺激装置の使用方法和時値、SD曲線を学ぶ。 【キーワード】モーターポイント・クロナキシー・TES・TENS	内田	p109～142	治療室
第7回	電気刺激療法② 電気刺激装置の使用方法和時値、SD曲線を学ぶ。 【キーワード】モーターポイント・クロナキシー・TES・TENS	内田	p109～142	治療室
第8回	牽引療法 牽引装置の操作体験を通し、牽引力・方向の調整を学ぶ。 【キーワード】頸椎牽引・腰椎牽引	内田	p143～154	治療室
第9回	超音波療法 超音波治療器を用い、実施方法を学ぶ 【キーワード】接触法・水中法・キャビテーション	森	p65～76	治療室
第10回	物理療法の総合復習① 各種療法の復習を行う。 【キーワード】温熱療法・電気刺激療法・光線療法・超音波療法	森		治療室
第11回	物理療法の総合復習② 各種療法の復習を行う。 【キーワード】電気刺激療法・ホットパック・超音波療法	森		治療室
第12回	疾患別物理療法プログラムの検討 ① 骨関節疾患に対する物理療法の選択をグループで検討する。 【キーワード】骨折・変形性関節症・腰痛症・肩関節周囲炎	森	配布資料	203
第13回	疾患別物理療法プログラムの検討 ② 神経疾患に対する物理療法の選択をグループで検討する。 【キーワード】末梢神経麻痺・中枢性麻痺・疼痛	森	配布資料	203
第14回	物理療法の総合復習③ 代表的な物理療法を一通り実施できるか確認する。 【キーワード】電気刺激療法・ホットパック・超音波療法	森		治療室 機能訓練室 OT実習室1
第15回	疾患別物理療法プログラムの検討 ③ 各種疾患に対する物理療法をレポートにまとめる。 【キーワード】骨関節疾患・神経疾患・適応と禁忌	森		203
補習	物理療法の総合復習	森		治療室

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	義肢学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則	解剖学・運動学・運動機能評価学・整形外科学・装具学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次後期						
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	切断高位に合わせた義足の特徴を理解できる。					
行動目標 (SBO)	1. 各義足の構造と機能を理解できる。 2. 各義足のアライメントと歩行の特徴を理解できる。 3. 切断のリハビリテーションの進め方を理解できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
本講義は解剖学・運動学の復習を十分行うことで理解が深まります。初回に復習を行います。各自でも進めてください。授業中に義肢の実物を提示しますので、しっかり確認するようにしてください。						
教科書・参考書						
教科書:石川朗総編集.15レクチャーシリーズ理学療法テキスト義肢学第2版 中山書店 参考書:川村次郎他.義肢装具学第4版 医学書院						
受講時留意点、その他						
体験のある授業時は、動きやすい服装で参加すること。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	後期末試験を実施する。6割以上を合格とする。				
小テスト	0					
レポート	0					
実技試験	0					
プレゼンテーション	0					
その他	0					
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材教室
第1回	解剖学の復習:義足を学ぶ上で重要な解剖学の復習を行う。 【キーワード】高位	植田	配布資料	203
第2回	切断・義肢総論義足の基本的知識を深める。 【キーワード】名称・種類・仮義足	植田	p1-10	203
第3回	下腿義足①代表的なソケットの特徴を理解する。 【キーワード】ソケット、特徴、適応	植田	p43-62	203
第4回	下腿義足②装着後の正常なアライメントを理解する。 【キーワード】ベンチアライメント、スタティックアライメント	植田	p43-62	203
第5回	下腿義足③各相での異常の形、その原因を理解する。 【キーワード】異常歩行、IC～MSt	植田	p43-62	203
第6回	大腿義足①代表的なソケットの特徴を理解する。 【キーワード】四辺形ソケット、坐骨収納型ソケット	植田	p33-52	203
第7回	大腿義足②大腿義足の膝継手の特徴を理解する。 【キーワード】膝継手、遊脚相、立脚相	植田	p33-52	203
第8回	大腿義足③大腿義足のアライメントを理解する。 【キーワード】静的・動的アライメント	植田	p33-52	203
第9回	大腿義足④異常歩行の原因と出現相を理解する。 【キーワード】異常歩行、遊脚期、立脚期	植田	配布資料	203
第10回	義足体験・歩行介助模擬義足体験装置を使用し、義足歩行指導を体験する。 【キーワード】体験装置、介助法	植田	配布資料	機能訓練室
第11回	義手総論:上肢切断の基本知識と義手を理解する。 【キーワード】上腕切断・前腕切断	岡本	資料配布	203
第12回	股義足・膝義足・サイム義足・足部部分義足 代表的な義足の特徴を理解する。 【キーワード】特徴、ソケット、アライメント	植田	p63-72	203
第13回	断端管理法・評価模擬断端を使用し、ソフトドレッシング法を体験する。【キーワード】ソフトドレッシング法、周径、四肢長	植田	p73-92	機能訓練室
第14回	切断のリハビリテーション 切断患者のADL指導を実施することができる。【キーワード】ADL、義足側、健側	植田	配布資料	機能訓練室
第15回	まとめ	植田	配布資料	203
定期試験	実施する			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	装具学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	市村真樹	解剖学Ⅰ・Ⅱ、運動学Ⅰ・Ⅱ、臨床運動学、整形外科学、神経内科学、中枢神経疾患理学療法学Ⅰ・Ⅱ、運動器疾患理学療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での実務経験を基に装具に必要なバイオメカニクスの理解、疾患に合わせた装具治療ができるように授業をしていきます。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	疾患により、運動機能障害を呈した人に対して適切な装具療法が実施できるよう、装具の基本的な構造と機能を理解し、疾患や障害に適した装具の選択や装具療法を理解する。					
行動目標（SBO）	1．正常歩行と比較し、運動力学的視点で装具歩行を説明できる。 2．装具の基本的構造と機能を理解できる。 3．疾患や障害に合わせた装具の選択を理解できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
本講義では、身体バイオメカニクスを基に進めていきます。解剖学・運動学の復習を十分行うことで理解が深まります。装具の種類は多いですが、各々の部品や機能などを理解することで疾患や障害に合わせた装具の選定が可能になります。授業中に装具の実物を提示しますので、しっかり確認するようにしてください。						
教科書・参考書						
教科書：石川朗、佐竹将宏 15レクチャーシリーズ理学療法テキスト 装具学 第2版 中山書店 2020年 参考書：1) 日本義肢装具学会監修 装具学 第4版 医歯薬出版株式会社 2013年　2) ペリー歩行分析 正常歩行と異常歩行 原著第2版 医歯薬出版株式会社2012年 その他						
受講時留意点、その他						
学習内容の理解が深まるように、受講準備（予習）を怠らないようにしてください。 講義だけでなく、体験や実技があります。常に実技ができる服装で参加してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を実施する。60点以上を合格の目安とする。第1回～第15回までの全ての内容から出題する。				
小テスト	0	第5回、第10回、第15回終了後、オンラインにて小テストを行う。成績には含めない。				
レポート	0					
実技試験	0					
プレゼンテーション	0					
その他	0	第15回で演習問題を実施し、解説を行う。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5月12日	「装具総論 装具療法の基本(目的と分類)」 【キーワード】装具 3点固定の原理、製作の流れ、歩行のバイオメカニクス	市村真樹	P1～8 LECTURE1	203
第2回 5月19日	「装具の分類各論 下肢装具の部品・短下肢装具」 【キーワード】短下肢装具、継手	市村真樹	P11～30 LECTURE2・3	203
第3回 5月26日	「装具の分類各論 下肢装具」 【キーワード】長下肢装具、股装具、膝装具	市村真樹	P31～40 LECTURE4	203
第4回 5月30日	「装具の分類各論 靴型装具、下肢装具のチェックアウト」 【キーワード】靴型装具、チェックアウト	市村真樹	P41～62 LECTURE5	203
第5回 6月2日	「装具の分類各論 上肢装具」 【キーワード】肩関節装具 手関節装具	市村真樹	P85～94 LECTURE9	203
第6回 6月6日	「装具の分類各論 体幹装具」 【キーワード】頸椎装具 腰仙椎装具 側弯矯正装具	市村真樹	P73～84 LECTURE 8	203
第7回 6月9日	「歩行補助装具」 【キーワード】歩行補助具 車椅子 クッション	市村真樹	P95～108 LECTURE10	203
第8回 6月13日	「疾患別：脊髄損傷の装具療法」 【キーワード】頸髄損傷の歩行	市村真樹	P143～154 LECTURE14	203
第9回 6月16日	「疾患別：整形外科疾患の装具療法」 【キーワード】膝装具 体幹装具	市村真樹	P123～142 LECTURE12	203
第10回 6月20日	「疾患別：脳卒中①」 脳卒中片麻痺の歩行の特徴	市村真樹	配布資料	203
第11回 6月23日	「疾患別：脳卒中②」 脳卒中片麻痺の装具の特徴	市村真樹	P109～118 LECTURE11	203
第12回 6月27日	「疾患別：脳卒中③」 脳卒中片麻痺の装具療法の紹介	市村真樹	P109～118 LECTURE11	203
第13回 6月30日	「疾患別：整形外科疾」 関節リウマチの装具療法の紹介	市村真樹	P123～132 LECTURE12	203
第14回 7月4日	「疾患別：小児疾患」 対麻痺・小児の装具療法の紹介	市村真樹	P147～153 LECTURE14	203
第15回 7月7日	演習問題	市村真樹	配布資料	203
定期試験 7月15日	筆記試験（5択、記述、記号選択、その他）4限			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	症例検討Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	望月里子、長田美紀	臨床実習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、PT評価学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、症例検討の方法について教授します。					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	一連の理学療法思考を整理し、ディスカッションすることが出来る。					
行動目標(SBO)	1. 症例検討の方法を知る。 2. 検討内容について意見の根拠となる知識を教科書等から調べることが出来る。 3. 検討内容を参考に理学療法アセスメントが出来る。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
症例検討とは、症例の理学療法訓練や経過などから、提供した理学療法と理学療法士の思考過程を検討することです。この授業では、症例検討に必要な知識とプレゼンテーションに必要な態度や話し方等を学びます。検討会では、話す態度や聴く態度も重要です。活発な検討会が出来るよう準備をしていきましょう。						
教科書・参考書						
特に指定なし						
受講時留意点、その他						
体調管理をしっかり行い、休まずに受講して下さい。 受講時は礼儀正しく、清潔な身だしなみ(頭髪、服装など)を心がけましょう。 内容、時間割を変更することがあります。その際は、掲示板、デスクネッツなどでお知らせします。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験		定期試験は行いません。				
小テスト						
レポート	50	授業での提出物が対象。(授業内で終わらない場合は宿題) 提示した書式に沿ってつくられているかで評価する。(字数など、詳細は授業内で説明) 未提出、提出期限遅れの場合は大幅な減点とする。				
実技試験						
プレゼンテーション	50	体験発表会を実施します。(詳細は、授業内で説明)				
その他	*	課題やプレゼンテーションに関して事前の相談等も受け付けます。				
(合計)	100	合計が6割に満たない場合は追加の課題提出が必要となる場合があります。				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>症例検討とは</u> 症例検討の意義や目的を学ぶ。	望月		
第2回	<u>症例検討の方法</u> 書式に沿って症例検討を進める方法を学ぶ。	望月		
第3回	<u>症例検討に向けて</u> 症例検討に向けて資料作成の方法を学ぶ。	望月		
第4回	<u>症例検討の準備</u> 症例検討での発表に向けて準備する。	望月		
第5回	<u>症例検討①</u> 発表とディスカッションを行う。	望月		
第6回	<u>症例検討②</u> 発表とディスカッションを行う。	望月		
第7回	<u>症例検討③</u> 発表とディスカッションを行う。	望月		
第8回	<u>症例検討④</u> 発表とディスカッションを行う。	望月		

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	症例検討Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	望月里子、長田美紀	PT評価学、臨床実習Ⅳ、症例検討Ⅰ、臨床実習Ⅴ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、症例検討の方法について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	一連の理学療法思考を整理し、ディスカッションすることが出来る					
行動目標(SBO)	1. 症例検討のための情報を整理できる。 2. 検討内容について意見の根拠となる知識を教科書等から調べることが出来る。 3. 検討内容を参考に理学療法をアセスメントが出来る。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
症例検討とは、症例の理学療法訓練や経過などから、提供した理学療法と理学療法士の思考過程を検討することです。この授業では、症例検討に必要な知識とプレゼンテーションに必要な態度や話し方等を学びます。検討会では、話す態度や聴く態度も重要です。活発な検討会が出来るよう準備をしていきましょう。						
教科書・参考書						
参考書 症例動画で分かる理学療法臨床推論 豊田輝 羊土社						
受講時留意点、その他						
授業内でスマートフォンを使用することがありますので、充電等の準備をしてください。理論的、論理的なディスカッションが出来るよう心掛けましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験		なし				
小テスト		なし				
レポート	50	授業での提出物が対象。(授業内で終わらない場合は宿題) 提示した書式に沿ってつくられているかで評価する。(字数など、詳細は授業内で説明) 未提出、提出期限遅れの場合は大幅な減点とする。				
実技試験						
プレゼンテーション	50	症例検討会の発表を学生同士で相互評価し反映させます。				
その他	*	課題やプレゼンテーションに関して事前の相談等も受け付けます。				
(合計)	100	合計が6割に満たない場合は追加の課題提出が必要となる場合があります。				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	症例検討に向けた情報整理の仕方①	望月		
第2回	症例検討に向けた情報整理の仕方②	望月		
第3回	症例検討の準備①	望月		
第4回	症例検討の準備②	望月		
第5回	症例検討①	望月		
第6回	症例検討②	望月		
第7回	症例検討③	望月		
第8回	症例検討④ まとめ	望月		
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床理学療法学	2	60	講義	必修	可
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	望月里子、植田英則、赤岩龍士、大沼賢洋、森梢、白井英彬	運動学、運動機能評価学、神経機能評価学、整形外科学、中枢神経疾患理学療法学、神経筋疾患理学療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
4年次後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法の専門分野における基礎学力が向上するように授業を展開していきます。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法専門分野における基礎学力を習得する。					
行動目標(SBO)	1. 理学療法の基礎、概要を理解する。 2. 理学療法における職業倫理、関連法規について理解する。 3. 各障害別の基本的な理学療法評価、治療介入について理解する。 4. 地域における理学療法について理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は、理学療法の専門知識を復習し、臨床現場で必要な知識の習得を目的とします。授業内では、重要事項を抜粋して説明します。授業で扱う内容は確実に覚えるようにしましょう。教科書,参考書を活用し、より深い知識の習得に努めてください。						
教科書・参考書						
【教科書】国試の達人 PT・OTシリーズ2026 理学療法編 第25版 .アイベック 【参考書】PT/OT国家試験 必修ポイント2026 基礎PT学.医歯薬出版						
受講時留意点、その他						
この授業の後期末試験は、卒業試験となります。 進行や習熟度に応じて内容を変更することがあります。 分からないことは随時質問を受付ますので、そのままにならないようにしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	後期末試験100%で成績評価を行う。 360点満点中、6割以上で合格とする。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	<u>学習方法の検討・イントロダクション、PT評価①</u> 運動機能評価について学ぶ。 【キーワード】 ROM、MMT	望月 里子	配布資料	
第2回	<u>理学療法評価法2</u> 神経系の理学療法評価について学ぶ。 【キーワード】反射、BRS、SIAS	望月 里子	配布資料	
第3回	<u>ADL評価</u> ADL評価について学ぶ。 【キーワード】FIM、BI、QOL	白井英彬	配布資料	
第4回	<u>運動療法</u> 筋力強化やトレーニングの目的、方法、効果について学ぶ。 【キーワード】筋力増強、運動学習	植田英則	配布資料	
第5回	<u>義肢学</u> 義肢の種類、アライメントについて学ぶ。 【キーワード】義肢、義足アライメント	植田英則	配布資料	
第6回	<u>補装具療法1</u> 上下肢装具の種類や適応について学ぶ。 【キーワード】上肢装具、下肢装具	望月 里子	配布資料	
第7回	<u>補装具療法2</u> 体幹・靴装具の種類や適応について学ぶ。 【キーワード】体幹、靴	望月 里子	配布資料	
第8回	<u>基礎理学療法、理学療法管理学、地域理学療法①</u> 理学療法の基本、範囲について学ぶ。 【キーワード】関連法規、研究、地域包括ケアシステム	望月 里子	配布資料	
第9回	<u>基礎理学療法、理学療法管理学、地域理学療法②</u> 理学療法の基本、範囲について学ぶ。 【キーワード】関連法規、研究、地域包括ケアシステム	望月 里子	配布資料	
第10回	<u>内部障害1(呼吸器①)</u> 呼吸器障害の評価、理学療法を学ぶ。 【キーワード】COPD、体位排痰法、呼吸性アシドーシス	望月 里子	配布資料	
第11回	<u>内部障害2(循環器①)</u> 循環器障害の評価(心電図)を中心に行う。 【キーワード】心電図、NYHA分類	望月 里子	配布資料	
第12回	<u>内部障害3(循環器②)</u> 循環器障害の理学療法について学ぶ。 【キーワード】心不全、血圧、運動療法の効果	望月 里子	配布資料	
第13回	<u>内部障害4(代謝)</u> 糖尿病や腎不全患者への運動処方や運動強度の設定について学ぶ。 【キーワード】糖尿病、腎不全、運動強度	赤岩龍士	配布資料	
第14回	<u>整形外科1</u> リウマチや変形性関節症の評価、理学療法について学ぶ。 【キーワード】RA、変形性関節症	大沼賢洋	配布資料	
第15回	<u>整形外科2</u> 骨折や靱帯損傷の評価、理学療法について学ぶ。 【キーワード】骨折、靱帯損傷	大沼賢洋	配布資料	

(R02-カリキュラム)

第16回	整形外科3 脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアの評価、理学療法について学ぶ。 【キーワード】末梢神経、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア	大沼賢洋	配布資料	
第17回	整形外科4 スポーツ障害、熱傷の評価、理学療法について学ぶ。 【キーワード】側弯症、スポーツ障害、熱傷	大沼賢洋	配布資料	
第18回	中枢神経障害1 中枢神経疾患の病態や評価について学ぶ。 【キーワード】病態、画像、評価	望月里子	配布資料	
第19回	中枢神経障害2 中枢神経疾患の理学療法、リスク管理について学ぶ。 【キーワード】理学療法、リスク管理	望月里子	配布資料	
第20回	中枢神経障害3 中枢神経疾患患者への補装具療法について学ぶ。 【キーワード】AFO、継手	望月里子	配布資料	
第21回	中枢神経障害4 頭部外傷について学ぶ。 【キーワード】びまん性軸索損傷、意識障害、高次脳機能障害	望月里子	配布資料	
第22回	神経筋障害 神経・筋障害の疾患、評価、理学療法について学ぶ。 【キーワード】パーキンソン病、失調、ALS	白井英彬	配布資料	
第23回	脊髄損傷1 脊髄損傷の評価について学ぶ。 【キーワード】残存機能、Zancolli、ASIA	白井英彬	配布資料	
第24回	脊髄損傷2 脊髄損傷の理学療法について学ぶ。 【キーワード】Frenkel分類、獲得可能な動作	白井英彬	配布資料	
第25回	物理療法 物理療法の適応、目的や効果、禁忌について学ぶ。 【キーワード】温熱療法、寒冷療法、電気刺激	森梢	配布資料	
第26回	臨床運動学、歩行 姿勢や歩行について力学的視点で考える。 【キーワード】力学、歩行周期、アライメント	森梢	配布資料	
第27回	小児、発達 小児の発達段階、代表的な疾患、評価、理学療法について学ぶ。 【キーワード】発達、脳性麻痺、二分脊椎	赤岩龍士	配布資料	
第28回	高齢期障害、がん がんの緩和ケアや高齢期の理学療法について学ぶ。 【キーワード】フレイル、がん、加齢	望月里子	配布資料	
第29回	まとめ①	望月里子	配布資料	
第30回	まとめ②	望月里子	配布資料	
定期試験				講堂・レクリエーション室

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	理学療法学技術論	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	大沼賢洋、岡部敏幸、和泉謙二 相原忠洋、斎藤佳久、中嶋富美	理学療法評価学Ⅰ・Ⅱ、運動機能評価学、神経機能評価学、骨関節疾患理学療法学、中枢神経理学療法学など				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
4年次後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法の評価や治療の仕方を身に付けることができるように授業をしていきます。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	臨床に対応した知識・技術を身につける。					
行動目標(SBO)	1. 理学療法に必要な知識・技術を学ぶ。 2. 対象の状態、場所にあわせて評価・治療ができる。 3. 対象に合わせた、治療の考え方を理解することができる。 4. 対象に合わせた、治療を模倣することができる。 5. リスク管理ができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
この授業は現場で活かせる知識・技術を身につける授業である。臨床で活躍されている理学療法士を講師として招き、展開していく。卒業し、臨床家として進む方向性を少しでも感じていただきたい。疑問を持った場合、積極的に発言することを求める。また、学習した内容はしっかりとメモを取り、反復練習をして習得するように努めてください。くれぐれも講師に失礼のないよう、取り組んでください。						
教科書・参考書						
特に指定しない						
受講時留意点、その他						
1. 実習開始前、必ず手洗いをする事。 2. Tシャツ、ハーフパンツ等動きやすい服装、靴下は白を着用し出席すること。 3. 服装、身だしなみは清潔感のあるものとする事。 4. 実習施設であると思い緊張感を持つこと。 5. 被験者を本当の患者であるように対応すること。 6. 感染症対策として、手指消毒や換気を徹底すること。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験						
小テスト						
レポート	90	15回終了後レポートを作成し提出。レポートは提出期限を15回終了1週間後とする。 文字数は1600字とする。採点は1. 提出期限を守る。2. 様式を守る。3. 誤字脱字がない。 4. 意見を述べる。以上を中心に採点する。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	10	行動観察：授業で指定されて服装ができる。指示に従い、取り組むことができる。以上を観察する。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	PNF① 基本的概念、対象、手技を学ぶ。	齋藤佳久	配布資料	治療室 機能訓練 室
第2回	PNF②	齋藤佳久	配布資料	治療室 機能訓練 室
第3回	PNF③	齋藤佳久	配布資料	治療室 機能訓練 室
第4回	PNF④	齋藤佳久	配布資料	治療室 機能訓練 室
第5回	臨床動作分析①	和泉謙二	配布資料	203
第6回	臨床動作分析②	和泉謙二	配布資料	203
第7回	認知神経リハビリテーション①	中嶋富美	配布資料	治療室 機能訓練 室
第8回	認知神経リハビリテーション②	中嶋富美	配布資料	治療室 機能訓練 室
第9回	認知神経リハビリテーション③	中嶋富美	配布資料	治療室 機能訓練 室
第10回	足底板① 足底板を実際に作成する。	岡部敏幸	配布資料	治療室 機能訓練 室
第11回	足底板② 足底板を実際に作成する。	岡部敏幸	配布資料	治療室 機能訓練 室
第12回	徒手医学① 脊柱の評価から関節・軟部組織mobilization技術を学ぶ。	相原忠洋	配布資料	治療室 機能訓練 室
第13回	徒手医学②	相原忠洋	配布資料	治療室 機能訓練 室
第14回	徒手医学③	相原忠洋	配布資料	治療室 機能訓練 室
第15回	徒手医学④	相原忠洋	配布資料	治療室 機能訓練 室

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	理学療法セミナー	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	森梢、小林庸亮、河原一剛 川村浩二、鳥飼達也	臨床実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設や施設外での理学療法の実務経験を基に、社会における理学療法士の役割について教授します。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	最近の理学療法について学び、今後の理学療法の実践に適応できるよう再考でき					
行動目標(SBO)	1. 最近の理学療法関連のトピックスについて説明できる。 2. 自分の目指す理学療法士像を考えることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
理学療法関連の最近のトピックスについて学ぶ授業です。 臨床現場だけでなく新たな場面で理学療法士がどのように活躍しているかを紹介します。 理学療法における最近の知識を得るとともに、自分の将来像を考えるきっかけにしましょう。						
教科書・参考書						
特に指定しない						
受講時留意点、その他						
レポートの作成方法は授業中にお伝えします。時間厳守で提出して下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	第8回終了後レポートを作成し提出する。 レポートは提出期限は第8回終了1週間後とする。 採点項目: 1. 提出期限 2. 様式 3. 誤字脱字 4. 意見を述べる				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	理学療法を治療として展開するための基礎知識(1) 【キーワード】EBM、治療ガイドライン、動作分析	小林庸亮		
第2回	理学療法を治療として展開するための基礎知識(2) 【キーワード】EBM、治療ガイドライン、動作分析	小林庸亮		
第3回	生きた証を残すため(1) 【キーワード】がんリハビリテーション、環境、挑戦	河原一剛		
第4回	生きた証を残すため(2) 【キーワード】がんリハビリテーション、環境、挑戦	河原一剛		
第5回	理学療法士の職域の展望(1) 【キーワード】日本理学療法士協会、静岡県理学療法士会	川村浩二		
第6回	理学療法士の職域の展望(2) 【キーワード】日本理学療法士協会、静岡県理学療法士会	川村浩二		
第7回	多方面で活躍するためには(1) 【キーワード】出張講習会、パーソナル・グループトレーニング	鳥飼達也		
第8回	多方面で活躍するためには(2) 【キーワード】出張講習会、パーソナル・グループトレーニング	鳥飼達也		
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	地域リハビリテーション学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	市村真樹	リハビリテーション概論、基礎理学療法学、社会福祉概論 臨床理学療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、地域リハビリテーションという概念の中の理学療法士の関わり方を教授します。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	医療機関退院後、あるいは障害を有しながら地域で生活する人々の生活障害や生活障害に対する理学療法介入の実際について学習する。					
行動目標（SBO）	1．地域リハビリテーションおよび地域理学療法の定義について理解する。 2．人々の生活を支える視点について理解する。 3．日本の社会情勢と課題について理解する。 4．地域リハビリテーションに関連する法規を理解する。 5．理学療法的支援を具体的に理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
患者や家族、他の専門スタッフとの関わり方を学習します。医療従事者としての意識で講義に参加してください。						
講義形式、グループワーク形式にて授業を行う。資料や映像を配信する。 参考書：1) 石川朗, 鈴木英樹 15レクチャーシリーズ理学療法テキスト 地域理学療法学 初版 中山書店 2021年						
受講時留意点、その他						
社会的態度、医療的態度を尊重します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	90	期末試験を行い成績評価を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション	10	グループワークでの態度・発言等を参考にする。				
その他		科目に対する興味、関心、学習に対する積極性が良好な場合、加点の対象とする場合がある。 授業に対する迷惑行為、清潔感にける身だしなみなどは減点の対象とする場合がある。 正当でない理由での欠席は減点の対象とする場合がある。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	リハビリテーションの一連の流れとそこに関わる専門職を学ぶ	市村真樹	配布資料	
第2回	「急性期・回復期・生活期」のリハビリテーションを考える	市村真樹	配布資料	
第3回	地域リハビリテーションの概念と視点	市村真樹	配布資料	
第4回	地域リハビリテーションと社会情勢	市村真樹	配布資料	
第5回	介護保険制度	市村真樹	配布資料	
第6回	対象と支援方法	市村真樹	配布資料	
第7回	理学療法的支援（１）起居動作・良肢位・移乗・移動動作	市村真樹	配布資料	
第8回	理学療法的支援（２）食事と排泄	市村真樹	配布資料	
第9回	理学療法的支援（３）社会参加	市村真樹	配布資料	
第10回	理学療法的支援（４）フレイル・ロコモティブシンドローム・サルコペニア	市村真樹	配布資料	
第11回	理学療法的支援（５）認知症・軽度認知障害	市村真樹	配布資料	202
第12回	理学療法的支援（６）環境的側面	市村真樹	配布資料	
第13回	「理学療法士の起業」 理学療法士の実際の起業について学ぶ。 【キーワード】理学療法士の起業	寺倉浩司		
第14回	実際の地域リハビリテーションの取り組み 1	市村真樹		
第15回	実際の地域リハビリテーションの取り組み 2	市村真樹		
定期試験	筆記試験（5択、記述、記号選択、その他）			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	生活環境論Ⅰ	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則、宮上純貴	地域リハビリテーション学、生活環境論Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期						
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	住宅改修に必要な共通基本技術を知識を学ぶ。					
行動目標(SBO)	①住宅改修に必要な建築基準法を学ぶ。 ②共通技術の基本的な考え方を学ぶ。 ③具体的な方法を事例を通して学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は、今まで学んできたことを基に自宅復帰・社会復帰に向けて考えていく授業です。イーラーニング方式で進めることが多い授業です。積極的に進めていきましょう。						
教科書・参考書						
指定教科書:なし 参考書:改訂第5版福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト 東京商工会議所						
受講時留意点、その他						
授業中にスマートフォンを使用します。充電を十分な状態としてください。また、授業中は節度をもって、						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	第8回でまとめたレポートで採点します。詳細な内容は授業でお伝えします。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	住宅改修に必要な建築基準法を知る 【KW】建築物の用途、建ぺい率、容積率	植田		203
第2回	段差の解消方法 【KW】地面からの高さ、スロープ、すりつけ板	植田		203
第3回	手すりの取り付け 【KW】種類、使用場所・方法、取付位置	植田		203
第4回	スペースへの配慮 【KW】幅員、モジュール	植田		203
第5回	その他配慮すべき事項 【KW】家具、照明、冷暖房	植田		203
第6回	住環境整備の事例紹介①	宮上		203
第7回	住環境整備の事例紹介②	宮上		203
第8回	まとめ 第1～7回まで学んだ事をレポートとしてまとめる	植田		203
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	生活環境論Ⅱ	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則 、 宮上純貴・松本信広(外部講師)	生活環境論Ⅰ、臨床実習Ⅳ、臨床実習Ⅴ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、臨床に生かす環境設定の方法を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	自宅復帰・社会復帰に向けた法的諸制度・住環境整備を学ぶ					
行動目標(SBO)	・住環境設備に必要な法的諸制度を学ぶ。 ・住環境整備の流れを理解し、理学療法士の役割を学ぶ。 ・事例を通して住環境整備を学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は、生活環境論Ⅰ・今までに学習した内容を活かし、自宅復帰・社会復帰に向けてどのように結び付けていくかを深めていく授業です。臨床実習でかかわった症例をイメージしながら進められると良いでしょう。						
教科書・参考書						
特になし。授業内容に合わせて、適宜、指示します。						
受講時留意点、その他						
講義や演習、グループワークに積極的に参加すること。 体調管理に留意し、欠席しないようにしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	第6～8回に行った課題を提出していただき、採点します。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>ガイダンス、生活環境論 I 復習</u> 【key word】住環境整備、建築基準法	植田		201
第2回	<u>住環境整備と法的諸制度①</u> 【key word】社会保障制度、	宮上		201
第3回	<u>住環境整備と法的諸制度②</u> 【key word】社会保障制度、障害者福祉、日本国憲法	宮上		201
第4回	<u>住環境整備に関わる理学療法の実際①</u> 臨床で働かれている外部講師を招聘しての授業	松本		203
第5回	<u>住環境整備に関わる理学療法の実際②</u>	松本		203
第6回	<u>住環境整備の実践①</u> 事例を提示します。その事例に適切な住環境整備を検討しましょう。	植田		203
第7回	<u>住環境整備の実践②</u> 事例を提示します。その事例に適切な住環境整備を検討しましょう。	植田		203
第8回	<u>住環境整備の実践③</u> 事例を提示します。その事例に適切な住環境整備を検討しましょう。	植田		203
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅰ	1	45	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	望月里子、大沼賢洋 臨床実習指導者	基礎理学療法学Ⅰ・Ⅱ、基礎理学療法学実習Ⅰ・Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 後期	この授業は、臨床の理学療法士および学校教員で担当します。医療施設での実務経験をもとに、患者への理学療法や業務について見学や体験を通して学びを深めます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	1. 対象者を尊重し、共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築できる (理学療法の対象者との関係性構築) 2. 職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員としての自覚のある言動を取ることが出来る (チーム内での多職種との関係性および理学療法士としての役割) 3. 理学療法場面での見学や経験を通して、理学療法の専門性を理解することができる					
行動目標 (SBO)	1. ①清潔で適切な身だしなみ、言葉遣い、礼儀正しい態度で対象者に接することができる。 ②共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築することができる。 ③周囲における自己の存在を意識した行動を行う事が出来る。 ④自らが置かれた立場で、必要とされている要件を認識し、他者や指導者の助言などに対して適切に応答することができる。 ⑤対象者、家族のニーズ・要望などに対し、自信の感情を制御して接することができる。 ⑥対象者、家族にとって、相談しやすい雰囲気作りを心がけることができる。 2. ①医療職としての心得や職場内におけるルールを守ることができる。 ②部門におけるルールを理解し、診療プロセス(処方の確認、計画書、効果判定、カルテの記録、算定手順など)を理解した言動を取ることができる。 ③臨床実習指導者と十分なコミュニケーションを保って良好な関係を維持することができる。 ④積極的に理学療法スタッフや多職種と関わり、良好な関係を構築することができる。 ⑤インシデント・アクシデントが生じた際には実習施設の手順に従って対応することができる。 ⑥守秘義務を果たし、プライバシーを守ることができる。 ⑦臨床実習施設における多職種連携の展開について見学することができる。 3. ①リハビリテーション利用者に対する理学療法を見学することができる ②リハビリテーション利用者に対する理学療法の一部を経験することができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
臨床実習Ⅰ：40時間(8時間×5日)＋学内実習5時間 計45時間 1単位。 授業は学外の実習施設、通所施設へ通い、臨床実習指導者の指導の下で行われます。理学療法場面に参加し、様々な見学、体験を行います。実習は以下のような方法で行われます。 (1)診療参加型実習 ・理学療法士の業務について「見学・体験」することを目的とします。 ・実習生が臨床実習指導者の指導のもと具体的な指示を受け、理学療法の補助行為を行う事によって、臨床経験を積んでいく授業形態です。 ・本実習では、指導者から実習施設における理学療法士の役割を学びます。 ・対象者や臨床実習指導者、施設スタッフとの関わりを通して、適切な接し方を学びます。 (2)実習日誌 ・行動記録、1日の振り返り、明日の準備、などを記録します。 ・毎日記録し、臨床実習指導者へ提出します(学校指定の書式)。 ・臨床実習指導者は内容確認と共に、具体的行動について指導をします。						
教科書・参考書						
・臨床実習ガイド(本校編集授業資料) ・臨床実習教育の手引き第6版(日本理学療法士協会編集・発行) ・その他、学内授業で使用した教科書 ・臨床実習指導者が用意した学修教材						
受講時留意点、その他						
・服装は、学校指定のユニフォーム(KCもしくはポロシャツ)とします。ただし、実習施設で指定がある場合はそれに従ってください。 ・実習施設の規則を守り、実習生として適切な行動を心がけてください。 ・原則的に平日の開講ですが、実習施設や臨床実習指導者の勤務の都合で土日開講の場合があります。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	*	テーマ「臨床実習施設における理学療法の流れ」 「医療、介護現場における理学療法士の役割と責任について」				
実技試験						
プレゼンテーション	*	実習後のセミナーにおける発表内容、プレゼンテーションスキルでを考慮する。				
その他	100	ソーシャルスキルルーブリック、臨床実習支援システムの記録内容(出席状況、日誌、レポート、チェックリスト)、実習後のレポート・発表の内容をもとに判断する。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	実習前セミナー① 実習地発表、オリエンテーション 実習手引きを用いて実習の課題や心構えを伝える。	望月 学科教員	実習の手引き	普通教室
第2回	実習前セミナー② 実習地発表、オリエンテーション 実習手引きを用いて実習の課題や心構えを伝える。	望月 学科教員	実習日誌	普通教室
第3回 1日目	コースオリエンテーション、診療参加型実習1 施設の規則、実習スケジュールの説明など 実習施設での理学療法の見学・体験。	臨床実習指 導者		実習施設
第4回 2日目	診療参加型臨床実習2 実習施設での理学療法の見学・体験。	臨床実習指 導者		実習施設
第5回 3日目	診療参加型臨床実習3 実習施設での理学療法の見学・体験。	臨床実習指 導者		実習施設
第6回 4日目	診療参加型臨床実習4 実習施設での理学療法の見学・体験。	臨床実習指 導者		実習施設
第7回 5日目	診療参加型実習5、まとめ実習 施設での理学療法の見学・体験。 実習中の課題についてのフィードバック	臨床実習指 導者		実習施設
第8回	実習後セミナー① 実習関係書類の確認。 臨床実習の振り返り。実習体験レポート作成。	望月 学科教員		普通教室
第9回	実習後セミナー② 実習体験レポートの発表、討論を行う。	望月 学科教員		普通教室

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅱ	1	45	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	望月里子、大沼賢洋 臨床実習指導者	専門分野の評価学、専門分野の理学療法学、 専門分野の理学療法実習など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 後期	この授業は、臨床の理学療法士および学校教員で担当します。医療施設での実務経験をもとに、患者への理学療法や業務について見学や体験を通して学びを深めます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	1. 対象者を尊重し、共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築できる (理学療法の対象者との関係性構築) 2. 職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員としての自覚のある言動を取ることが出来る (チーム内での多職種との関係性および理学療法士としての役割) 3. 地域理学療法の場面での経験を通して、地域包括ケアシステム(特に、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション)における理学療法士の役割を理解し、地域包括ケアシステムに関与する関連専門職の役割を理解することができる (地域理学療法における臨床実習)					
行動目標(SBO)	1. ①清潔で適切な身だしなみ、言葉遣い、礼儀正しい態度で対象者に接することができる。 ②共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築することができる。 ③周囲における自己の存在を意識した行動を行う事が出来る。 ④自らが置かれた立場で、必要とされている要件を認識し、他者や指導者の助言などに対して適切に応答することができる。 ⑤対象者、家族のニーズ・要望などに対し、自信の感情を制御して接することができる。 ⑥対象者、家族にとって、相談しやすい雰囲気作りを心がけることができる。 2. ①医療職としての心得や職場内におけるルールを守ることができる。 ②部門におけるルールを理解し、診療プロセス(処方の確認、計画書、効果判定、カルテの記録、算定手順など)を理解した言動を取ることができる。 ③臨床実習指導者と十分なコミュニケーションを保って良好な関係を維持することができる。 ④積極的に理学療法スタッフや多職種と関わり、良好な関係を構築することができる。 ⑤インシデント・アクシデントが生じた際には実習施設の手順に従って対応することができる。 ⑥守秘義務を果たし、プライバシーを守ることができる。 ⑦臨床実習施設における多職種連携の展開について見学することができる。 3. ①通所リハビリテーション利用者(個別、集団)に対する理学療法を見学することができる ②通所リハビリテーション利用者に対する理学療法の一部を経験することができる ③訪問リハビリテーション利用者に対する理学療法を見学することができる ④訪問リハビリテーション離床者に対する理学療法の一部を経験することができる ⑤ケアプランの立案過程を見学することができる					

(R02-カリキュラム)

この授業の概要、助言、学習支援の方法 など		
臨床実習Ⅰ：40時間(8時間×5日)＋学内実習5時間 計45時間 1単位。 授業は学外の実習施設、通所施設へ通い、臨床実習指導者の指導の下で行われます。理学療法場面に参加し、様々な見学、体験を行います。実習は以下のような方法で行われます。 (1)診療参加型実習 ・理学療法士の業務について「見学・体験」することを目的とします。 ・実習生が臨床実習指導者の指導のもと具体的な指示を受け、理学療法の補助行為を行う事によって、臨床経験を積んでいく授業形態です。 ・本実習では、指導者から実習施設における理学療法士の役割を学びます。 ・対象者や臨床実習指導者、施設スタッフとの関わりを通して、適切な接し方を学びます。 (2)実習日誌 ・行動記録、1日の振り返り、明日の準備、などを記録します。 ・毎日記録し、臨床実習指導者へ提出します(学校指定の書式)。 ・臨床実習指導者は内容確認と共に、具体的行動について指導をします。		
教科書・参考書		
・臨床実習ガイド(本校編集授業資料) ・臨床実習教育の手引き第6版(日本理学療法士協会編集・発行) ・その他、学内授業で使用した教科書 ・臨床実習指導者が用意した学修教材		
受講時留意点、その他		
・服装は、学校指定のユニフォーム(KCもしくはポロシャツ)とします。ただし、実習施設で指定がある場合はそれに従ってください。 ・実習施設の規則を守り、実習生として適切な行動を心がけてください。 ・原則的に平日の開講ですが、実習施設や臨床実習指導者の勤務の都合で土日開講の場合があります。		
成績評価方法		
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など
定期試験		
小テスト		
レポート	*	テーマ「臨床実習施設における理学療法の流れ」 「地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割と多職種の間連について」
実技試験		
プレゼンテーション	*	実習後のセミナーにおける発表内容、プレゼンテーションスキルを考慮する。
その他	100	ソーシャルスキルルーブリック、臨床実習支援システムの記録内容(出席状況、日誌、レポート、チェックリスト)、実習後のレポート・発表の内容をもとに判断する。
(合計)	100	

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>実習前セミナー①</u> 実習地発表、オリエンテーション 実習手引きを用いて実習の課題や心構えを伝える。	望月 学科教員	実習の手引き	普通教室
第2回	<u>実習前セミナー②</u> 実習地発表、オリエンテーション 実習手引きを用いて実習の課題や心構えを伝える。	望月 学科教員	実習日誌	普通教室
第3回 1日目	<u>コースオリエンテーション、診療参加型実習1</u> 施設の規則、実習スケジュールなど	臨床実習 指導者		実習施設
第4回 2日目	<u>診療参加型臨床実習2</u> 施設・訪問先での理学療法の見学・体験。	臨床実習 指導者		実習施設
第5回 3日目	<u>診療参加型臨床実習3</u> 施設・訪問先での理学療法の見学・体験。	臨床実習 指導者		実習施設
第6回 4日目	<u>診療参加型臨床実習4</u> 施設・訪問先での理学療法の見学・体験。	臨床実習 指導者		実習施設
第7回 5日目	<u>診療参加型実習5、まとめ</u> 臨床実習記録についてのフィードバック	臨床実習 指導者		実習施設
第8回	<u>実習後セミナー①</u> 実習関係書類の確認。 臨床実習の振り返り。課題レポート作成。	望月 学科教員		普通教室
第9回	<u>実習後セミナー②</u> 課題レポートの発表、討論を行う。	望月 学科教員		普通教室

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅲ	4	180	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	大沼賢洋、望月里子、赤岩龍士 森梢、白井英彬、長田美紀	専門分野の評価学、専門分野の理学療法学、専門分野の理学療法学実習など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は、臨床の理学療法士および学校教員で担当します。医療施設での実務経験をもとに、患者への理学療法や業務について見学や体験を通して学びを深めます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	1. 対象者を尊重し、共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築できる (理学療法の対象者との関係性構築) 2. 職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員としての自覚のある言動を取ることが出来る (チーム内での多職種との関係性および理学療法士としての役割) 3. 理学療法の流れを理解するとともに、臨床内容の意義を理解して説明することができる (理学療法プロセスの理解) 4. 指導者の直接監視下で学生により実施されるべき項目(水準Ⅰ)において、1)～3)を実践することができる。 (対象者に対する理学療法実践)					
行動目標(SBO)	1. ①清潔で適切な身だしなみ、言葉遣い、礼儀正しい態度で対象者に接することができる。 ②共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築することができる。 ③周囲における自己の存在を意識した行動を行う事が出来る。 ④自らが置かれた立場で、必要とされている要件を認識し、他者や指導者の助言などに対して適切に応答することができる。 ⑤対象者、家族のニーズ・要望などに対し、自信の感情を制御して接することができる。 ⑥対象者、家族にとって、相談しやすい雰囲気作りを心がけることができる。 2. ①医療職としての心得や職場内におけるルールを守ることができる。 ②部門におけるルールを理解し、診療プロセス(処方の確認、計画書、効果判定、カルテの記録、算定手順など)を理解した言動を取ることができる。 ③臨床実習指導者と十分なコミュニケーションを保って良好な関係を維持することができる。 ④積極的に理学療法スタッフや多職種と関わり、良好な関係を構築することができる。 ⑤インシデント・アクシデントが生じた際には実習施設の手順に従って対応することができる。 ⑥守秘義務を果たし、プライバシーを守ることができる。 ⑦臨床実習施設における多職種連携の展開について見学することができる。 3. ①指導者の助言のもと、検査項目・情報収集項目の抽出・取捨選択の理由について説明することができる。 ②指導者の助言のもと、検査結果の関連性について説明することができる。 ③可能ならば、指導者の助言のもと、対象者が抱える課題を抽出し、その抽出理由について説明することが経験できる。 ④可能ならば、指導者の助言のもと、対象者の治療目標を設定し、その設定根拠について説明することが経験できる。 ⑤可能ならば、指導者の助言のもと、理学療法プログラムを選択や、その根拠について説明することが経験できる。 ⑥可能ならば、指導者の助言のもと、理学療法の即時効果を確認し、その内容について説明することが経験できる。 ⑦可能ならば、指導者の助言のもと、実施内容を診療記録に記載することが経験できる。 ⑧可能ならば、指導者の助言のもと、カンファレンスでの症例提示内容について説明をすることが経験できる。					
行動目標(SBO)	4. 1)リスク管理について ①スタンダードプリコーション(標準予防策)が実施できる ②バイタルサインの計測を実施できる ③意識レベルの評価を見学し、可能ならば実施できる ④各種モニターの使用が経験できる 2)理学療法評価について ①情報収集(診療記録、画像所見、部門内、部門外を含む)を実施することができる ②フィジカルアセスメント(問診、視診、聴診、触診)を実施することができる ③基本的な検査測定を実施することができる ・形態測計測・感覚検査・反射検査・筋緊張検査・関節可動域計測 ・筋力検査・運動耐用力 ④姿勢観察を経験することができる。 ⑤動作観察を経験することができる。 ⑥疼痛の評価を経験することができる。 ⑦日常生活活動評価(手段的日常生活活動を含む)を経験することができる。 ⑧運動器疾患に関する個別検査を経験することができる。 ⑨中枢神経疾患に関する個別検査を経験することができる。 ⑩内部障害に関する個別検査を経験することができる。 ⑪各種発達評価を経験することができる。 3)理学療法治療技術について ①運動療法を経験することができる ・関節可動域運動・筋力増強運動・バランス練習 ・基本動作練習(随意性の促通含む)・移動動作練習・日常生活活動練習 ②物理療法を経験することができる ・温熱療法・寒冷療法・電気刺激療法・超音波療法・水治療法 ・光線療法・牽引療法 ③義肢装具療法などを体験することができる ・長・短下肢装具の適合性の確認・長・短下肢装具の調整・福祉用具の選択 ・歩行補助具の使用方法的説明					

この授業の概要、助言、学習支援の方法 など		
臨床実習Ⅲ：135時間(8時間×15日)＋学内実習45時間 計180時間 この授業は、学外の実習施設へ通い、臨床実習指導者の下で行われます。診療場面に参加し、様々な体験、見学を行います。実習は以下のような方法で行われます。 (1)診療参加型臨床実習 ・実習生が臨床実習指導者の助手として、診療補助行為を行うことによって、臨床経験を積んでいく授業形態です。 ・検査・測定や動作介助が実習内容となります。指導者が担当している複数の対象者に対し、指導者の指示のもとで経験を積みながら治療技術と臨床思考を習得していきます。 ・1人の対象者に対し、ある部分は自分で実施し、ある部分は指導者が実施するのを見学する形になります。この過程で、指導者の考える障害像や統合と解釈、ゴール・プログラム立案プロセスの説明を受けながら理解を深めます。 (2)実習日誌 ・行動記録、実習記録(体験数)、1日の振りかえりなどを記載します。 ・毎日記載して、臨床実習指導者へ提出します(学校指定の書式使用)。 ・指導者は確認してサインをします。 (3)ポートフォリオ ・診療参加型実習中に体験した検査測定や介助の記録や、指導者から指示のあった自宅学習の内容、自己研鑽でまとめた資料等をファイリングします。テーマに沿って資料を整理することで、理学療法の全体像や流れを把握します。 ・また、毎日、指導者と共に確認し記載するチェックリストも挟み込んでいきます。 ・記入の際は個人情報流出に留意し、臨床実習指導者から適切な情報の取り扱いを学びます。		
教科書・参考書		
・臨床実習教育のの手引き(日本理学療法士協会 編集・発行) ・臨床実習ガイド(本校編集授業資料) ・臨床実習記録(本校編集授業資料) ・その他、学内授業で活用した教科書 ・臨床実習指導者が用意した学修教材		
受講時留意点、その他		
・服装は、学校指定のユニフォームとします。ただし、実習施設で指定がある場合それにしたがってください。 ・実習施設の規則を守り、理学療法学生として適切な行動を心がけて下さい。 ・原則的に、土日の開講はありません。ただし、実習施設や実習指導者の勤務の関係で変更となる場合があります。		
成績評価方法		
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など
定期試験		なし
小テスト		
レポート	*	テーマ「臨床実習施設での多職種連携の展開について」 「検査測定の臨床特性」
実技試験	*	実習前後のOSCEにて採点する。
プレゼンテーション	*	実習後のセミナーにおける発表内容、プレゼンテーションスキルを考慮する。
その他	100	臨床実習前後のOSCEにて採点する。また、臨床実習の総括的評価ルーブリック、臨床実習支援システムの記録内容(出席状況、日誌、レポート、チェックリスト)、実習後のレポート・発表の内容を加味する。
(合計)	100	

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	症例提示①～② この授業で目的、目標、スケジュールなどを確認、理解する。 臨床実習で多く経験する症例を1～2例提示する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第2回	症例提示①～② この授業で目的、目標、スケジュールなどを確認、理解する。 臨床実習で多く経験する症例を1～2例提示する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第3回	実技指導① 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第4回	症例提示② 臨床実習で多く経験する中枢神経疾患の症例を1例提示する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第4回	実技指導② 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	森 学科教員		治療室 機能訓練室
第5回	臨床実習準備講座① 実習地の発表、オリエンテーション 実習手引きを用いて実習の課題や心構えを伝える。	望月 学科教員	実習の 手引き	203
第6回	実技指導② 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第7回	実技指導③ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第8回	実技指導④ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第9回	実技指導⑤ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第10回	実技指導⑥ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第6回	臨床実習準備講座② 実習地の発表、オリエンテーション 実習手引きを用いて実習の課題や心構えを伝える。	望月 学科教員	実習の 手引き	203
第7回	実技指導③ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	望月 学科教員		治療室 機能訓練室
第8回	実技指導④ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	赤岩 学科教員		治療室 機能訓練室
第9回	OSCE① 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第12回	OSCE② 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第13回	OSCE③ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第10回	OSCE② 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第11回	OSCE③ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室

(R02-カリキュラム)

第12回	OSCE④ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第13回	OSCE復習① 良かった点、改善点など総評し、実際に模範例を示す。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第14回	OSCE復習② 良かった点、改善点など総評し、実際に模範例を示す。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第15回 1日目	コースオリエンテーション、診療参加型実習 施設の規則、実習スケジュールなど	臨床実習 指導者		実習施設
第16回 2～14日目	診療参加型臨床実習 対象者へ検査・測定・動作介助の見学・体験。	臨床実習 指導者		実習施設
第17回 3日目	診療参加型臨床実習2 対象者へ検査・測定・動作介助の見学・体験。	臨床実習 指導者		実習施設
第18回 4日目	診療参加型臨床実習3 対象者へ検査・測定・動作介助の見学・体験。	臨床実習 指導者		実習施設
第19回 5日目	診療参加型臨床実習4 対象者へ検査・測定・動作介助の見学・体験。	臨床実習 指導者		実習施設
第20回 6日目	オリエンテーション、到達度記録のフィードバック 5日間の振り返りをし、今後の課題を明確にする。	臨床実習 指導者		実習施設
第21回 7日目	診療参加型臨床実習5 対象者へ検査・測定・動作介助の見学・体験。	臨床実習 指導者		実習施設
第22回 8日目	診療参加型臨床実習6 対象者へ検査・測定・動作介助の見学・体験。	臨床実習 指導者		実習施設
第23回 9日目	診療参加型臨床実習7 対象者へ検査・測定・動作介助の見学・体験。	臨床実習 指導者		実習施設
第24回 10日目	診療参加型臨床実習8 対象者へ検査・測定・動作介助の見学・体験。	臨床実習 指導者		実習施設
第25回 11日目	診療参加型臨床実習9 対象者へ検査・測定・動作介助の見学・体験。	臨床実習 指導者		実習施設
第26回 12日目	診療参加型臨床実習10 対象者へ検査・測定・動作介助の見学・体験。	臨床実習 指導者		実習施設
第27回 13日目	診療参加型臨床実習11 対象者へ検査・測定・動作介助の見学・体験。	臨床実習 指導者		実習施設
第28回 14日目	診療参加型臨床実習12 対象者へ検査・測定・動作介助の見学・体験。	臨床実習 指導者		実習施設
第29回 15日目	まとめ 15日間を到達度記録を用いて振り返りをし、今後の課題を明確にする。	臨床実習 指導者		実習施設

(R02-カリキュラム)

第30回	実技指導⑤ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第31回	実習後セミナー② 実習での体験をグループワークで意見交換をする。	3年生担任 学科教員		普通教室
第32回	実習後セミナー③ 実習での体験をグループワークで意見交換する。	3年生担任 学科教員		普通教室
第31回	実習後セミナー① 実習の振り返りをする。ポートフォリオの整理を行う。 実習課題レポートの作成、発表、討論を行う。	望月 学科教員		203
第33回	実習後セミナー② 実習の振り返りをする。ポートフォリオの整理を行う。 実習課題レポートの作成、発表、討論を行う。	望月 学科教員		203
第34回	OSCE⑤ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第34回	症例提示④ 臨床実習で多く経験する中枢神経疾患の症例を1例提示する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第35回	OSCE⑥ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第36回	OSCE⑤ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第37回	OSCE⑥ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第36回	OSCE⑦ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第37回	OSCE⑧ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第38回	OSCE復習③ 良かった点、改善点など総評し、実際に模範例を示す。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第38回	OSCE復習④ 良かった点、改善点など総評し、実際に模範例を示す。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅳ	9	405	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	大沼賢洋、望月里子、森梢 白井英彬、赤岩龍士、長田美紀	専門分野の評価学、専門分野の理学療法学、専門分野の理学療法 学実習など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 後期	この授業は、臨床の理学療法士および学校教員で担当します。医療施設での実務経験をもとに、患者への 理学療法や業務について見学や体験を通して学びを深めます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	1. 対象者を尊重し、共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築できる （理学療法の対象者との関係性構築） 2. 職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員としての自覚のある言動を取ることが出 来る （チーム内での多職種との関係性および理学療法士としての役割） 3. 理学療法の流れを理解するとともに、臨床内容の意義を理解して説明することができる （理学療法プロセスの理解） 4. 指導者の直接監視下で学生により実施されるべき項目（水準Ⅰ）において、1）～3）を実践すること ができる。 （対象者に対する理学療法実践）					
行動目標（SBO）	1. ①清潔で適切な身だしなみ、言葉遣い、礼儀正しい態度で対象者に接することができる。 ②共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築することができる。 ③周囲における自己の存在を意識した行動を行う事が出来る。 ④自らが置かれた立場で、必要とされている要件を認識し、他者や指導者の助言などに対して適切に応答す ることができる。 ⑤対象者、家族のニーズ・要望などに対し、自信の感情を制御して接することができる。 ⑥対象者、家族にとって、相談しやすい雰囲気作りを心がけることができる。 2. ①医療職としての心得や職場内におけるルールを守ることができる。 ②部門におけるルールを理解し、診療プロセス（処方の確認、計画書、効果判定、カルテの記録、算定手順 など）を理解した言動を取ることができる。 ③臨床実習指導者と十分なコミュニケーションを保って良好な関係を維持することができる。 ④積極的に理学療法スタッフや多職種と関わり、良好な関係を構築することができる。 ⑤インシデント・アクシデントが生じた際には実習施設の手順に従って対応することができる。 ⑥守秘義務を果たし、プライバシーを守ることができる。 ⑦臨床実習施設における多職種連携の展開について見学することができる。 3. ①検査項目・情報収集項目の抽出・取捨選択の理由について説明することができる。 ②検査結果の関連性について説明することができる。 ③指導者の助言のもと、対象者が抱える課題を抽出し、その抽出理由について説明することができる。 ④指導者の助言のもと、対象者の治療目標を設定し、その設定根拠について説明することができる。 ⑤可能ならば、指導者の助言のもと、理学療法プログラムを選択や、その根拠について説明することができる。 ⑥可能ならば、指導者の助言のもと、理学療法の即時効果を確認し、その内容について説明することができ る。 ⑦可能ならば、指導者の助言のもと、実施内容を診療記録に記載することができる。 ⑧可能ならば、指導者の助言のもと、カンファレンスでの症例提示内容について説明をすることができる。					

行動目標 (SBO)	4. 1) リスク管理について ①スタンダードプリコーション（標準予防策）が実施できる ②バイタルサインの計測を実施できる ③意識レベルの評価を見学し、可能ならば実施できる ④各種モニターの使用が経験できる 2) 理学療法評価について ①情報収集（診療記録、画像所見、部門内、部門外を含む）を実施することができる ②フィジカルアセスメント（問診、視診、聴診、触診）を実施することができる ③基本的な検査測定を実施することができる ・形態測計測・感覚検査・反射検査・筋緊張検査・関節可動域計測 ・筋力検査・運動耐用力 ④姿勢観察を実施することができる ⑤動作観察を実施することができる ⑥疼痛の評価を実施することができる ⑦日常生活活動評価（手段的日常生活活動を含む）を実施することができる ⑧運動器疾患に関する個別検査を実施することができる ⑨中枢神経疾患に関する個別検査を実施することができる ⑩内部障害に関する個別検査を実施することができる ⑪各種発達評価を実施することができる 3) 理学療法治療技術について ①運動療法を実施することができる ・関節可動域運動・筋力増強運動・バランス練習 ・基本動作練習（随意性の促進含む）・移動動作練習・日常生活活動練習 ②物理療法を経験することができる ・温熱療法・寒冷療法・電気刺激療法・超音波療法・水治療法 ・光線療法・牽引療法 ③義肢装具療法などを経験することができる ・長・短下肢装具の適合性の確認・長・短下肢装具の調整・福祉用具の選択 ・歩行補助具の使用法の説明
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など	
臨床実習Ⅳ：360時間（8時間×40日）＋学内実習45時間 計405時間 この授業は、学外の実習施設へ通い、臨床実習指導者の下で行われます。診療場面に参加し、様々な体験、見学を行います。実習は以下のような方法で行われます。 （１）診療参加型臨床実習 ・実習生が臨床実習指導者の助手として、診療補助行為を行うことによって、臨床経験を積んでいく授業形態です。 ・臨床実習Ⅲの検査・測定、介助に、治療を加えた実習内容となります。指導者が担当している複数の対象者に対し、指導者の指示のもとで治療（関節可動域運動 等）を実施する経験を積みながら治療技術を習得していきます。 ・１人の対象者に対し、ある部分は自分で実施し、ある部分は指導者が実施するのを見学する形になります。この過程で当該対象者の障害像を把握し、ゴール・プログラム立案を指導者の指導を受けながら行います。この過程で、指導者の考える障害像や統合と解釈、ゴール・プログラム立案プロセスの説明を受けながら理解を深めます。 （２）実習日誌 ・行動記録、実習記録（体験数）、１日の振り返りなどを記載します。 ・毎日記載して、臨床実習指導者へ提出します（学校指定の書式使用）。 ・指導者は確認してサインをします。 （３）ポートフォリオ ・診療参加型実習中に体験した検査測定や介助の記録や、指導者から指示のあった自宅学習の内容、自己研鑽でまとめた資料等をファイリングします。テーマに沿って資料を整理することで、理学療法の全体像や流れを把握します。 ・また、毎日、指導者と共に確認し記載するチェックリストも挟み込んでいきます。 ・記入の際は個人情報の流出に留意し、臨床実習指導者から適切な情報の取り扱いを学びます。	

教科書・参考書		
・臨床実習教育のの手引き（日本理学療法士協会 編集・発行） ・臨床実習ガイド（本校編集授業資料） ・臨床実習記録（本校編集授業資料） ・その他、学内授業で活用した教科書 ・臨床実習指導者が用意した学修教材		
受講時留意点、その他		
・服装は、学校指定のユニフォームとします。ただし、実習施設で指定がある場合それにしたがって下さい。 ・実習施設の規則を守り、理学療法学生として適切な行動を心がけて下さい。 ・原則的に、土日の開講はありません。ただし、実習施設や実習指導者の勤務の関係で変更となる場合があります。		
成績評価方法		
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など
定期試験		なし
小テスト		
レポート	*	テーマ「臨床実習施設での多職種連携の展開について」 「臨床実習施設での検査測定からアセスメントの流れ」
実技試験	*	実習前後のOSCEにて採点する。
プレゼンテーション	*	実習後のセミナーにおける発表内容、プレゼンテーションスキルを考慮する。
その他	100	臨床実習前後のOSCEにて採点する。また、臨床実習の総括的評価ルーブリック、臨床実習支援システムの記録内容（出席状況、日誌、レポート、チェックリスト）、実習後のレポート・発表の内容を加味する。
（合計）	100	

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	実技指導① 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	大沼 学科教員	実習の 手引き	治療室 機能訓練室
第2回	実技指導② 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	白井 学科教員	実習の 手引き	治療室 機能訓練室
第3回	実技指導③ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	森 学科教員		治療室 機能訓練室
第4回	実技指導④ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	望月 学科教員		治療室 機能訓練室
第5回	実技指導⑤ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	望月 学科教員		治療室 機能訓練室
第6回	OSCE① 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第7回	OSCE② 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第8回	OSCE③ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第9回	OSCE④ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第10回	OSCE復習① 良かった点、改善点など総評し、実際に模範例を示す。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第11回	OSCE復習② 良かった点、改善点など総評し、実際に模範例を示す。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第12回	臨床実習準備講座① オリエンテーション 実習手引きを用いて実習の課題や心構えを伝える。	望月 学科教員		治療室 機能訓練室
第13回	臨床実習準備講座② オリエンテーション 実習手引きを用いて実習の課題や心構えを伝える。	望月 学科教員		治療室 機能訓練室

第14回 1日目	コースオリエンテーション、診療参加型実習 施設の規則、実習スケジュールなど	臨床実習 指導者		実習施設
第16～53回 2～39日目	診療参加型臨床実習 対象者へ検査・測定・動作介助・治療の見学・体験。専任教員の実習地訪問（1日のみ）で臨床実習指導者・学生との面談と実習場面の見学。	臨床実習 指導者		実習施設
第54回 40日目	まとめ 40日間を到達度記録を用いて振り返りをし、今後の課題を明確にする。	臨床実習 指導者		実習施設
第54回	実習後セミナー① 実習の振り返りをする。ポートフォリオの整理を行う。 実習課題レポートの作成、発表、討論を行う。	望月 学科教員		治療室 機能訓練室
第55回	実習後セミナー② 実習の振り返りをする。ポートフォリオの整理を行う。 実習課題レポートの作成、発表、討論を行う。	望月 学科教員		治療室 機能訓練室
第56回	実技指導⑥ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第57回	実技指導⑦ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	望月 学科教員		治療室 機能訓練室
第58回	OSCE⑤ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第59回	OSCE⑥ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第60回	OSCE⑦ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第61回	OSCE⑧ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第62回	OSCE復習① 良かった点、改善点など総評し、実際に模範例を示す。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第63回	OSCE復習② 良かった点、改善点など総評し、実際に模範例を示す。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅴ	9	405	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	大沼賢洋、望月里子、赤岩龍士 森梢、白井英彬、長田美紀	専門分野の評価学、専門分野の理学療法学、専門分野の理学療法学実習など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 前期	この授業は、臨床の理学療法士および学校教員で担当します。医療施設での実務経験をもとに、患者への理学療法や業務について見学や体験を通して学びを深めます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	1. 対象者を尊重し、共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築できる (理学療法の対象者との関係性構築) 2. 職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員としての自覚のある言動を取ることが出来る (チーム内での多職種との関係性および理学療法士としての役割) 3. 理学療法の流れを理解するとともに、臨床内容の意義を理解して説明することができる (理学療法プロセスの理解) 4. 指導者の直接監視下で学生により実施されるべき項目(水準Ⅰ)において、1)～3)を実践することができる。 (対象者に対する理学療法実践)					
行動目標 (SBO)	1. ①清潔で適切な身だしなみ、言葉遣い、礼儀正しい態度で対象者に接することができる。 ②共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築することができる。 ③周囲における自己の存在を意識した行動を行う事が出来る。 ④自らが置かれた立場で、必要とされている要件を認識し、他者や指導者の助言などに対して適切に応答することができる。 ⑤対象者、家族のニーズ・要望などに対し、自信の感情を制御して接することができる。 ⑥対象者、家族にとって、相談しやすい雰囲気作りを心がけることができる。 2. ①医療職としての心得や職場内におけるルールを守ることができる。 ②部門におけるルールを理解し、診療プロセス(処方の確認、計画書、効果判定、カルテの記録、算定手順など)を理解した言動を取ることができる。 ③臨床実習指導者と十分なコミュニケーションを保って良好な関係を維持することができる。 ④積極的に理学療法スタッフや多職種と関わり、良好な関係を構築することができる。 ⑤インシデント・アクシデントが生じた際には実習施設の手順に従って対応することができる。 ⑥守秘義務を果たし、プライバシーを守ることができる。 ⑦臨床実習施設における多職種連携の展開について見学することができる。 3. ①検査項目・情報収集項目の抽出・取捨選択の理由について説明することができる。 ②検査結果の関連性について説明することができる。 ③対象者が抱える課題を抽出し、その抽出理由について説明することができる。 ④対象者の治療目標を設定し、その設定根拠について説明することができる。 ⑤指導者の助言のもと、理学療法プログラムを選択や、その根拠について説明することができる。 ⑥指導者の助言のもと、理学療法の即時効果を確認し、その内容について説明することができる。 ⑦指導者の助言のもと、実施内容を診療記録に記載することができる。 ⑧指導者の助言のもと、カンファレンスでの症例提示内容について説明をすることができる。					

行動目標(SBO)	4. 1)リスク管理について ①スタンダードプリコーション(標準予防策)が実施できる ②バイタルサインの計測を実施できる ③意識レベルの評価を見学し、可能ならば実施できる ④各種モニターの使用ができる 2)理学療法評価について ①情報収集(診療記録、画像所見、部門内、部門外を含む)を実施することができる ②フィジカルアセスメント(問診、視診、聴診、触診)を実施することができる ③基本的な検査測定を実施することができる ・形態測計測・感覚検査・反射検査・筋緊張検査・関節可動域計測 ・筋力検査・運動耐用量 ④姿勢観察を実施することができる ⑤動作観察を実施することができる ⑥疼痛の評価を実施することができる ⑦日常生活活動評価(手段的日常生活活動を含む)を実施することができる ⑧運動器疾患に関する個別検査を実施することができる ⑨中枢神経疾患に関する個別検査を実施することができる ⑩内部障害に関する個別検査を実施することができる ⑪各種発達評価を実施することができる 3)理学療法治療技術について ①運動療法を実施することができる ・関節可動域運動・筋力増強運動・バランス練習 ・基本動作練習(随意性の促進含む)・移動動作練習・日常生活活動練習 ②物理療法を実施することができる ・温熱療法・寒冷療法・電気刺激療法・超音波療法・水治療法 ・光線療法・牽引療法 ③義肢装具療法などを実施することができる ・長・短下肢装具の適合性の確認・長・短下肢装具の調整・福祉用具の選択 ・歩行補助具の使用方法的説明
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など	
臨床実習Ⅴ:360時間(8時間×40日)+学内実習Ⅳ45時間 計405時間 この授業は、学外の実習施設へ通い、臨床実習指導者の下で行われます。診療場面に参加し、様々な体験、見学を行います。実習は以下のような方法で行われます。 (1)診療参加型臨床実習 ・実習生が臨床実習指導者の助手として、診療補助行為を行うことによって、臨床経験を積んでいく授業形態です。 ・臨床実習Ⅲの検査・測定、介助に、治療を加えた実習内容となります。指導者が担当している複数の対象者に対し、指導者の指示のもとで治療(関節可動域運動 等)を実施する経験を積みながら治療技術を習得していきます。 ・1人の対象者に対し、ある部分は自分で実施し、ある部分は指導者が実施するのを見学する形になります。この過程で当該対象者の障害像を把握し、ゴール・プログラム立案を指導者の指導を受けながら行います。 (2)実習日誌 ・行動記録、実習記録(体験数)、1日の振り返りなどを記載します。 ・指導者による指導のもと、技術が向上してくると「実施」が増えていきます。「実施」を1つ1つ増やしていくことを目標に取り組みましょう。 ・毎日記載して、臨床実習指導者へ提出します(学校指定の書式使用)。 ・指導者は確認してサインをします。 (3)ポートフォリオ ・診療参加型実習中に体験した検査測定や介助の記録や、指導者から指示のあった自宅学習の内容、自己研鑽でまとめた資料等をファイリングします。テーマに沿って資料を整理することで、理学療法の全体像や流れを把握します。 ・また、毎日、指導者と共に確認し記載するチェックリストも挟み込んでいきます。 ・記入の際は個人情報の流出に留意し、臨床実習指導者から適切な情報の取り扱いを学びます。	

(R02-カリキュラム)

教科書・参考書		
・臨床実習教育の手引き(日本理学療法士協会 編集・発行) ・臨床実習ガイド(本校編集授業資料) ・臨床実習記録(本校編集授業資料) ・その他、学内授業で活用した教科書 ・臨床実習指導者が用意した学修教材		
受講時留意点、その他		
・ 服装は、学校指定のユニフォームとします。ただし、実習施設で指定がある場合それにしたがって下さい。 ・ 実習施設の規則を守り、理学療法学生として適切な行動を心がけて下さい。 ・ 原則的に、土日の開講はありません。ただし、実習施設や実習指導者の勤務の関係で変更となる場合があります。		
成績評価方法		
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など
定期試験		なし
小テスト		
レポート	*	テーマ「臨床実習施設での多職種連携の展開について」 「臨床実習施設におけるアセスメントから治療の流れ」
実技試験	*	実習前後のOSCEにて採点する。
プレゼンテーション	*	実習後のセミナーにおける発表内容、プレゼンテーションスキルを考慮する。
その他	100	臨床実習前後のOSCEにて採点する。また、臨床実習の総括的評価ルーブリック、臨床実習支援システムの記録内容(日誌、レポート、チェックリスト)、実習後のレポート・発表の内容を加味する。
(合計)	100	

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	症例提示① 臨床実習で多く経験する症例を1～2例提示する。	大沼 学科教員	実習の 手引き	治療室 機能訓練室
第2回	症例提示② 臨床実習で多く経験する症例を1～2例提示する。	森 学科教員	実習の 手引き	治療室 機能訓練室
第3回	臨床実習準備講座① 実習地の発表、オリエンテーション 実習手引きを用いて実習の課題や心構えを伝える。	望月 学科教員		治療室 機能訓練室
第4回	臨床実習準備講座② 実習地の発表、オリエンテーション 実習手引きを用いて実習の課題や心構えを伝える。	望月 学科教員		治療室 機能訓練室
第5回	実技指導① 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	赤岩 学科教員		治療室 機能訓練室
第6回	実技指導② 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	望月 学科教員		治療室 機能訓練室
第7回	OSCE① 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第8回	OSCE② 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第9回	OSCE③ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第10回	OSCE④ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第11回	OSCE復習① 良かった点、改善点など総評し、実際に模範例を示す。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第12回	OSCE復習② 良かった点、改善点など総評し、実際に模範例を示す。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第13回 1日目	コースオリエンテーション、診療参加型実習 施設の規則、実習スケジュールなど	臨床実習 指導者		実習施設
第13～50回 2～39日目	診療参加型臨床実習 対象者へ検査・測定・動作介助・治療の見学・体験。 専任教員の実習地訪問(1日のみ)で臨床実習指導者・学生との面談 と実習場面の見学。	臨床実習 指導者		実習施設
第51回 40日目	まとめ 40日間を到達度記録を用いて振り返りをし、今後の課題を明確にする。	臨床実習 指導者		実習施設

(R02-カリキュラム)

第52回	実技指導② 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第53回	実習後セミナー① 実習の振り返りをする。ポートフォリオの整理を行う。 実習課題レポートの作成、発表、討論を行う。	望月 学科教員		203
第54回	実習後セミナー② 実習の振り返りをする。ポートフォリオの整理を行う。 実習課題レポートの作成、発表、討論を行う。	望月 学科教員		203
第55回	OSCE⑤ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第56回	OSCE⑥ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第57回	OSCE⑦ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第58回	OSCE⑧ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第59回	OSCE復習③ 良かった点、改善点など総評し、実際に模範例を示す。	大沼 学科教員		203
第60回	OSCE復習④ 良かった点、改善点など総評し、実際に模範例を示す。	大沼 学科教員		治療室 機能訓練室
第61回	模擬カンファレンス演習① PT・OT学科合同で、模擬症例の解釈とカンファレンスを行い多職種連携を経験する。	大沼 学科教員		201
第62回	模擬カンファレンス演習② PT・OT学科合同で、模擬症例の解釈とカンファレンスを行い多職種連携を経験する。	大沼 学科教員		講堂